

2023年度

福祉に関する県民意識調査

報 告 書

2024（令和6年）3月

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

はじめに

山口県では、1986（昭和61）年から県・市町社会福祉協議会を中心として「困ったときにお互いが助け合える組織をつくろう」というスローガンのもとに、「福祉の輪づくり運動」を展開しています。こうした運動の中で、住民が抱える様々な福祉課題に対し、住民参加による解決をめざした地域福祉活動（「ふれあい・いきいきサロン」「住民参加型在宅福祉サービス（有償助け合いサービス）」「地区社会福祉協議会活動」など）が展開されています。

しかし、少子高齢化や核家族化、住民相互の関係の希薄化等の地域社会の変化に伴い、これまで行われていた地域福祉活動の維持や継続、近隣住民相互の支え合いが難しくなっている地域もあります。

こうした状況の中、山口県社会福祉協議会（以下「県社協」という。）では、「住みたい地域で誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができるまちづくり」という基本理念のもとに、市町社会福祉協議会と連携しながら地域福祉を進めています。

また、一人ひとりの暮らしへの安心感や、豊かさが担保できるようなまちづくりをすすめていくためには、関係機関との協働を意識しながら地域の福祉活動を進めていくことが必要であるという認識のもと「福祉の輪づくり運動」を展開しています。

本会では、地域を基盤とした地域福祉を進めていくために、福祉や地域の活動等について県民の意識や活動等の実態把握を目的として、18歳以上の県民を対象として福祉に関する実態調査を行いました。

なお、本調査は、県社協で2023（令和5）年度に策定する「第7次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の基礎データとしても活用するとともに、今後5年ごとに本調査を実施し、県民の意識や活動の変化の確認を行う予定です。

本報告書が、地域福祉活動に関わる方々に共有され、山口県における地域福祉のさらなる向上につなげていくための基礎資料として御活用いただければ幸いです。

最後になりますが、「福祉に関する県民意識調査」アンケートの回答に御協力いただきました山口県民の皆様、また、本報告書をまとめるにあたり、熱心に御協議いただきました県民福祉意識等に関する調査研究委員会委員の皆様にお礼を申し上げますとともに、報告書の執筆、監修をいただきました委員長の高野和良先生（九州大学大学院人間環境学研究院 教授）に深く感謝申し上げます。

2024（令和6）年3月

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

2023年度 山口県内福祉に関する県民意識調査報告書

〈目 次〉

第1章 本事業の実施概要

- 1 本事業の実施目的 1
- 2 本事業の実施内容 1

第2章 県民福祉意識等に関する調査の概要

- 1 調査の概要 2
- 2 注 記 2
- 3 集計・分析 3
- 4 調査結果の概要 3

第3章 考察と課題

- 1 近所づきあいの程度と意識を捉えた取組 57
- 2 生活上の困りごとの家族以外の相談先と相談しやすい環境づくり 58
- 3 地域活動への参加を増やすための働きかけ 60
- 4 福祉に関する情報発信の強化 64
- 5 福祉員の認知度と期待される役割 66
- 6 災害に備える住民の意識を活かした日頃の地域福祉活動 68
- 7 寄附意識を高めるための寄附への理解と共感 69

第4章 県民福祉意識の現状

- 1 調査結果のまとめ 71
- 2 災害時の備えについて 74
- 3 寄附（募金）について 83

◆ 資料編

- 1 「福祉に関する県民意識調査」調査票 95
- 2 「福祉に関する県民意識等実態調査」結果（単純集計結果） 111
- 3 「福祉に関する県民意識等実態調査」結果（経年比較） 136
- 4 「県民福祉意識等に関する調査研究委員会」協議経過 等 167

第1章 本事業の実施概要

1 本事業の実施目的

地域にある様々な地域生活課題に対し、住民参加による解決をめざした福祉活動（「見守りネットワーク活動」「ふれあい・いきいきサロン」「住民参加型在宅福祉サービス（有償助け合いサービス）」「地区社会福祉協議会活動」など）の県内でのさらなる展開を図るために、山口県民を対象として、福祉や地域福祉活動等に関する意識や実態を調査するとともに、今後の地域福祉活動方針を策定する基礎資料とするために行うものです。

2 本事業の実施内容

山口県の地域性に即した地域福祉活動を計画的に推進していくために山口県社会福祉協議会では、「福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」を策定しています。2023(令和5)年度に「第7次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の策定を行うにあたり、その基礎データとして県民の福祉に対する意識やボランティア活動等への参加意欲等の現状を把握するために本調査を実施しました。

また、2009（平成21）年度、2013（平成25）年度、2018（平成30）年度に実施した調査と比較し、これまでの活動実態の振り返りを行うことができます（資料編『3 「福祉に関する県民等実態調査」結果（経年比較）』参照）。

なお、本調査は5年毎に実施し県民福祉意識の推移を蓄積し、山口県での地域福祉活動の推進状況を確認するための評価指針の一つとする予定です。

第2章 県民福祉意識等に関する調査の概要

1 調査の概要

調査実施主体：社会福祉法人山口県社会福祉協議会

調査時期：2023（令和5）年5～6月

調査方法：自記式、郵送法

対象者抽出名簿：選挙人名簿（無作為抽出）

調査対象者：山口県内在住の18歳以上男女（年齢の上限は設けていません）

配票回収数：5,000票、回収数1,923票、回収率38.5%

調査対象地域：

| 圏域 | 市町名 | 対象者数 | 圏域 | 市町名 | 対象者数 |
|----|-------|------|-------------------|--------|-------|
| 岩国 | 岩国市 | 482 | 山口・防府 | 山口市 | 713 |
| | 和木町 | 21 | | 防府市 | 417 |
| 柳井 | 柳井市 | 116 | 宇部 ・ 山陽小野田市 | 宇部市 | 605 |
| | 周防大島町 | 59 | | 山陽小野田市 | 222 |
| | 上関町 | 9 | | 美祢市 | 90 |
| | 田布施町 | 54 | 下関 | 下関市 | 957 |
| | 平生町 | 46 | 長門 | 長門市 | 124 |
| 周南 | 周南市 | 514 | 萩 | 萩市 | 172 |
| | 下松市 | 202 | | 阿武町 | 12 |
| | 光市 | 185 | 合計 | | 5,000 |

2 注 記

本調査報告書では、設問ごとに単純集計結果（グラフ）を示したうえで、そこから読み取れる内容を記述しています。さらに、設問によっては、年齢層別（3区分：青年層、壮年層、高齢層）などのクロス集計を行い、その結果表とともに得られた知見を記述しています。

クロス集計では、単純集計結果に含まれている「無効回答」、「未回答」の数値を除外したため、単純集計結果とクロス集計結果表の「合計」欄の数値とは異なります。

社会調査の回収率の低さは、結果の妥当性に影響します。今回調査の回収率は38.5%でした。2018年調査は43.1%、2013年調査は41.3%であり、過去の回収率と比較しても、わずかに低下してはいますが、大きな変化はありませんでした。郵送法調査としては決して低い回収率ではありません。

しかし、回収率が4割弱であることは、後述のように性別、年齢層別にやや偏りをもたらすこととなります。このため、結果の解釈にあたっては注意が必要です。

3 集計・分析

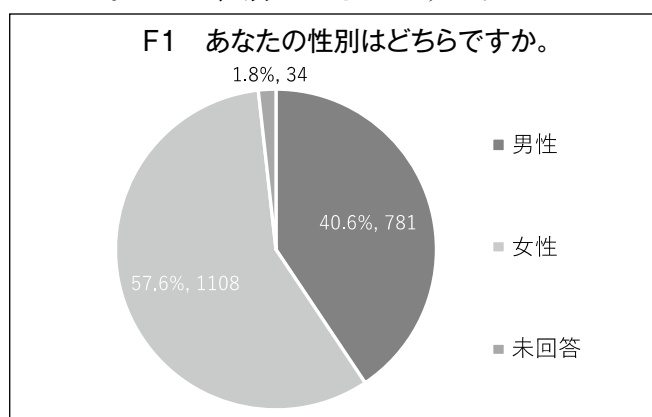
調査結果の分析、報告書の作成(第2章、第4章)は下記担当者によって行いました。

報告書作成：九州大学大学院人間環境学研究院 教授 高野和良
九州大学大学院人間環境学府 修士課程 山田真理子
南出栞歩
真田杏梨子
安本祥子

4 調査結果の概要

【回答者の属性】

F1 あなたの性別はどちらですか。



F2 あなたは、現在、おいくつですか。

| 年齢 | 度数 | 比率 | 年齢 | 度数 | 比率 |
|--------|-----|-----|--------|------|-------|
| 18～24歳 | 40 | 2.1 | 65～69歳 | 221 | 11.5 |
| 25～29歳 | 50 | 2.6 | 70～74歳 | 263 | 13.7 |
| 30～34歳 | 45 | 2.3 | 75～79歳 | 207 | 10.8 |
| 35～39歳 | 75 | 3.9 | 80～84歳 | 182 | 9.5 |
| 40～44歳 | 108 | 5.6 | 85～89歳 | 91 | 4.7 |
| 45～49歳 | 117 | 6.1 | 90～94歳 | 35 | 1.8 |
| 50～54歳 | 135 | 7.0 | 95歳以上 | 6 | 0.3 |
| 55～59歳 | 139 | 7.2 | 未回答 | 31 | 1.6 |
| 60～64歳 | 178 | 9.3 | 合計 | 1923 | 100.0 |

- ・回答者の属性を性別、年齢別で見ると、男性よりも女性が多く、年齢分布では青年層（18～39歳：10.9%）が少なく、壮年層（40～64歳：35.2%）が3割5分、高齢層（65歳以上：52.3%）が5割強を占める結果となりました。

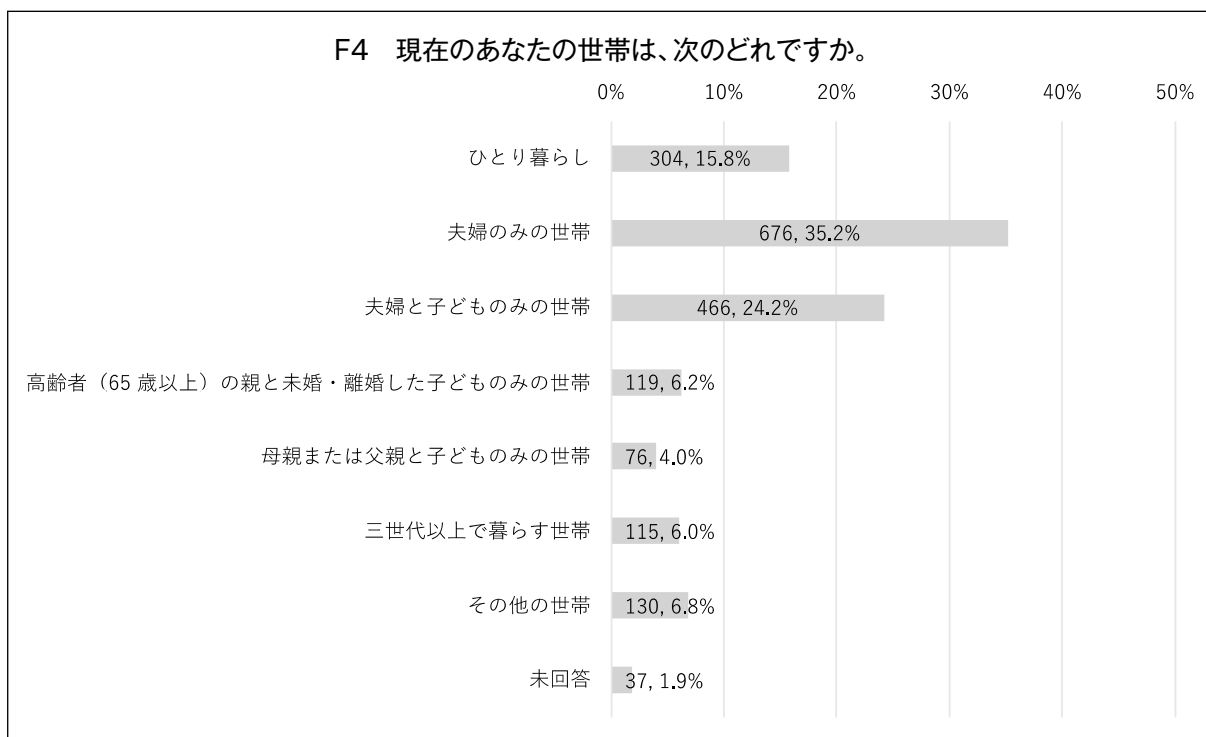
- ・ 前回（2019年）、前々回調査（2013年）と比較して、男性の比率がやや低下しました（46.2%→42.1%→40.6%）。年齢では青年層と壮年層の割合がやや低下し（青年層：11.7%→12.0%→10.9%、壮年層：39.7%→37.5%→35.2%）、高齢層の割合は増加しました（48.5%→47.5%→52.3%）。
- ・ 本アンケートの結果は、壮年層・高齢層と女性の意見がより強く反映されていると考えられ、結果の解釈にあたっては注意が必要です。

F 3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。

| | 度数 | パーセント | | 度数 | パーセント |
|-----|-----|-------|--------|------|-------|
| 下関市 | 336 | 17.5 | 周南市 | 196 | 10.2 |
| 宇部市 | 236 | 12.3 | 山陽小野田市 | 76 | 4.0 |
| 山口市 | 295 | 15.3 | 周防大島町 | 26 | 1.4 |
| 萩市 | 57 | 3.0 | 和木町 | 7 | 0.4 |
| 防府市 | 154 | 8.0 | 上関町 | 2 | 0.1 |
| 下松市 | 79 | 4.1 | 田布施町 | 24 | 1.2 |
| 岩国市 | 163 | 8.5 | 平生町 | 15 | 0.8 |
| 光市 | 75 | 3.9 | 阿武町 | 5 | 0.3 |
| 長門市 | 51 | 2.7 | 未回答 | 35 | 1.8 |
| 柳井市 | 53 | 2.8 | | | |
| 美祢市 | 38 | 2.0 | 合計 | 1923 | 100.0 |

- ・ 現在お住いの地域は、「下関市」が最も多く（17.5%）、次いで「山口市」（15.3%）、「宇部市」（12.3%）、「周南市」（10.2%）となりました。

F 4 現在のあなたの世帯は、次のどれですか。

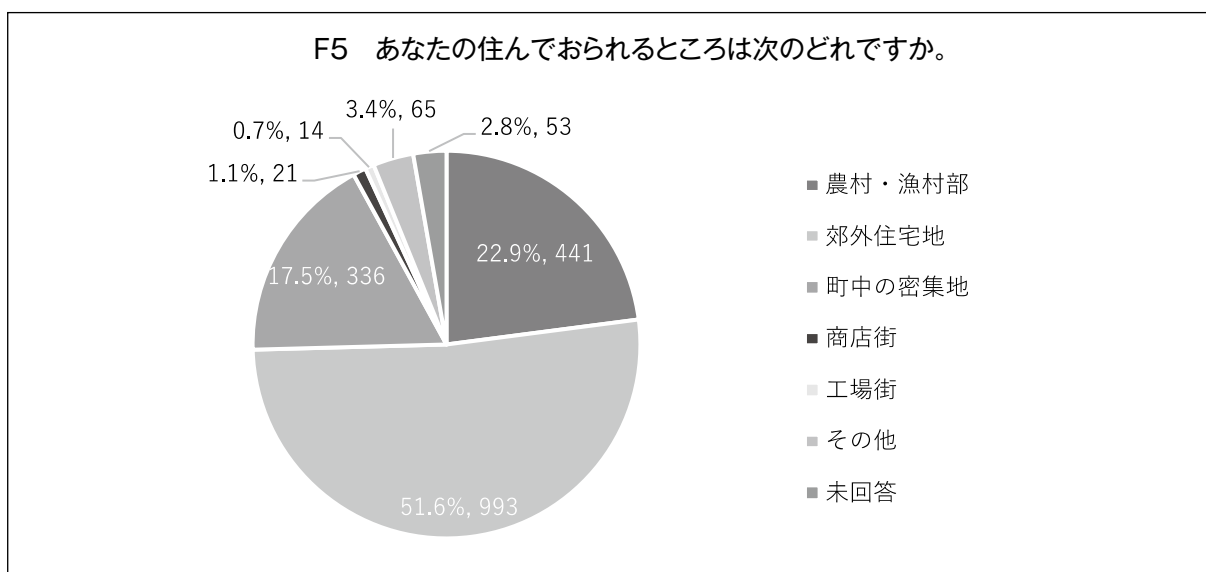


世帯と年齢階層別のクロス表

| | | 世帯 | | | | |
|-------|-----|------------------|-------------|-------------|------------------------------|--------|
| | | ひとり暮らし | 夫婦のみの世帯 | 夫婦と子どものみの世帯 | 高齢者（65歳以上）の親と未婚・離婚した子どものみの世帯 | |
| 年齢階層別 | 青年層 | 度数 | 19 | 18 | 104 | 13 |
| | | 年齢層別の% | 9.1% | 8.6% | 49.8% | 6.2% |
| 壮年層 | 度数 | 71 | 190 | 225 | 59 | |
| | | 年齢層別の% | 10.5% | 28.1% | 33.3% | 8.7% |
| 高齢層 | 度数 | 214 | 468 | 137 | 46 | |
| | | 年齢層別の% | 21.4% | 46.8% | 13.7% | 4.6% |
| 合計 | 度数 | 304 | 676 | 466 | 118 | |
| | | 年齢層別の% | 16.1% | 35.9% | 24.7% | 6.3% |
| | | 母親または父親と子どものみの世帯 | 三世代以上で暮らす世帯 | その他の世帯 | 合計 | |
| 年齢階層別 | 青年層 | 度数 | 24 | 20 | 11 | 209 |
| | | 年齢層別の% | 11.5% | 9.6% | 5.3% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 33 | 46 | 52 | 676 | |
| | | 年齢層別の% | 4.9% | 6.8% | 7.7% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 19 | 49 | 67 | 1000 | |
| | | 年齢層別の% | 1.9% | 4.9% | 6.7% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 76 | 115 | 130 | 1885 | |
| | | 年齢層別の% | 4.0% | 6.1% | 6.9% | 100.0% |

- ・世帯構成は、「夫婦のみの世帯」（35.2%）が最も多く、次いで「夫婦と子どものみの世帯」（24.2%）、「ひとり暮らし」（15.8%）となりました。
- ・年齢階層別にみると、青年層と壮年層では「夫婦と子どものみの世帯」が最も多くなっていますが（青年層49.8%、壮年層33.3%）、高齢層では「夫婦のみの世帯」が5割弱（46.8%）を占め、最も多くなっています。また、「ひとり暮らし」は高齢層において最も多く2割強（21.4%）となっており、子どもが親元を離れていることに加えて配偶者との離別・死別によって単身で暮らしていることが考えられます。

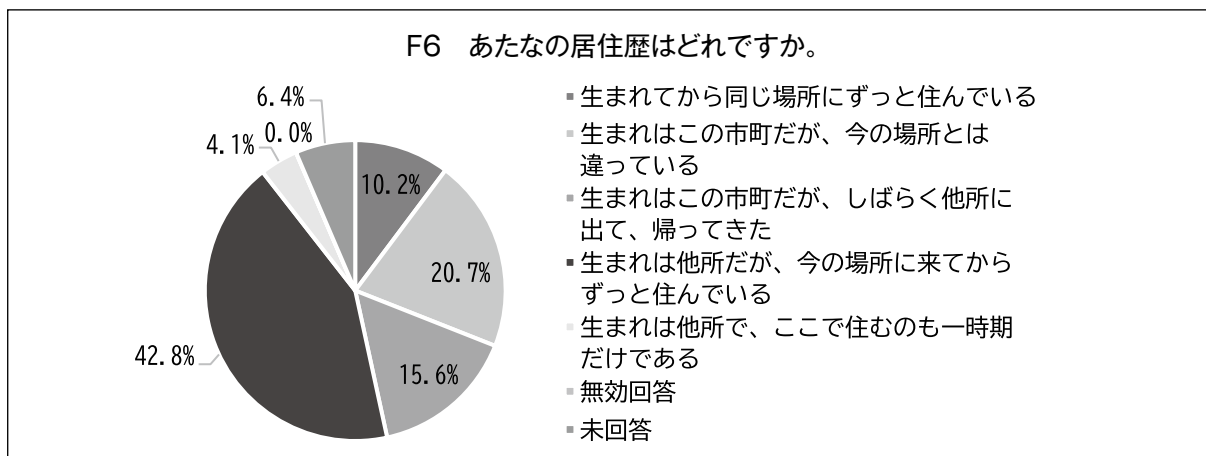
F5 あなたの住んでおられるところは次のどれですか。



・居住地は、「郊外住宅地」が約5割（51.6%）で最も多く、次いで「農村・漁村部」（22.9%）、「街中の密集地」（17.5%）となりました。

F6 あなたの居住歴はどれですか。

| 居住年数 | 度数 | 比率 |
|--------|------|--------|
| 10年未満 | 328 | 17.1% |
| 10～19年 | 285 | 14.8% |
| 20～29年 | 233 | 12.1% |
| 30～39年 | 236 | 12.3% |
| 40～49年 | 239 | 12.4% |
| 50～59年 | 179 | 9.3% |
| 60年以上 | 197 | 10.2% |
| 未回答 | 226 | 11.8% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

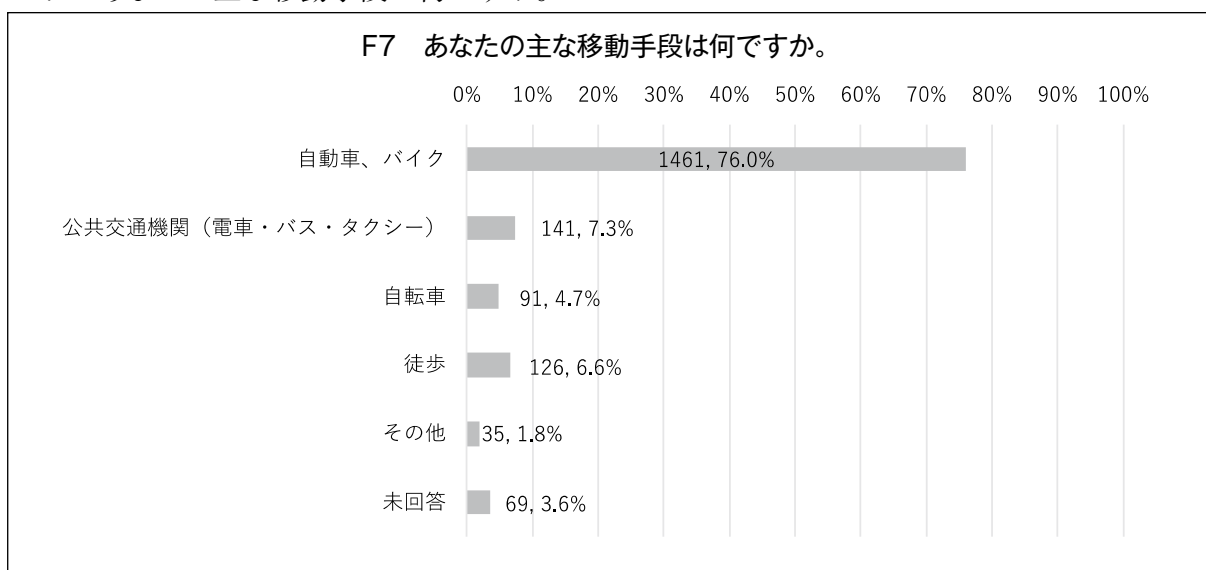


年齢層別と居住歴のクロス表

| 年齢層別 | | 居住歴 | | | | | 合計 |
|------|---------|---------------------|---------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|--------|
| | | 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる | 生まれはこの市町だが、今の場所とは違う | 生まれはこの市町だが、しばらく他所に出て、帰ってきた | 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる | 生まれは他所で、ここで住むのも一時期だけである | |
| 青年層 | 度数 | 26 | 48 | 37 | 68 | 25 | 204 |
| | 年齢3区分の% | 12.7% | 23.5% | 18.1% | 33.3% | 12.3% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 54 | 154 | 111 | 284 | 40 | 643 |
| | 年齢3区分の% | 8.4% | 24.0% | 17.3% | 44.2% | 6.2% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 117 | 197 | 152 | 471 | 14 | 951 |
| | 年齢3区分の% | 12.3% | 20.7% | 16.0% | 49.5% | 1.5% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 197 | 399 | 300 | 823 | 1798 |
| | | 年齢3区分の% | 11.0% | 22.2% | 16.7% | 45.8% | 100.0% |

- ・ 図表には示していませんが、現在地に住んでいる年数は、「20年以上」が6割弱（56.4%）で最も多く、「1～4年」（8.4%）、「5～9年」（8.1%）、「10～14年」（7.9%）、「15～19年」（7.0%）がそれぞれ1割弱となりました。
- ・ 居住歴は、「生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる」が4割強（42.8%）で最も多く、次いで「生まれはこの市町だが、今の場所とは違う」（20.7%）、Uターン層である「生まれはこの市町だが、しばらく他所に出て、帰ってきた」（15.6%）となりました。
- ・ 現在地に住んでいる年数が「20年以上」は6割弱（56.4%）でしたが、「生まれてから同じ場所にずっと住んでいる」は約1割（10.2%）であり、現在地に長く住んでいる人でも、一度は移動を経験した人が多いことがわかります。
- ・ 年齢階層別にみると、いずれの年齢層でも「生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる」が最も多くなっています。そのためもあって、年齢層が上がるにつれてその割合は高まっています（青年層33.3%、壮年層44.2%、高齢層49.5%）。一方、「生まれは他所で、ここで住むのも一時期だけである」は、年齢層が上がるにつれてその割合は低くなっており（青年層12.3%、壮年層6.2%、高齢層1.5%）、現在の居住地に定住するつもりである人の割合が高まっていることがわかります。

F7 あなたの主な移動手段は何ですか。

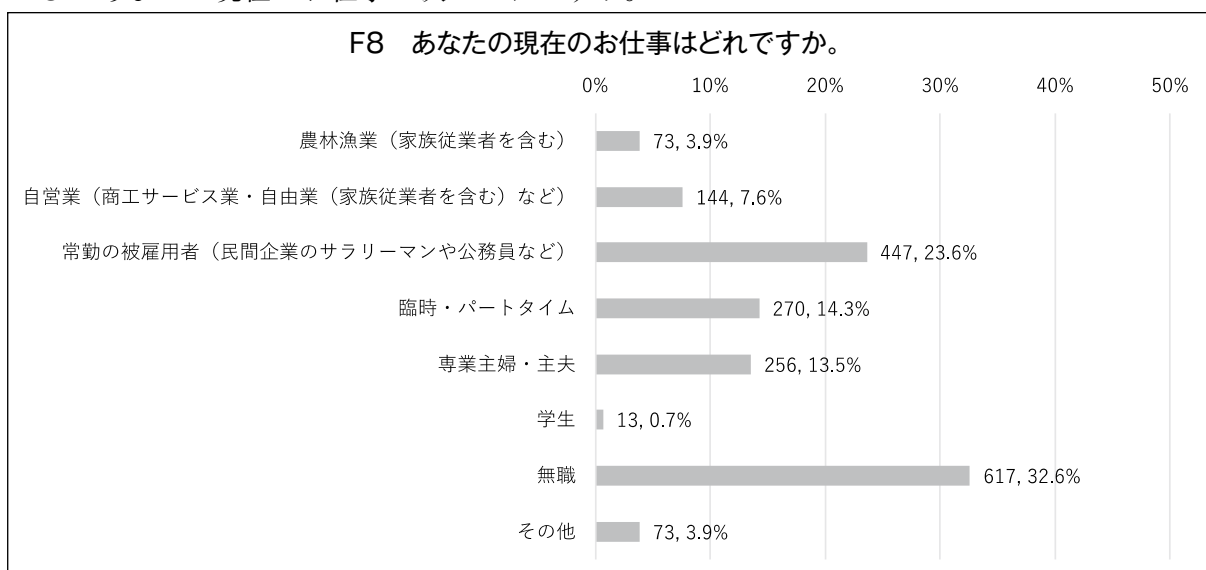


年齢層別と移動手段のクロス表

| | | 移動手段 | | | | | 合計 | |
|------|-----|---------|----------------------------|-------|------|------|------|--------|
| | | 自動車、バイク | 公共交通機関 (電車・バス・ タクシー) | 自転車 | 徒歩 | その他 | | |
| 年齢層別 | 青年層 | 度数 | 173 | 8 | 16 | 11 | 0 | 208 |
| | | 年齢層別の% | 83.2% | 3.8% | 7.7% | 5.3% | 0.0% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 610 | 19 | 21 | 19 | 1 | 670 |
| | | 年齢層別の% | 91.0% | 2.8% | 3.1% | 2.8% | 0.1% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 677 | 114 | 54 | 96 | 34 | 975 |
| | | 年齢層別の% | 69.4% | 11.7% | 5.5% | 9.8% | 3.5% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 1460 | 141 | 91 | 126 | 35 | 1853 |
| | | 年齢層別の% | 78.8% | 7.6% | 4.9% | 6.8% | 1.9% | 100.0% |

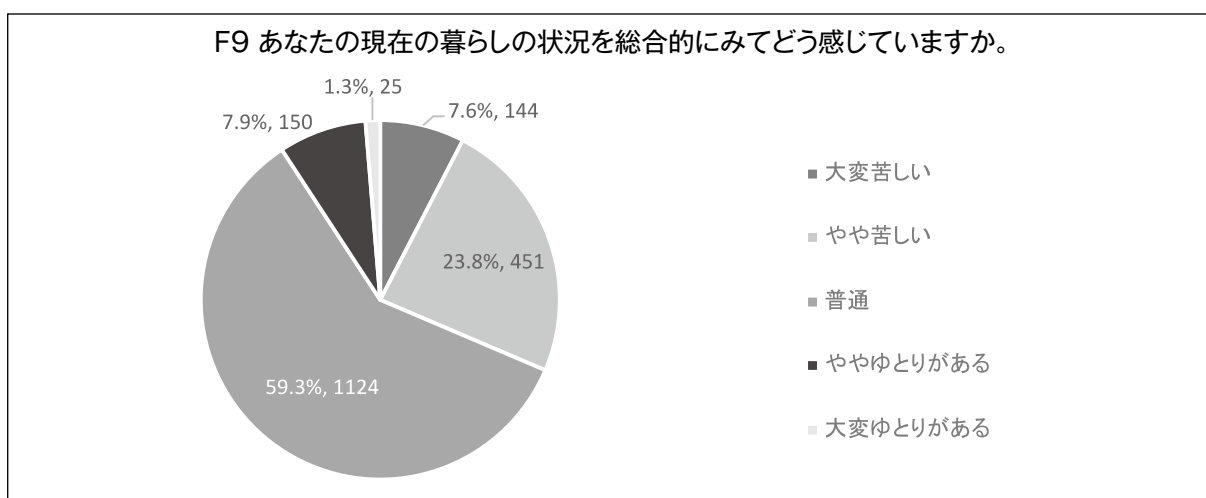
- ・ 主な移動手段は、「自動車、バイク」が8割弱（76.0%）で最も多く、「公共交通機関（電車・バス・タクシー）」（7.3%）、「徒歩」（6.6%）がそれぞれ1割弱となりました。
- ・ 年齢階層別にみると、いずれの年齢層でも「自動車・バイク」が最も多くなっており、自動車を中心とする移動手段に大きく依存していることがわかります。その割合は、青年層では8割強（83.2%）、壮年層では約9割（91.0%）を占めるのに対し、高齢層では約7割（69.4%）となっています。その代わりに、高齢層では「公共交通機関（電車・バス・タクシー）」（11.7%）と「徒歩」（9.8%）がそれぞれ約1割となっており、他の年齢層よりも大きな割合を占めています。高齢層のなかには、免許返納を行うなどして、公共交通機関や徒歩での移動を余儀なくされている人がいることが考えられます。

F 8 あなたの現在のお仕事は次のどれですか。



・仕事についての回答では、「無職」が約3割（32.6%）と最も多く、次いで、回答が多い順に「常勤の被雇用者（民間企業のサラリーマンや公務員など）」（23.6%）、「臨時・パートタイム」（14.3%）、「専業主婦・主夫」（13.5%）となりました。

F 9 あなたの現在の暮らしの状況を総合的に見てどう感じていますか。

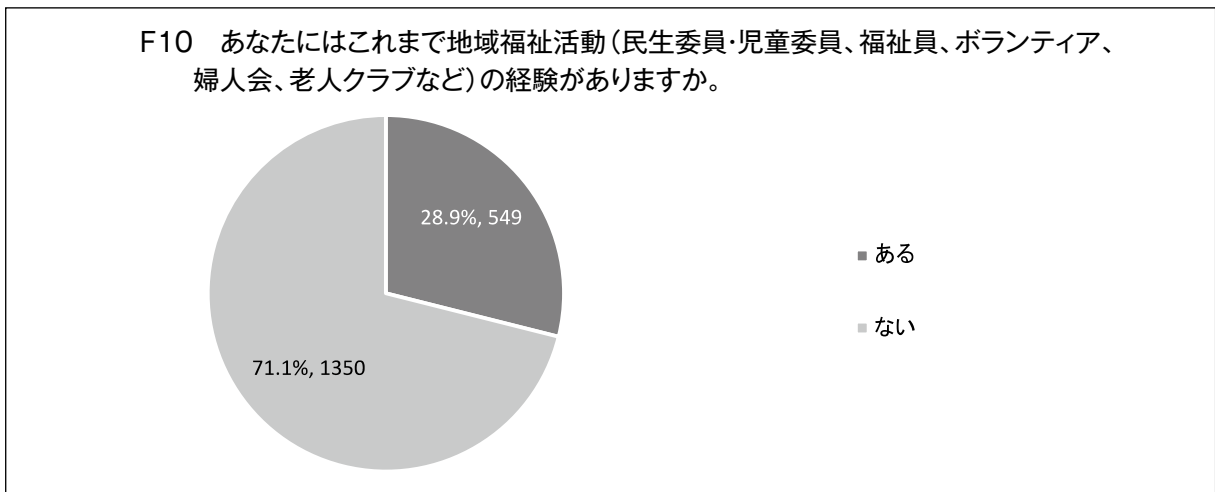


年齢3区分と暮らし向きクロス表

| | | 暮らし向き | | | | | 合計 | |
|-------|-----|--------|-------|-------|----------|----------|------|--------|
| | | 大変苦しい | やや苦しい | 普通 | ややゆとりがある | 大変ゆとりがある | | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 15 | 61 | 110 | 22 | 2 | 210 |
| | | 年齢層別の% | 7.1% | 29.0% | 52.4% | 10.5% | 1.0% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 52 | 188 | 363 | 60 | 11 | 674 |
| | | 年齢層別の% | 7.7% | 27.9% | 53.9% | 8.9% | 1.6% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 72 | 198 | 640 | 66 | 12 | 988 |
| | | 年齢層別の% | 7.3% | 20.0% | 64.8% | 6.7% | 1.2% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 139 | 447 | 1113 | 148 | 25 | 1872 |
| | | 年齢層別の% | 7.4% | 23.9% | 59.5% | 7.9% | 1.3% | 100.0% |

- ・現在の暮らしの状況を総合的に見てどう感じているかについての回答をみると、「普通」が約6割（59.3%）となりました。「大変苦しい」と「やや苦しい」の割合は合計で約3割（31.4%）であるのに対し、「大変ゆとりがある」、「ややゆとりがある」の合計の割合は1割弱（9.2%）となっています。
- ・年齢階層別にみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計の割合は、青年層（36.1%）、壮年層（35.6%）で、高齢層（27.3%）よりもやや高くなりました。その一方で、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計の割合は、青年層で最も高く（11.5%）、壮年層（10.5%）、高齢層（7.9%）の順に低くなっています。

F10 あなたはこれまで地域福祉活動（民生委員・児童委員、福祉員、ボランティア、婦人会、老人クラブなど）の経験がありますか。

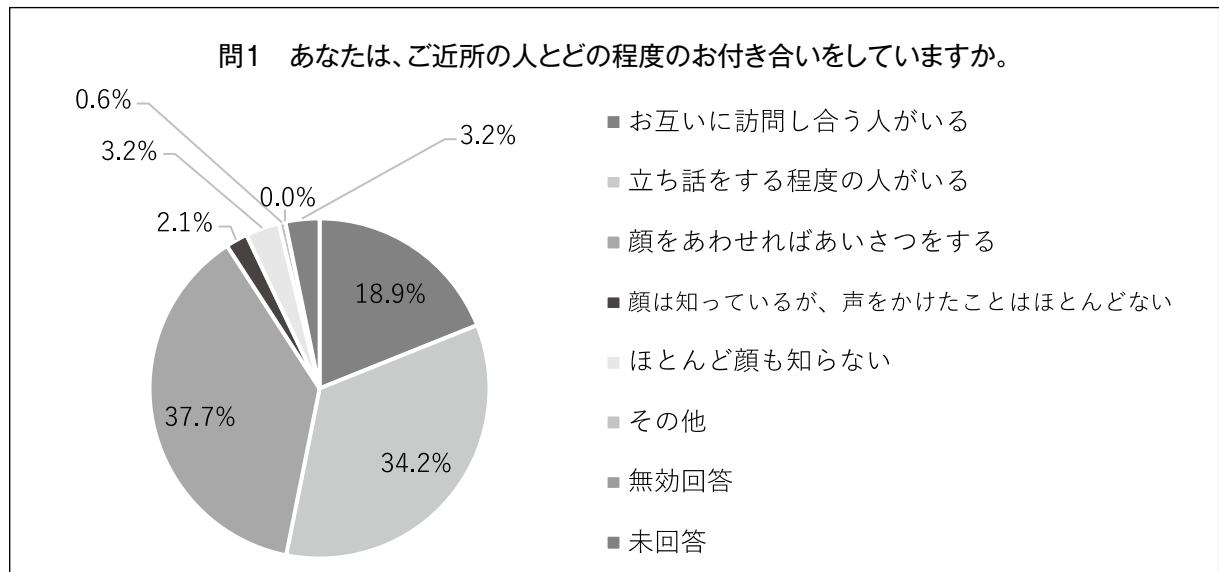


年齢3区分と地域福祉活動の経験のクロス表

| 年齢層別 | 年齢層 | 地域福祉活動の経験 | 地域福祉活動の経験 | | 合計 |
|------|--------|-----------|-----------|-------|--------|
| | | | ある | ない | |
| 青年層 | 度数 | | 35 | 175 | 210 |
| | 年齢層別の% | | 16.7% | 83.3% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | | 125 | 549 | 674 |
| | 年齢層別の% | | 18.5% | 81.5% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | | 379 | 613 | 992 |
| | 年齢層別の% | | 38.2% | 61.8% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | | 539 | 1337 | 1876 |
| | 年齢層別の% | | 28.7% | 71.3% | 100.0% |

- ・地域福祉活動（民生委員・児童委員、福祉員、ボランティア、婦人会、老人クラブなど）の経験についての回答では、「ない」が約7割（71.1%）となりました。
- ・年齢階層別にみると、「ない」と回答した人の割合は、青年層（83.3%）と壮年層（81.5%）で約8割、高齢層（61.8%）で約6割となりました。

問1 近所づきあいの程度

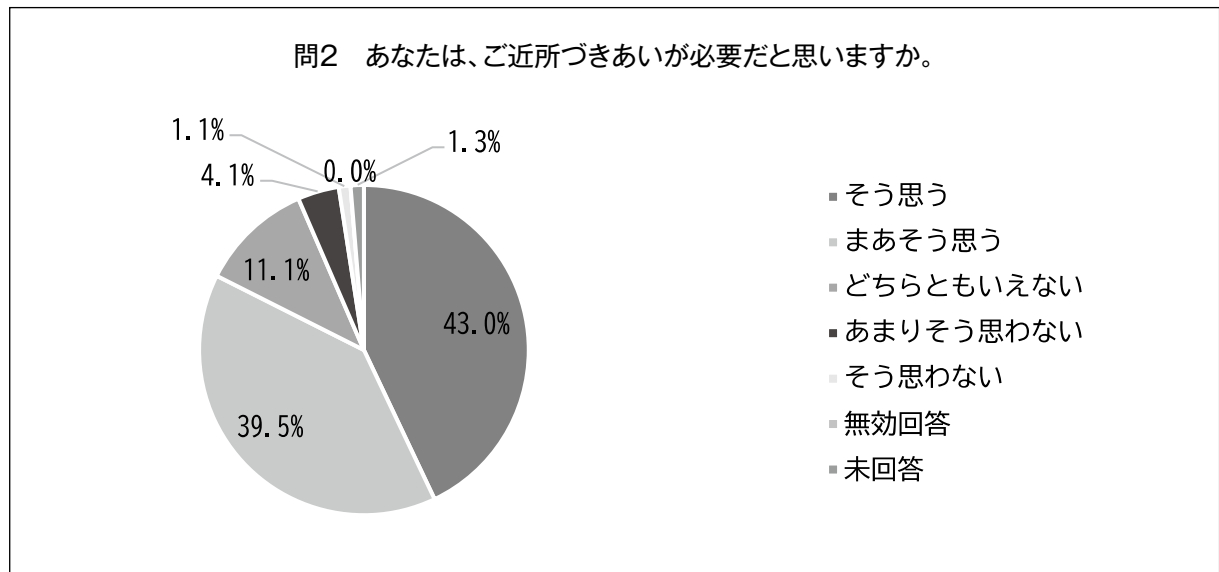


年齢3区分と近所づきあいの程度のクロス

| 年齢3区分 | 近所づきあいの程度 | 近所づきあいの程度 | | | | | | 合計 |
|-------|-----------|---------------|---------------|----------------|-------------------------|------------|------|--------|
| | | お互いに訪問し合う人がいる | 立ち話をする程度の人がある | 顔をあわせればあいさつをする | 顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない | ほとんど顔も知らない | その他 | |
| 青年層 | 度数 | 19 | 45 | 109 | 11 | 23 | 2 | 209 |
| | 年齢3区分の% | 9.1% | 21.5% | 52.2% | 5.3% | 11.0% | 1.0% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 71 | 236 | 308 | 17 | 32 | 3 | 667 |
| | 年齢3区分の% | 10.6% | 35.4% | 46.2% | 2.5% | 4.8% | 0.4% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 262 | 373 | 303 | 11 | 6 | 6 | 961 |
| | 年齢3区分の% | 27.3% | 38.8% | 31.5% | 1.1% | 0.6% | 0.6% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 352 | 654 | 720 | 39 | 61 | 11 | 1837 |
| | 年齢3区分の% | 19.2% | 35.6% | 39.2% | 2.1% | 3.3% | 0.6% | 100.0% |

- ・近所づきあいの程度についての回答では、「顔をあわせればあいさつをする」(37.7%)と「立ち話をする程度の人がある」(34.2%)が3割台、「お互いに訪問し合う人がいる」(18.9%)が約2割となり、合計で約9割を占める結果となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると「お互いに訪問し合う人がいる」の割合が低下しています(26.1%→21.4%→18.9%)。一方、「顔をあわせればあいさつをする」(34.4%→37.1%→37.3%)や、「ほとんど顔も知らない」(2.1%→3.0%→3.2%)の割合には大きな変化はありませんでした。
- ・年齢階層別にみると、「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は、青年層で9.1%、壮年層で10.6%、高齢層で27.3%と年齢層が上がるにつれて高くなっています。一方で、「顔をあわせればあいさつをする」の割合は、青年層で52.2%、壮年層で46.2%、高齢層で31.5%と年齢層が上がるにつれて低下しています。年齢層が高いほど深い近所づきあいをしていると言えます。

問2 近所づきあいの必要性

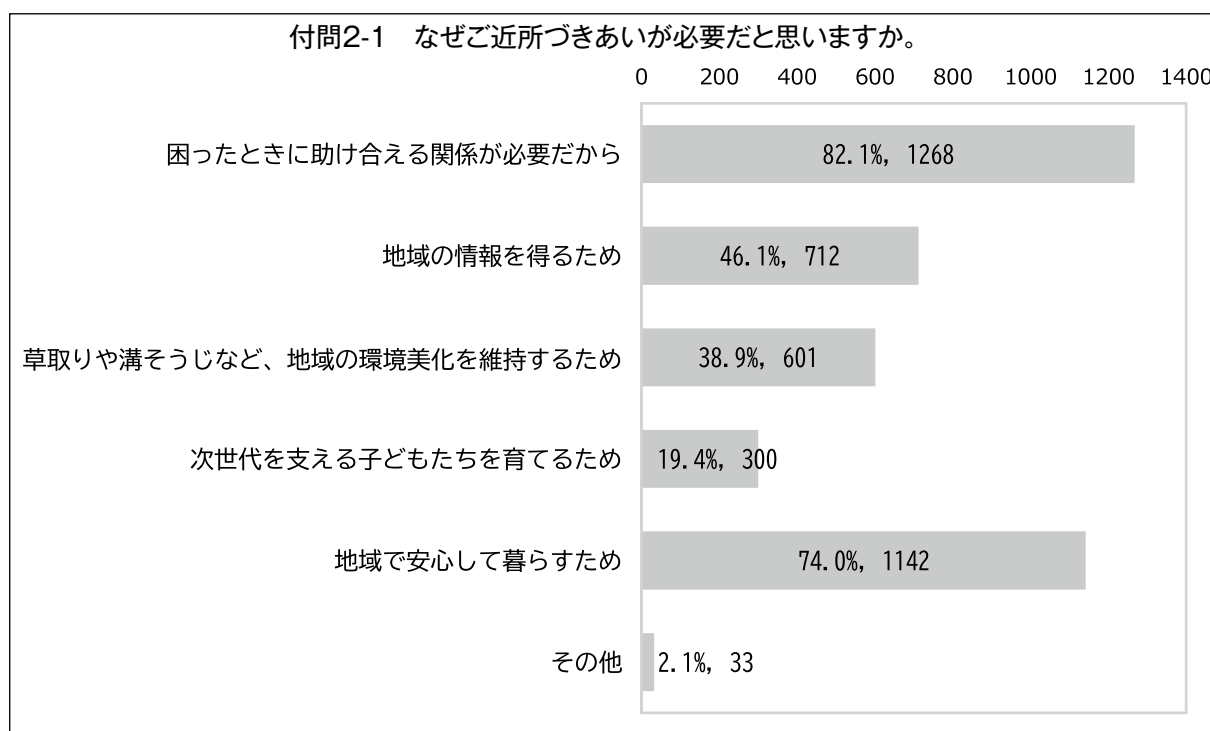


年齢3区分と近所づきあいの必要性のクロス表

| | | 近所づきあいの必要性 | | | | | 合計 | |
|-------|-----|------------|--------|-----------|-----------|--------|------|--------|
| | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 40 | 108 | 34 | 23 | 5 | 210 |
| | | 年齢3区分の% | 19.0% | 51.4% | 16.2% | 11.0% | 2.4% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 201 | 328 | 103 | 30 | 12 | 674 |
| | | 年齢3区分の% | 29.8% | 48.7% | 15.3% | 4.5% | 1.8% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 567 | 320 | 76 | 23 | 3 | 989 |
| | | 年齢3区分の% | 57.3% | 32.4% | 7.7% | 2.3% | 0.3% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 808 | 756 | 213 | 76 | 20 | 1873 |
| | | 年齢3区分の% | 43.1% | 40.4% | 11.4% | 4.1% | 1.1% | 100.0% |

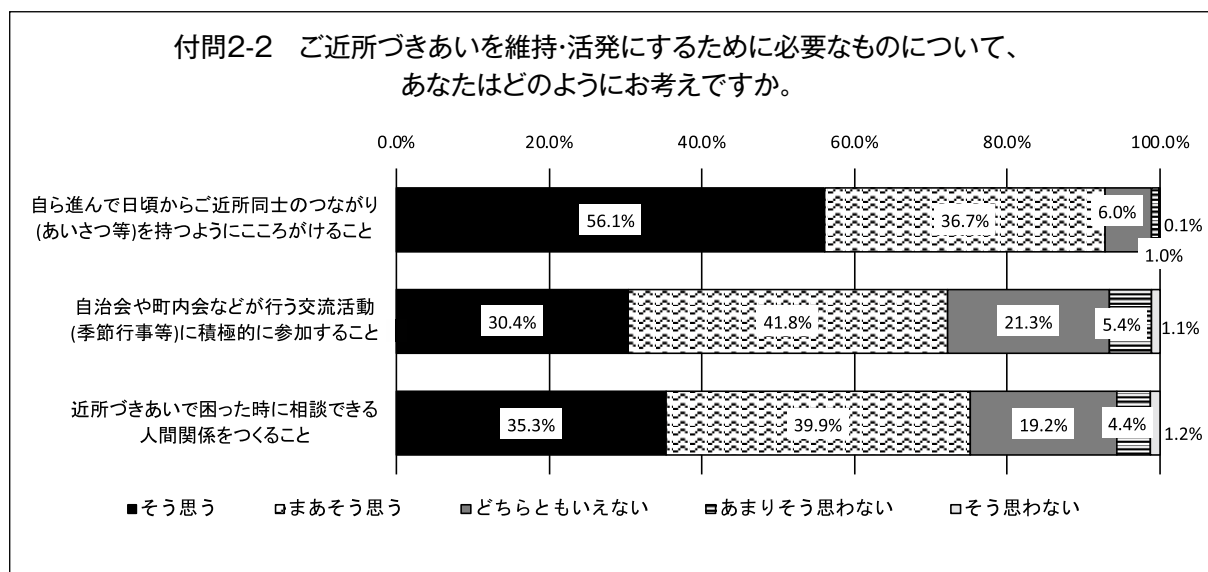
- ・近所づきあいの必要性としては、「そう思う」(43.0%)、「まあそう思う」(39.5%)がそれぞれ約4割となり、全体で8割を超える人が近所づきあいは必要と感じています。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「そう思う」の割合が低下しています(59.8%→51.0%→43.0%)。一方で、「まあそう思う」(29.5%→33.6%→39.5%)、「どちらともいえない」(7%→9.5%→11.1%)は増加傾向にあります。近所づきあいの必要性は依然として高く認識されているものの、経年比較をみると必要性の認識に変化が起きていることがわかります。
- ・年齢階層別にみると、高齢層では「そう思う」の回答割合が最多(57.3%)であるのに対し、青年層(51.4%)と壮年層(48.7%)では「まあそう思う」の割合が最多となっています。高齢層の方が、より強く近所づきあいの必要性を感じている傾向が見られます。ただし、「そう思う」「まあそう思う」の割合を合わせると、青年層(70.4%)、壮年層(78.5%)共に回答が7割を超えており、近所づきあいの必要性は全世代において認識されているといえます。

2-1. 近所づきあいが必要な理由



- ・近所づきあいが必要な理由に対しては、「困ったときに助け合える関係が必要だから」の割合が最も多く（82.1%）、次いで「地域で安心して暮らすため」の割合（74.0%）が多い結果となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「地域の情報を得るため」の割合が増加傾向にあります（39.6%→41.8%→46.1%）。一方で、「次世代を支える子どもたちを育てるため」の割合は減少傾向にあり、今回調査では2割を下回る結果となりました（24.6%→23.2%→19.4%）。

付問2-2 ご近所づきあいを維持・活発にするために必要なもの



年齢3区分自ら進んで日頃からご近所同士のつながり(あいさつ等)を持つようにこころがけることのクロス表

自ら進んで日頃からご近所同士のつながり(あいさつ等)を持つようにこころがけること

| | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 | |
|-------|-----|---------|--------|-----------|-----------|--------|------|--------|
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 83 | 55 | 7 | 1 | 0 | 146 |
| | | 年齢3区分の% | 56.8% | 37.7% | 4.8% | 0.7% | 0.0% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 271 | 215 | 26 | 5 | 1 | 518 | |
| | | 年齢3区分の% | 52.3% | 41.5% | 5.0% | 1.0% | 0.2% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 502 | 290 | 59 | 10 | 0 | 861 | |
| | | 年齢3区分の% | 58.3% | 33.7% | 6.9% | 1.2% | 0.0% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 856 | 560 | 92 | 16 | 1 | 1525 | |
| | | 年齢3区分の% | 56.1% | 36.7% | 6.0% | 1.0% | 0.1% | 100.0% |

年齢3区分と自治会や町内会などが行う交流活動(季節行事等)に積極的に参加することのクロス表

自治会や町内会などが行う交流活動(季節行事等)に積極的に参加すること

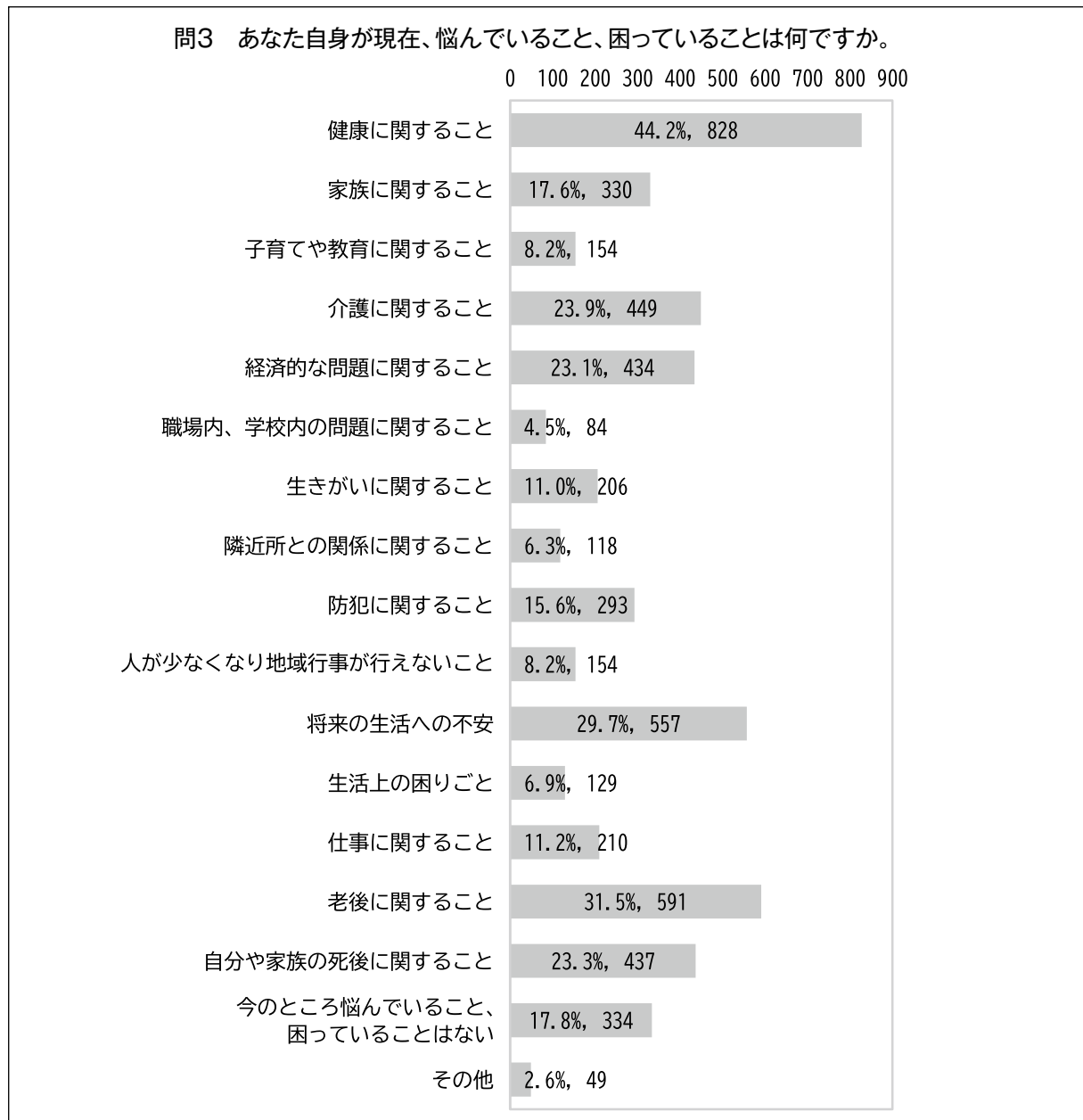
| | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 | |
|-------|-----|---------|--------|-----------|-----------|--------|------|--------|
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 26 | 57 | 48 | 10 | 4 | 145 |
| | | 年齢3区分の% | 17.9% | 39.3% | 33.1% | 6.9% | 2.8% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 129 | 231 | 125 | 26 | 7 | 518 | |
| | | 年齢3区分の% | 24.9% | 44.6% | 24.1% | 5.0% | 1.4% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 303 | 343 | 148 | 46 | 6 | 846 | |
| | | 年齢3区分の% | 35.8% | 40.5% | 17.5% | 5.4% | 0.7% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 458 | 631 | 321 | 82 | 17 | 1509 | |
| | | 年齢3区分の% | 30.4% | 41.8% | 21.3% | 5.4% | 1.1% | 100.0% |

年齢3区分と近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくることのクロス表

| | | | 近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること | | | | | |
|-------|---------|---------|-----------------------------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| | | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 35 | 71 | 32 | 6 | 2 | 146 |
| | | 年齢3区分の% | 24.0% | 48.6% | 21.9% | 4.1% | 1.4% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 147 | 231 | 109 | 25 | 6 | 518 |
| | | 年齢3区分の% | 28.4% | 44.6% | 21.0% | 4.8% | 1.2% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 351 | 301 | 149 | 36 | 10 | 847 |
| | | 年齢3区分の% | 41.4% | 35.5% | 17.6% | 4.3% | 1.2% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 533 | 603 | 290 | 67 | 18 | 1511 | |
| | 年齢3区分の% | 35.3% | 39.9% | 19.2% | 4.4% | 1.2% | 100.0% | |

- ・「近所づきあいを維持・活発にするために必要なもの」について、各設問への肯定層（「そう思う」「まあそう思う」の合計）の割合は、「自ら進んで日頃からご近所同士のつながり（あいさつ等）を持つように心がけること」が約9割（92.8%）、「自治会や町内会などが行う交流活動（季節行事等）に積極的に参加すること」（72.2%）、「近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること」（75.2%）がともに7割台となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、各設問への肯定層（「そう思う」「まあそう思う」の合計）の割合は、「自ら進んで日頃からご近所同士のつながり（あいさつ等）を持つようこころがけること」（95.9%→94.5%→92.8%）、「自治会や町内会などが行う交流活動（季節行事等）に積極的に参加すること」（79.2%→76.5%→72.2%）、「近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること」（81.6%→77.5%→75.2%）となり、大きな変化は見られませんでした。
- ・年齢階層別に、各設問への肯定層（「そう思う」「まあそう思う」の合計）の割合をみると、「自ら進んで日頃からご近所同士のつながり（あいさつ等）を持つようこころがけること」については、すべての年齢層で肯定層の回答が9割を超えました（青年層94.5%、壮年層93.8%、高齢層92.0%）。「自治会や町内会などが行う交流活動（季節行事等）に積極的に参加すること」については、青年層で5割台（57.2%）、壮年層（73.0%）と高齢層（76.3%）で7割台が肯定層となりました。「近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること」については、すべての年齢層で肯定する人が7割台でした（青年層72.6%、壮年層73%、高齢層76.9%）。

問3 現在、悩んでいること、困っていること

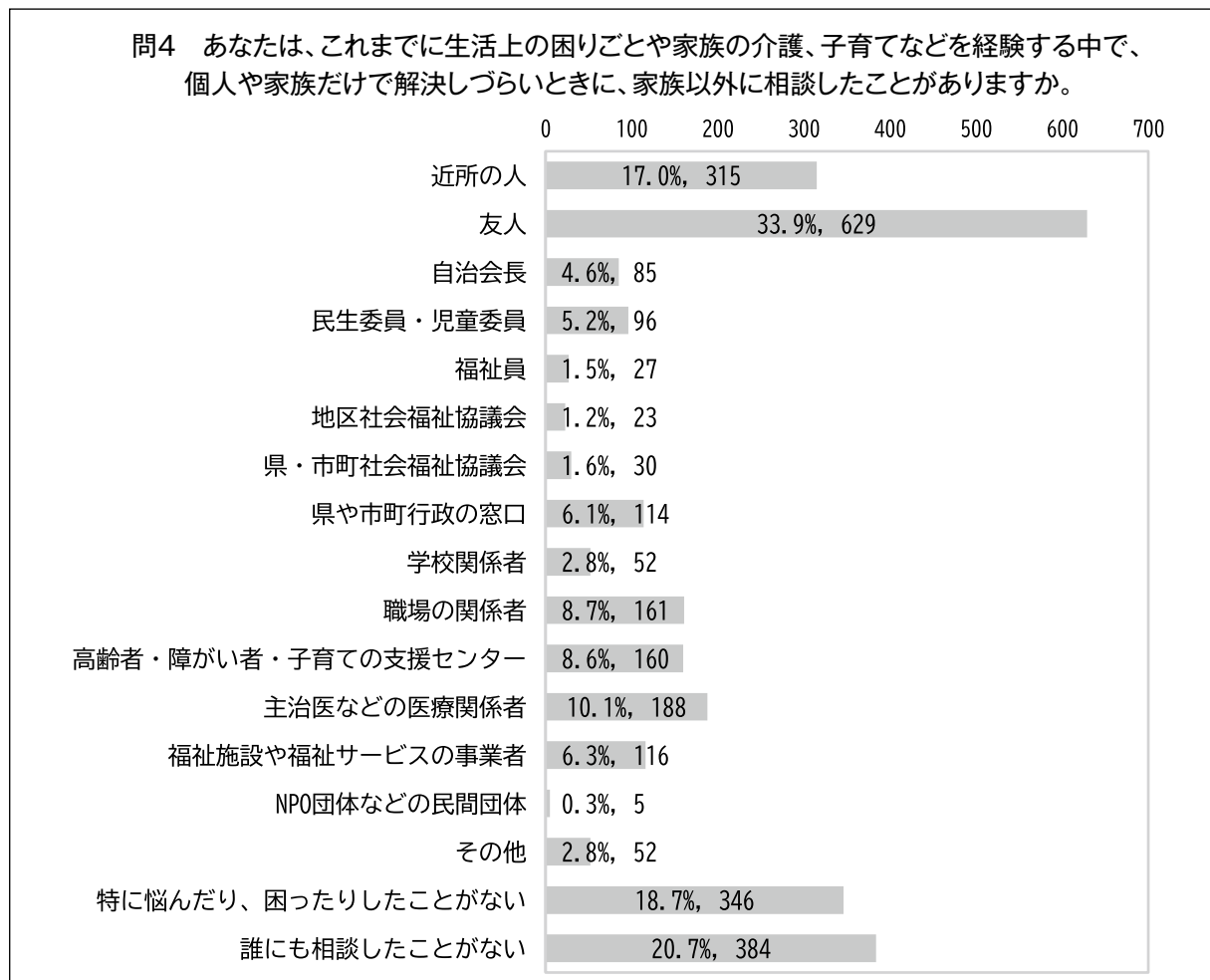


・現在悩んでいること、困っていることについては、「健康に関すること」(44.2%)が最も多く、次いで回答の多い順に「老後に関すること」(31.5%)、「将来の生活への不安」(29.7%)、「介護に関すること」(23.9%)、「自分や家族の死後に関すること」(23.3%)、「経済的な問題に関すること」(23.1%)となりました。一方、「今のところ悩んでいること、困っていることはない」という回答も17.8%を占めました。

・前回調査、前々回調査と比較すると、「防犯に関すること」の割合がやや増加しています(11.8%→13.2%→15.6%)。一方、「今のところ悩んでいること、困っていることはない」の割合は、前回調査、前々回調査では2割台でしたが、今回調査では2割を下回りました(25.0%→22.5%→17.8%)。

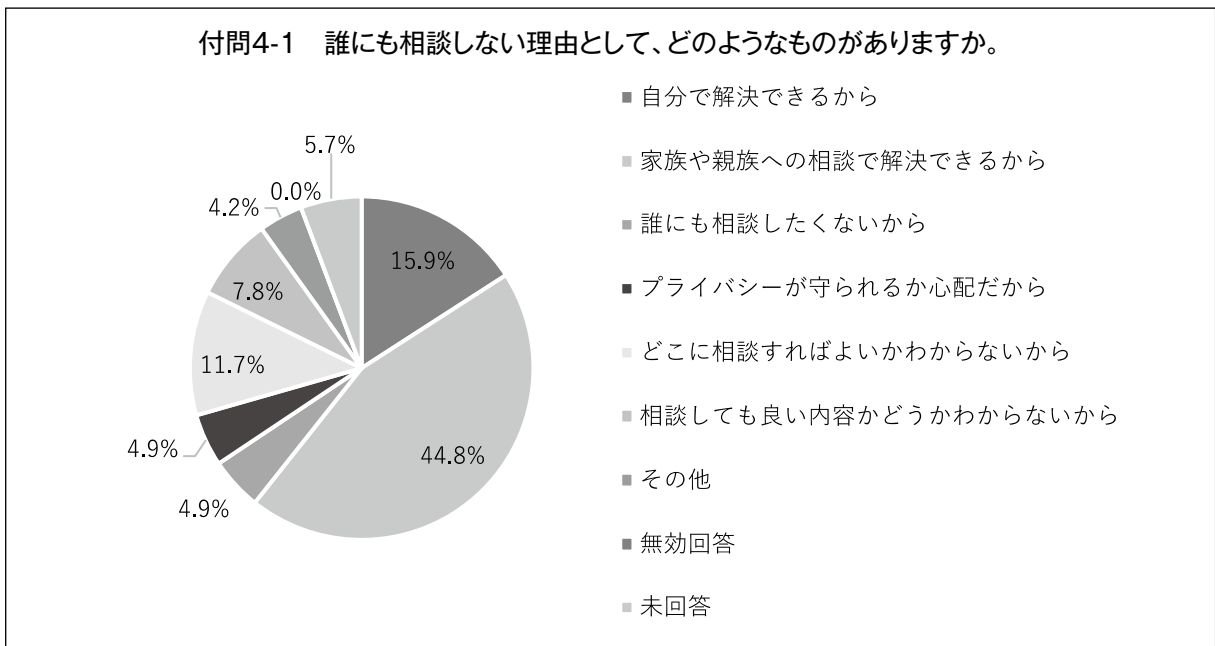
- ・問3で「現在、悩んでいること、困っていること」として回答した項目のうちの、「最も悩んでいること、困っているもの」については「健康に関すること」(15.8%)が最も多く、次いで回答の割合が多い順に「将来への不安」(8.9%)、「老後に関すること」(6.0%)となりました。
- ・前回調査と比較すると、今回調査での顕著な変化は見られませんでした。
- ・年齢階層別にみると、青年層では「子育てや教育に関すること」(19.4%)や、「将来の生活への不安」(19.4%)、「経済的な問題に関すること」(14.7%)が多く回答されていますが、壮年層では「将来の生活への不安」(16.4%)、「健康に関すること」(13.9%)、「老後に関すること」(11.0%)、高齢層では「健康に関すること」(30.7%)が多く選ばれています。年齢層によって悩んでいることや困っていることが異なることがわかります。

問4 生活上の困りごとの相談先



- ・生活上の困りごとの家族以外の相談先については、「友人」が最も多く3割強（33.9%）、次いで「近所の人」が約1割5分（17.0%）となりました。一方、「特に悩んだり、困ったりしたことがない」（18.7%）や、「誰にも相談したことがない」（20.7%）という回答もそれぞれ約2割を占める結果となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「高齢者・障がい者・子育ての支援センター」の回答がやや増加しています（3.4%→7.8%→8.6%）。一方、「特に悩んだり、困ったりしたことがない」の回答は減少しています（27.5%→23.7%→18.7%）。

付問4-1 誰にも相談しない理由

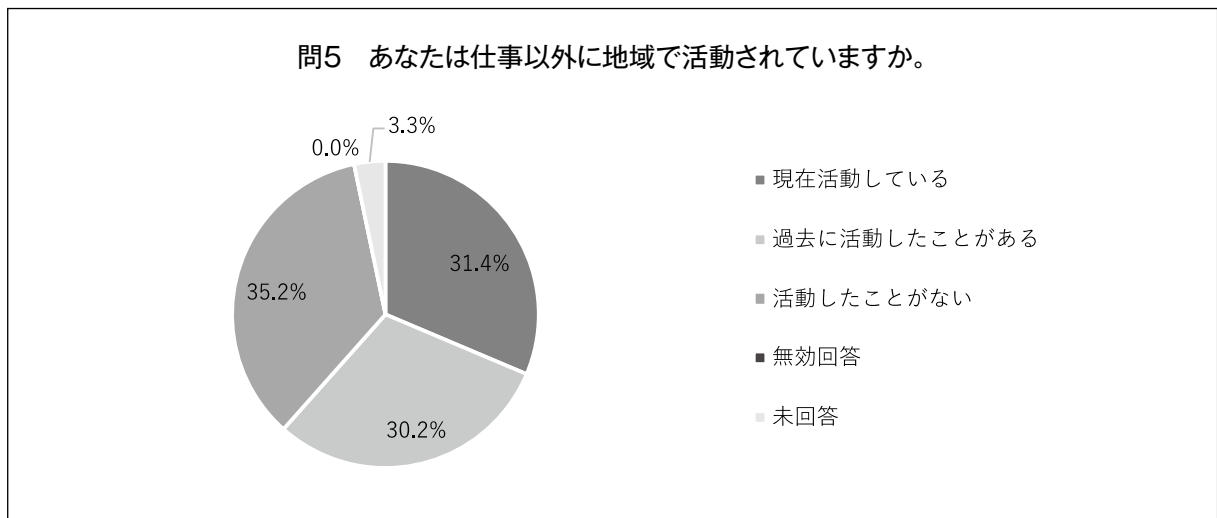


年齢3区分と誰にも相談しない理由のクロス表

| | | 誰にも相談しない理由 | | | | | | | 合計 |
|-----------|---------|------------|-------------------|--------------|-------------------|--------------------|----------------------|------|--------|
| | | 自分で解決できるから | 家族や親族への相談で解決できるから | 誰にも相談したくないから | プライバシーが守られるか心配だから | どこに相談すればよいかわからないから | 相談しても良い内容かどうかわからないから | その他 | |
| 年齢3区分 青年層 | 度数 | 3 | 20 | 3 | 1 | 11 | 4 | 2 | 44 |
| | 年齢3区分の% | 6.8% | 45.5% | 6.8% | 2.3% | 25.0% | 9.1% | 4.5% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 19 | 50 | 9 | 8 | 18 | 9 | 5 | 118 |
| | 年齢3区分の% | 16.1% | 42.4% | 7.6% | 6.8% | 15.3% | 7.6% | 4.2% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 38 | 101 | 7 | 10 | 14 | 15 | 9 | 194 |
| | 年齢3区分の% | 19.6% | 52.1% | 3.6% | 5.2% | 7.2% | 7.7% | 4.6% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 60 | 171 | 19 | 19 | 43 | 28 | 16 | 356 |
| | 年齢3区分の% | 16.9% | 48.0% | 5.3% | 5.3% | 12.1% | 7.9% | 4.5% | 100.0% |

- ・生活上の困りごとの家族以外の相談先について「誰にも相談したことがない」と回答した人の「誰にも相談しない理由」については、「家族や親族への相談で解決できるから」が4割強（44.8%）で最も多く、その後に「自分で解決できるから」（15.9%）や「どこに相談すればよいかわからないから」（11.7%）が1割台で続く結果となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「自分で解決できるから」の割合が、前回、前々回調査では約2割だったのに対し、今回調査では約1割5分と減少しました（19.9%→20.5%→15.9%）。
- ・年齢階層別にみると、すべての年齢層で最も選ばれた選択肢は「家族や親族への相談で解決できるから」であり、青年層では45.5%、壮年層では42.4%、高齢層では52.1%という結果になりました。次いで多く選ばれた選択肢は、青年層では「どこに相談すればよいかわからないから」（25.0%）、壮年層では「自分で解決できるから」（16.1%）や「どこに相談すればよいかわからないから」（15.3%）、高齢層では「自分で解決できるから」（19.6%）でした。年齢層によって、困りごとの家族以外の相談先は異なることがわかります。

問5 仕事以外の地域での活動

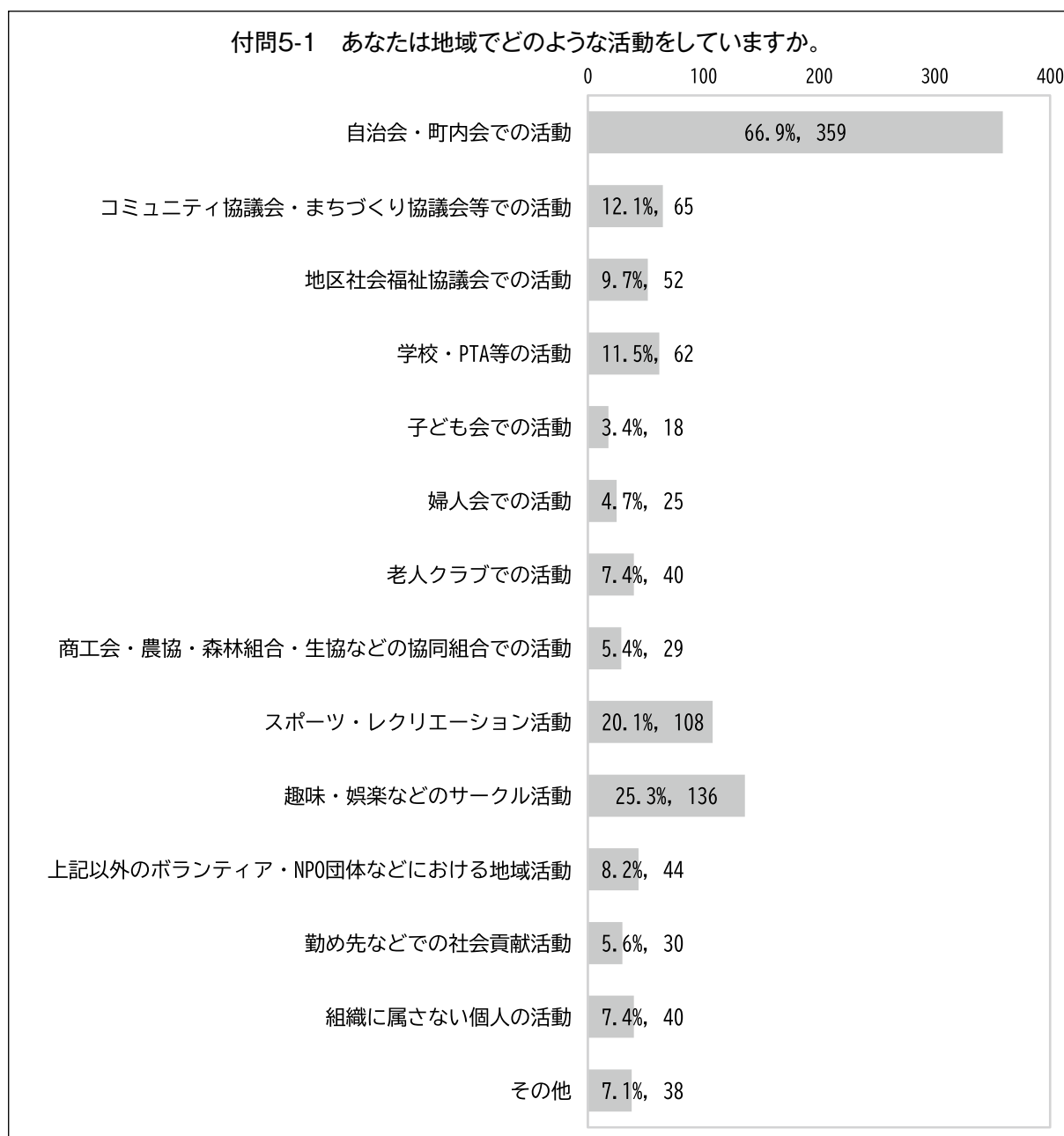


年齢3区分と仕事以外の地域での活動のクロス表

| | | | 仕事以外の地域での活動 | | | |
|-------|-----|---------|-------------|--------------|-----------|--------|
| | | | 現在活動している | 過去に活動したことがある | 活動したことがない | 合計 |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 35 | 226 | 335 | 596 |
| | | 年齢3区分の% | 16.7% | 33.6% | 35.0% | 32.4% |
| 壮年層 | 度数 | 40 | 183 | 350 | 573 | |
| | | 年齢3区分の% | 19.1% | 27.2% | 36.6% | 31.2% |
| 高齢層 | 度数 | 134 | 264 | 272 | 670 | |
| | | 年齢3区分の% | 64.1% | 39.2% | 28.4% | 36.4% |
| 合計 | 度数 | 209 | 673 | 957 | 1839 | |
| | | 年齢3区分の% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

- ・ 仕事以外の地域での活動についての回答では、「現在活動している」(31.4%)と「過去に活動したことがある」(30.2%)が約3割となり、合計で約6割(61.6%)の人が仕事以外の地域の活動を経験していることがわかります。一方、「活動したことがない」と回答した人は35.2%という結果となりました。
- ・ 前回調査、前々回調査と比較したところ、今回調査では顕著な変化はありませんでした。
- ・ 年齢階層別にみると、「現在活動している」人の割合は、青年層で16.7%、壮年層で19.1%、高齢層で64.1%と年齢が上がるにつれて高くなっています。全体的に高い年齢層ほど活発に仕事以外の地域での活動に取り組んでいることがわかります。

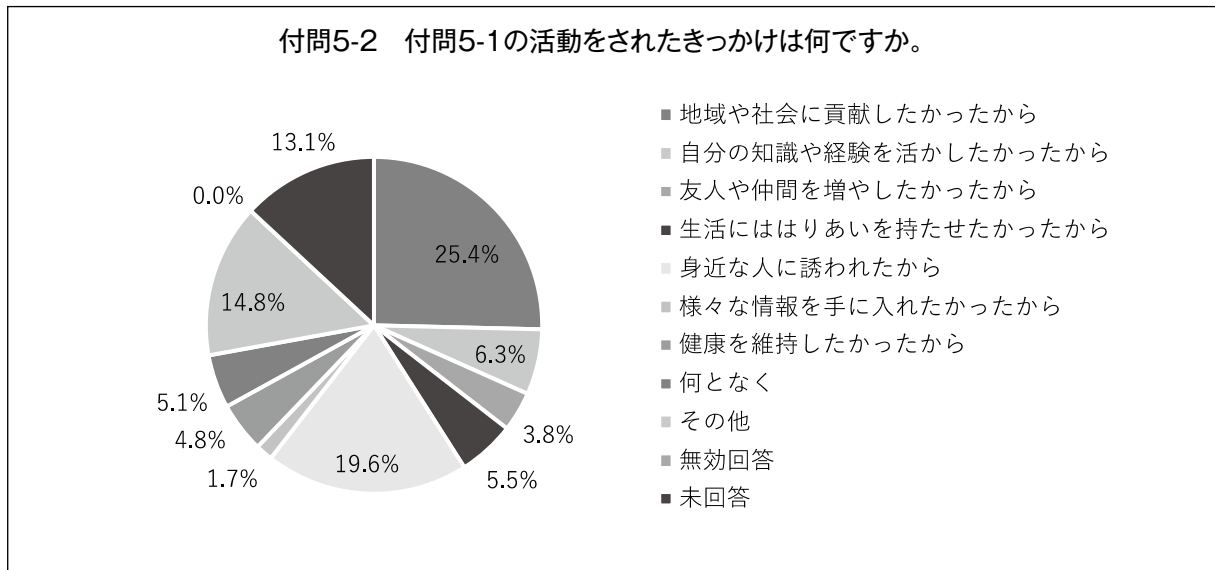
付問5-1 地域での活動内容



・地域での活動を「現在している」と回答した人に、活動内容についてたずねたところ、「自治会・町内会での活動」が最も多く6割5分強（66.9%）となり、「趣味・娯楽などのサークル活動」（25.3%）が約2割5分、「スポーツ・レクリエーション活動」（20.1%）が約2割となりました。

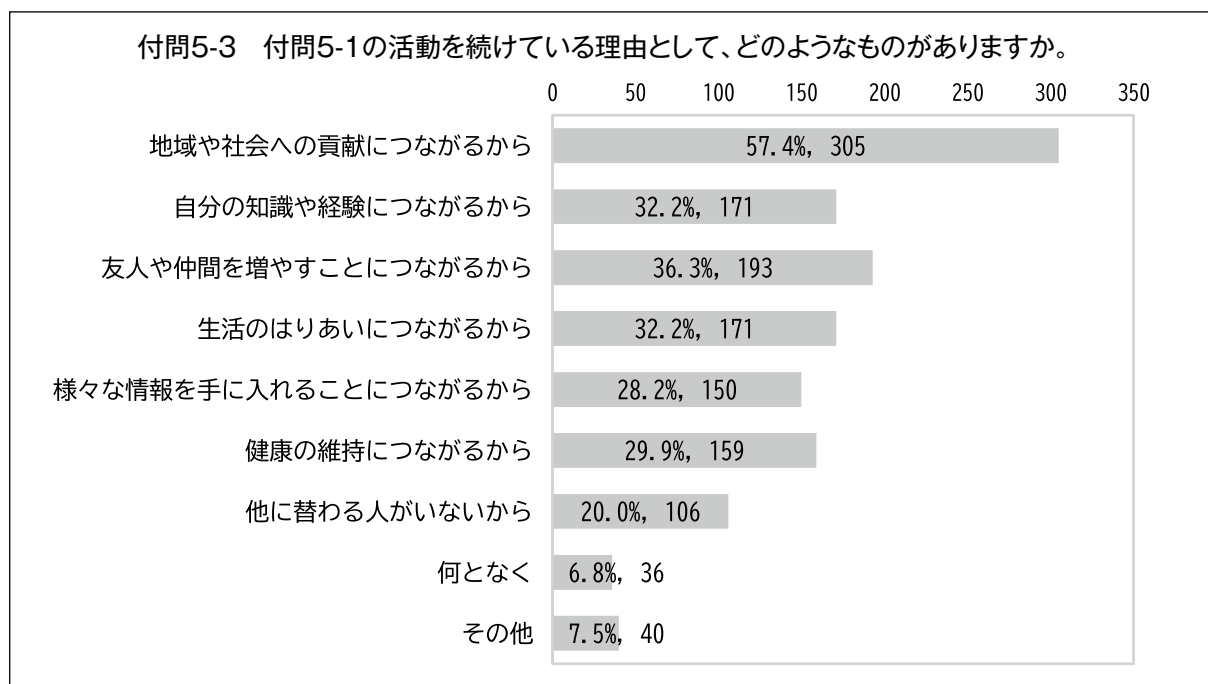
・前回調査、前々回調査と比較して、「自治会・町内会での活動」、「趣味・娯楽などのサークル活動」、「スポーツ・レクリエーション活動」の3項目の回答が多いという傾向に変化はありませんでした。

付問5-2 地域での活動をしたきっかけ



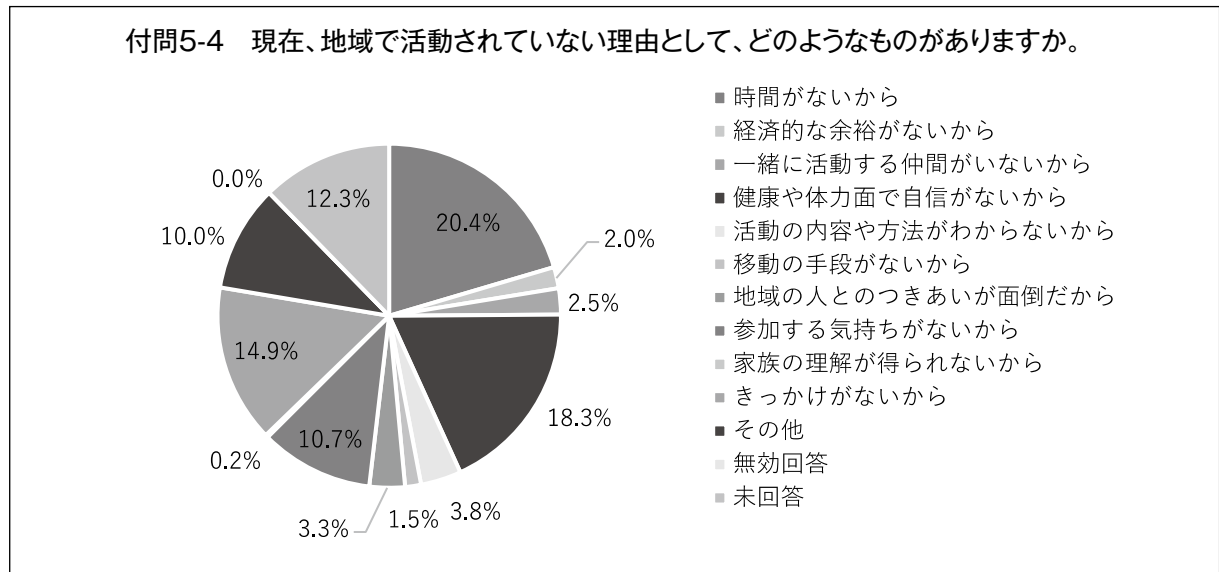
- ・地域での活動を「現在している」と回答した人に、活動のきっかけをたずねたところ、「地域や社会に貢献したかったから」が最も多く2割5分（25.4%）となり、次いで「身近な人に誘われたから」が約2割（19.6%）となりました。

付問5－3 地域での活動を継続する理由



- ・地域での活動を「現在している」と回答した人に、活動を続けている理由を複数回答でたずねたところ、「地域や社会への貢献につながるから」の回答が最も多く半数を超える割合（57.4%）となりました。以下、回答が多い順に「友人や仲間を増やすことにつながるから」（36.3%）、「自分の知識や経験につながるから」（32.2%）、「生活のほりあいにつながるから」（32.2%）、「健康の維持につながるから」（29.9%）、「様々な情報を手に入れることにつながるから」（28.2%）となりました。

付問5-4 地域での活動をしない理由

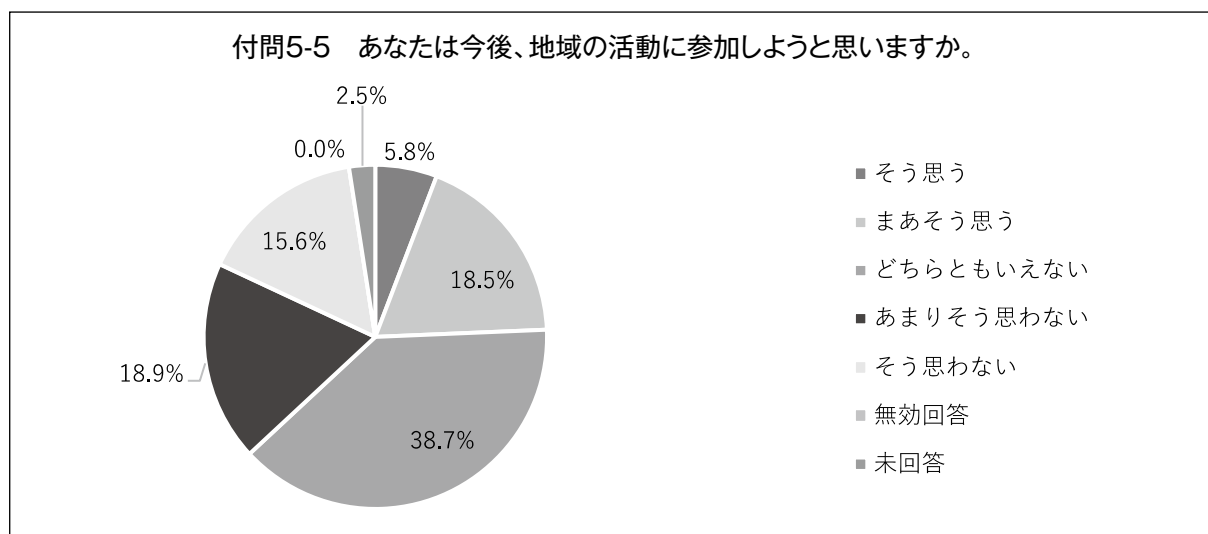


年齢3区分と地域での活動をしない理由のクロス表

| | | 地域での活動をしない理由 | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-------|--------|--------------|-------------|----------------|----------------|------------------|------------|------------------|--------------|---------------|-----------|-------|-------|--------|
| | | 時間がないから | 経済的な余裕がないから | 一緒に活動する仲間がないから | 健康や体力面で自信がないから | 活動の内容や方法がわからないから | 移動の手段がないから | 地域の人とのつきあいが面倒だから | 参加する気持ちがないから | 家族の理解が得られないから | きっかけがないから | その他 | | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 68 | 7 | 4 | 2 | 10 | 1 | 4 | 20 | 0 | 29 | 8 | 153 |
| | 年齢層別の% | | 44.4% | 4.6% | 2.6% | 1.3% | 6.5% | 0.7% | 2.6% | 13.1% | 0.0% | 19.0% | 5.2% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 136 | 9 | 7 | 26 | 16 | 2 | 21 | 58 | 0 | 79 | 44 | 398 |
| | 年齢層別の% | | 34.2% | 2.3% | 1.8% | 6.5% | 4.0% | 0.5% | 5.3% | 14.6% | 0.0% | 19.8% | 11.1% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 51 | 9 | 19 | 198 | 22 | 15 | 15 | 56 | 3 | 79 | 72 | 539 |
| | 年齢層別の% | | 9.5% | 1.7% | 3.5% | 36.7% | 4.1% | 2.8% | 2.8% | 10.4% | 0.6% | 14.7% | 13.4% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 255 | 25 | 30 | 226 | 48 | 18 | 40 | 134 | 3 | 187 | 124 | 1090 | |
| | 年齢層別の% | | 23.4% | 2.3% | 2.8% | 20.7% | 4.4% | 1.7% | 3.7% | 12.3% | 0.3% | 17.2% | 11.4% | 100.0% |

- ・地域での活動を現在していない人（「過去に活動に参加したことがある」と「活動したことがない」の合計）に、活動していない理由をたずねたところ、「時間がないから」（20.4%）が最も多く、次いで回答の多い順に「健康や体力面で自信がないから」（18.3%）、「きっかけがないから」（14.9%）、「参加する気持ちがないから」（10.7%）となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「時間がないから」、「健康や体力面で自信がないから」が多い傾向に変化はありませんでした。
- ・年齢階層別にみると、「時間がないから」が、青年層（44.4%）と壮年層（34.2%）で最も多く、高齢層では「健康や体力面に自信がないから」（36.7%）が最も多くなっています。

付問5-5 地域での活動への参加意欲

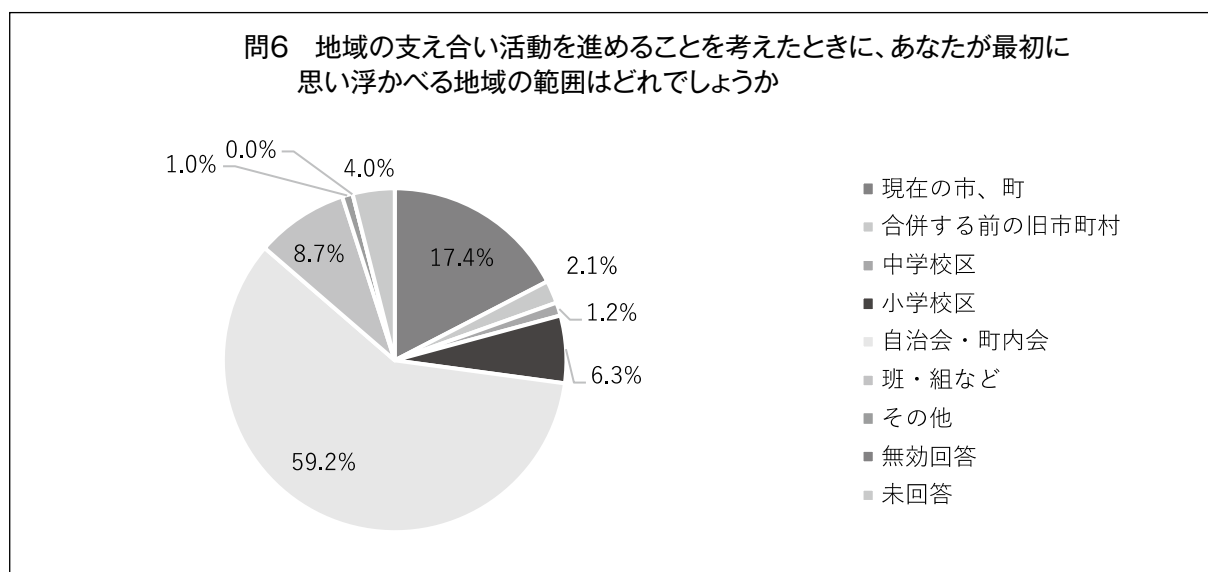


年齢3区分と今後地域の活動に参加しようと思うかのクロス表

| 年齢3区分 | | 今後地域の活動に参加しようと思うか | | | | | 合計 |
|-------|--------|-------------------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | |
| 青年層 | 度数 | 6 | 37 | 67 | 33 | 31 | 174 |
| | 年齢層別の% | 3.4% | 21.3% | 38.5% | 19.0% | 17.8% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 17 | 101 | 197 | 78 | 46 | 439 |
| | 年齢層別の% | 3.9% | 23.0% | 44.9% | 17.8% | 10.5% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 50 | 93 | 219 | 124 | 115 | 601 |
| | 年齢層別の% | 8.3% | 15.5% | 36.4% | 20.6% | 19.1% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 73 | 231 | 483 | 235 | 192 | 1214 |
| | 年齢層別の% | 6.0% | 19.0% | 39.8% | 19.4% | 15.8% | 100.0% |

- ・地域での活動を現在していない人に、今後の活動の意向をたずねたところ、肯定層（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）の割合は約2割5分（24.3%）でした。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、肯定層の割合はやや低下しており（38.1%→29.0%→24.3%）、現在活動していない人に限定すると、地域活動への参加意欲が低下していることがうかがえます。
- ・年齢階層別にみると、肯定層（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）の割合は壮年層が最も高く（26.9%）、青年層（24.7%）、高齢層（23.8%）の順に低くなっています。ただし、強い肯定を示す「そう思う」の回答割合は、青年層（3.4%）と壮年層（3.9%）では比較的低く、高齢層（8.3%）で比較的高くなっています。
- ・年齢階層別の回答について前回調査、前々回調査と比較すると、肯定層（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）の割合は、青年層（45.1%→29.0%→24.7%）、壮年層（36.2%→34.0%→26.9%）、高齢層（37.5%→26.4%→23.8%）となり、すべての年齢層で低下しています。

問6 地域の支え合い活動の際の「地域の範囲」

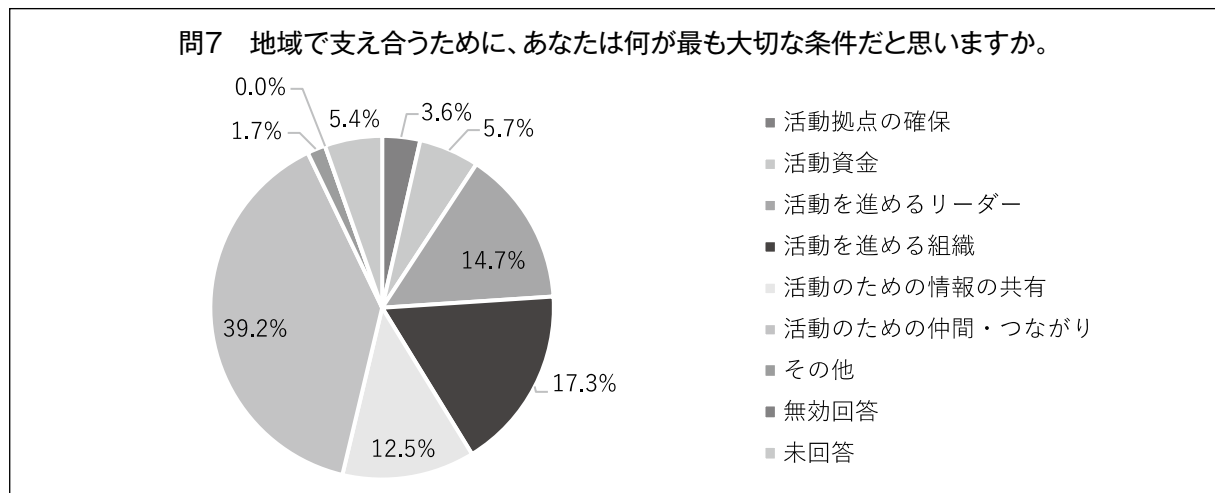


年齢3区分と最初に思い浮かべる地域の範囲のクロス表

| 年齢3区分 | 年齢層 | 度数 | 最初に思い浮かべる地域の範囲 | | | | | | 合計 |
|-------|---------|-------|----------------|------------|-------|-------|---------|-------|--------|
| | | | 現在の市、町 | 合併する前の旧市町村 | 中学校区 | 小学校区 | 自治会・町内会 | 班・組など | |
| 青年層 | 度数 | 52 | 1 | 3 | 23 | 109 | 15 | 2 | 205 |
| | 年齢3区分の% | 25.4% | 0.5% | 1.5% | 11.2% | 53.2% | 7.3% | 1.0% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 137 | 13 | 15 | 57 | 393 | 38 | 6 | 659 |
| | 年齢3区分の% | 20.8% | 2.0% | 2.3% | 8.6% | 59.6% | 5.8% | 0.9% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 143 | 27 | 6 | 41 | 621 | 112 | 11 | 961 |
| | 年齢3区分の% | 14.9% | 2.8% | 0.6% | 4.3% | 64.6% | 11.7% | 1.1% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 332 | 41 | 24 | 121 | 1123 | 165 | 19 | 1825 |
| | 年齢3区分の% | 18.2% | 2.2% | 1.3% | 6.6% | 61.5% | 9.0% | 1.0% | 100.0% |

- ・地域の支え合い活動を進めることを考えたときに、最初に思い浮かべる地域の範囲についての回答をみると、「自治会・町内会」が半数を超える割合（59.2%）となりました。以下、回答の多い順に「現在の市、町」（17.4%）、「班・組など」（8.7%）、「小学校区」（6.3%）となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「自治会・町内会」の割合が半数を超え最も多い回答となった点については同様の結果となりました。また、「班・組」（15.4%→8.6%→8.7%）の回答をみると、一貫していないもののやや低下傾向にあり、一方、「現在の市、町」（12.6%→16.1%→17.4%）はやや増加していることから、より広い範囲を「地域の範囲」と想定するように変化してきている可能性があります。また、「小学校区」（4.4%→8.2%→6.3%）は、大きな変化は認められませんでした。
- ・年齢階層別にみると、どの年齢層でも「自治会・町内会」がもっとも大きな支持を集めており、次いで「現在の市、町」が続いています。

問7 地域で支え合うための条件



年齢3区分と地域で支え合うために最も大切な条件のクロス表

| | | 地域で支え合うために最も大切な条件 | | | | | | | 合計 | |
|-------|-----|-------------------|------|------------|----------|-------------|---------------|-------|------|--------|
| | | 活動拠点の確保 | 活動資金 | 活動を進めるリーダー | 活動を進める組織 | 活動のための情報の共有 | 活動のための仲間・つながり | その他 | | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 6 | 28 | 21 | 38 | 39 | 70 | 3 | 205 |
| | | 年齢3区分の% | 2.9% | 13.7% | 10.2% | 18.5% | 19.0% | 34.1% | 1.5% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 25 | 44 | 95 | 130 | 93 | 244 | 14 | 645 |
| | | 年齢3区分の% | 3.9% | 6.8% | 14.7% | 20.2% | 14.4% | 37.8% | 2.2% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 37 | 36 | 160 | 162 | 103 | 432 | 16 | 946 |
| | | 年齢3区分の% | 3.9% | 3.8% | 16.9% | 17.1% | 10.9% | 45.7% | 1.7% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 68 | 108 | 276 | 330 | 235 | 746 | 33 | 1796 |
| | | 年齢3区分の% | 3.8% | 6.0% | 15.4% | 18.4% | 13.1% | 41.5% | 1.8% | 100.0% |

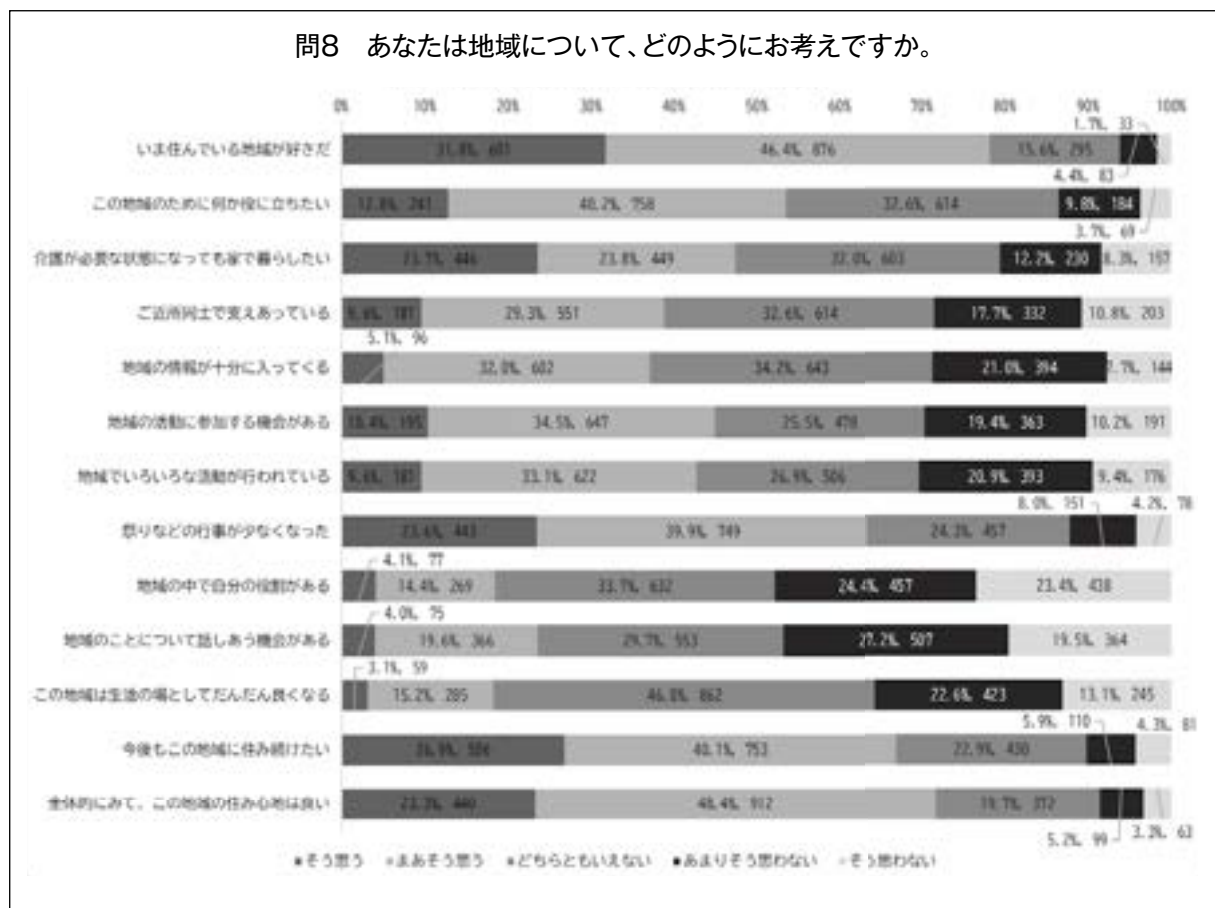
地域福祉活動の経験の有無と地域で支え合うために最も大切な条件のクロス表

| | | 地域で支え合うために最も大切な条件 | | | | | | | 合計 | |
|-----------|----|-------------------|------|------------|----------|-------------|---------------|-------|------|--------|
| | | 活動拠点の確保 | 活動資金 | 活動を進めるリーダー | 活動を進める組織 | 活動のための情報の共有 | 活動のための仲間・つながり | その他 | | |
| 地域福祉活動の経験 | ある | 度数 | 17 | 20 | 92 | 92 | 51 | 232 | 11 | 515 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 3.3% | 3.9% | 17.9% | 17.9% | 9.9% | 45.0% | 2.1% | 100.0% |
| | ない | 度数 | 50 | 89 | 189 | 236 | 188 | 515 | 22 | 1289 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 3.9% | 6.9% | 14.7% | 18.3% | 14.6% | 40.0% | 1.7% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 67 | 109 | 281 | 328 | 239 | 747 | 33 | 1804 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 3.7% | 6.0% | 15.6% | 18.2% | 13.2% | 41.4% | 1.8% | 100.0% |

- ・地域で支え合うための最も大切な条件についての回答をみると、「活動のための仲間・つながり」が約4割（39.2%）で最も高い割合となりました。次いで、回答が多い順に「活動を進める組織」（17.3%）、「活動を進めるリーダー」（14.7%）、「活動のための情報の共有」（12.5%）となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「活動のための仲間・つながり」、「活動を進める組織」、「活動を進めるリーダー」、「活動のための情報の共有」の4項目の回答が多いという傾向に変化はありませんでした。

- ・年齢階層別にみると、年齢層が高いほど「活動を進めるリーダー」、「活動のための仲間・つながり」の回答割合が高い傾向にあります。一方、「活動のための情報の共有」は年齢層が低いほど回答割合が高い傾向にあります。
- ・地域福祉活動の経験の有無別に回答をみると、地域福祉活動経験がある層の方が「活動のための仲間・つながり」の回答割合が高くなりました。また、地域福祉活動の経験がない層の方が「活動のための情報の共有」の回答割合が高くなりました。
- ・地域福祉活動の経験の有無別での回答を、前回調査と比較すると、地域福祉活動の経験がある層で回答割合が高かった項目は、前回調査では「活動を進めるリーダー」(21.6% / 「活動経験なし」との差:5.9%) でしたが、今回調査では「活動のための仲間・つながり」(45.0% / 同5.0%) に変化しました。また、地域福祉活動の経験がない層で「活動のための情報の共有」の回答割合が高い傾向に変化はありませんでした。

問8 地域意識



年齢3区分とこの地域は生活の場としてだんだん良くなると思うのクロス表

この地域は生活の場としてだんだん良くなると思う

| | | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 |
|-------|-----|--------|------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 12 | 54 | 95 | 32 | 15 | 208 |
| | | 年齢層別の% | 5.8% | 26.0% | 45.7% | 15.4% | 7.2% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 18 | 88 | 316 | 154 | 99 | 675 |
| | | 年齢層別の% | 2.7% | 13.0% | 46.8% | 22.8% | 14.7% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 27 | 139 | 441 | 234 | 128 | 969 |
| | | 年齢層別の% | 2.8% | 14.3% | 45.5% | 24.1% | 13.2% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 57 | 281 | 852 | 420 | 242 | 1852 |
| | | 年齢層別の% | 3.1% | 15.2% | 46.0% | 22.7% | 13.1% | 100.0% |

年齢3区分と全体的にみて、この地域の住み心地が良いと思うのクロス表

全体的にみて、この地域の住み心地が良いと思う

| | | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 |
|-------|-----|--------|-------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 56 | 104 | 36 | 6 | 6 | 208 |
| | | 年齢層別の% | 26.9% | 50.0% | 17.3% | 2.9% | 2.9% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 139 | 356 | 120 | 33 | 28 | 676 |
| | | 年齢層別の% | 20.6% | 52.7% | 17.8% | 4.9% | 4.1% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 239 | 444 | 208 | 60 | 29 | 980 |
| | | 年齢層別の% | 24.4% | 45.3% | 21.2% | 6.1% | 3.0% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 434 | 904 | 364 | 99 | 63 | 1864 |
| | | 年齢層別の% | 23.3% | 48.5% | 19.5% | 5.3% | 3.4% | 100.0% |

年齢3区分と介護が必要な状態になっても家で暮らしたいと思うのクロス表

介護が必要な状態になっても家で暮らしたいと思う

| | | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 |
|-------|-----|--------|-------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 28 | 57 | 68 | 35 | 21 | 209 |
| | | 年齢層別の% | 13.4% | 27.3% | 32.5% | 16.7% | 10.0% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 112 | 153 | 247 | 93 | 71 | 676 |
| | | 年齢層別の% | 16.6% | 22.6% | 36.5% | 13.8% | 10.5% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 298 | 235 | 282 | 99 | 64 | 978 |
| | | 年齢層別の% | 30.5% | 24.0% | 28.8% | 10.1% | 6.5% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 438 | 445 | 597 | 227 | 156 | 1863 |
| | | 年齢層別の% | 23.5% | 23.9% | 32.0% | 12.2% | 8.4% | 100.0% |

年齢3区分とご近所同士で支え合っていると思うのクロス表

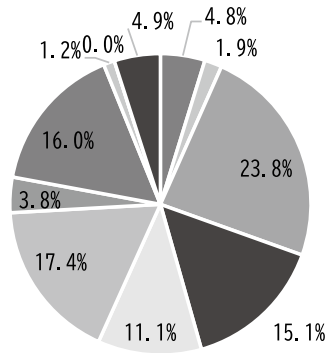
ご近所同士で支え合っていると思う

| | | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 合計 |
|-------|-----|--------|-------|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 8 | 51 | 67 | 50 | 33 | 209 |
| | | 年齢層別の% | 3.8% | 24.4% | 32.1% | 23.9% | 15.8% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 35 | 177 | 251 | 130 | 83 | 676 |
| | | 年齢層別の% | 5.2% | 26.2% | 37.1% | 19.2% | 12.3% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 134 | 314 | 292 | 150 | 84 | 974 |
| | | 年齢層別の% | 13.8% | 32.2% | 30.0% | 15.4% | 8.6% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 177 | 542 | 610 | 330 | 200 | 1859 |
| | | 年齢層別の% | 9.5% | 29.2% | 32.8% | 17.8% | 10.8% | 100.0% |

- ・地域についてどのように考えているかの各回答について、肯定層（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）の割合をみると、「いま住んでいる地域が好きだ」が8割弱（78.2%）、「全体的にみて、この地域の住み心地は良い」が約7割（71.7%）、「今後もこの地域に住み続けたい」が約6割5分（67.0%）となり、多くの人が地域に愛着を持ち、住み続けたいと思っ
- ・一方、肯定層の割合が低い項目をみると「この地域は生活の場としてだんだん良くなる」（18.3%）、「地域の中で自分の役割がある」（18.5%）、「地域のことについて話し合う機会がある」（23.6%）となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、肯定層の回答割合の上位3項目（「いま住んでいる地域が好きだ」、「全体的にみて、この地域の住み心地は良い」、「今後もこの地域に住み続けたい」）と下位3項目（「この地域は生活の場としてだんだん良くなる」、「地域の中で自分の役割がある」、「地域のことについて話し合う機会がある」）に上がった項目には変化はありませんでした。
- ・年齢階層別にみると、「この地域のために何か役に立ちたいと思う」、「介護が必要な状態になっても家で暮らしたいと思う」、「ご近所同士で支えあっていると思う」、「地域の活動に参加する機会があると思う」、「地域でいろいろな活動が行われていると思う」、「祭りなどの行事が少なくなったと思う」、「地域の中で自分の役割があると思う」、「地域のことについて話し合う機会があると思う」、「今後もこの地域に住み続けたいと思う」で年齢層が高いほど「そう思う」の回答割合が高くなる傾向にありました。特に、「介護が必要になっても家で暮らしたいと思う」、「ご近所同士で支えあっていると思う」の項目でその傾向が顕著にみられます。一方、「この地域は生活の場としてだんだん良くなると思う」、「全体的にみて、この地域の住み心地は良いと思う」の項目では、高齢層よりも青年層の方が「そう思う」の回答割合が高くなっています。
- ・年齢階層別の回答を、前回調査と比較すると、年齢層が高いほど「そう思う」の回答割合が顕著に高くなる特徴的な項目は、「介護が必要になっても家で暮らしたいと思う」（前回：青年層12.8%、壮年層17.4%、高齢層34.7%、今回：青年層13.4%、壮年層16.6%、高齢層30.5%）、「ご近所で支えあっていると思う」（前回：青年層4.3%、壮年層6.7%、高齢層17.6%、今回：青年層3.8%、壮年層5.2%、高齢層13.8%）であることに変化はありませんでした。

問9 誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）の条件

問9 あなたが考える「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）」とは、どのような地域（まち）だと思いますか。



- 地域活動にいろいろな人が参加しやすい地域
- 趣味活動・スポーツなどに取り組みやすい地域
- 福祉サービスが充実している地域
- 防災・安全対策が充実している地域
- 次世代を育む環境が充実している地域
- ご近所同士で日頃から助け合えることができる地域
- 地域社会の一員であることを実感できる地域
- 暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域
- その他
- 無効回答
- 未回答

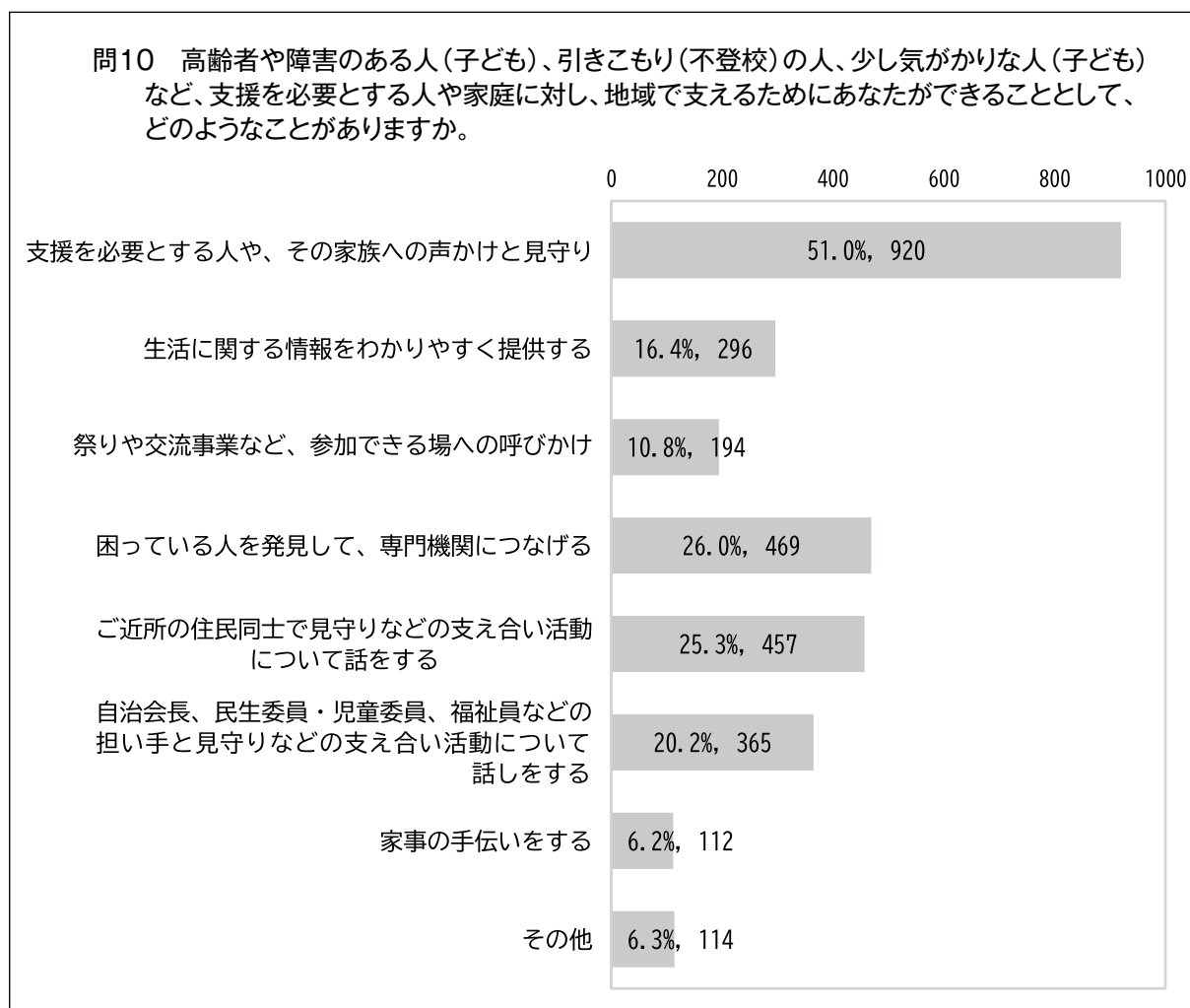
年齢3区分と「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）」とは、どのような地域（まち）かのクロス表

「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）」とは、どのような地域（まち）か

| | | 地域活動にいろいろな人が参加しやすい地域（まち） | 趣味活動・スポーツなどに取り組みやすい地域（まち） | 福祉サービスが充実している地域（まち） | 防災・安全対策が充実している地域（まち） | 次世代を育む環境が充実している地域（まち） |
|-----------|--------|-----------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------|-----------------------|
| 年齢3区分 青年層 | 度数 | 10 | 4 | 35 | 35 | 47 |
| | 年齢層別の% | 4.9% | 2.0% | 17.1% | 17.1% | 22.9% |
| 壮年層 | 度数 | 38 | 11 | 155 | 111 | 89 |
| | 年齢層別の% | 5.8% | 1.7% | 23.5% | 16.8% | 13.5% |
| 高齢層 | 度数 | 44 | 19 | 264 | 142 | 77 |
| | 年齢層別の% | 4.7% | 2.0% | 28.0% | 15.1% | 8.2% |
| 合計 | 度数 | 92 | 34 | 454 | 288 | 213 |
| | 年齢層別の% | 5.1% | 1.9% | 25.1% | 15.9% | 11.8% |
| | | ご近所同士で日頃から助け合えることができる地域（まち） | 地域社会の一員であることを実感できる地域（まち） | 暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域（まち） | その他 | 合計 |
| 年齢3区分 青年層 | 度数 | 16 | 4 | 54 | 0 | 205 |
| | 年齢層別の% | 7.8% | 2.0% | 26.3% | 0.0% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 78 | 22 | 144 | 11 | 659 |
| | 年齢層別の% | 11.8% | 3.3% | 21.9% | 1.7% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 235 | 46 | 104 | 12 | 943 |
| | 年齢層別の% | 24.9% | 4.9% | 11.0% | 1.3% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 329 | 72 | 302 | 23 | 1807 |
| | 年齢層別の% | 18.2% | 4.0% | 16.7% | 1.3% | 100.0% |

- ・「誰もが 安心して 心豊かに 暮らしを続けることができる地域（まち）」の条件に対する回答をみると、回答割合が高い順に「福祉サービスが充実している地域（まち）」(23.8%)、「ご近所同士で日頃から助け合うことのできる地域（まち）」(17.4%)、「暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域（まち）」(16.0%)、「防災・安全対策が充実している地域（まち）」(15.1%)、「次世代を育む環境が充実している地域（まち）」(11.1%)となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「福祉サービスが充実している地域（まち）」、「ご近所同士で日頃から助け合うことのできる地域（まち）」、「暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域（まち）」、「防災・安全対策が充実している地域（まち）」、「次世代を育む環境が充実している地域（まち）」の5項目の回答が多いという傾向は変わりませんでした。
- ・年齢階層別にみると、「ご近所同士で日頃から助け合うことのできる地域（まち）」は高齢層で高く（24.9%）、壮年層（11.8%）や青年層（7.8%）では低くなっています。「福祉サービスが充実している地域（まち）」も高齢層（28.0%）や壮年層（23.5%）で高く、青年層では低くなっています（17.1%）。一方、「次世代を育む環境が充実している地域（まち）」（青年層22.9%、壮年層13.5%、高齢層8.2%）や「暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域（まち）」（青年層26.3%、壮年層21.9%、高齢層11.0%）では、青年層において高く、壮年層、高齢層の順に低くなっています。

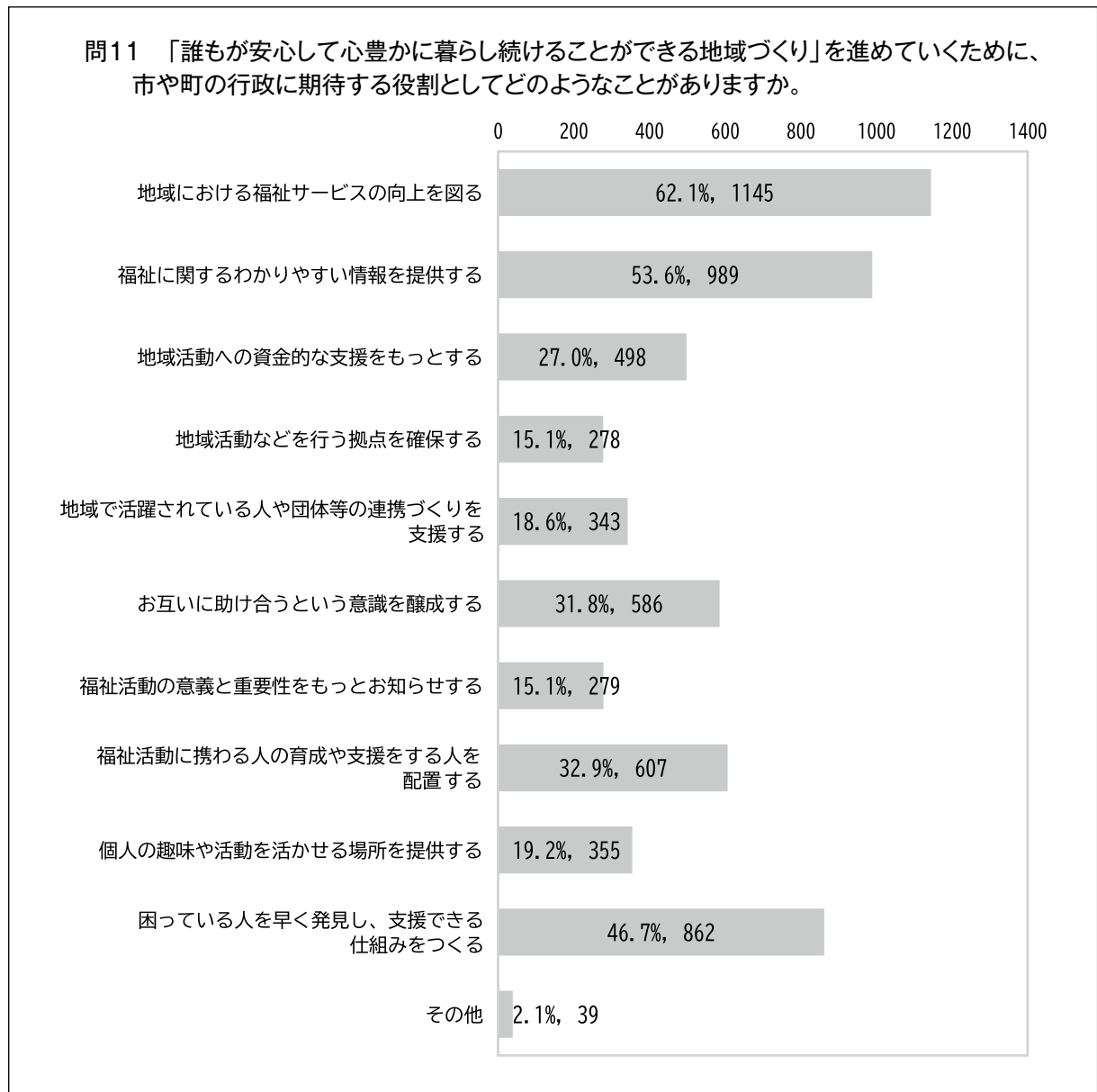
問10 高齢者や障害のある人（子ども）、引きこもり（不登校）の人、少し気がかりな人（子ども）など、支援を必要とする人や家庭に対し、地域で支えるためにあなたができることとして、どのようなことがありますか。



・支援を必要とする人になにができるかについての回答をみると、「支援を必要とする人や、その家族への声かけと見守り」が約5割（51.0%）ともっとも多くなり、以下、回答の多い順に「困っている人を発見して、専門機関につなげる」（26.0%）、「ご近所の住民同士で見守りなどの支え合い活動について話をする」（25.3%）、「自治会長、民生委員・児童委員、福祉員などの担い手と見守りなどの支え合い活動について話しをする」（20.2%）となり、「家事の手伝いをする」（6.2%）はあまり支持されてはいません。

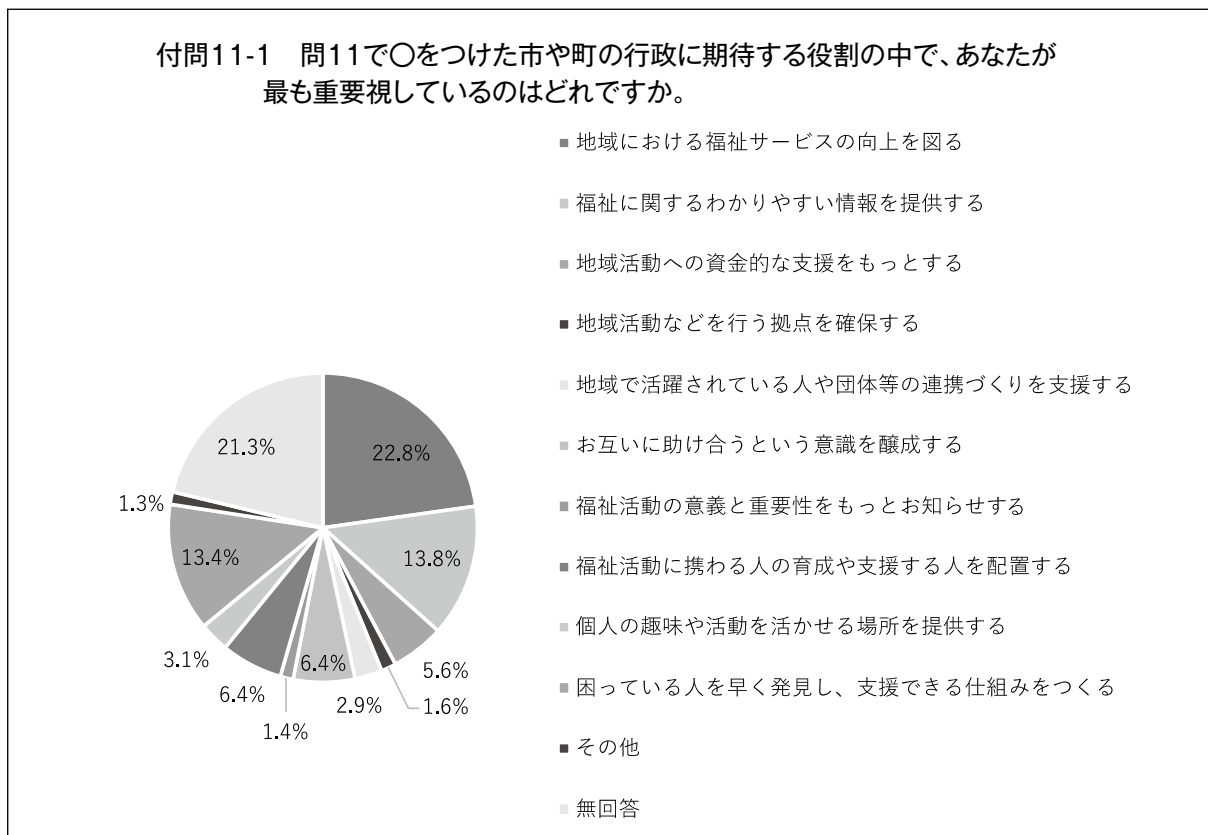
・前回調査、前々回調査と比較すると、「支援を必要とする人や、その家族への声かけと見守り」、「困っている人を発見して、専門機関につなげる」、「ご近所の住民同士で見守りなどの支え合い活動について話をする」、「自治会長、民生委員・児童委員、福祉員などの担い手と見守りなどの支え合い活動について話しをする」の4項目の回答が多いことに変化はありませんでした。

問11 「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」を進めていくために、市や町の行政に期待する役割としてどのようなことがありますか。



・「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」のために、市や町の行政に期待する役割についての回答（複数回答）をみると、「地域における福祉サービスの向上を図る」が6割強（62.1%）で最も高く、以下、「福祉に関するわかりやすい情報を提供する」（53.6%）、「困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる」（46.7%）、「福祉活動に携わる人の育成や支援をする人を配置する」（32.9%）、「お互いに助け合うという意識を醸成する」（31.8%）となりました。

付問11-1 問11で○をつけた市や町の行政に期待する役割の中で、あなたが最も重要視しているのはどれですか。

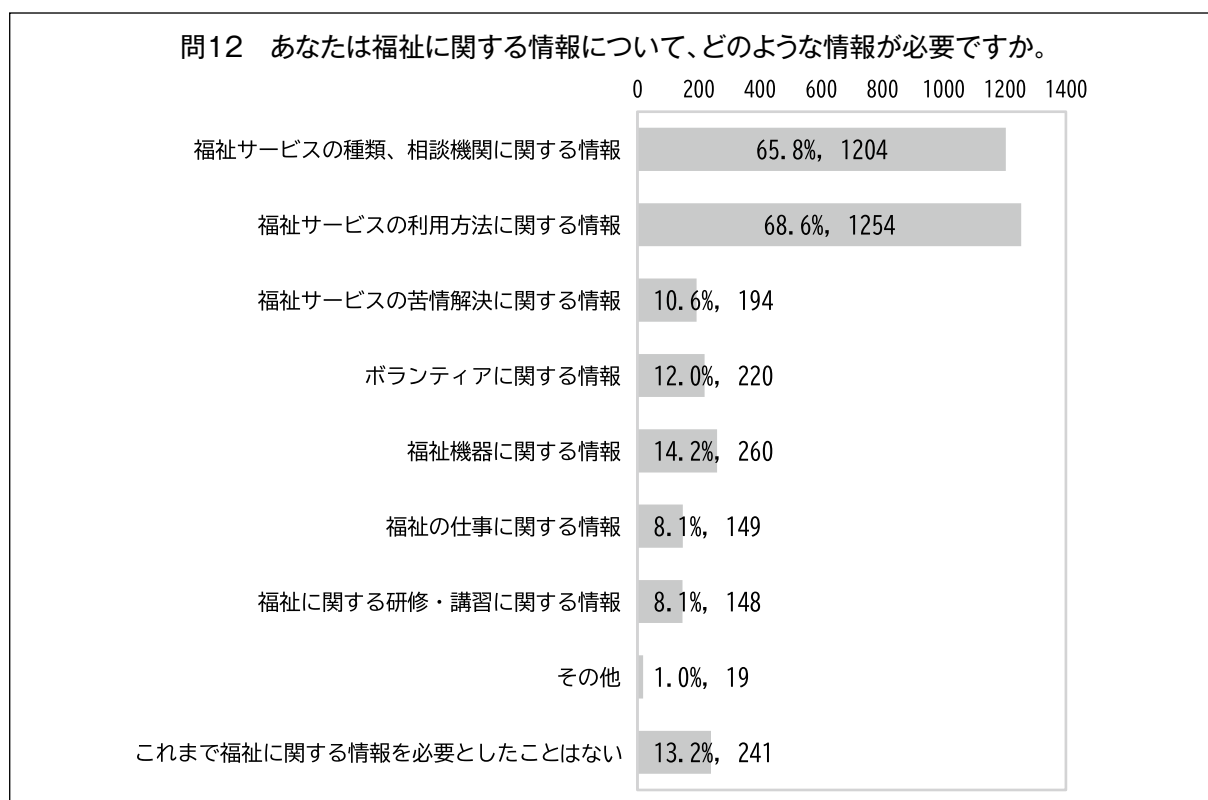


年齢3区分と最も重視している市や町の行政に期待する役割のクロス表

| | | 最も重視している市や町の行政に期待する役割 | | | | | | |
|-------|-----|-----------------------|-------------------------|----------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------|--------|
| | | 地域における福祉サービスの向上を図る | 福祉に関するわかりやすい情報を提供する | 地域活動への資金的な支援をもつとする | 地域活動などを行う拠点を確保する | 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する | お互いに助け合うという意識を醸成する | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 62 | 25 | 26 | 4 | 4 | 9 |
| | | 年齢3区分の% | 33.0% | 13.3% | 13.8% | 2.1% | 2.1% | 4.8% |
| 壮年層 | 度数 | 184 | 107 | 40 | 13 | 22 | 31 | |
| | | 年齢3区分の% | 31.6% | 18.4% | 6.9% | 2.2% | 3.8% | 5.3% |
| 高齢層 | 度数 | 189 | 133 | 41 | 13 | 28 | 83 | |
| | | 年齢3区分の% | 25.8% | 18.2% | 5.6% | 1.8% | 3.8% | 11.3% |
| 合計 | 度数 | 435 | 265 | 107 | 30 | 54 | 123 | |
| | | 年齢3区分の% | 29.0% | 17.6% | 7.1% | 2.0% | 3.6% | 8.2% |
| | | 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする | 福祉活動に携わる人の育成や支援する人を配置する | 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する | 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる | その他 | 合計 | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 0 | 12 | 16 | 30 | 0 | 188 |
| | | 年齢3区分の% | 0.0% | 6.4% | 8.5% | 16.0% | 0.0% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 7 | 48 | 14 | 106 | 10 | 582 | |
| | | 年齢3区分の% | 1.2% | 8.2% | 2.4% | 18.2% | 1.7% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 18 | 62 | 28 | 122 | 15 | 732 | |
| | | 年齢3区分の% | 2.5% | 8.5% | 3.8% | 16.7% | 2.0% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 25 | 122 | 58 | 258 | 25 | 1502 | |
| | | 年齢3区分の% | 1.7% | 8.1% | 3.9% | 17.2% | 1.7% | 100.0% |

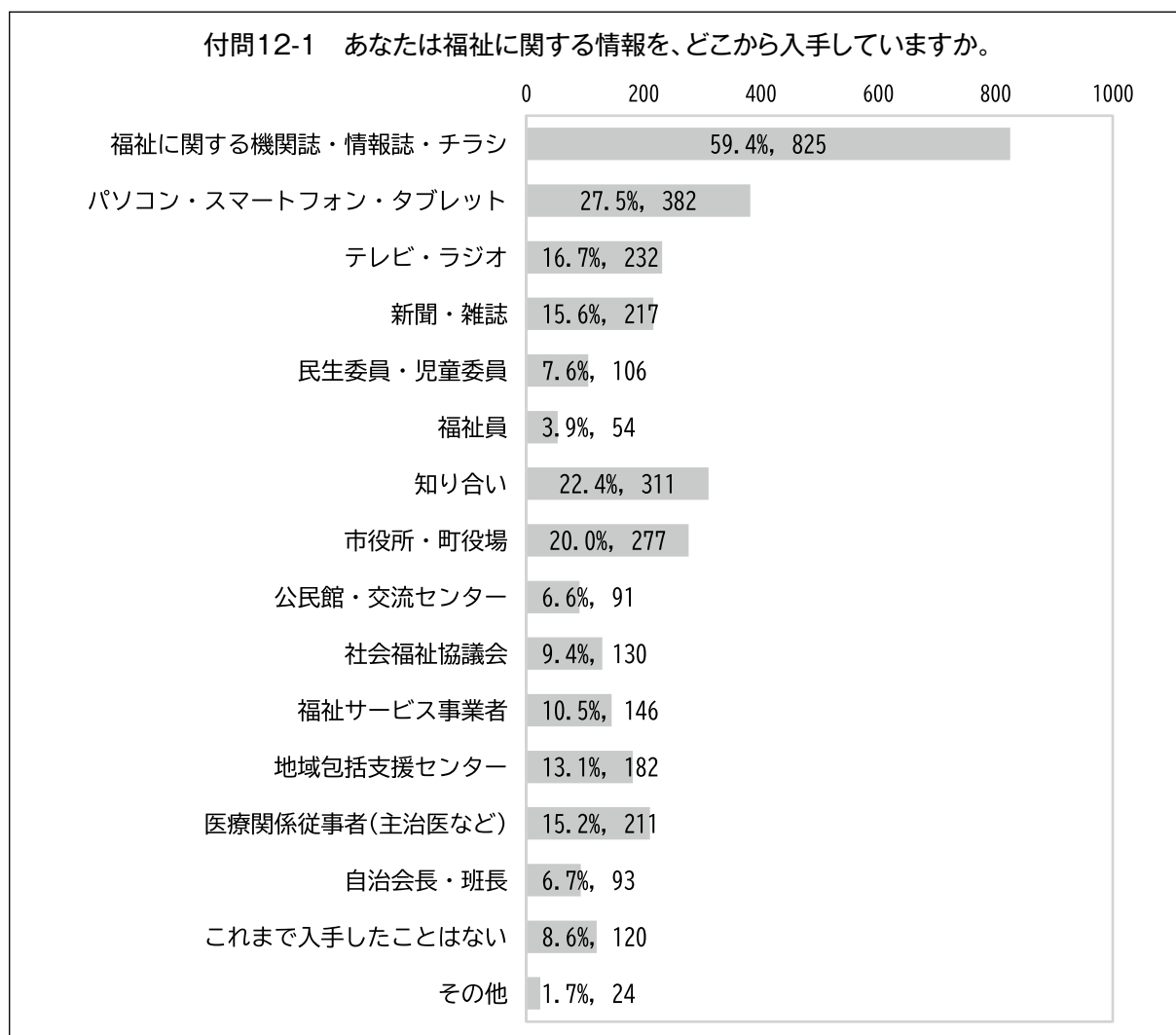
- ・「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」のために、最も重要視する市や町の行政の役割についての回答をみると、「地域における福祉サービスの向上を図る」が2割強（22.8%）で最も高く、以下、「福祉に関するわかりやすい情報を提供する」（13.8%）、「困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる」（13.4%）、「お互いに助け合うという意識を醸成する」、「福祉活動に携わる人の育成や支援する人を配置する」（6.4%）となりました。
- ・年齢階層別にみると、「地域における福祉サービスの向上を図る」の回答割合は青年層（33.0%）で高く、高齢層（25.8%）では低くなっており、「地域活動への資金的な支援をもつとする」でも同様の傾向が認められます。一方で、「福祉に関するわかりやすい情報を提供する」の回答割合は壮年層（18.4%）、高齢層（18.2%）で高く、青年層（13.3%）では低くなりました。

問12 あなたは福祉に関する情報について、どのような情報が必要ですか。



- ・福祉に関するどのような情報が必要かについての回答をみると、「福祉サービスの利用方法に関する情報」が7割弱（68.6%）で最も多く、次いで「福祉サービスの種類、相談機関に関する情報」が約6割5分（65.8%）となりました。また、これら以外の情報はあまり必要とされていないことが示されています。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「福祉サービスの利用方法に関する情報」と「福祉サービスの種類、相談機関に関する情報」の2項目の回答が多い傾向は変わりませんでした。

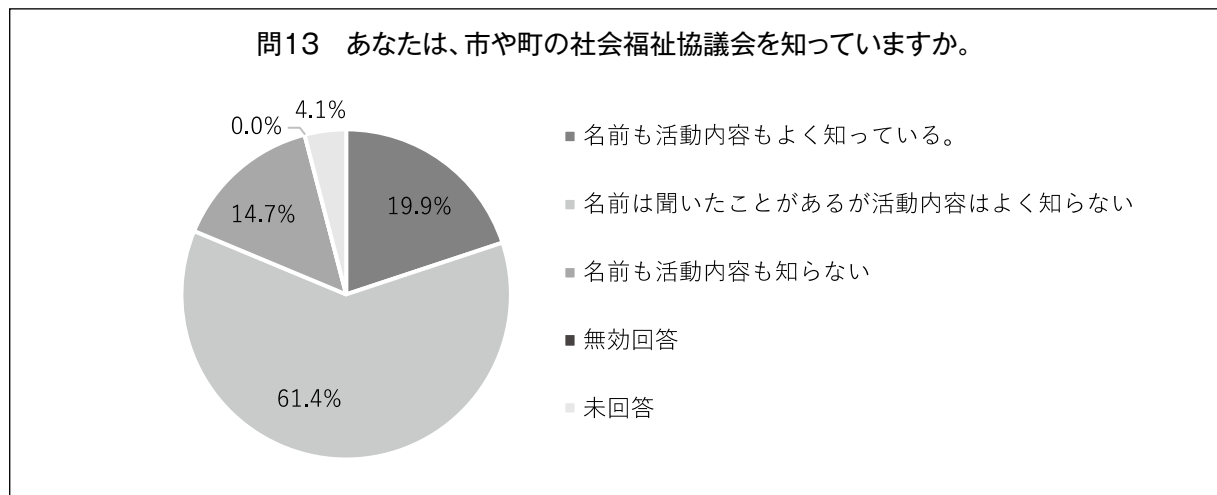
付問12-1 あなたは福祉に関する情報を、どこから入手していますか。



・福祉に関するどのような情報が必要かという問いに対して何らかの情報が必要と回答した人(問12の1～8の回答者)に、情報の入手先について尋ねたところ、「福祉に関する機関誌・情報誌・チラシ」が最も多く約6割(59.4%)となり、以下、回答の多い順に「パソコン・スマートフォン・タブレット」(27.5%)、「知り合い」(22.4%)、「市役所・町役場」(20.0%)、「テレビ・ラジオ」(16.7%)、「新聞・雑誌」(15.6%)、「医療関係従事者(主治医など)」(15.2%)となりました。

・前回調査、前々回調査と比較すると、「福祉に関する広報紙・情報誌・チラシ」の回答が最も多い点で同様の結果となりました。また、インターネットを通じた情報の入手(前々回調査までは「インターネット」、前回調査では「パソコン・スマートフォン・タブレット」に変更)の回答は増加傾向にあります(12.7%→18.3%→27.5%)。

問13 あなたは、市や町の社会福祉協議会を知っていますか。

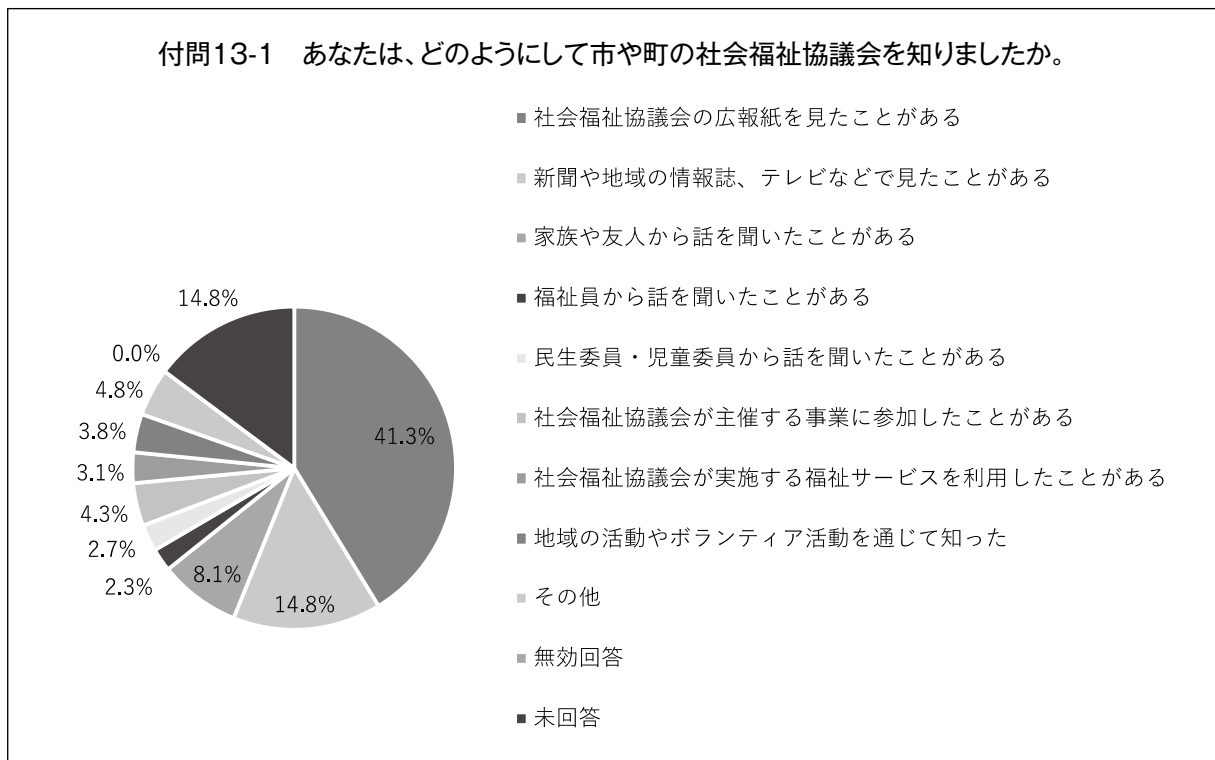


年齢3区分と市や町の社会福祉協議会を知っているかのクロス表

| | | 市や町の社会福祉協議会を知っているか | | | 合計 | |
|-------|-----|--------------------|-------------------------|--------------|-------|--------|
| | | 名前も活動内容もよく知っている | 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない | 名前も活動内容も知らない | | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 17 | 105 | 87 | 209 |
| | | 年齢3区分の% | 8.1% | 50.2% | 41.6% | 100.0% |
| | 壮年層 | 度数 | 111 | 452 | 105 | 668 |
| | | 年齢3区分の% | 16.6% | 67.7% | 15.7% | 100.0% |
| | 高齢層 | 度数 | 248 | 613 | 87 | 948 |
| | | 年齢3区分の% | 26.2% | 64.7% | 9.2% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 376 | 1170 | 279 | 1825 |
| | | 年齢3区分の% | 20.6% | 64.1% | 15.3% | 100.0% |

- ・市や町の社会福祉協議会の認知度をみると、「名前も活動内容もよく知っている。」は約2割（19.9%）にとどまり、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」が6割強（61.4%）、「名前も活動内容も知らない」が約1割5分（14.7%）となりました。
- ・前回調査、前々回調査と比較すると、「名前も活動内容もよく知っている」（24.1%→21.8%→19.9%）、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」（60.4%→60.9%→61.4%）、「名前も活動内容も知らない」（10.9%→12.7%→14.7%）となり、大きな変化は認められませんでした。
- ・年齢階層別にみると、「名前も活動内容もよく知っている」の回答割合は高齢層（26.2%）で高く、青年層（8.1%）では低くなっています。一方、「名前も活動内容も知らない」の回答割合は青年層（41.6%）で高く、高齢層（9.2%）では低くなっています。

付問13-1 あなたは、どのようにして市や町の社会福祉協議会を知りましたか。



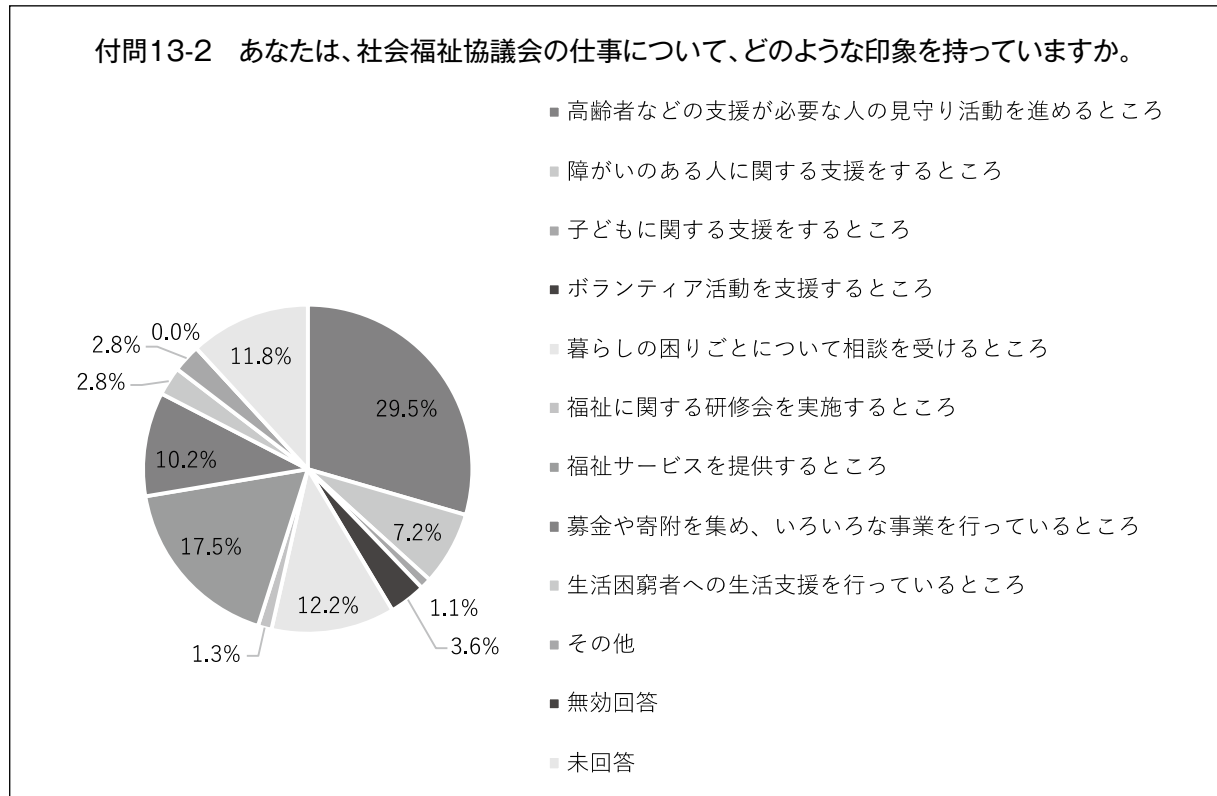
年齢3区分とどのようにして市や町の社会福祉協議会を知ったかのクロス表

市や町の社会福祉協議会を知ったか

| | | 社会福祉協議会の広報紙を見たことがある | 新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある | 家族や友人から話を聞いたことがある | 福祉員から話を聞いたことがある | 民生委員・児童委員から話を聞いたことがある |
|-----------|---------|--------------------------|------------------------------|-----------------------|-----------------|-----------------------|
| 年齢3区分 青年層 | 度数 | 36 | 29 | 27 | 3 | 2 |
| | 年齢3区分の% | 31.3% | 25.2% | 23.5% | 2.6% | 1.7% |
| 壮年層 | 度数 | 233 | 100 | 41 | 9 | 13 |
| | 年齢3区分の% | 47.3% | 20.3% | 8.3% | 1.8% | 2.6% |
| 高齢層 | 度数 | 368 | 101 | 59 | 24 | 25 |
| | 年齢3区分の% | 51.8% | 14.2% | 8.3% | 3.4% | 3.5% |
| 合計 | 度数 | 637 | 230 | 127 | 36 | 40 |
| | 年齢3区分の% | 48.3% | 17.5% | 9.6% | 2.7% | 3.0% |
| | | 社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある | 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある | 地域の活動やボランティア活動を通じて知った | その他 | 合計 |
| 年齢3区分 青年層 | 度数 | 0 | 4 | 5 | 9 | 115 |
| | 年齢3区分の% | 0.0% | 3.5% | 4.3% | 7.8% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 22 | 12 | 19 | 44 | 493 |
| | 年齢3区分の% | 4.5% | 2.4% | 3.9% | 8.9% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 44 | 32 | 35 | 22 | 710 |
| | 年齢3区分の% | 6.2% | 4.5% | 4.9% | 3.1% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 66 | 48 | 59 | 75 | 1318 |
| | 年齢3区分の% | 5.0% | 3.6% | 4.5% | 5.7% | 100.0% |

- ・市や町の社会福祉協議会の「名前も活動内容もよく知っている」、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」と回答した人に、どのようにして社会福祉協議会を知ったのかをたずねたところ、「社会福祉協議会の広報紙を見たことがある」が約4割（41.3%）で最も高く、「新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある」が約1割5分（14.8%）となりました。
- ・年齢階層別にみると、「社会福祉協議会の広報誌を見たことがある」の回答割合は壮年層（47.3%）、高齢層（51.8%）で高く、青年層では低くなっています（31.3%）。一方で、「新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある」や「家族や友人から話を聞いたことがある」では、青年層で回答割合が高くなっています。

問13-2 あなたは、社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。

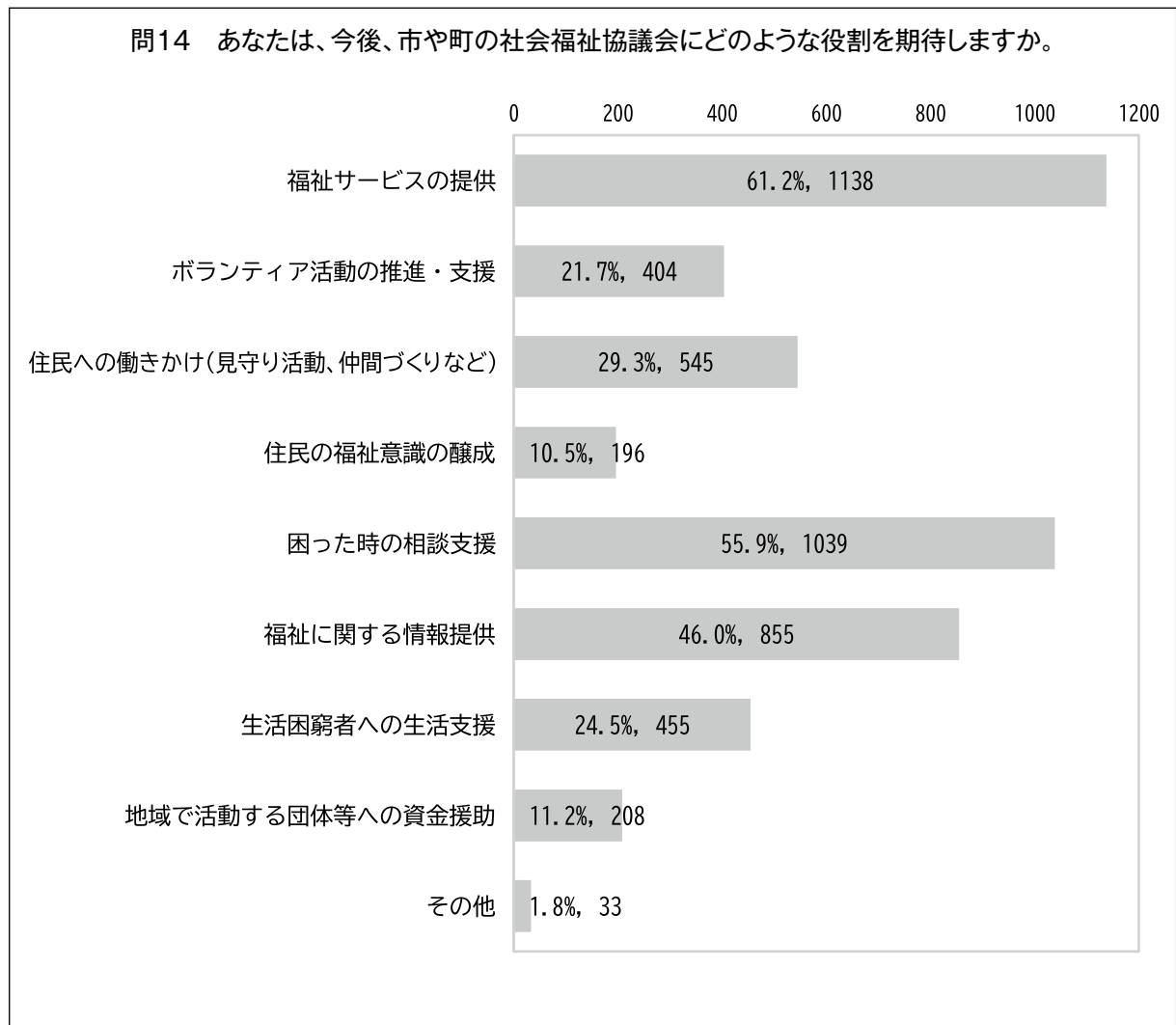


年齢3区分と社会福祉協議会の仕事のクロス表

| | | 社会福祉協議会の仕事 | | | | | | |
|-------|-----|----------------------------|---------------------------|----------------------|------------------|-----------------------|-------------------|------|
| | | 高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ | 障がいのある人に関する支援をするところ | 子どもに関する支援をするところ | ボランティア活動を支援するところ | 暮らしの困りごとについて相談を受けるところ | 福祉に関する研修会を実施するところ | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 39 | 13 | 3 | 9 | 10 | 1 |
| | | 年齢3区分の% | 35.8% | 11.9% | 2.8% | 8.3% | 9.2% | 0.9% |
| 壮年層 | 度数 | 144 | 44 | 7 | 20 | 70 | 9 | |
| | | 年齢3区分の% | 28.8% | 8.8% | 1.4% | 4.0% | 14.0% | 1.8% |
| 高齢層 | 度数 | 272 | 55 | 7 | 27 | 107 | 10 | |
| | | 年齢3区分の% | 36.1% | 7.3% | 0.9% | 3.6% | 14.2% | 1.3% |
| 合計 | 度数 | 455 | 112 | 17 | 56 | 187 | 20 | |
| | | 年齢3区分の% | 33.4% | 8.2% | 1.2% | 4.1% | 13.7% | 1.5% |
| | | 福祉サービスを提供するところ | 募金や寄附を集め、いろいろな事業を行っているところ | 生活困窮者への生活支援を行っているところ | その他 | 合計 | | |
| 年齢3区分 | 青年層 | 度数 | 16 | 11 | 3 | 4 | 109 | |
| | | 年齢3区分の% | 14.7% | 10.1% | 2.8% | 3.7% | 100.0% | |
| 壮年層 | 度数 | 110 | 58 | 13 | 25 | 500 | | |
| | | 年齢3区分の% | 22.0% | 11.6% | 2.6% | 5.0% | 100.0% | |
| 高齢層 | 度数 | 146 | 89 | 26 | 14 | 753 | | |
| | | 年齢3区分の% | 19.4% | 11.8% | 3.5% | 1.9% | 100.0% | |
| 合計 | 度数 | 272 | 158 | 42 | 43 | 1362 | | |
| | | 年齢3区分の% | 20.0% | 11.6% | 3.1% | 3.2% | 100.0% | |

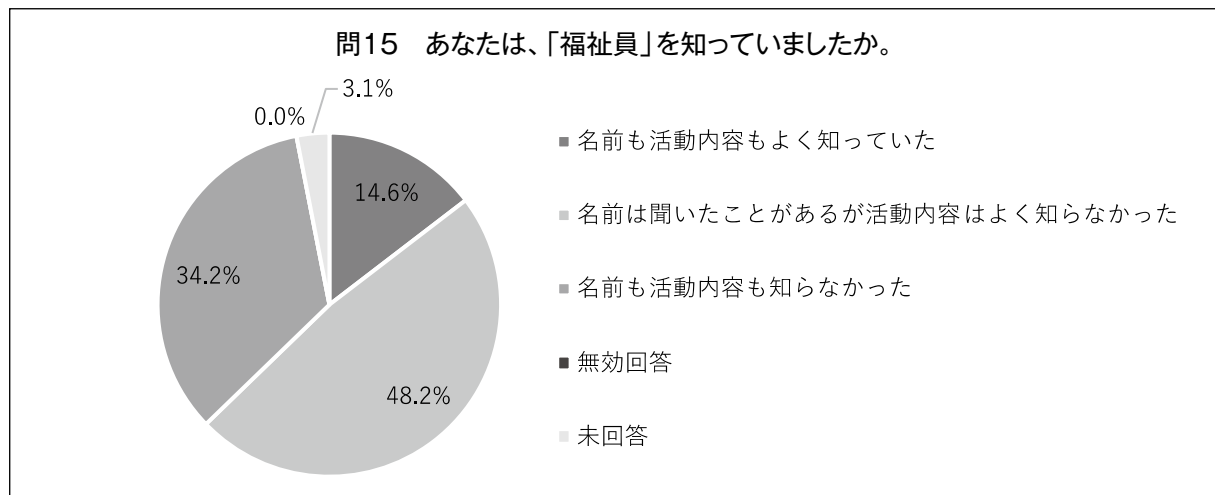
- ・市や町の社会福祉協議会について「名前も活動内容もよく知っている」、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」と回答した人に、社会福祉協議会の仕事への印象をたずねたところ、「高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ」が約3割(29.5%)、以下回答の多い順に「福祉サービスを提供するところ」(17.5%)、「暮らしの困りごとについて相談を受けるところ」(12.2%)、「募金や寄附を集め、いろいろな事業を行っているところ」(10.2%)となりました。
- ・年齢階層別にみると、「高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ」の回答割合は高齢層(36.1%)、青年層(35.8%)で高く、壮年層では低くなっています(28.8%)。一方、「福祉サービスを提供するところ」の回答割合は、高齢層(19.4%)、壮年層(22.0%)で高く、青年層(14.7%)で低くなっています。

問14 あなたは、今後、市や町の社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。



- ・ 今後、市や町の社会福祉協議会に期待する役割についての回答をみると、「福祉サービスの提供」が約6割（61.2%）、次いで「困ったときの相談支援」が約5割5分（55.9%）、「福祉に関する情報提供」が約4割5分（46.0%）となりました。
- ・ 前回調査、前々回調査と比較すると、「福祉サービスの提供」、「困ったときの相談支援」、「福祉に関する情報提供」の3項目への回答割合が高い傾向に変化はありませんでした。

問15 「福祉員」の認知度

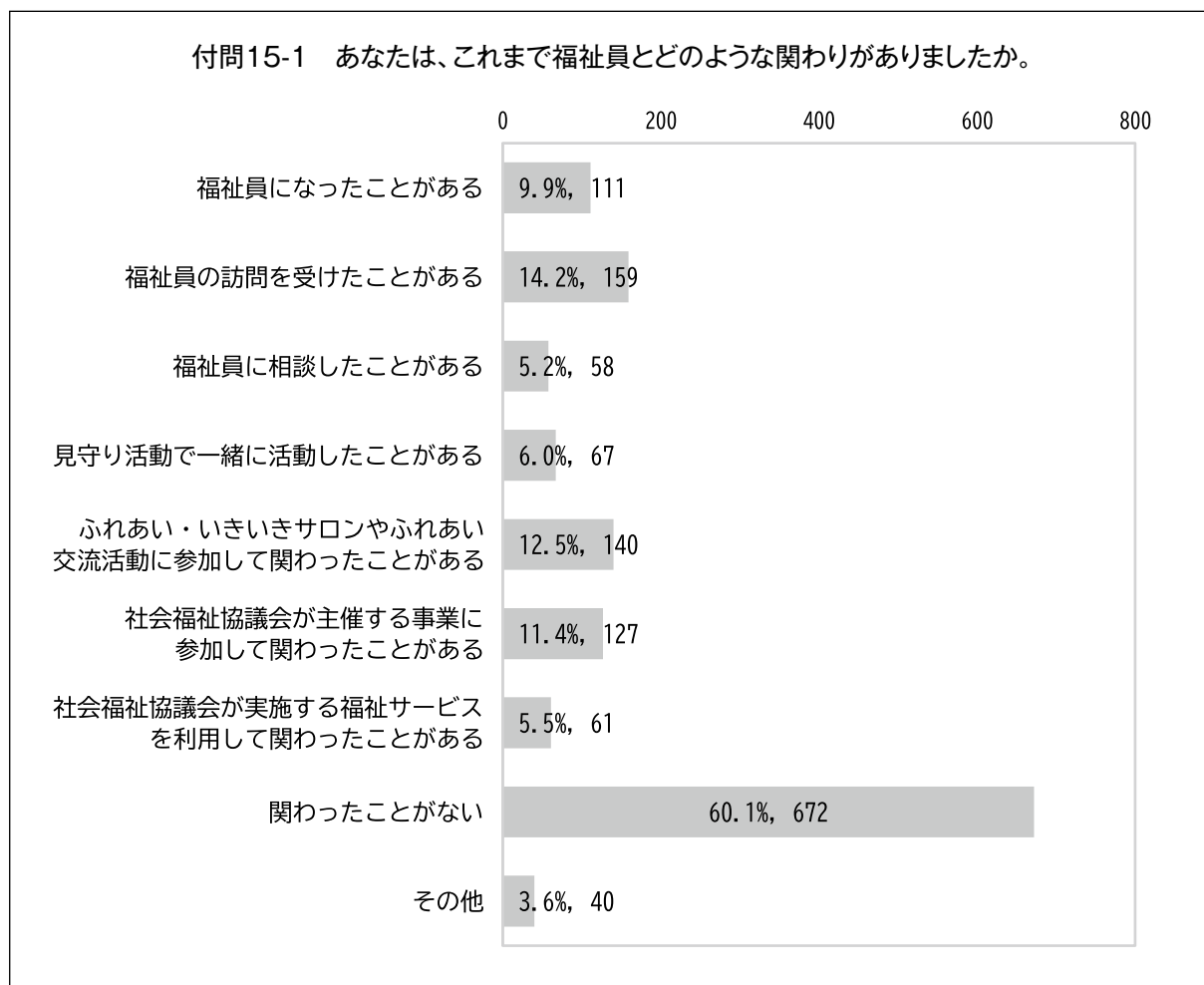


年齢3区分と福祉員を知っていたかのクロス表

| 年齢3区分 | | 福祉員を知っていたか | | | 合計 |
|-------|--------|-----------------|---------------------------|----------------|--------|
| | | 名前も活動内容もよく知っていた | 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった | 名前も活動内容も知らなかった | |
| 青年層 | 度数 | 6 | 58 | 146 | 210 |
| | 年齢層別の% | 2.9% | 27.6% | 69.5% | 100.0% |
| 壮年層 | 度数 | 66 | 338 | 266 | 670 |
| | 年齢層別の% | 9.9% | 50.4% | 39.7% | 100.0% |
| 高齢層 | 度数 | 205 | 519 | 240 | 964 |
| | 年齢層別の% | 21.3% | 53.8% | 24.9% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 277 | 915 | 652 | 1844 |
| | 年齢層別の% | 15.0% | 49.6% | 35.4% | 100.0% |

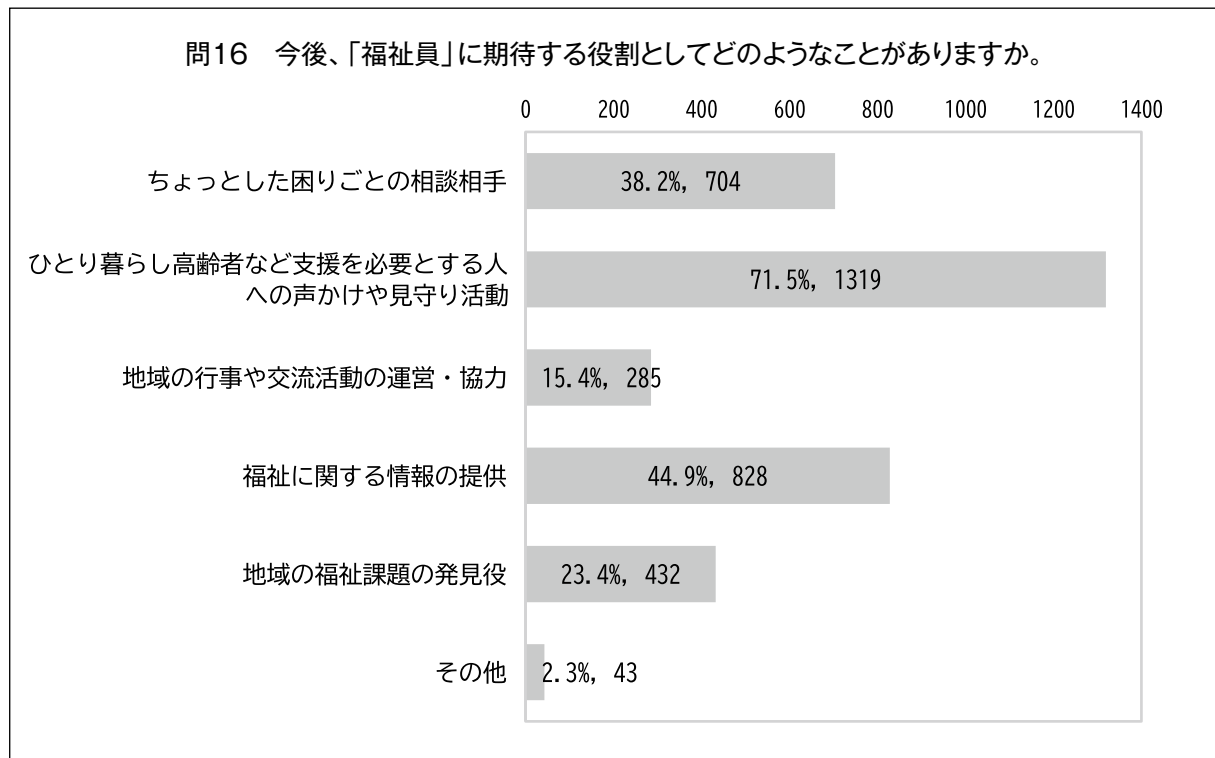
- ・「福祉員」の認知について、「名前も活動内容もよく知っていた」は約1割5分（14.6%）にとどまり、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった」が5割弱（48.2%）、「名前も活動内容も知らなかった」が約3割5分（34.2%）となりました。
- ・前々回調査、前回調査と比較すると、「名前も活動内容もよく知っていた」はゆるやかな減少傾向にあります（18.4%→16.4%→14.6%）。一方、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった」は増加しています（42.8%→44.0%→48.2%）。「名前も活動内容も知らなかった」には、大きな変化はみられませんでした（34.4%→32.4%→34.2%）。
- ・年齢階層別にみると、「名前も活動内容もよく知っていた」の回答割合は高齢層（21.3%）において高く、青年層（2.9%）では低くなっています。反対に、「名前も活動内容も知らなかった」の回答割合は青年層（69.5%）において高く、高齢層（24.9%）では低くなっています。この傾向は、前々回調査および前回調査から変わっていません。ただし、いずれの年齢層においても、「名前も活動内容もよく知っていた」の回答割合は、ゆるやかな減少傾向にあります（青年層7.7%→4.0%→2.9%、壮年層12.1%→12.1%→9.9%、高齢層27.9%→26.0%→21.3%）。

付問15-1 これまでの福祉員との関わり



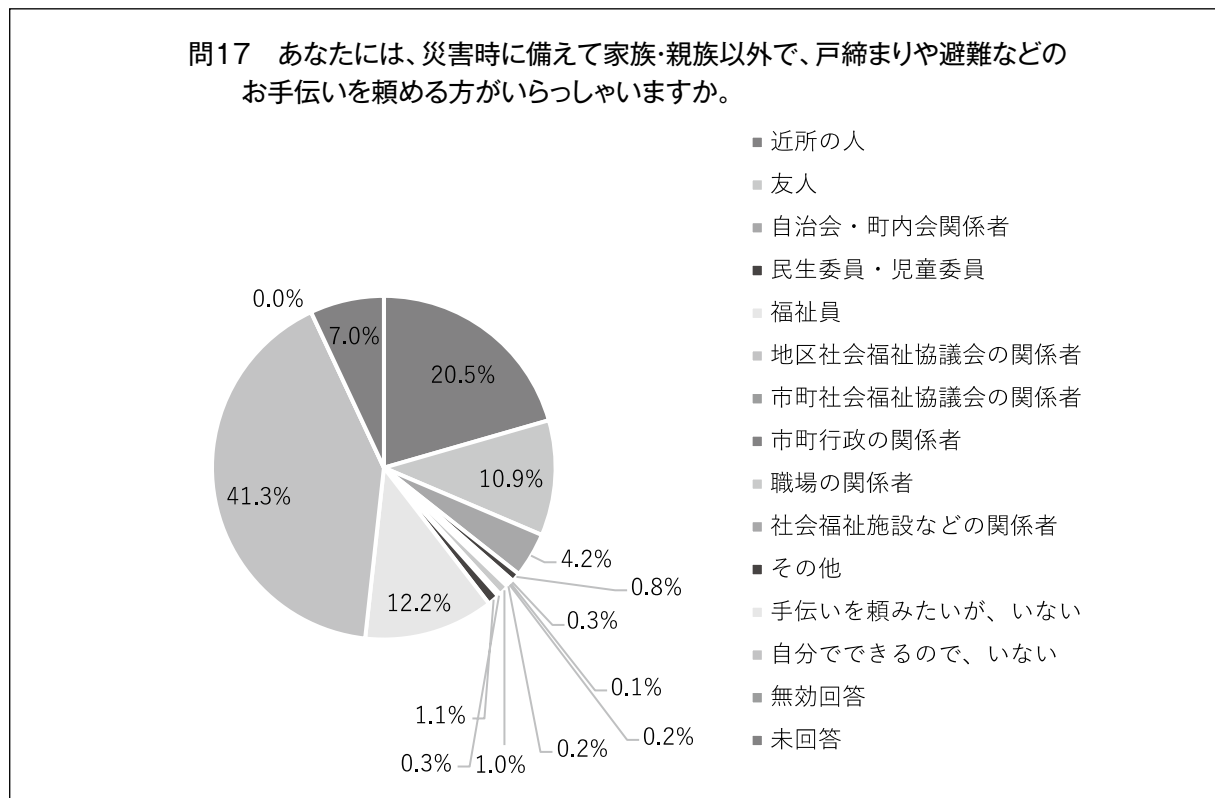
- ・福祉員について「名前も活動内容もよく知っていた」、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった」と回答した人に、これまでの福祉員との関わりについて尋ねました。回答をみると、実際には「関わったことがない」が約6割となり、前回調査よりも増えています（52.3%→60.1%）。
- ・前々回調査、前回調査と比較すると、「社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用して関わったことがある」の回答が、わずかに減少している傾向にあります（9.6%→6.4%→5.5%）。

問16 今後、「福祉員」に期待する役割



- ・ 今後、福祉員に期待する役割についての回答をみると、「ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人への声かけや見守り活動」が約7割（71.5%）、「福祉に関する情報の提供」が約4割5分（44.9%）、「ちょっとした困りごとの相談相手」が4割弱（38.2%）となりました。こうした割合は、前回調査、前々回調査から大きく変化していません。

問17 災害時に備えて家族・親族以外で戸締まりや避難の手伝いを頼める人



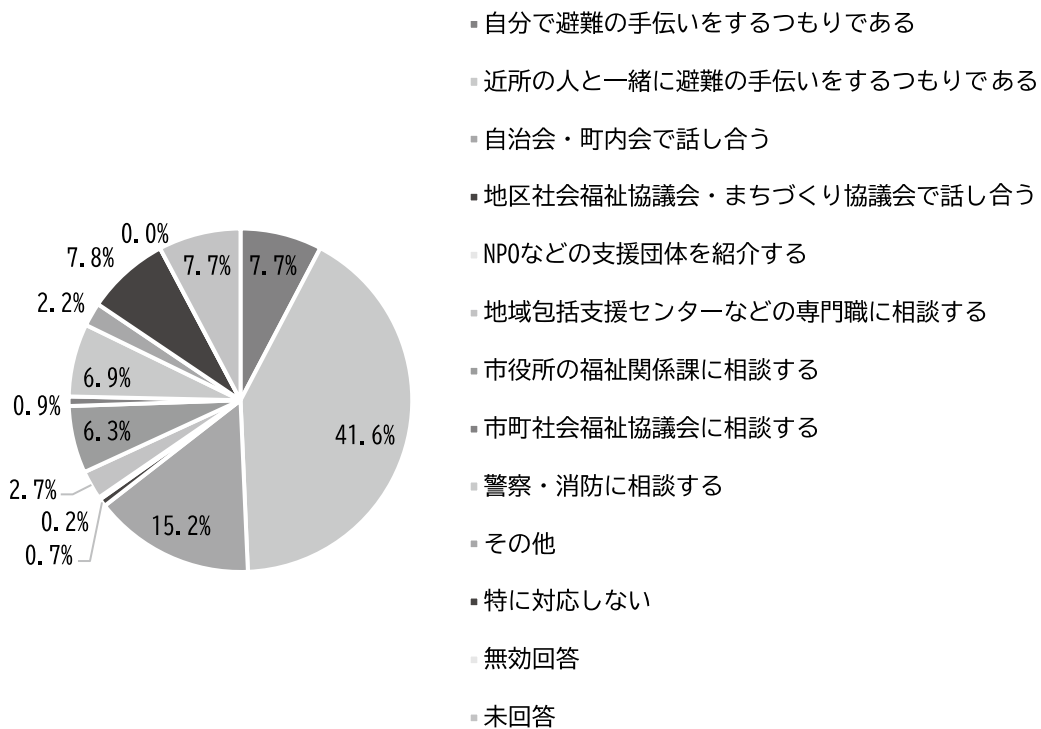
・家族・親族以外で災害時に備えて戸締まりや避難の手伝いを頼める人についての回答をみると、「近所の人」が約2割（20.5%）、「友人」が約1割（10.9%）となりました。前回調査では「近所の人」が約3割（29.7%）を占めており、「近所の人」に頼める人の割合は低下しています。一方で、「自分でできるので、いない」という人は約4割であり、前回調査よりも増えています（33.4%→41.3%）。

・手伝いを必要とする人の中で誰かに頼むことができる人は8割弱（76.4%）、「手伝いを頼みたいが、いない」の回答は手伝いを必要とする人の中で2割強（23.6%）となりました。前回調査と比べると、前者はわずかに減り（79.4%→76.4%）、後者はわずかに増えています（20.6%→23.6%）。

問18 災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らし高齢者への取組み

問18 もし、あなたの地域に、次のような方がいたら、災害時に備えて、あなたはどのように取組みますか。

災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らしの高齢者



地域福祉活動の経験の有無と災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らし高齢者がいたら、災害時に備えてどのように取り組むかのクロス表

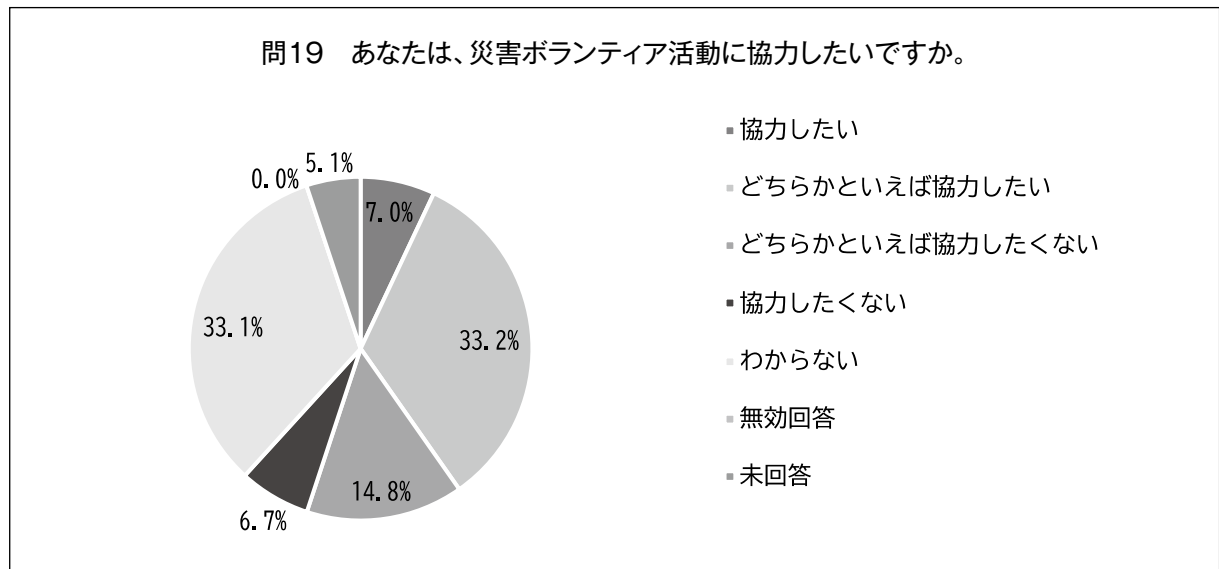
災害時に一人で避難することが難しいと思われる一人暮らし高齢者がいたら、災害時に備えてどのように取り組むか

| | | 自ら取り組む | 話し合う | 専門機関につなぐ | その他 | 特に対応しない | 合計 |
|-----------|-------------|--------|-------|----------|------|---------|--------|
| 地域福祉活動の経験 | ある | 284 | 107 | 79 | 14 | 23 | 507 |
| | 地域福祉活動の経験の% | 56.0% | 21.1% | 15.6% | 2.8% | 4.5% | 100.0% |
| 地域福祉活動の経験 | ない | 656 | 197 | 247 | 29 | 125 | 1254 |
| | 地域福祉活動の経験の% | 52.3% | 15.7% | 19.7% | 2.3% | 10.0% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 940 | 304 | 326 | 43 | 148 | 1761 |
| | 地域福祉活動の経験の% | 53.4% | 17.3% | 18.5% | 2.4% | 8.4% | 100.0% |

・地域に「災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らし高齢者」がいる場合、どのように取り組むかを尋ねました。回答をみると、「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」が約4割(41.6%)、「自治会・町内会で話し合う」が約1割5分(15.2%)になりました。「特に対応しない」の回答は7.8%となり、前回調査よりわずかに増えています(5.0%→7.8%)

- ・ 選択肢を合併し、地域福祉活動の経験の有無別に回答を分析しました。選択肢は、「自分で避難の手伝いをするつもりである」と「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」の回答を合併し〈自ら取り組む〉、「自治会、町内会で話し合う」と「地区社会福祉協議会・まちづくり協議会で話し合う」の回答を合併し〈話し合う〉、「NPO団体などの支援団体を紹介する」、「地域包括支援センターなどの専門職に相談する」、「市役所・町役場の福祉関係課に相談する」、「市町社会福祉協議会に相談する」、「警察・消防に相談する」の回答を合併し〈専門機関につなぐ〉としました。
- ・ 結果をみると、〈話し合う〉の回答割合が、地域福祉活動の経験がある層で高く（21.1%）、経験のない層で低くなりました（15.7%）。また、「特に対応しない」の回答割合は、地域福祉活動の経験がある人で低く（4.5%）、経験のない人で高くなりました（10.0%）。これらの傾向は前回調査と変わりませんが、前回調査と比べて、地域福祉活動経験のある層もない層も、〈話し合う〉の回答割合は低下し、「特に対応しない」の回答割合は高くなっています。

問19 災害ボランティア活動への協力意欲



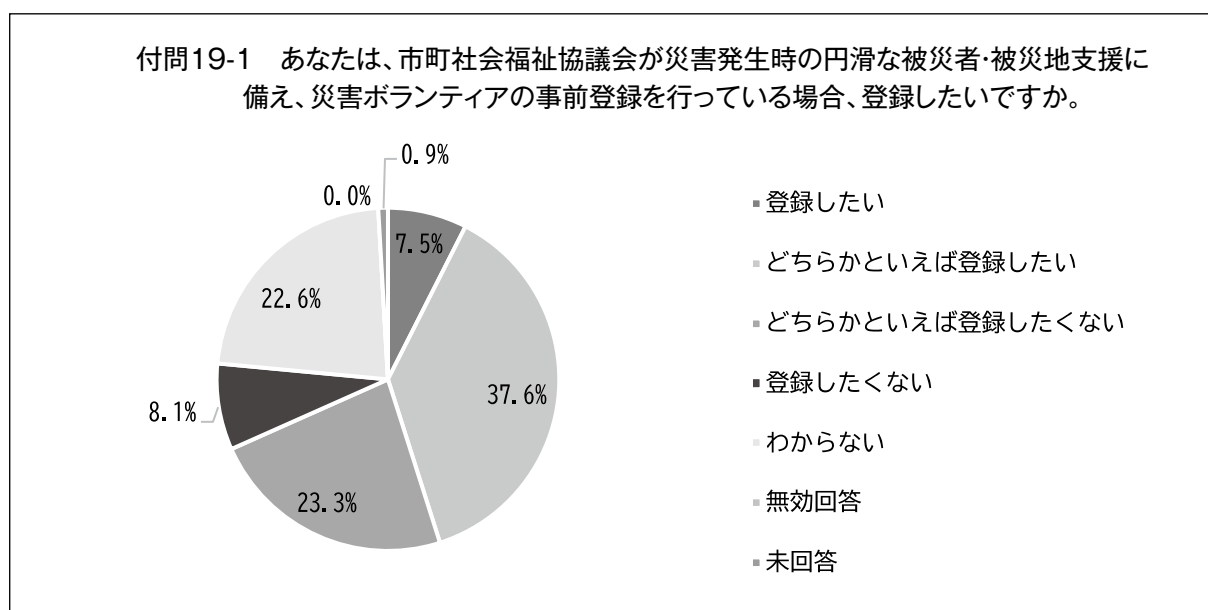
地域福祉活動の経験の有無と災害ボランティア活動に協力したいかのクロス表

| | | 災害ボランティアへの協力意欲 | | | | | 合計 | |
|-----------|----|----------------|-----------------------|-------------------------|-------------|-------|-------|--------|
| | | 協力したい | どちらかとい えば協力 したい | どちらかとい えば協力 したくない | 協力したく ない | わからない | | |
| 地域福祉活動の経験 | ある | 度数 | 61 | 225 | 66 | 19 | 144 | 515 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 11.8% | 43.7% | 12.8% | 3.7% | 28.0% | 100.0% |
| 地域福祉活動の経験 | ない | 度数 | 73 | 412 | 217 | 108 | 486 | 1296 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 5.6% | 31.8% | 16.7% | 8.3% | 37.5% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 134 | 637 | 283 | 127 | 630 | 1811 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 7.4% | 35.2% | 15.6% | 7.0% | 34.8% | 100.0% |

・災害ボランティア活動に協力したいかについての回答をみると、肯定的な回答（「協力したい」と「どちらかといえば協力したい」との合計）は約4割（40.2%）、否定的な回答（「協力したくない」と「どちらかといえば協力したくない」との合計）は約2割（21.5%）であり、協力意欲のある人の方が多くなっています。ただし、「協力したい」という意欲の高い回答の割合は1割に満たない（7.0%）という結果でした。

・地域福祉活動の経験の有無別にみると、肯定的な回答（「協力したい」と「どちらかといえば協力したい」との合計）は、経験のある層で高く（55.5%）、経験のない層で低くなりました（37.4%）。

付問19-1 災害ボランティアの事前登録への意欲

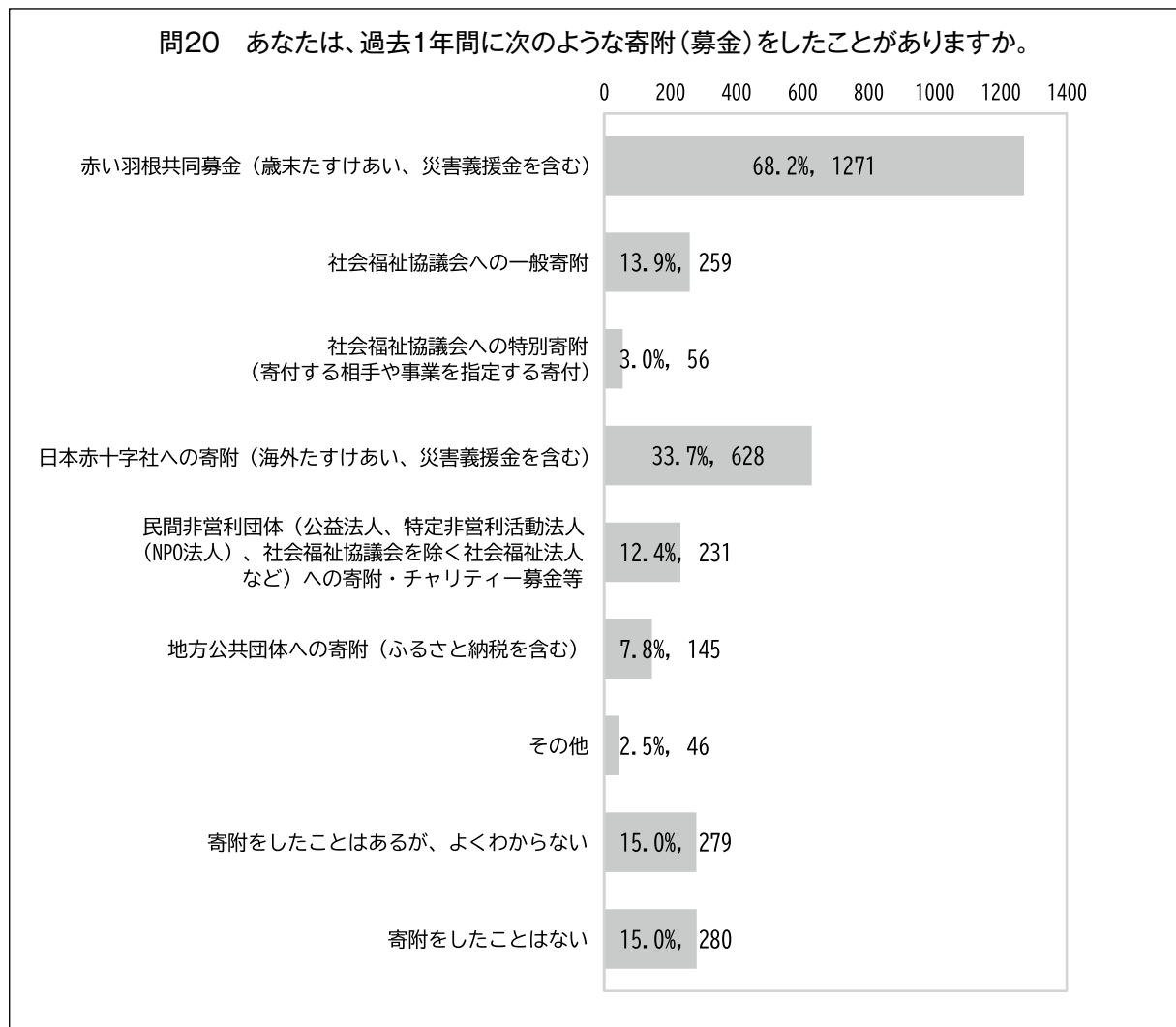


地域福祉活動の経験の有無と市町社会福祉協議会が災害発生時の円滑な被災者・被災地支援に備え、災害ボランティアの事前登録を行っている場合、登録したいかのクロス表

| | | 災害ボランティア事前登録への意欲 | | | | | |
|-----------|-------------|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------|-------|--------|
| | | 登録したい | どちらかとい えば登録 したい | どちらかとい えば登録 したくない | 登録したく ない | わからない | 合計 |
| 地域福祉活動の経験 | ある | 度数 | 23 | 120 | 62 | 28 | 283 |
| | 地域福祉活動の経験の% | 8.1% | 42.4% | 21.9% | 9.9% | 17.7% | 100.0% |
| ない | 度数 | 35 | 170 | 119 | 34 | 124 | 482 |
| | 地域福祉活動の経験の% | 7.3% | 35.3% | 24.7% | 7.1% | 25.7% | 100.0% |
| 合計 | 度数 | 58 | 290 | 181 | 62 | 174 | 765 |
| | 地域福祉活動の経験の% | 7.6% | 37.9% | 23.7% | 8.1% | 22.7% | 100.0% |

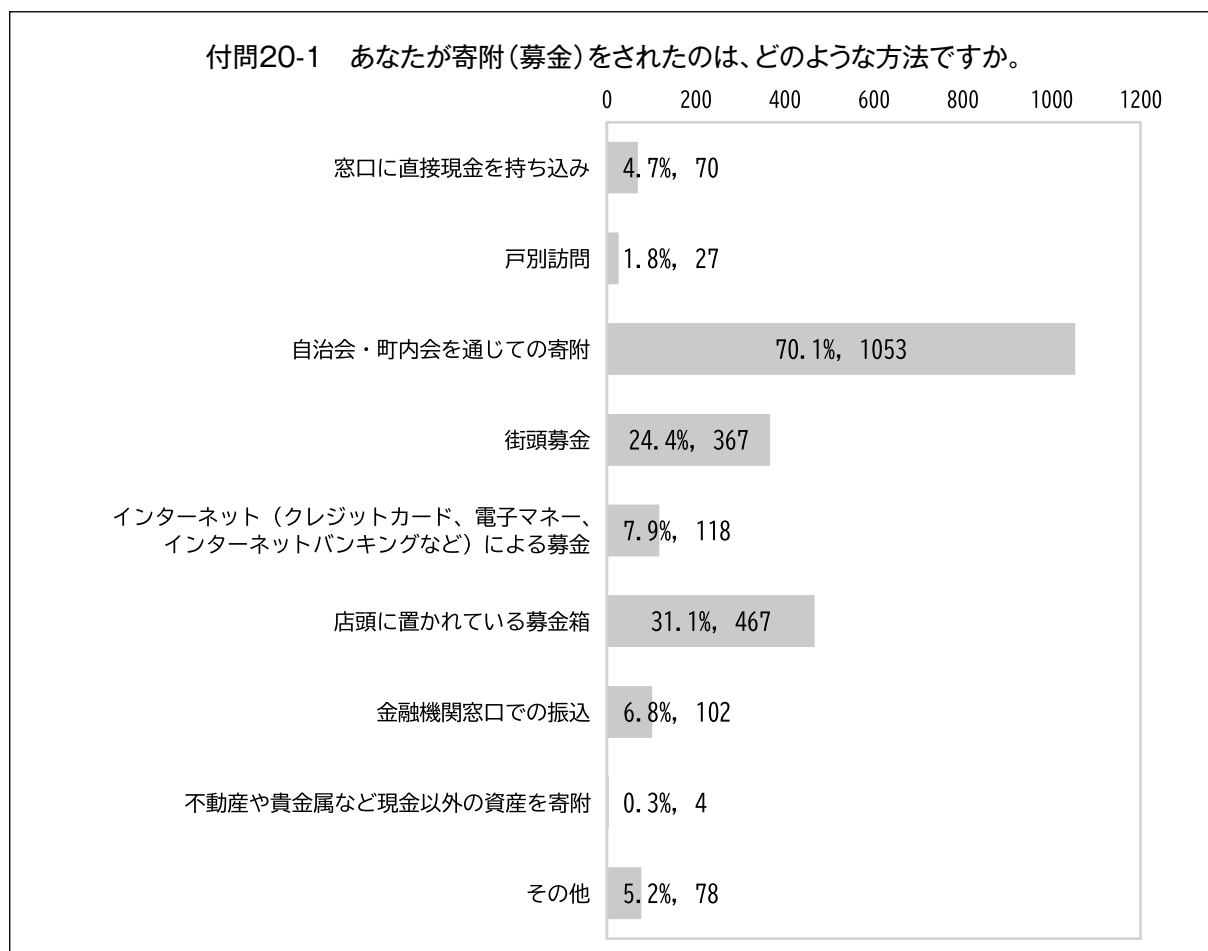
- ・災害ボランティア活動に「協力したい」、「どちらかといえば協力したい」と回答した人に、市町社会福祉協議会が災害発生時の円滑な被災者・被災地支援に備え、災害ボランティアの事前登録を行っている場合、登録したいかを尋ねました。回答をみると、肯定的回答（「登録したい」と「どちらかといえば登録したい」との合計）は約4割5分（45.1%）、否定的な回答（「登録したくない」と「どちらかといえば登録したくない」との合計）は約3割（31.4%）であり、登録意欲のある人の方が多くなっています。ただし、こちらも「登録したい」という意欲の高い回答の割合は1割にも達していませんでした（7.5%）。
- ・地域福祉活動の経験の有無別にみると、肯定的な回答（「登録したい」と「どちらかといえば登録したい」との合計）は、経験のある層で高く（50.5%）、経験のない層で低くなりました（42.5%）。

問20 過去1年間の寄附（募金）



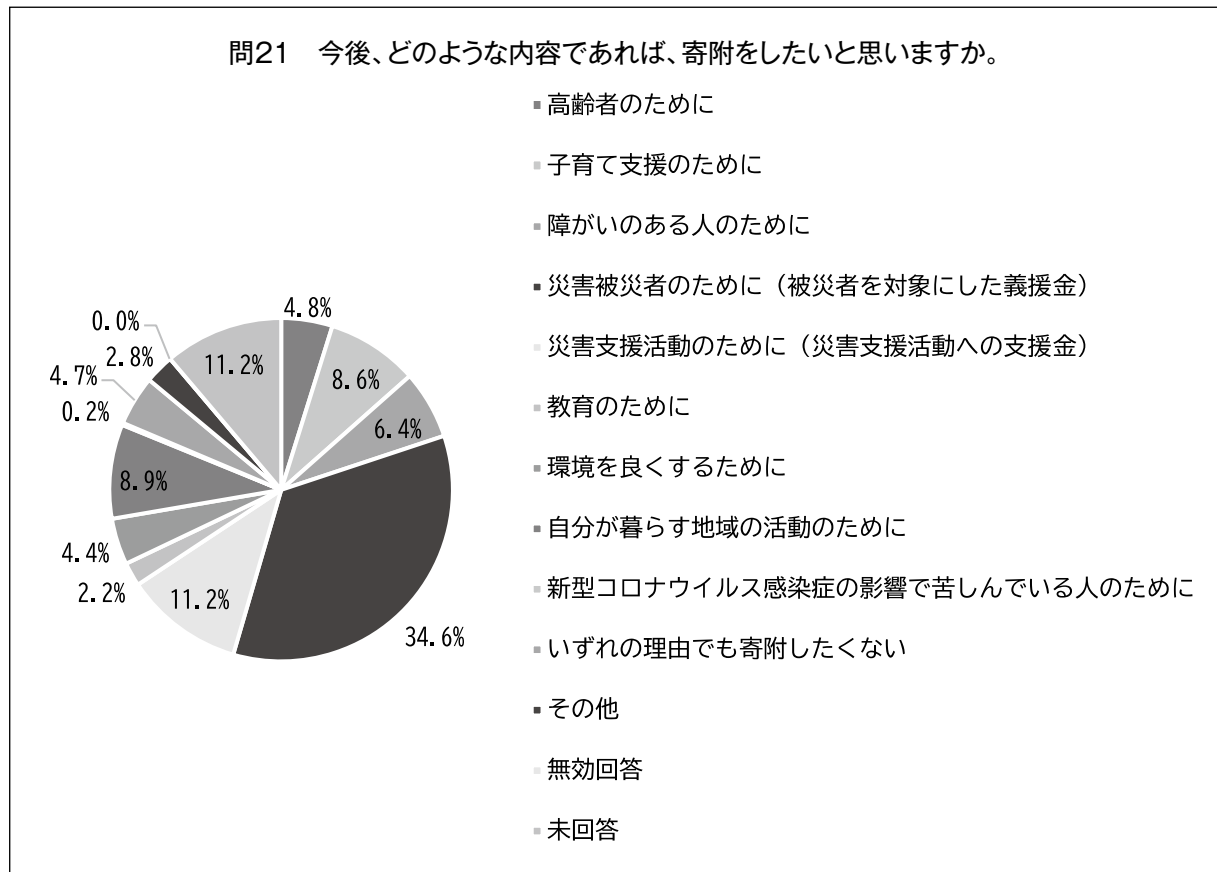
- ・過去1年間にどのような寄附（募金）をしたことがあるかを尋ねると、「赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む）」が7割弱（68.2%）で最も多く、「日本赤十字社への寄附（海外たすけあい、災害義援金を含む）」が3割強（33.7%）、「寄附をしたことはあるが、よくわからない」が1割5分（15.0%）、「社会福祉協議会への一般寄附」が1割強（13.9%）、「民間非営利団体（公益法人、特定非営利活動法人（NPO法人）、社会福祉協議会を除く社会福祉法人など）への寄附・チャリティー募金等」が約1割（12.4%）となりました。また、「寄附をしたことはない」という回答も1割5分（15.0%）ありました。
- ・前々回調査でも過去1年間の寄附について尋ねていますが、今回調査では選択肢が変更されています。そのため単純には比較できませんが、参考程度に示しておくと、前々回調査では「赤い羽根共同募金」が約7割（72.0%）で最も多く、次いで「歳末たすけあい募金」が約5割5分（55.3%）でした。前々回調査ではこの2つの募金を分けて回答してもらっているという違いはありますが、これらの募金をした人が最も多いということは前々回調査と今回調査で共通していることがわかります。

付問20-1 寄附の方法



- ・過去1年間に何らかの寄附(募金)をしたことがあると回答した人に、どのような方法で寄付をしたかを尋ねました。回答をみると、「自治会・町内会を通じたの寄附」が約7割(70.1%)で最も多く、「店頭で置かれている募金箱」が約3割(31.1%)、「街頭募金」が約2割5分(24.4%)となりました。

問21 今後寄附したい内容



地域福祉活動の経験と寄附したいと思う内容のクロス表

| | | 寄附したいと思う内容 | | | | | | |
|-----------|----|-------------|------------|-----------------|-----------------------------|-------------------------|--------|--------|
| | | 高齢者のために | 子育て支援のために | 障がいのある人のために | 災害被災者のために（被災者を対象にした義援金） | 災害支援活動のために（災害支援活動への支援金） | 教育のために | |
| 地域福祉活動の経験 | ある | 度数 | 22 | 36 | 29 | 201 | 75 | 11 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 4.5% | 7.4% | 5.9% | 41.2% | 15.4% | 2.3% |
| | ない | 度数 | 70 | 130 | 94 | 461 | 138 | 32 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 5.8% | 10.8% | 7.8% | 38.1% | 11.4% | 2.6% |
| 合計 | | 度数 | 92 | 166 | 123 | 662 | 213 | 43 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 5.4% | 9.8% | 7.2% | 39.0% | 12.6% | 2.5% |
| | | | 環境を良くするために | 自分が暮らす地域の活動のために | 新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人のために | いずれの理由でも寄附したくない | その他 | 合計 |
| 地域福祉活動の経験 | ある | 度数 | 25 | 60 | 0 | 10 | 19 | 488 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 5.1% | 12.3% | 0.0% | 2.0% | 3.9% | 100.0% |
| | ない | 度数 | 58 | 109 | 4 | 80 | 33 | 1209 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 4.8% | 9.0% | 0.3% | 6.6% | 2.7% | 100.0% |
| 合計 | | 度数 | 83 | 169 | 4 | 90 | 52 | 1697 |
| | | 地域福祉活動の経験の% | 4.9% | 10.0% | 0.2% | 5.3% | 3.1% | 100.0% |

- ・ 今後、どのような内容であれば寄附したいかを尋ねると、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」が3割強（34.6%）、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」が約1割（11.2%）と、災害関係の回答が多くなりました。

- ・地域福祉活動の経験の有無別にみると、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」という回答の割合は、経験のある層が経験のない層よりもわずかに高く（経験のある層41.2%、経験のない層38.1%）、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」という回答の割合も、経験のある層が経験のない層よりもわずかに高くなっています（経験のある層15.4%、経験のない層11.4%）。問19の災害ボランティア活動への協力意欲や付問19-1の災害ボランティアの事前登録への意欲も、地域福祉活動の経験がある層の方が高かったことも踏まえると、地域福祉活動の経験がある層の方が災害関係の活動に関心が強いことがうかがえます。
- ・今後寄附したい内容についても、前々回調査で尋ねているものの選択肢が変更されているため、比較は参考程度となりますが、前々回調査では「災害支援のために」が5割弱（47.5%）で最も多いという結果でした。災害に関する寄附への意欲が高いことは、前々回調査から変わっていないといえます。

第3章 考察と課題

この章では、今回の調査結果をもとに、「近所づきあい(つながり)」「困った時の相談先(ニーズキャッチ・相談支援)」「地域活動への参加」「福祉に関する情報発信」「福祉員(地域福祉活動の担い手)」「災害に備える住民参加による取組」「住民の寄附意識」の考察と課題の検討を行い、地域の地域福祉活動計画である「第7次福祉の輪づくり運動推進地域活動計画」での取組につなげていきます。

1 近所づきあいの程度と意識を捉えた取組

地域で安全・安心に暮らし続けるために、近所づきあいの必要性をたずねたところ(問2)、必要性を感じている人(=「そう思う」「まあそう思う」と回答した人)は8割(82.5%)を超えていますが、これまでの調査の推移を見ると、2009年度調査91.6%→2013年度調査89.3%→2018年度調査84.6%と調査ごとに漸減しています。

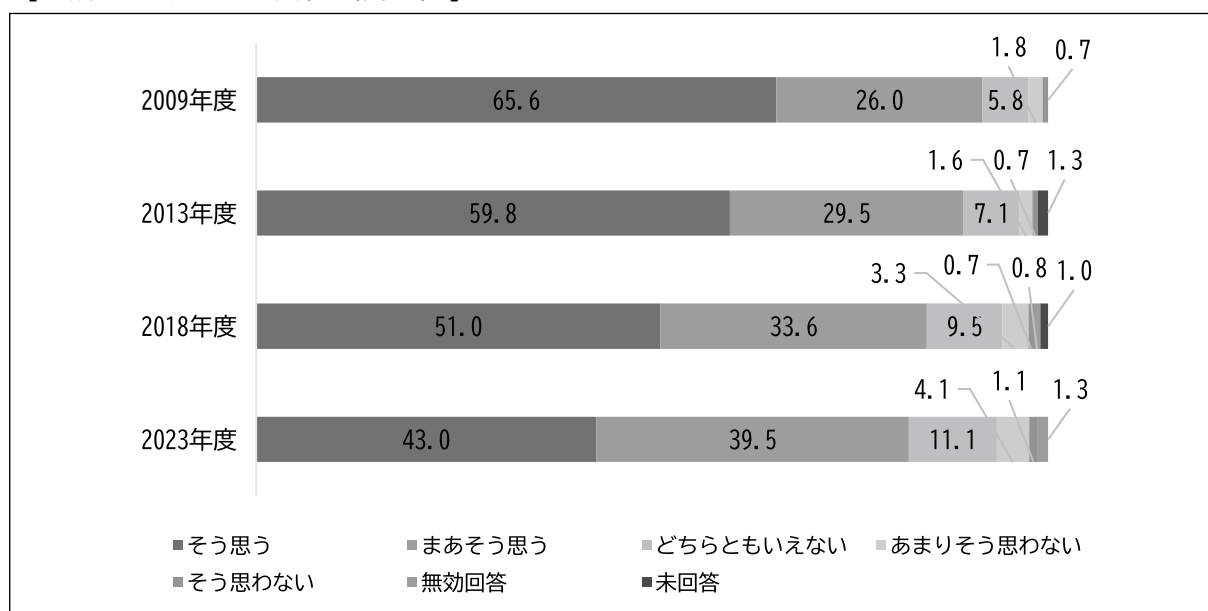
また、ご近所づきあいの程度をたずねたところ(問1)、あいさつをする以外に積極的な関わりを持っている人は、「お互いに訪問し合う人がいる」が2割弱(18.9%)、「立ち話をする程度の人がある」が約3割5分(34.2%)となり、合わせて5割強(53.1%)となっています。同様に推移を見ると、2009年度調査62.9%→2013年度調査57.3%→2018年度調査54.8%→今回調査53.1%となっており、こちらも漸減しています。

本調査は2023年5月～6月に実施しており、この間に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが5類相当に変更されたものの、感染症の影響を受けている時期と考えられます。

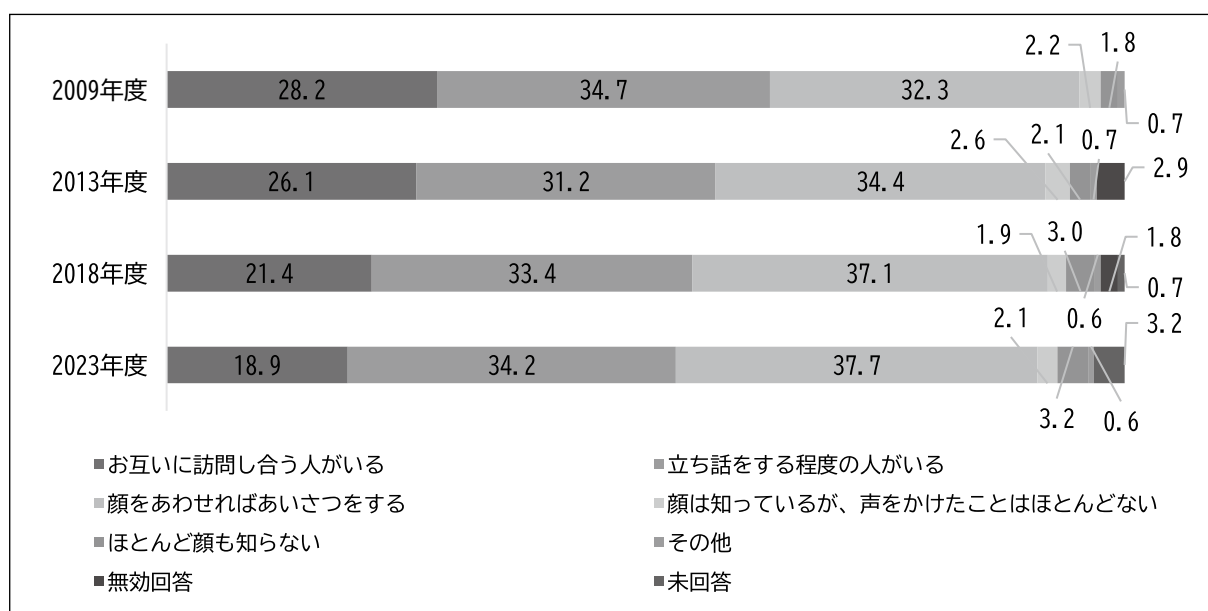
しかしながら、今回と前回の2018年度調査と比較すると、近所づきあいの必要性を感じている人は84.6%→82.5%、あいさつをする以外に積極的な関わりを持っている人は54.8%→53.1%と微減にとどまっており、一定のつながりが維持されているものと思われます。

今後、コロナ禍以前の状況に日常生活が戻っていくなかで、つながりや交流の意識が高まり、活動が活発化されることも考えられることから、例えば、地域の誰もが参加できる居場所の取組を進めるなど、そうした意識を捉えた取組を進めるとともに、次回調査以降の推移を注視していく必要があります。

【近所づきあいの必要性（問2）】



【近所づきあいの程度（問1）】



2 生活上の困りごとの家族以外の相談先と相談しやすい環境づくり

悩みや困りごとを抱えた時に、家族以外に相談する先をたずねたところ（問4）、「友人」が最も多く（33.9%）となり、次いで「近所の人」（17.0%）となりました。「自治会長」（4.6%）、「民生委員・児童委員」（5.2%）、「福祉員」（1.5%）を含め、困りごとがあったときには友人や近所の人等が支え合っていることがうかがえました。今後も近所での見守りや支え合いの活動を進めていくことが重要と考えられます。

また、「主治医などの医療関係者」（10.1%）、「高齢者・障がい者・子育ての支援センター」（8.6%）、「福祉施設や福祉サービスの事業者」（6.3%）といった専門機関・相談機関につ

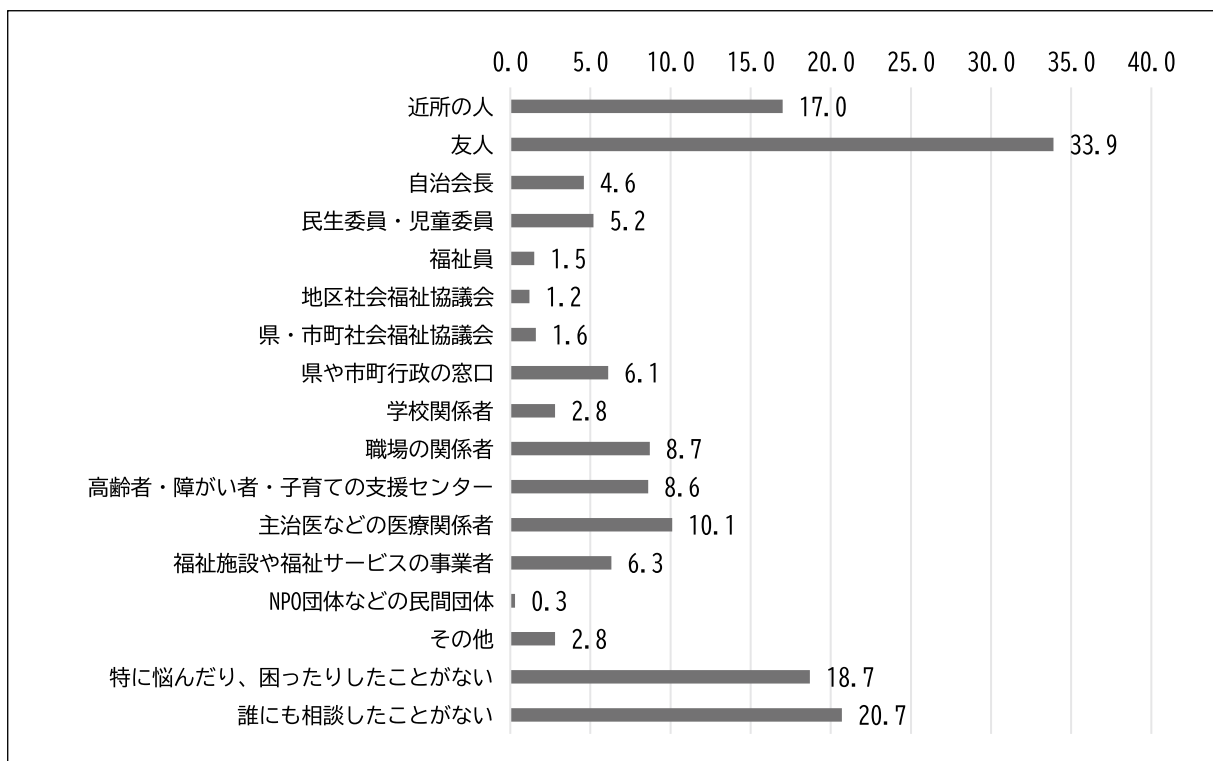
ながら、相談している状況がわかります。

しかしながら、「誰にも相談したことがない」が約2割（20.7%）となり、困りごとを抱えていても、家族のほかには相談した経験がない人も一定程度いることがわかります。この項目は、前回の2018年度調査では17.6%でしたので、わずかに誰にも相談したことがない人の割合が増えています。

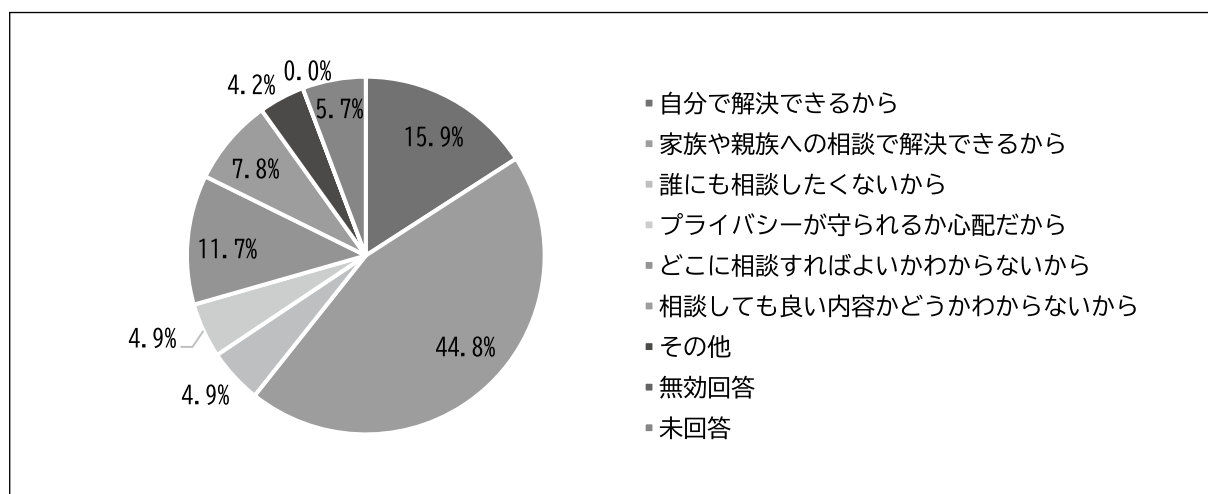
その理由を前回の2018年度調査と比較しながら見ると、「家族や親族への相談で解決できるから」（44.5%→44.8%）、「自分で解決できるから」（20.5%→15.9%）、「どこに相談すればよいかわからないから」（7.4%→11.7%）、「相談して良い内容かどうかわからないから」（7.9%→7.8%）となっており、自分で解決できる人が減少する一方で、どこに相談すればよいかわからない人が増加しています。

この結果からは、困りごとを抱え、自分では解決できず、相談内容が多様化するなかで相談はしたいが、どこに相談してよいかわからない様子がうかがえます。このような状況においては、地域住民が相談したい時に、相談につながりやすくするための相談機関のわかりやすい情報提供、適切な機関につなぐワンストップ相談体制の整備に加え、どこに相談すればよいかわからない人に対応するためにアウトリーチによる相談支援の強化が必要と考えられます。

【生活上の困りごとの家族以外の相談先（問4）】



【生活上の困りごとを誰にも相談しない理由（付問4－1）】



3 地域活動への参加を増やすための働きかけ

仕事以外の地域での活動の経験についてたずねたところ（問5）、「現在活動している」（31.4%）と「過去に活動したことがある」（30.2%）がともに約3割となり、あわせて約6割となりました。一方、「活動したことがない」と回答した人も3割強（35.2%）となりました。この状況は、過去3回の調査と比べても大きな変化はありませんでした。

このうち、活動に参加していない人に今後の地域活動に参加しようと思うという参加意識をたずねたところ（付問5－5）、肯定層（＝「そう思う」「まあそう思う」と回答した人）は約2割5分（24.3%）となっています。これまでの調査の推移を見ると、2009年度調査49.1%→2013年度調査38.1%→2018年度調査29.0%→今回調査24.3%と低下傾向にあり、今回調査の実施がコロナ禍の影響が残る中であることを考えると、次回の調査結果が注目されます。

また、「どちらともいえない」と回答した人の割合について、これまでの調査の推移をみると、2009年度調査30.3%→2013年度調査34.1%→2018年度調査36.7%→今回調査38.7%と活動参加の判断を保留する人の割合は増加傾向にあります。この背景には前回調査の報告書にもあるように、定年延長や廃止、定年後の再雇用（継続雇用）等による高齢者就業者数の増加、また、単身世帯や共働き世帯の増加が、地域活動への参加や継続を難しくしていることが考えられます。

また、地域活動をしない理由をたずねたところ（付問5－4）、「時間がないから」（20.4%）が最も多く、次いで回答の多い順に「健康や体力の面で自信がないから」（18.3%）、「きっかけがないから」（14.9%）、「参加する気持ちはないから」（10.7%）となりました。このうち「時間がないから」（20.4%）は前回の2018年度調査の25.3%から減少、「健康や体力面で自信はないから」（18.3%）は前回調査の16.3%から微増、「きっかけがないから」（14.9%）

は前回調査の12.1%から微増しています。この結果からは、まず、時間に少し余裕がある状況になったものの、活動に参加するきっかけがない状況が推測されます。また、きっかけがあったとしても高齢化等による健康や体力面で自信がない状況が推測されます。

地域活動をしている人に地域活動のきっかけをたずねたところ（付問5-2）、「地域や社会に貢献したかったから」が最も多く2割強（25.4%）となり、次いで「身近な人に誘われたから」が約2割（19.6%）となりました。

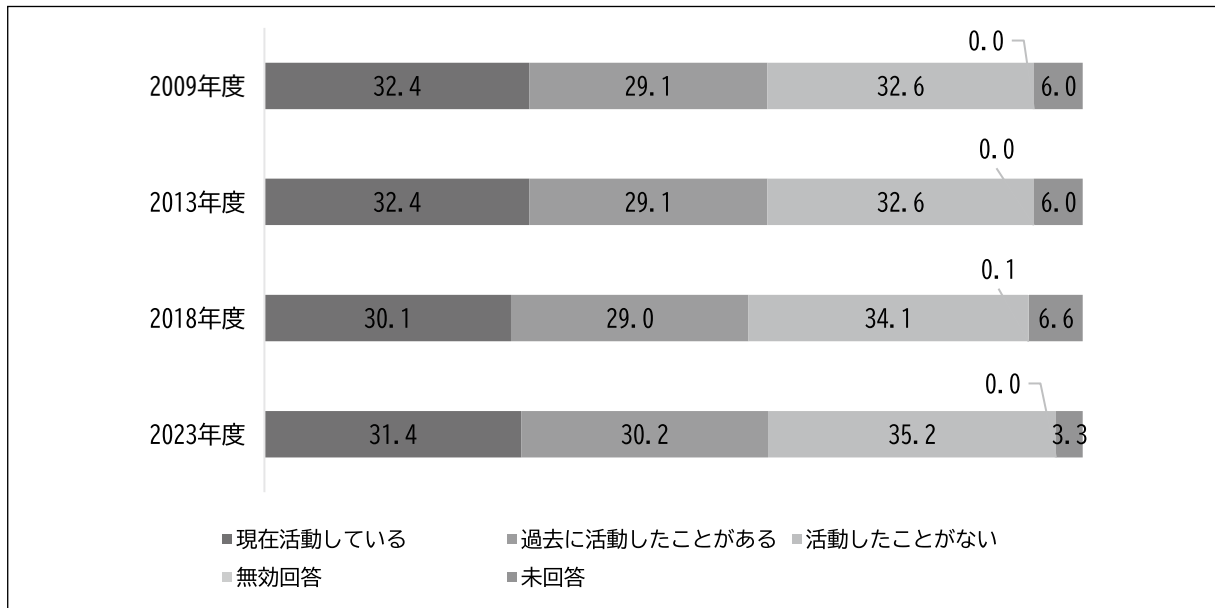
また、地域活動を続けている理由をたずねたところ（付問5-3）、「地域や社会の貢献につながるから」（57.4%）、「友人や仲間を増やすことにつながるから」（36.3%）、「自分の知識や経験につながるから」「生活のほりあいにつながるから」（いずれも32.2%）、「健康の維持につながるから」（29.9%）「様々な情報を手に入れることができるから」（28.2%）となりました。また、「他に代わる人がいないから」（20.0%）は、前回調査の15.9%から増加しています。この状況は、担い手が不足していて、活動を辞めるにも代わりになる人がいないから辞めることができないという義務感につながっている可能性があり、その推移には注視する必要があります。

こうした状況を考えると、身近な周囲の人から声かけをし、その声かけの際には、「地域貢献・社会貢献」「友人・仲間づくり」「知識や経験の獲得」「生活のほりあい」「健康の維持」「情報の獲得」といった活動のやりがい、メリットを伝えていくことが重要と考えられます。

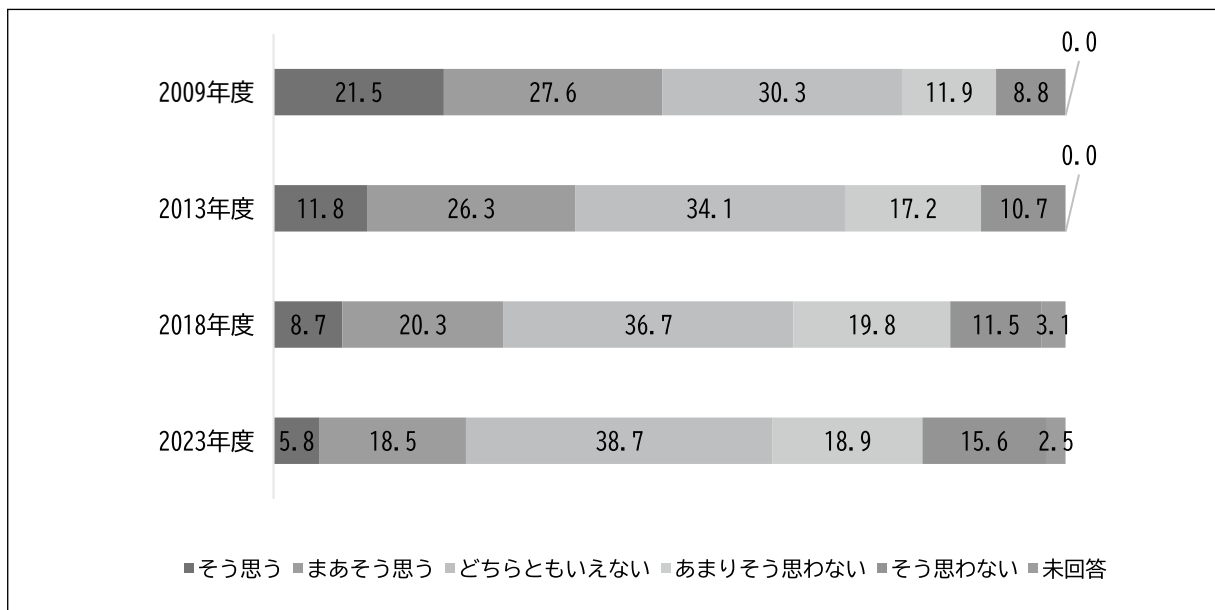
また、活動をするにも時間のない人には、関わる範囲での短時間や単発の活動を依頼したり、健康や体力に自信がないと思う人には、事務や調整等の作業を依頼したりといった工夫をすることが参加につながる可能性があると考えられます。そうした多様な参加が図れるように、市町社会福祉協議会がコーディネートすることが期待されます。

このように仲間を増やして、それぞれができる範囲で無理なく活動を続け、団体としても継続的に活動していくことができるようになると思われれます。

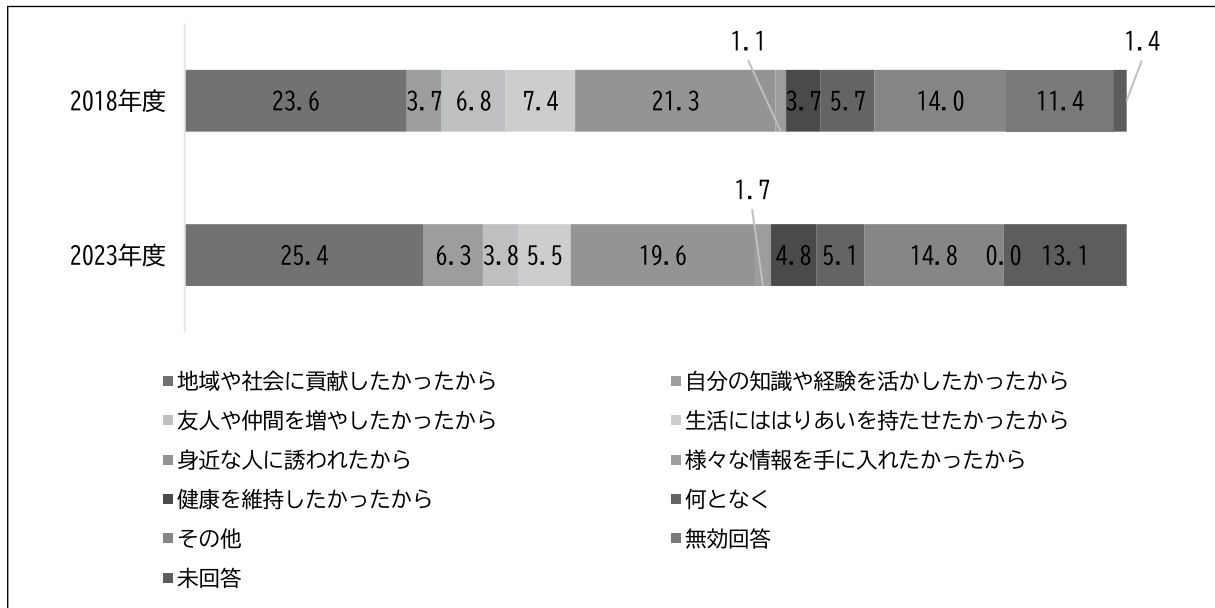
【仕事以外の地域での活動（問5）】



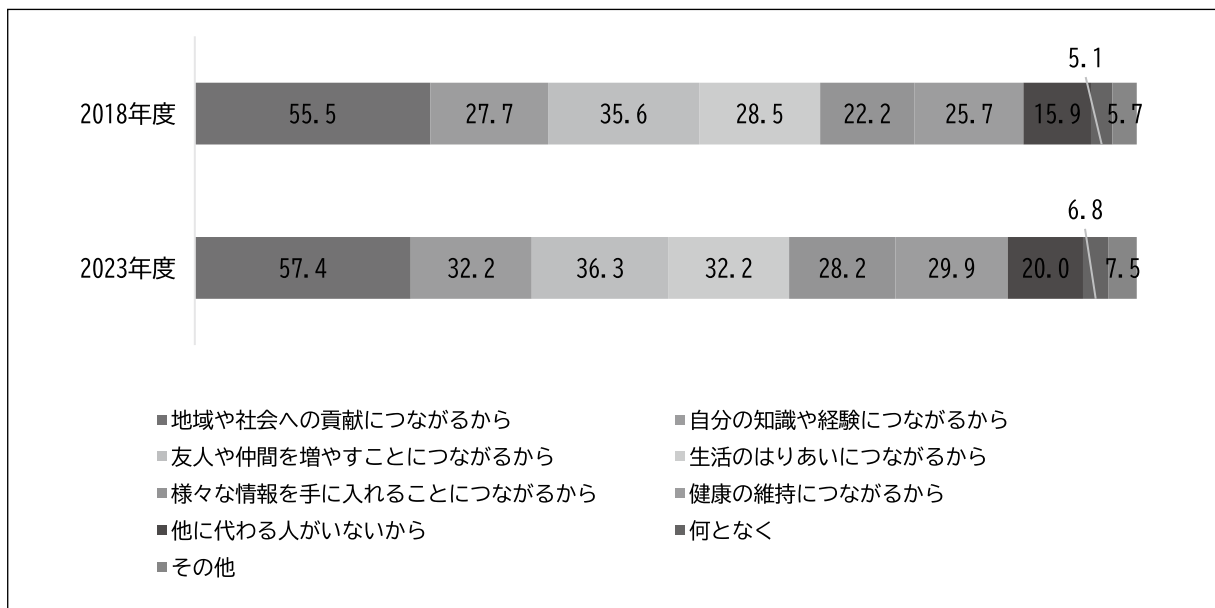
【今後の地域活動への参加意欲（付問5-5）】



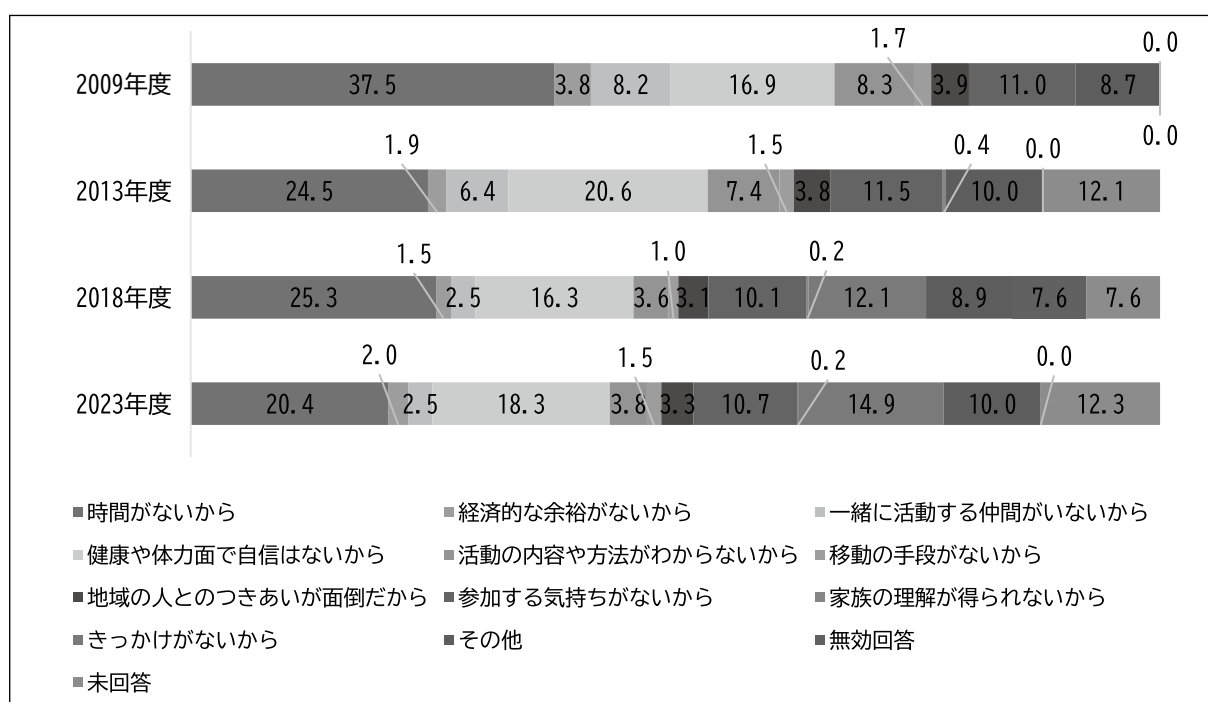
【地域活動をしている理由（付問5-2）】



【地域活動を続けている理由（付問5-3）】



【地域活動をしない理由（付問5－4）】



※ 「家族の理解が得られないから」の選択肢は2013年度、「きっかけがないから」の選択肢は2018年度から選択肢追加

4 福祉に関する情報発信の強化

福祉に関する情報について何らかの情報が必要と回答した人（問12の選択肢1～8の回答者）に、情報の入手先について複数回答でたずねたところ（付問12－1）、「福祉に関する広報紙・情報誌・チラシ」が約6割（59.4%）となりました。次いで、回答の割合が高い順に「パソコン・スマートフォン・タブレット」（27.5%）、「知り合い」（22.4%）、「市役所・町役場」（20.0%）、「テレビ・ラジオ」（16.7%）、「新聞・雑誌」（15.6%）、「医療関係従事者（主治医など）」（15.2%）となりました。また、「これまでに入手したことはない」は1割弱（8.6%）でした。

これまでの調査の推移をみると、「福祉に関する広報紙・情報誌・チラシ」の回答が他の項目を大きく上回り、最も高い割合になっていることは同様の結果でした。

また、インターネットを通じた情報の入手（2013年度調査まで「インターネット」、2018年度調査から「パソコン・スマートフォン・タブレット」に選択肢を変更）の回答割合の推移は、2009年度調査15.9%→2013年度調査12.7%→2018年度調査18.3%→今回調査27.5%と増加傾向にあります。パソコンやスマートフォン、タブレット等で情報を得ている人が増加して、およそ4人に一人以上となっています。広報紙や情報誌、チラシといった紙媒体で情報を得ている人は、パソコンやスマートフォン、タブレット等で情報を得ている人の2倍以上となっています。

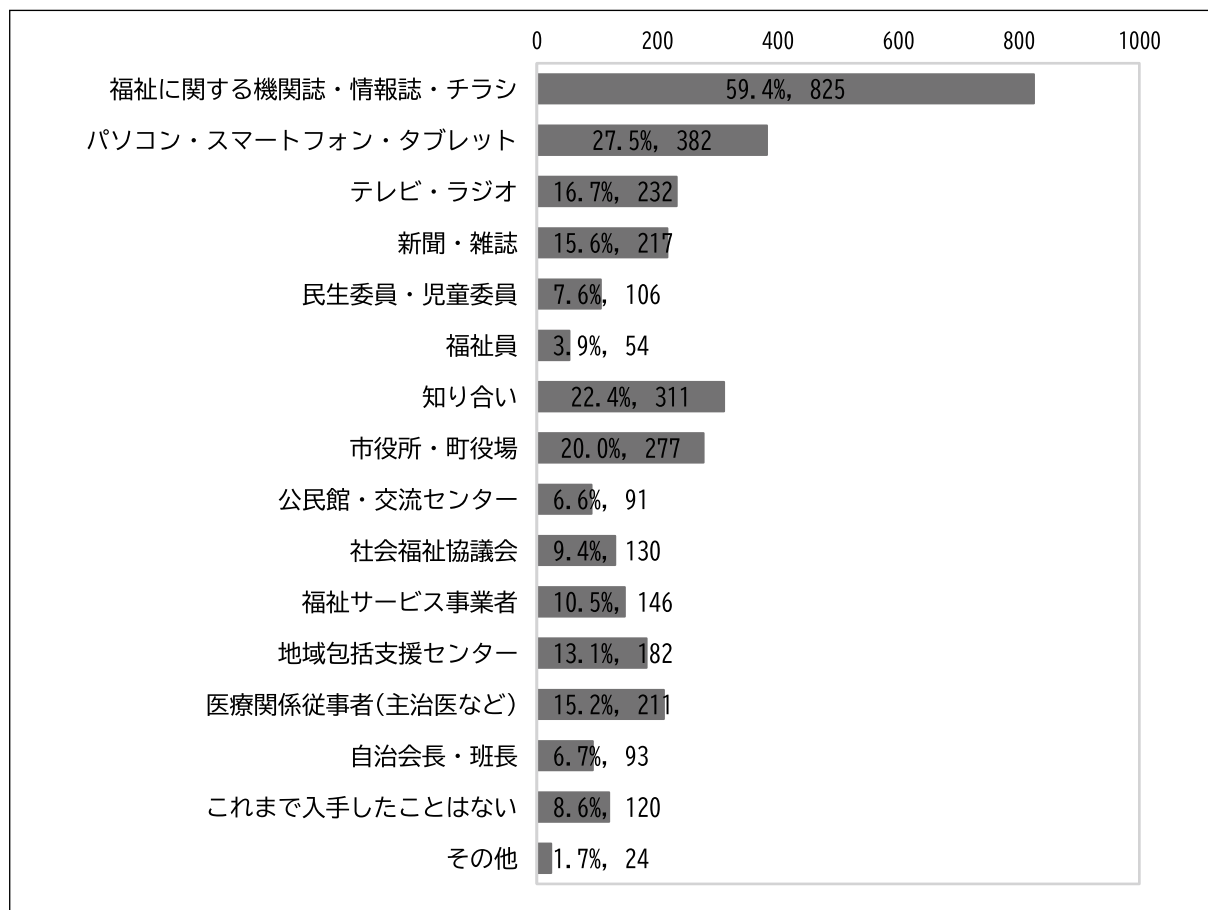
一方、「新聞・雑誌」の回答割合の推移は、2009年度調査29.5%→2013年度調査21.0%→2018年度調査16.7%→今回調査15.6%と減少傾向となっています。

こうした状況を考えると、今後もパソコン・スマートフォン・タブレットを使用する世代が増えていくことが予測されるため、ホームページやSNSでの情報提供の充実を図ることが求められます。

また、多くの人が情報の入手先としている広報紙や情報誌、チラシといった紙媒体での情報提供は、引き続き幅広く行うことが必要となります。

そして、どんな情報を誰に届けたいのか、情報提供の対象者や目的を明確にして、広報媒体を選択することにより福祉情報へのアクセシビリティを高め、情報を受け取る側に合わせた情報提供に取り組む必要があります。

【福祉に関する情報の入手先（付問12-1）】



5 福祉員の認知度と期待される役割

地域福祉を進めるうえで地域住民にとって身近な存在となる役割が期待される福祉員の認知をたずねたところ（問15）、「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった」が5割弱（48.2%）、「名前も活動内容も知らなかった」が3割強（34.2%）、「名前も活動内容もよく知っていた」が約1割5分（14.6%）となり、その存在が依然として十分に理解されていない状況にあります。

これまでの調査の推移を見ると、「名前も活動内容もよく知っていた」は、2009年度調査15.7%→2013年度調査18.4%→2018年度調査16.4%→今回調査14.6%となっています。「名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」は2008年調査から今回調査まで順に45.5%→42.8%→44.0%→48.2%、「名前も活動内容も知らなかった」は同様に38.8%→34.4%→32.4%→34.2%となっています。

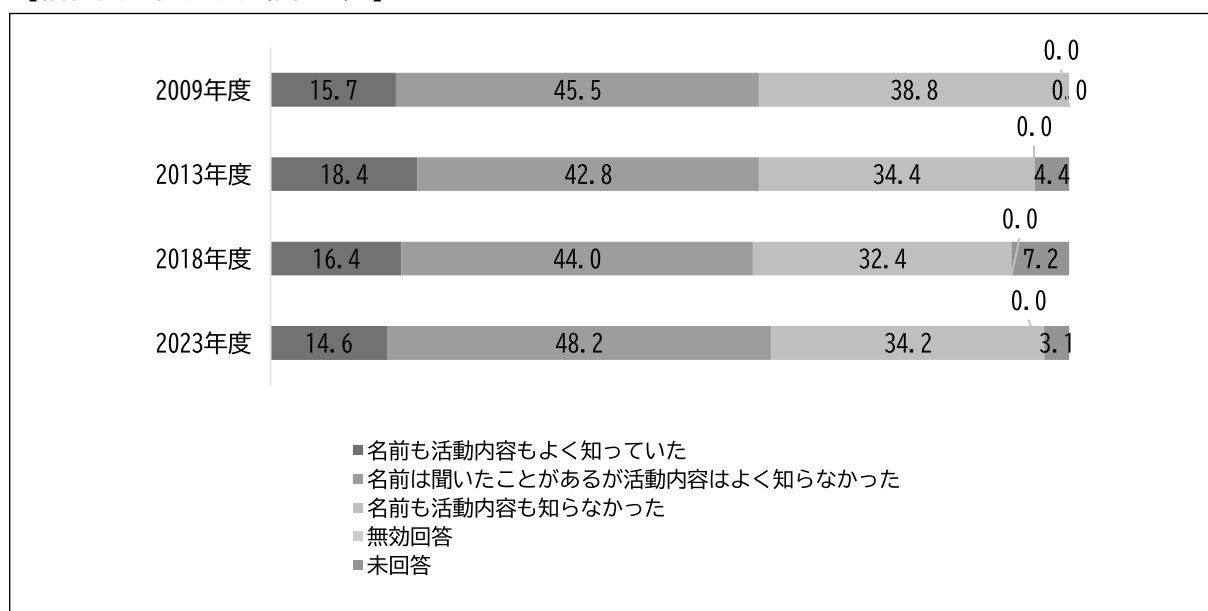
また、福祉員を「知っている」または「名前を聞いたことがある」と回答した人に、福祉員との関わりをたずねたところ（付問15-1）、約6割（60.1%）の人が「関わったことがない」と回答しており、前回の2018年度調査52.3%と比べると増加しています。「訪問を受けたことがある」と回答した人の割合（14.2%）は、前回調査（12.4%）から微増しています。

こうした背景には、今回の調査ではコロナ禍により住民の交流や福祉員の活動も制限等の影響を受けていた状況が考えられ、地域住民が福祉員の活動を知る機会や地域の中の行事等で関わる機会が減少した可能性があります。その一方で、コロナ禍において、改めて地域のつながりを大切にする中で、見守りを必要とする人を中心として福祉員の訪問活動がわずかではありますが、増えた状況が考えられます。

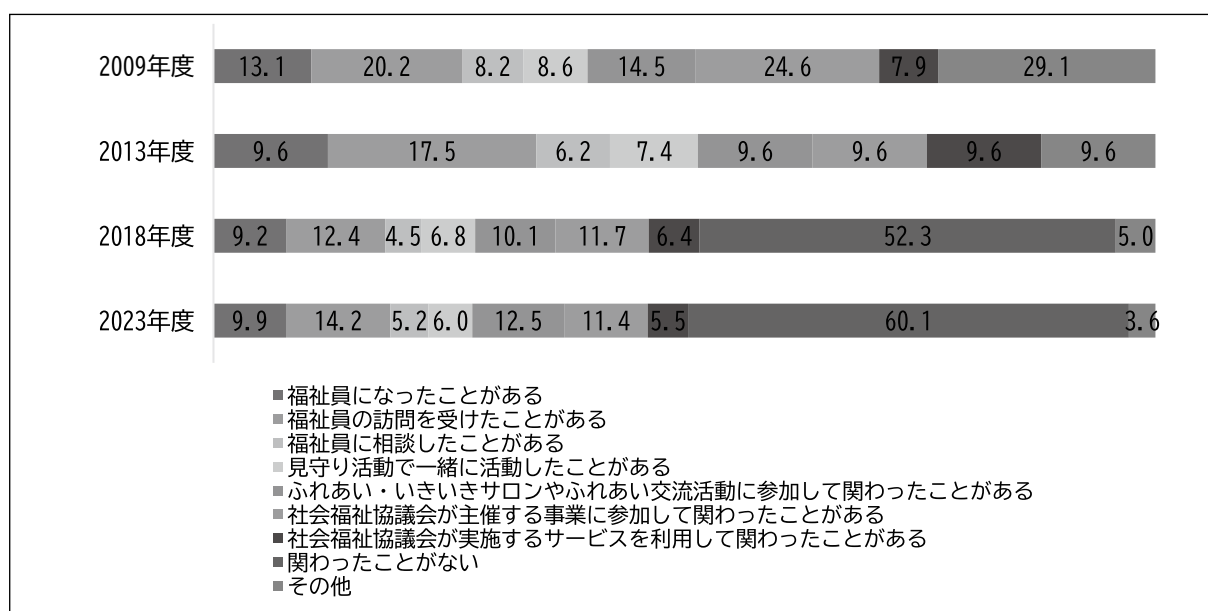
今後、福祉員に期待する役割について複数回答でたずねたところ（問16）、「ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人への声かけや見守り活動」が約7割（71.5%）でした。次いで、「福祉に関する情報の提供」約4割5分（44.9%）、「ちょっとした困りごとの相談相手」が4割弱（38.2%）となっています。こうした回答割合の傾向は、これまで3回の調査と比べても大きな変化はありませんでした。

このような福祉員の役割に対して、大きな期待が寄せられていることから、コロナ後の福祉員活動を再開していく中で、改めて役割や活動の仕方の再確認、より効果的な活動につなげていくための民生委員・児童委員、自治会長・町内会長との連携など地域に状況の合わせた活動を図っていくことが必要となります。

【福祉員の認知度（問15）】

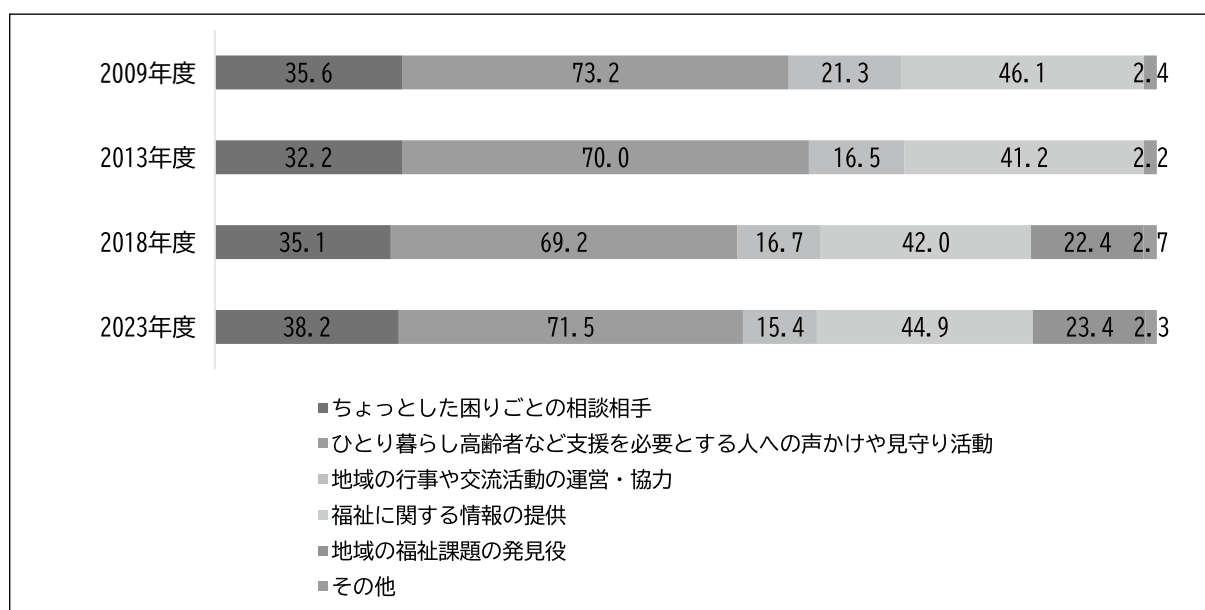


【福祉員との関わり（付問15-1）】



※ 「関わったことがない」の選択肢は2018年度から選択肢追加

【福祉員に期待する役割（問16）】



※ 「地域の福祉課題の発見役」の選択肢は2018年調査から追加。

6 災害に備える住民の意識を活かした日頃の地域福祉活動

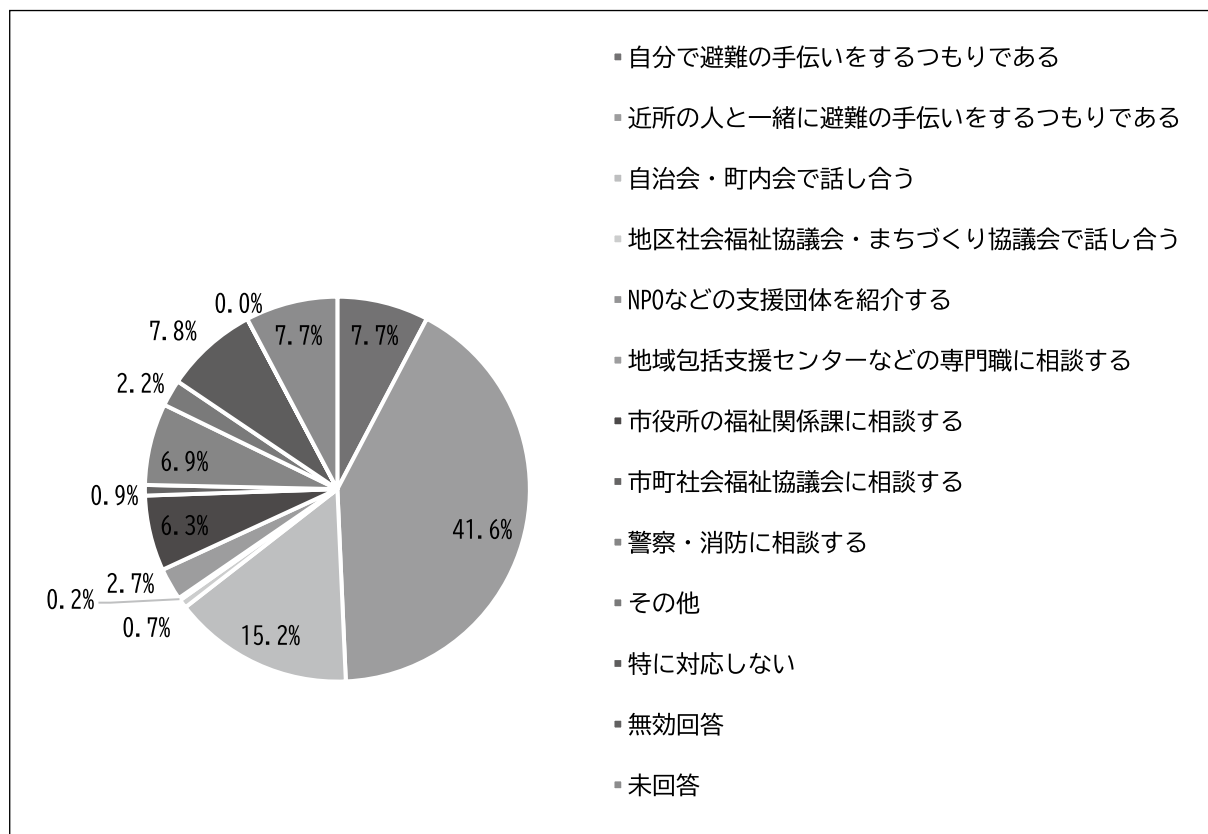
災害時に避難することが難しいと思われる一人暮らしの高齢者に対する取組についてたずねたところ（問18）、「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」が約4割（41.6%）でした。次いで、「自治会・町内会で話し合う」（15.2%）、「自分で避難の手伝いをするつもりである」（7.7%）となりました。一方で、「特に対応しない」という人は7.8%でした。

これらの項目を前回の2018年度調査と比較すると、「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」は、前回調査41.8%→今回調査41.6%でほぼ変化はありませんでした。「自治会・町内会で話し合う」は、前回調査19.0%→今回調査15.2%で低下しています。これはコロナ禍の間に自治会・町内会の会合が中止されるなどの影響を受けたことが考えられます。「自分で避難の手伝いをするつもりである」は、前回調査6.9%→今回調査7.7%でわずかに上昇しました。「特に対応しない」は、前回調査5.0%→今回調査7.8%でこちらもわずかに上昇しました。

また、今回調査の結果について、「自分で避難の手伝いをするつもりである」（7.7%）、「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」（41.6%）の2つの回答を『自ら行動する』という内容として合計すると約5割（49.3%）となりました。また、「自治会・町内会で話し合う」（15.2%）、「地区社協・まちづくり協議会で話し合う」（0.7%）の2つの回答を『地域で話し合う』という内容として合計すると1割5分強（15.9%）となりました。『自ら行動する』『地域で話し合う』の2つの内容を合計すると6割5分（65.2%）の人が災害時には地域で協力して避難活動に取り組む意識があると考えられます。

こうした意識を実際の取組につなげていくためには、近年、頻発化している災害については、誰にもかかわるテーマであり、理解や共感を得られやすいことから住民座談会の開催や個別避難計画の策定等の『地域で話し合う』取組を進め、自主防災組織等による防災訓練、避難訓練の実施により『自ら行動する』力を高めていく取組が重要となります。また、日頃の見守りや支え合い、話し合いの活動が災害時にも活かされるという意識を持って取り組むことが必要となります。

【災害時に一人で避難することが難しいと思われる一人暮らし高齢者に対する取組（問18）】



7 寄附意識を高めるための寄附への理解と共感

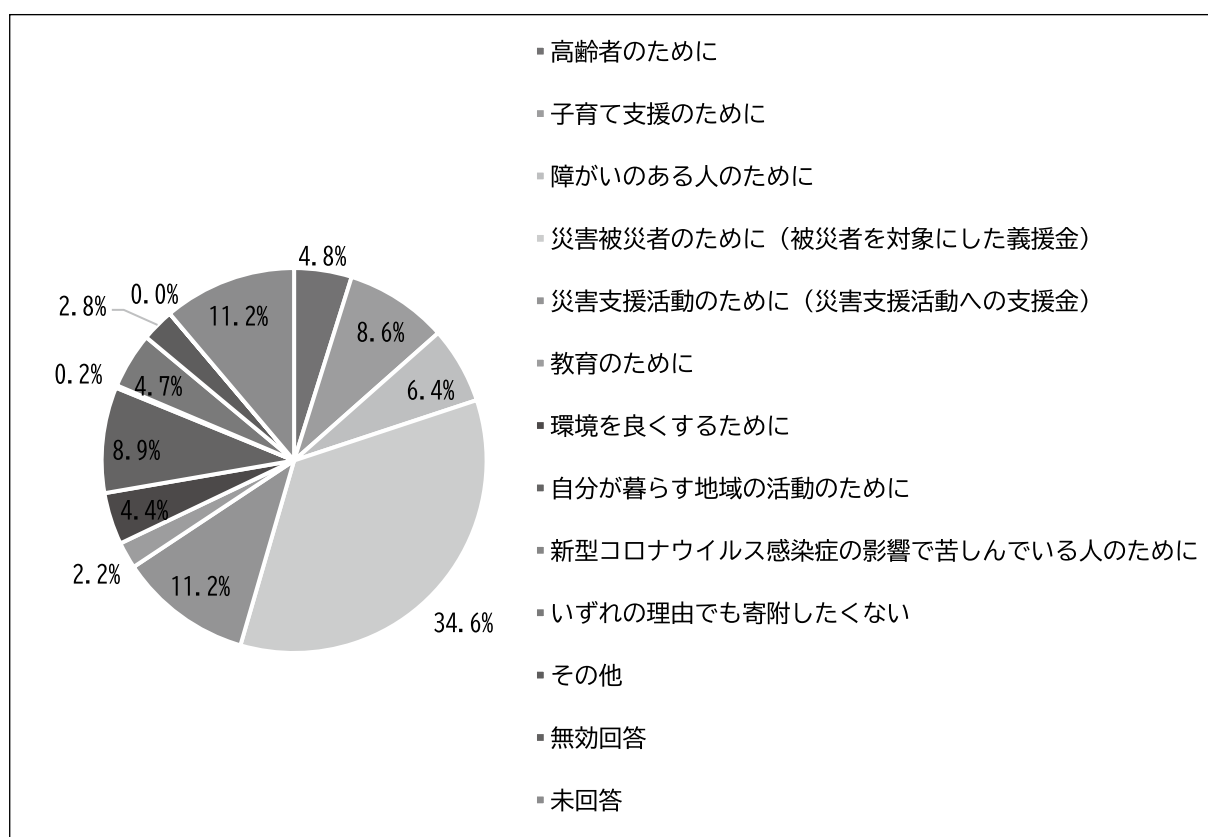
今後寄附したい内容で最も重要視する内容についてたずねたところ（問21）、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」が約3割5分（34.6%）となっています。次いで、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」が約1割（11.2%）となっています。これらの選択肢を合わせると「災害支援のために」の回答割合は約4割5分（45.8%）となっています。

今回の調査で選択肢を追加した「新型コロナウイルス感染症で苦しんでいる人のために」は0.2%にとどまっています。これは、行政等によって様々な給付金や貸付金等の施策が展開されており、寄附で対応するというよりは、こうした施策で対応する意識が高かったことが推測されます。

今回の調査結果について、2009年度調査、2013年度調査で実施しており、選択肢に変更がありますが、参考として比較すると、「災害支援のために」は、2009年度調査28.0%→2013年度調査41.3%→今回調査45.8%と災害の頻発化もあり、増加傾向となっています。「自分が暮らす地域の活動のために」は、2009年度調査18.9%→2013年度調査13.5%→今回調査8.9%と回答割合が低下しています。

こうした背景には、「困っている人を救いたい」「課題解決を応援したい」というような寄附金の使途が分かりやすく、共感できる内容に寄附が集まっていることが考えられます。この意識を踏まえて寄附行動につなげていくは、理解と共感を意識して、寄附が地域生活課題や支援を必要とする人・世帯が抱える課題の解決につながることを具体的に提案していくことが求められます。

【今後寄附したい内容（問21）】



第4章 県民福祉意識の現状

1 調査結果のまとめ

九州大学大学院人間環境学研究院 教授 高野和良

2009年度に第1回調査が実施された山口県「福祉に関する県民意識調査」（以下、県民福祉意識調査と省略）は、ほぼ5年ごとに継続され、今回で4回目の実施となりました。継続調査の目的のひとつは、県民意識の経年変化を把握することにあります。そのため、今回使用した調査票も、過去3回の調査結果と比較できるように、基本的に質問項目を共通としました。このことによって、山口県民の福祉意識や地域福祉活動等の現状と変化を捉えることが可能となり、県域を対象とした地域福祉活動計画策定にあたっての貴重な基礎資料となっています。

「第3章 考察と課題」では、今回調査から得られた多くの知見や課題が示されています。そこで本章では、まず本節で過去の調査結果と比較しながら、今回調査で認められた特徴的な結果を提示します。さらに、県民福祉意識調査では、調査実施時点の社会状況などをもとに追加質問を設けており、今回は災害と寄附に関する意識や態度を確認する質問を追加しています。災害関係は前回2018年調査で、寄附関係は前々回2013年調査でも尋ねているため過去調査結果との比較も一部可能であり、次節で詳細な分析を行います。

なお、2020年初頭から続く新型コロナウイルス感染症拡大（以下、感染症拡大と省略）の影響については、新たに質問を設けるのではなく、継続質問項目である近所づきあいの状況、地域での活動参加状況などから確認することとしました。この感染症拡大は、前回調査が実施された2018年度には想定されていなかった事態でした。2020年初頭の感染確認から感染予防のために3密（密閉・密集・密接）を避けることが強く求められ、また、緊急事態宣言などによる行動自粛要請もあって、地域福祉活動の実施も大きな制限を受けました。およそ3年を経て、ようやく2023年5月には感染症法上の位置づけが変更されるなど、感染対策を継続しつつも以前の状況を取り戻すことができるようになりましたが、社会福祉施設や医療機関では依然として面会制限などが続いており、決して感染症の影響がなくなったとはいえない状況も続いています。こうした経緯を経て2023年5～6月に実施された今回の県民福祉意識調査の結果には、やはり感染症拡大の影響と思われる山口県民の意識と行動の変化が色濃く反映されているように思われます。

（1）接触をとまなう近所づきあいの敬遠傾向の広がり

そのひとつは、前回調査でも認められていた、適度に距離を置いた近所づきあいを志向する人々の増加傾向に、感染症拡大が少し拍車をかけたのではないかとことです。

まず、近所づきあいの程度（問1）を全体としてみた場合には、「お互いに訪問し合う人がいる」（18.9%）、「立ち話をする程度の人がいる」（34.2%）、「顔をあわせればあいさつをする」（37.7%）といったつきあいを持つ人が、全体の9割（90.8%）を占める結果となり、前々回調査、前回調査と比較しても大きな変化はありませんでした（91.7%

→91.9%→90.8%)。しかし、もっとも親しい近所づきあいである「お互いに訪問し合う人がいる」の割合は低下傾向にあります(26.1%→21.4%→18.9%)。「お互いに訪問し合う人がいる」ような深い近所づきあいを持つ人は高齢層の割合が高いのですが、感染症拡大予防のために互いに行き来して話すことなどを避けるよう求められるなかで、高齢層(36.2%→32.2%→27.3%)で近所づきあいを遠慮する傾向が広がったことがうかがえます。

また、近所づきあいの必要性については、全体の8割(82.5%)を超える人々が必要であると回答(問2)しています。しかし、2018年調査の前回報告書でも指摘しましたが、必要性をより強く感じている人(「そう思う」)の割合は、前々回調査、前回調査からさらに減少し(59.8%→51.0%→43.0%)、一方でより緩やかに必要性を感じている人(「まあそう思う」)の割合が増加しています(29.5%→33.6%→39.5%)。

さらに、近所づきあいを維持し、活発にするために必要なものとして、a)「自ら進んで日頃からご近所同士のつながり(あいさつ等)を持つようにこころがけること」、b)「自治会や町内会などが行う交流活動(季節行事等)に積極的に参加すること」などを挙げて賛否を尋ねました。前々回調査、前回調査と肯定層(「そう思う」と「まあそう思う」の合計)の割合を比較すると、a)は前回調査からわずかに小さくなりましたが、前々回よりは大きくなり(81.6%→94.5%→92.8%)、b)は一貫して減少傾向にあります(79.2%→76.5%→72.2%)。さらに、より積極的に肯定する人(「そう思う」)をみると、b)での減少傾向が目立ちます(39.9%→36.0%→30.4%)。近所づきあいを維持し、活発にするために、近所同士で自らあいさつをこころがけるといった関係は変わらず必要とされる一方で、より負担が大きいともいえる自治会・町内会の交流活動への参加までは必要とは思わない人々が増えつつあったなかで、感染症拡大予防のために活動機会を減らさざるを得なくなったことも手伝って、こうした傾向が広がったとも考えられます。

このように、全体としてみれば山口県の人々の近隣関係は維持され、その必要性も共有されています。しかし、適度に距離を置く近所づきあいを志向する人々の割合は増えつつあります。もちろん、こうした傾向は、感染症拡大という特別な環境変化によって一時的に促されたものかもしれませんので、地域での交流活動などが再開されるなかで抑制されていく可能性もあります。いずれにせよ、今後の推移を確認する必要があります。

(2) 地域での活動参加への感染症拡大の影響

仕事以外の地域での活動に現在参加しているとした人(問5)の割合は、前々回調査、前回調査と比較して大きな変化は認められませんでした(32.4%→30.1%→31.4%)。一方で、地域での活動に参加していない人に、今後の活動参加意向を尋ねたところ、肯定層(「そう思う」と「まあそう思う」の合計)の割合は、約2割5分(24.3%)となり、前々回調査、前回調査と比較すると、肯定層の割合が低下傾向にあることが分かりました(38.1%→29.0%→24.3%)。

このように、現在活動している人の割合は、感染症拡大の時期を経ても大きな変化はありませんでした。今回調査が実施された2023年5月には感染症法上の位置づけが変更されるなど、地域での活動もコロナ禍以前の状態に戻りつつあったといえます。このことを考

えれば、地域での活動を行っていた人々は、感染症拡大によって仮に活動を中止せざるを得なかったとしても、感染症拡大以前と変わらず活動を継続し、あるいは再開されていることがうかがえます。ところが、活動をしたことのない人に対して、今後の地域での活動への参加意欲を尋ねたところ、肯定層（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は、前々回調査、前回調査と比較して減少し、活動参加意欲は減退傾向にあります（38.1%→29.0%→24.3%）。その一方で、否定層（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は増加し（27.9%→31.3%→34.5%）、判断保留層（「どちらともいえない」）も微増しています（34.1%→36.7%→38.7%）。

感染症拡大が地域での活動参加に及ぼした影響は、現活動者と活動未経験者では異なるといえるのかもしれませんが、あくまでも推測ですが、現活動者は感染症拡大によって活動休止などを余儀なくされたとしても、活動を再開しつつある一方で、活動未経験者の地域での活動への関心や参加意欲は、感染症拡大によってさらに弱くなったといえそうです。活動未経験者の活動参加意欲の減退は、それが活動参加にともなう感染懸念に起因するものであれば、感染拡大が落ち着くにつれて回復することが見込まれますが、今後の動きに注意が必要です。

（3）地域での活動とともにある地域福祉活動

以上のような適度に距離を置いた近所づきあいを志向する人々の割合の増加や、地域活動に参加したことのない人々の参加意欲の低下が地域福祉活動に与える影響を中長期的にみた場合、どのようなことが考えられるでしょうか。

山口県でも地域福祉活動の担い手不足が指摘されています。地域福祉活動が、地域社会で取り込まれている様々な活動のひとつであるとすれば、地域社会全体での近所づきあいの弱体化や地域活動への参加意欲の低下は、地域福祉活動自体の停滞にもつながる可能性があるともいえます。例えば、地域福祉活動の担い手として大きな役割を果たしている民生委員・児童委員は、婦人会や町内会・自治会などで活動を続けるなかで地域福祉活動とのつながりを得て、推薦される場合も少なくありません。このように地域福祉活動の担い手は、多様な地域活動に参加している人々がお互いに関係を持つことで活動に参加していく傾向が認められます。このため、地域福祉活動と地域活動への参加とは、一体として考えることが必要です。

今回の調査結果は、こうした両者の関係が少し弱まりつつある可能性を示唆しています。地域社会で様々な地域活動が数多く取り込まれ、多くの人々が活動に関心を持ち、担い手同士の関係が育まれていけば、結果として地域福祉活動の担い手は多くなり、活動も活発になるのではないのでしょうか。このことは地域福祉活動の担い手だけを増やそうとするのではなく、地域社会で様々な地域活動が行われることで、地域福祉活動の担い手も増えていくという方向を目指す必要性を示しています。地域活動と地域福祉活動との関係をふまえ地域での活動に多くの人々が参加しやすい環境を設けていくことを通じて、中長期的な地域福祉活動の維持を考えていくことも必要だと思われれます。

2 災害時の備えについて

九州大学大学院人間環境学府 修士課程 山田真理子

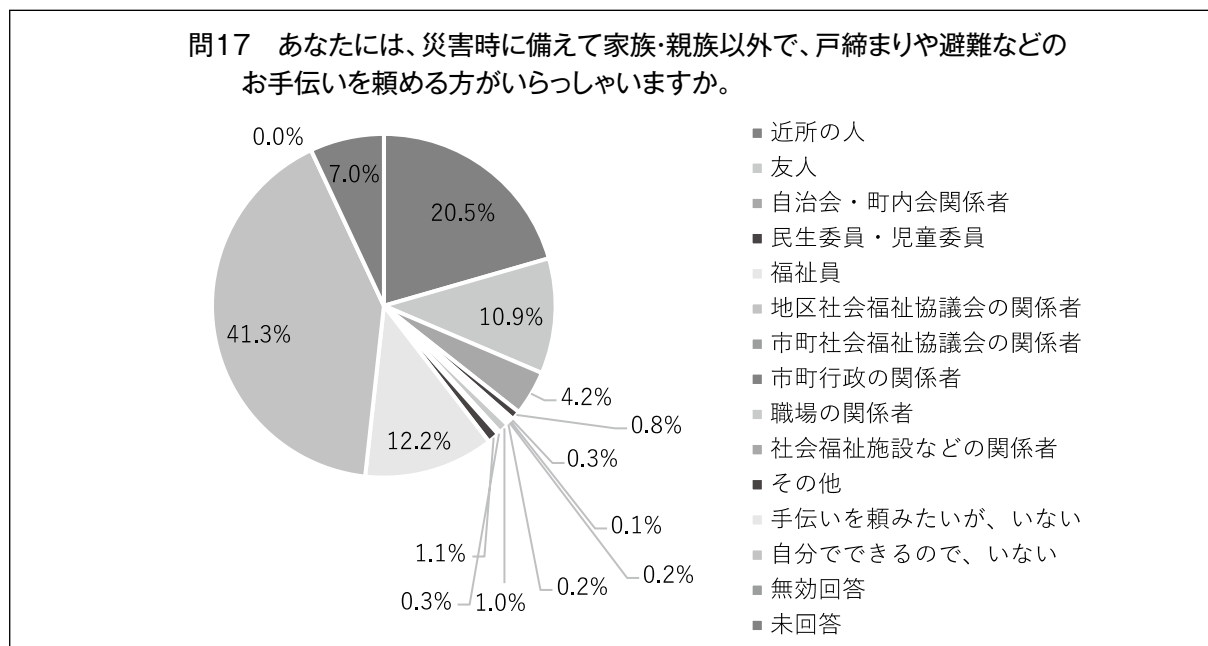
(1) はじめに

近年、日本では大規模な災害が頻発する中で、災害時に自力で避難行動をとることが難しいとされる高齢者や子ども、障がい者、外国人などへの避難支援の必要性が広く認知されるようになってきました。そして、災害時の避難においては、地域社会の果たす役割が重要と考えられています。

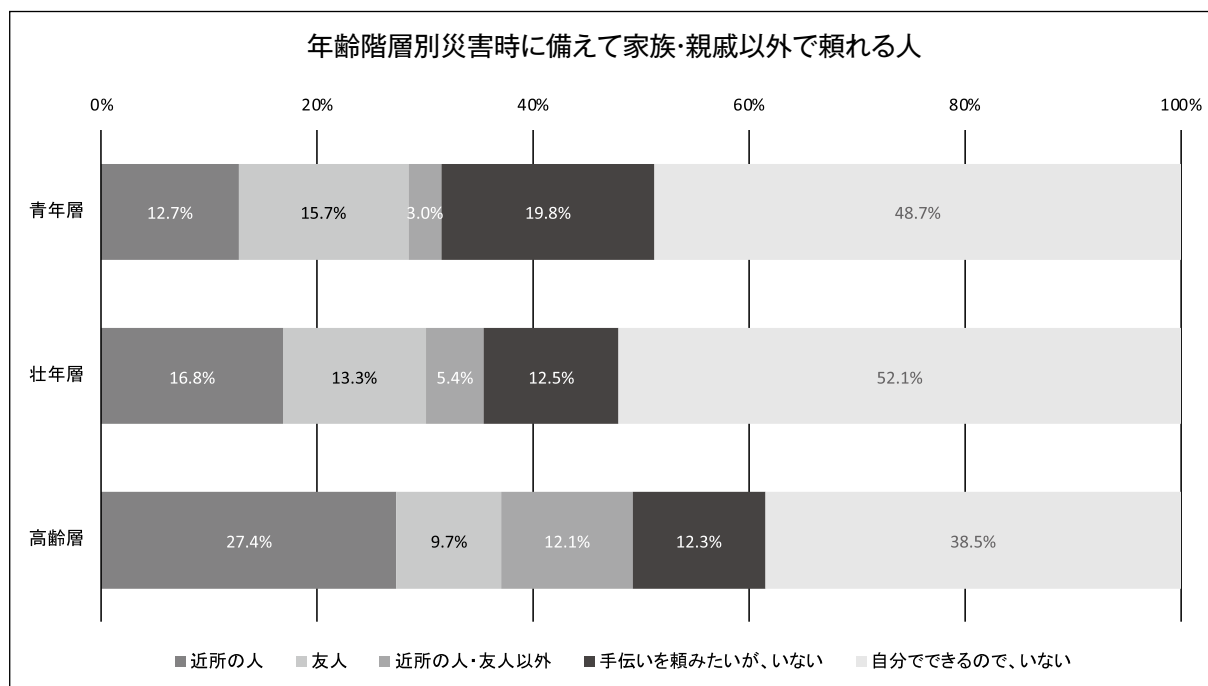
今回の県民意識調査では、災害時の備えについての質問が設けられています。質問は大きく3つの項目からなっており、1つ目は災害時に備えて家族・親族以外で、避難などのお手伝いを頼める方がいるかという質問です。2つ目は、地域に「災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らしの高齢者」がいる場合、どのような取り組みをするかという質問です。3つ目は、災害ボランティア活動への協力に関する質問です。

以下では、これらの質問に対する回答について、近所づきあいの程度との関連を中心に、前回調査の結果と比較しながら分析していきます。

(2) 家族・親族以外に頼れる人



災害時に備えて家族・親族以外で戸締りや避難などのお手伝いを頼める方がいるかを尋ねました。「近所の人」が約2割(20.5%)、「友人」が約1割(10.9%)となりました。一方で、「自分でできるので、いない」という人は約4割(41.3%)という結果でした。前回調査と比較すると、「近所の人」の割合が減少し(29.7%→20.5%)、「自分でできるので、いない」の割合が増加しています(33.4%→41.3%)。



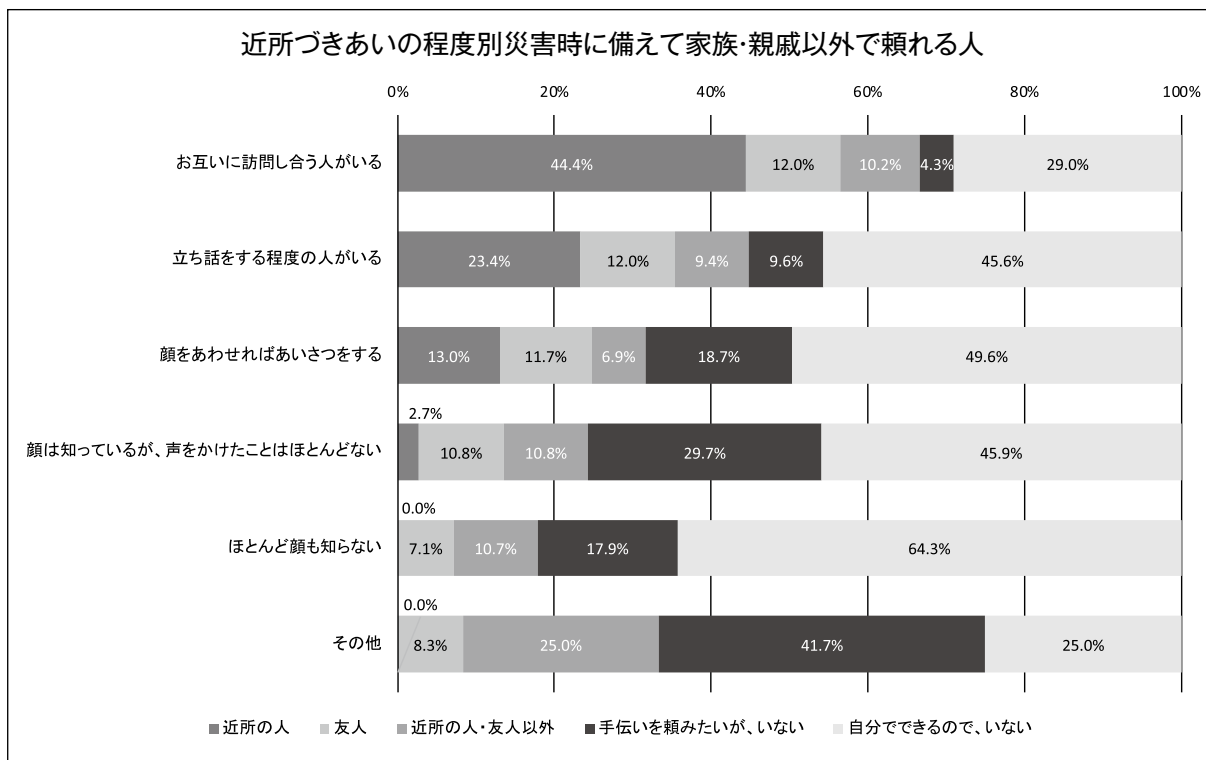
年齢階層別災害時に備えて家族・親戚以外で頼れる人の内訳

| | 青年層 | | 壮年層 | | 高齢層 | |
|---------------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 度数 | パーセント | 度数 | パーセント | 度数 | パーセント |
| 自治会・町内会関係者 | 1 | 0.5% | 13 | 1.9% | 64 | 6.4% |
| 民生委員・児童委員 | 0 | 0.0% | 2 | 0.3% | 14 | 1.4% |
| 福祉員 | 1 | 0.5% | 2 | 0.3% | 2 | 0.2% |
| 地区社会福祉協議会の関係者 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 2 | 0.2% |
| 市町社会福祉協議会の関係者 | 0 | 0.0% | 1 | 0.1% | 2 | 0.2% |
| 市町行政の関係者 | 0 | 0.0% | 1 | 0.1% | 3 | 0.3% |
| 職場の関係者 | 3 | 1.4% | 10 | 1.5% | 6 | 0.6% |
| 社会福祉施設などの関係者 | 0 | 0.0% | 1 | 0.1% | 4 | 0.4% |
| その他 | 1 | 0.5% | 5 | 0.7% | 15 | 1.5% |

また、手伝いを必要とする人の中で誰かに頼むことができる人は8割弱（76.4%）、「手伝いを頼みたいが、いない」の回答は手伝いを必要とする人の中で2割強（23.6%）となり、前回調査とほぼ同じ割合でした。

以下では、前回調査報告書と同様に、「自治会・町内会関係者」、「民生委員・児童委員」、「福祉員」、「地区社会福祉協議会の関係者」、「市町社会福祉協議会の関係者」、「市町行政の関係者」、「職場の関係者」、「社会福祉施設などの関係者」、「その他」の選択肢を＜近所の人・友人以外＞として合併して分析を行います。

災害時に備えて家族・親戚以外に頼れる人について、回答者の年齢階層別にみると、年齢が高いほど、「近所の人」（青年層12.7%、壮年層16.8%、高齢層27.4%）の割合が大きくなっています。また、＜近所の人・友人以外＞（青年層3.0%、壮年層5.4%、高齢層12.1%）では、青年層、壮年層の割合はわずかですが、高齢層では1割強（12.1%）となりました。



青年層では、「友人」（15.7%）が災害時に頼れる人として最も選択されています。また、「手伝いを頼みたいが、いない」と回答した人は約2割（19.8%）を占めており、他の年齢層と比較して最多となっていることに注意が必要です。

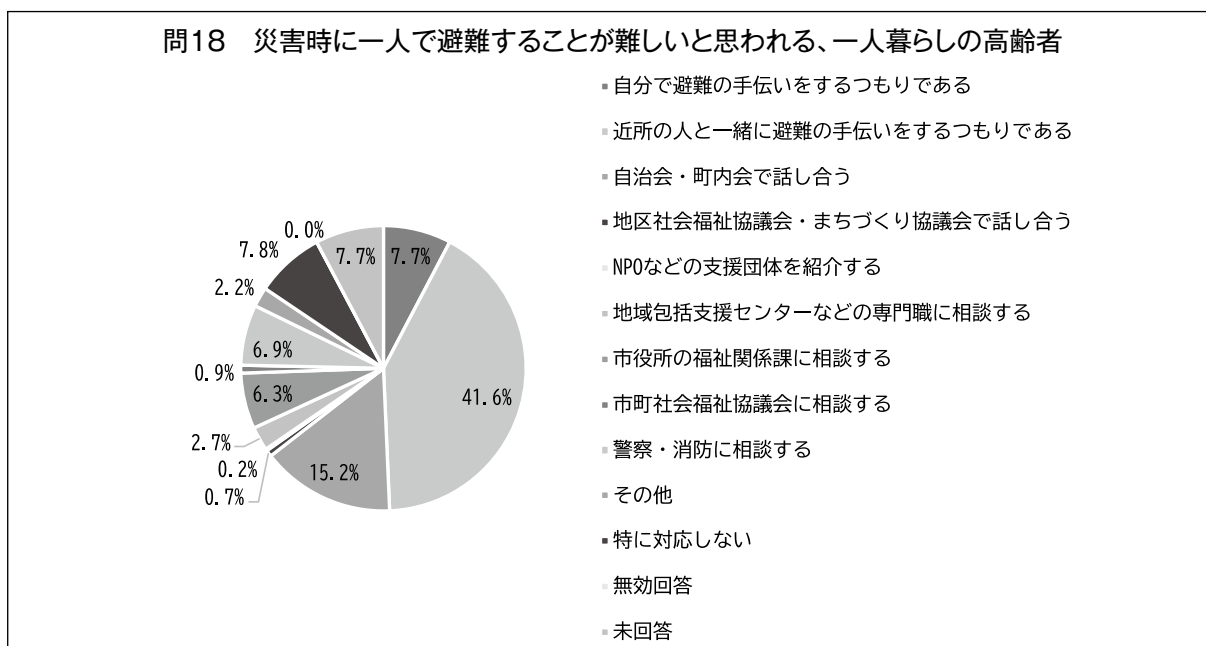
高齢層において、前回調査と比較すると、前回調査では約4割（39.2%）が「近所の人」を頼れる人として回答していますが、今回の調査では約3割（27.4%）に低下しました。一方、「自分でできるので、いない」との回答は、前回調査では約3割（30.2%）でしたが、今回の調査では4割弱（38.5%）まで増加しています。

また、＜近所の人・友人以外＞について年齢階層別にその内訳をみると、その割合はいずれもわずかですが、高齢層では「自治会・町内会関係者」（6.4%）や「民生委員・児童委員」（1.4%）が上位に上がり、壮年層では「自治会・町内会関係者」（1.9%）や「職場の関係者」（1.5%）が上位に上がりました。

災害時に備えて家族・親族以外に頼れる人について、近所づきあいの程度別にみると、前回調査と同様に、近所づきあいの程度が深い層ほど「近所の人」を回答する割合が高くなっています。また、「手伝いを頼みたいが、いない」の回答は、近所づきあいの程度が浅い層ほど割合が高くなりました。「友人」や＜近所の人・友人以外＞の割合については、近所づきあいの程度に応じた顕著な相違は見られませんでした。

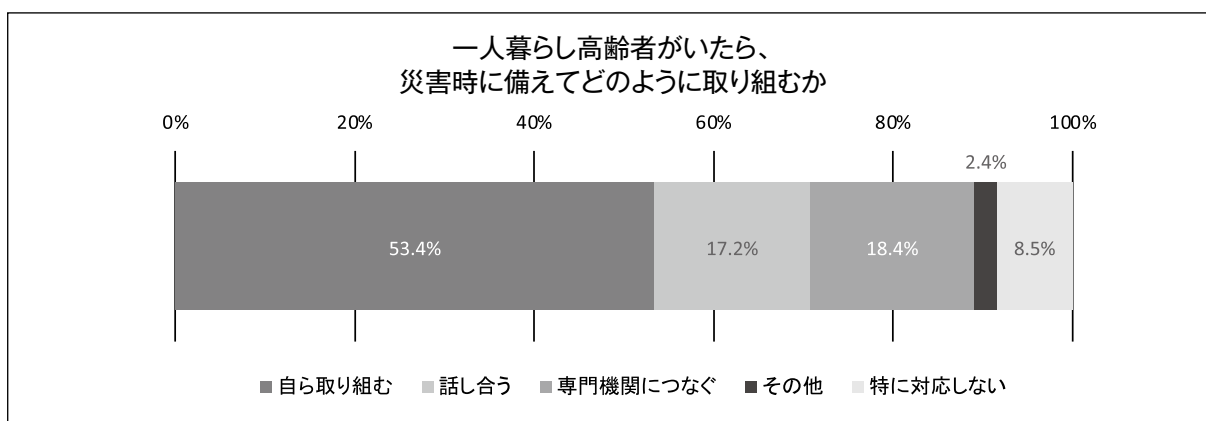
この結果からは、平常時からの近所づきあいが、災害時の助け合いにおいて重要な役割を果たしていることがうかがえます。

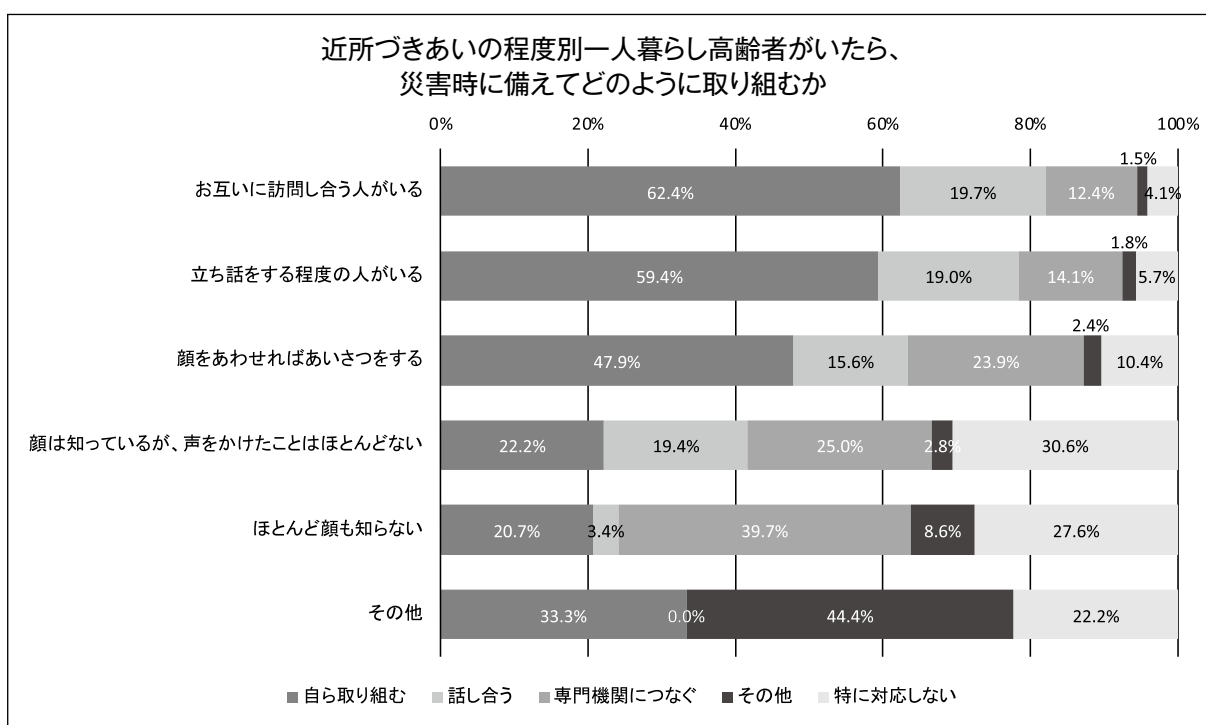
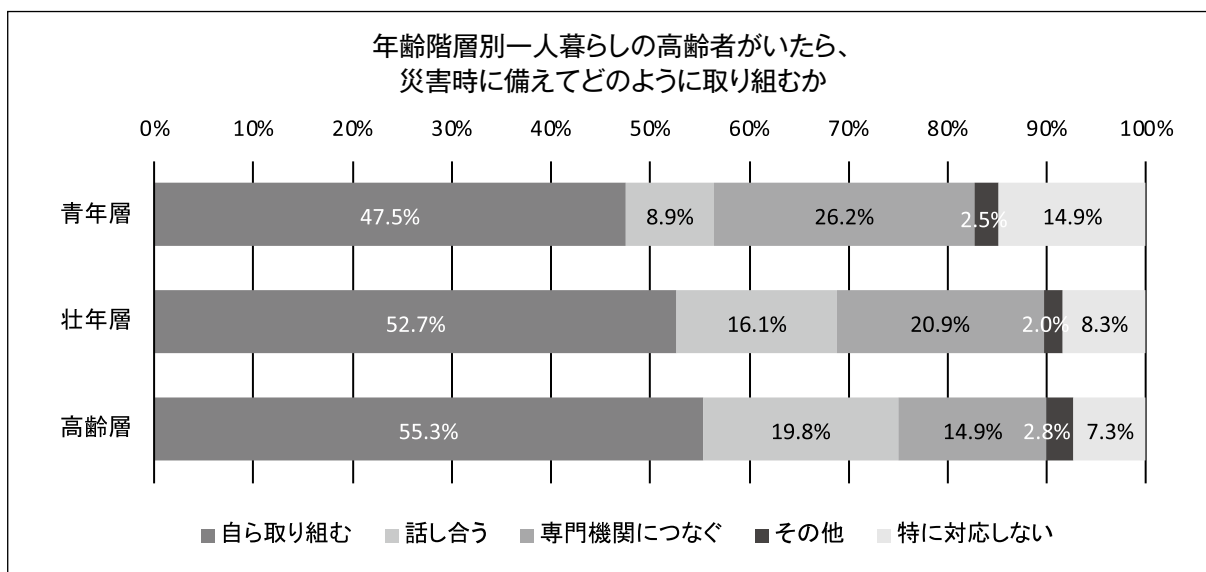
(3) 地域の一人暮らし高齢者への取組



地域に「災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らしの高齢者」がいる場合にどのように取り組むかを尋ねました。「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」が約4割（41.6%）、「自治会・町内会で話し合う」が約1割5分（15.2%）という結果になりました。「特に対応しない」の回答は7.8%でした。

前回調査報告書と同様に、選択肢を合併し、回答を<自ら取り組む>、<話し合う>、<専門機関につなぐ>、「その他」、「特に対応しない」の5つに分類しました。選択肢の合併は、「自分で避難の手伝いをするつもりである」と「近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである」の回答を合併し<自ら取り組む>、「自治会、町内会で話し合う」と「地区社会福祉協議会・まちづくり協議会で話し合う」の回答を合併し<話し合う>、「NPOなどの支援団体を紹介する」、「地域包括支援センターなどの専門職に相談する」、「市役所の福祉関係課に相談する」、「市町社会福祉協議会に相談する」、「警察・消防に相談する」の回答を合併し<専門機関につなぐ>としました。





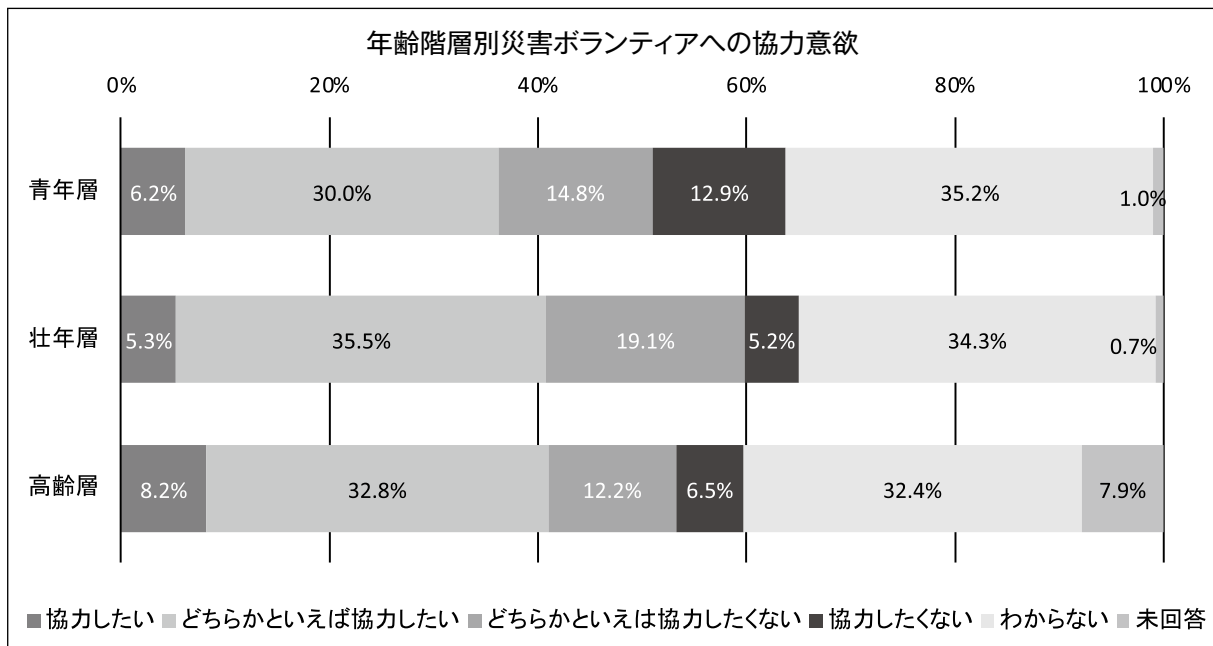
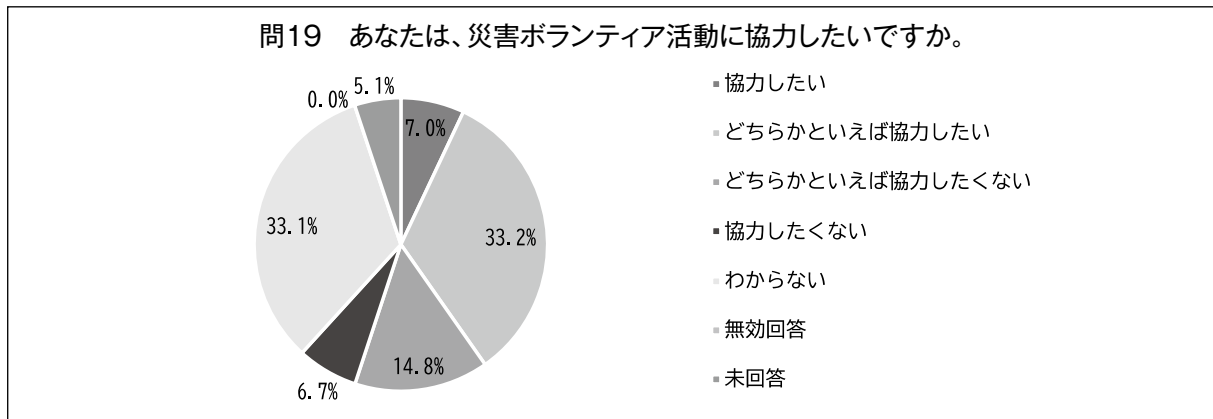
避難の支援に＜自ら取り組む＞人の割合は約5割（53.4%）、避難について＜話し合う＞（17.2%）人と、避難が困難な高齢者を＜専門機関につなぐ＞（18.4%）人の割合は2割弱となりました。これらの割合は、前回調査とほぼ同じでした。

災害時の一人暮らし高齢者への取り組みについて年齢階層別にみると、年齢層が高くなるほど＜自ら取り組む＞や＜話し合う＞が多く回答されています、一方で、＜専門機関につなぐ＞や「特に対応しない」の回答は、低い年齢層ほど割合が高くなりました。

災害時の一人暮らし高齢者への取組について、近所づきあいの程度別に見ると、近所づきあいの程度が深い層ほど＜自ら取り組む＞の割合が高くなっています。前回調査では、＜話し合う＞の回答についても、近所づきあいの程度が深い層ほど割合が高くなる傾向がありましたが、今回の調査ではそうした傾向は顕著ではありませんでした。

一方、＜専門機関につなぐ＞や「特に対応しない」の回答は近所づきあいの程度が浅い層ほど多く回答されていることがわかります。近所づきあいの程度が深い人ほど、一人暮らしの高齢者に対して、より住民主体的な取り組みを志向していることがうかがえます。

(4) 災害ボランティア活動への参加

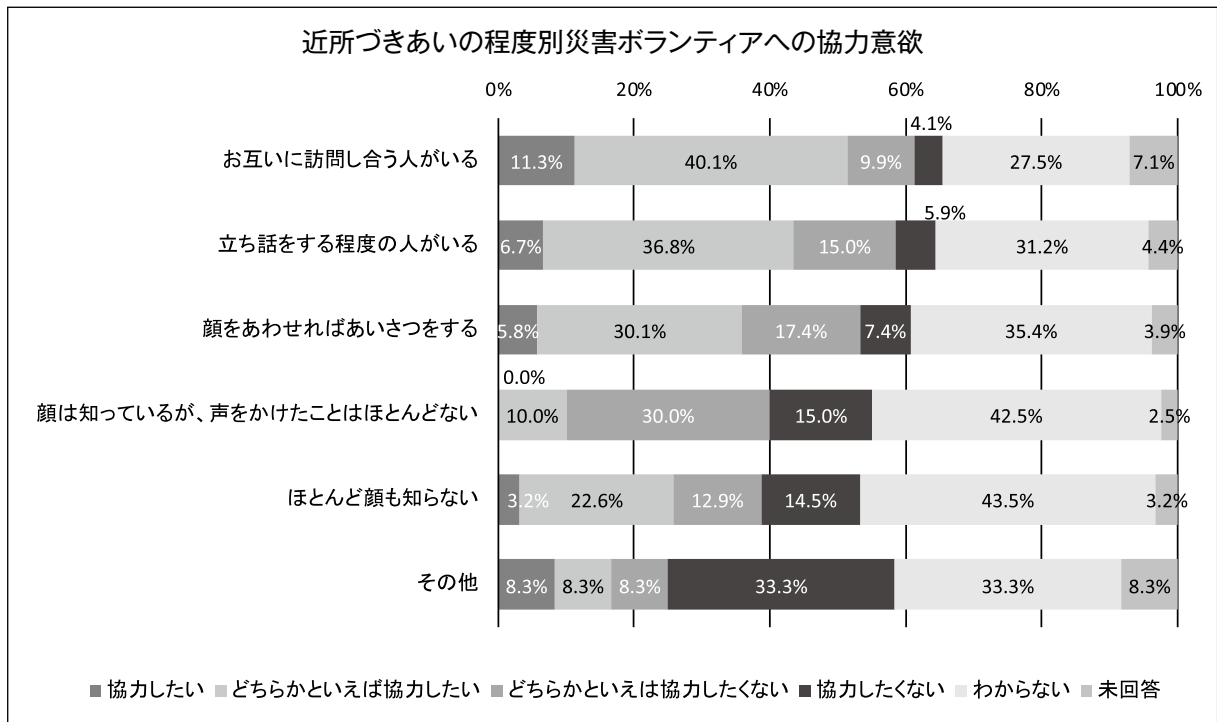


災害ボランティア活動に協力したいかについての回答をみると、肯定的な回答（「協力したい」と「どちらかといえば協力したい」との合計）は約4割（40.2%）、否定的な回答（「協力したくない」と「どちらかといえば協力したくない」との合計）は約2割（21.5%）であり、協力意欲のある人の方が多くなっています。ただし、「協力したい」というより意欲の高い回答の割合は1割に満たない（7.0%）という結果でした。

災害ボランティア活動に協力したいかについて年齢階層別にみると、肯定的な回答（「協力したい」と「どちらかといえば協力したい」との合計）はすべての年齢層において4割程度となりました（青年層36.2%、壮年層40.8%、高齢層41.0%）。「協力したくない」との回答は、壮年層（5.2%）、高齢層（6.5%）で約0.5割であったの対し、青年層では約1割（12.9%）

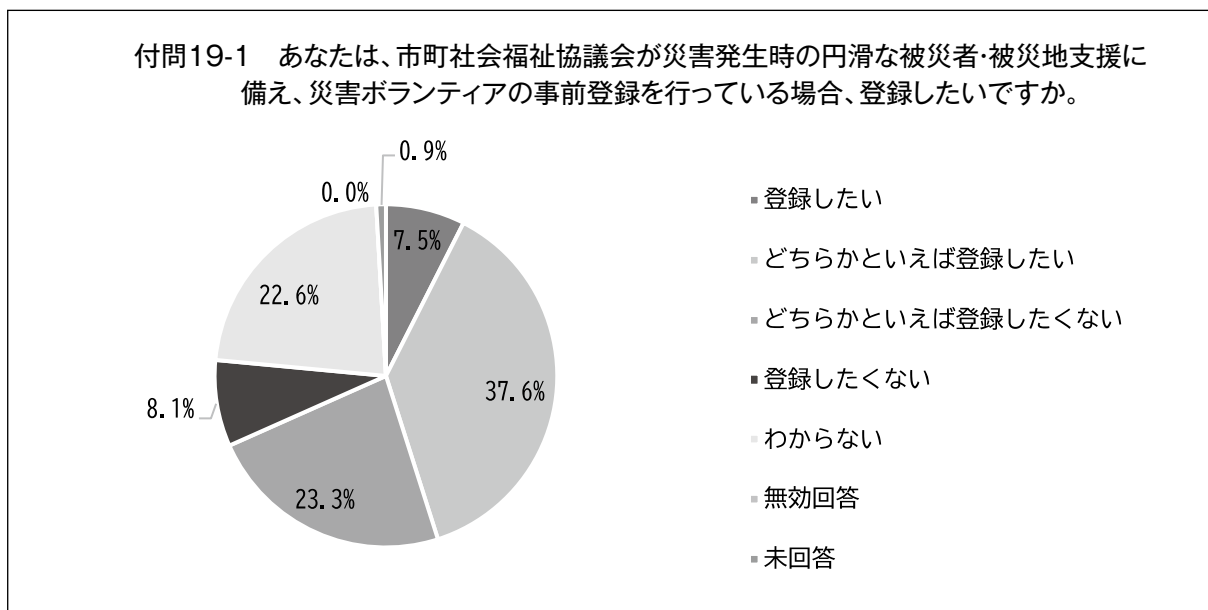
という結果になりました。

また、「わからない」との回答がすべての年齢層において3割を超えていることにも注意が必要です（青年層35.2%、壮年層34.3%、高齢層32.4%）。

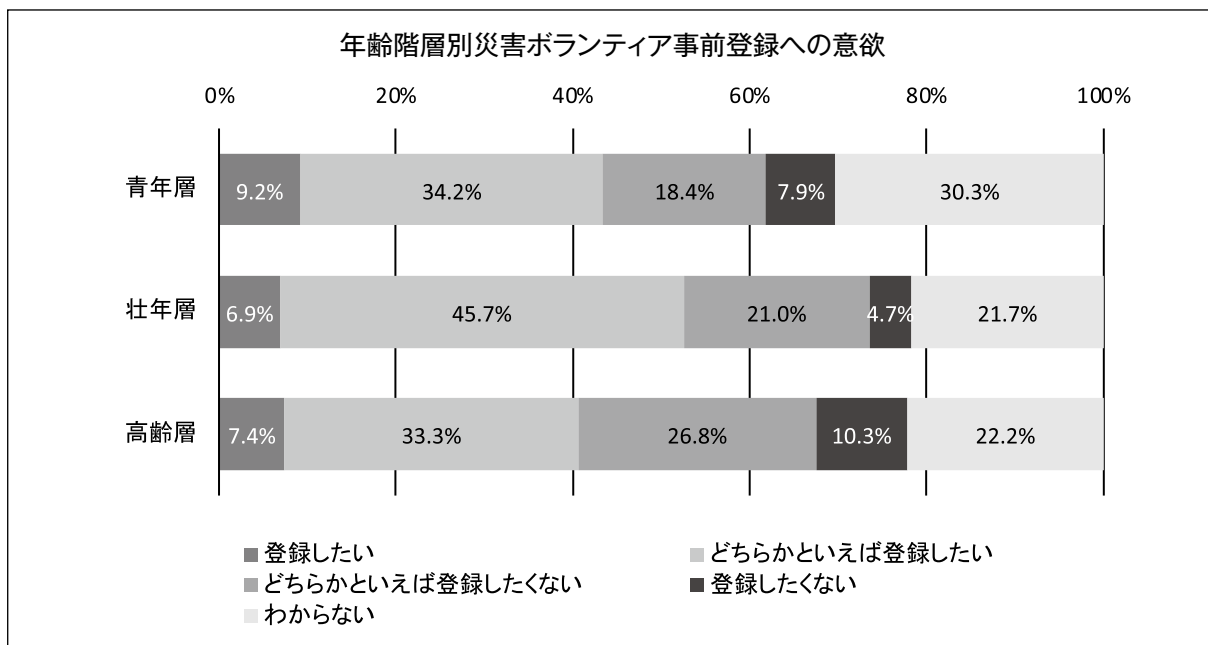


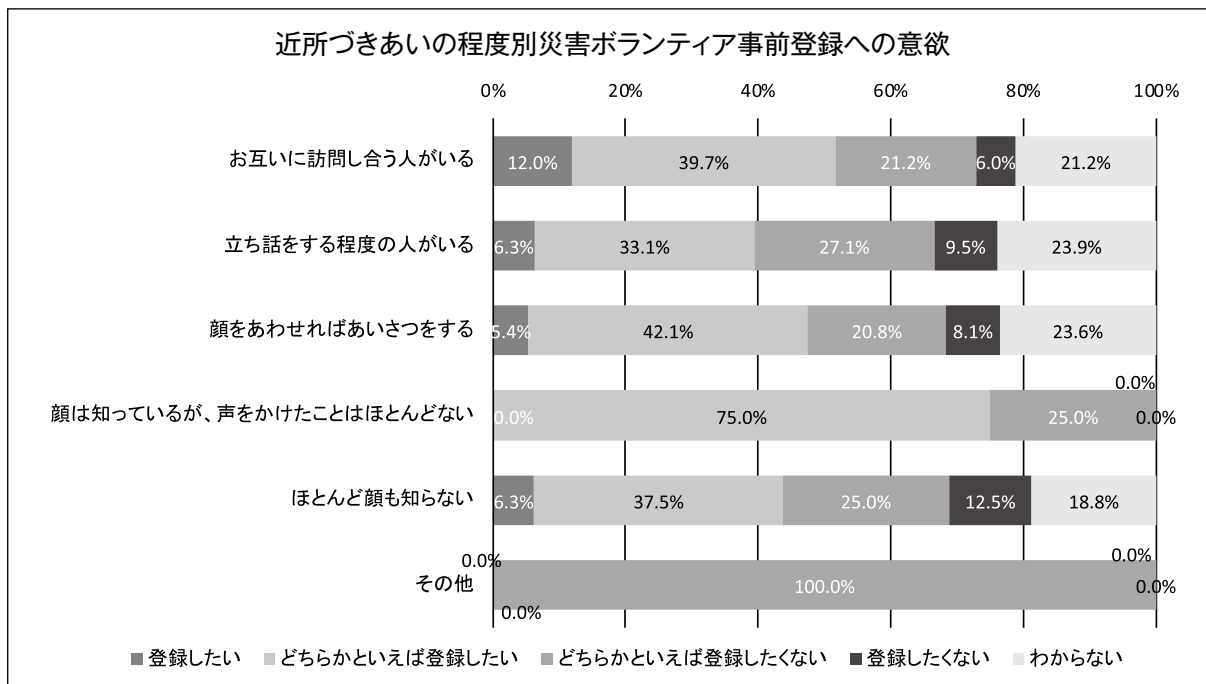
災害ボランティアに協力したいかについて近所づきあいの程度別にみると、大きな傾向としては、頻繁に近所づきあいをしている人ほど協力意欲が高いことがわかります。肯定層の割合は、「お互いに訪問し合う人がいる」では51.4%、「立ち話をする程度の人がある」では43.5%、「顔をあわせればあいさつをする」では35.9%、「顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない」では10.0%でした。一方、「ほとんど顔も知らない」人に占める肯定層の割合は25.8%でした。最も近所づきあいの程度が浅いとされる「ほとんど顔も知らない」層においても、災害ボランティアへ協力したいと思う人が一定数存在していることは注目に値するでしょう。

(5) 災害ボランティアへの登録意欲



災害ボランティア活動に「協力したい」、「どちらかといえば協力したい」と回答した人に、市町社会福祉協議会が災害発生時の円滑な被災者・被災地支援に備え、災害ボランティアの事前登録を行っている場合、登録したいかを尋ねました。回答をみると、肯定的回答（「登録したい」と「どちらかといえば登録したい」との合計）は約4割5分（45.1%）、否定的な回答（「登録したくない」と「どちらかといえば登録したくない」との合計）は約3割（31.4%）であり、登録意欲のある人の方が多くなっています。ただし、こちらも「登録したい」というより意欲の高い回答の割合は1割に達していませんでした（7.5%）。





災害ボランティアの事前登録意欲について年齢階層別にみると、すべての年齢層において「どちらかといえば登録したい」が最も選ばれる結果となりました（青年層34.2%、壮年層45.7%、高齢層33.3%）。「登録したい」の回答はすべての年齢層で1割未満にとどまりましたが（青年層9.2%、壮年層6.9%、高齢層7.4%）、肯定的回答をみると、すべての年齢層で4割を超えています。

また、「わからない」の回答が青年層で約3割（30.3%）、壮年層（21.7%）、高齢層（22.2%）で約2割を占めていることにも注意が必要です。災害ボランティア活動に協力したいという思いはありつつも、活動内容や登録の方法などが十分に知られていない可能性や、登録をためらってしまう要因が存在することが考えられます。

災害ボランティアの事前登録意欲について近所づきあいの程度別にみると、「登録したい」の回答は、「お互いに訪問し合う人がいる」では1割（12.0%）を超えていますが、「立ち話をする程度の人がある」（6.3%）、「顔をあわせればあいさつをする」（5.4%）、「ほとんど顔も知らない」（6.3%）では1割未満にとどまりました。全体的に見ると、近所づきあいの程度に関わらず、およそ4割～5割の人が災害ボランティアの事前登録に意欲的であるといえます。

（6）おわりに

地域社会で災害時に備えるためには、平常時から近隣で支え合える関係を築いていくことが重要となります。また、今回の調査では災害ボランティアに関する質問を新設しましたが、災害ボランティアに協力したいという意欲はあっても、「登録したくない」「わからない」という回答も多く見られました。災害時に協力し合えるような近所づきあいを築いていくことに加えて、災害ボランティアの活動や重要性の周知、登録を促進する試みが必要と言えるでしょう。

3 寄附（募金）について

九州大学大学院人間環境学府 修士課程 山田真理子

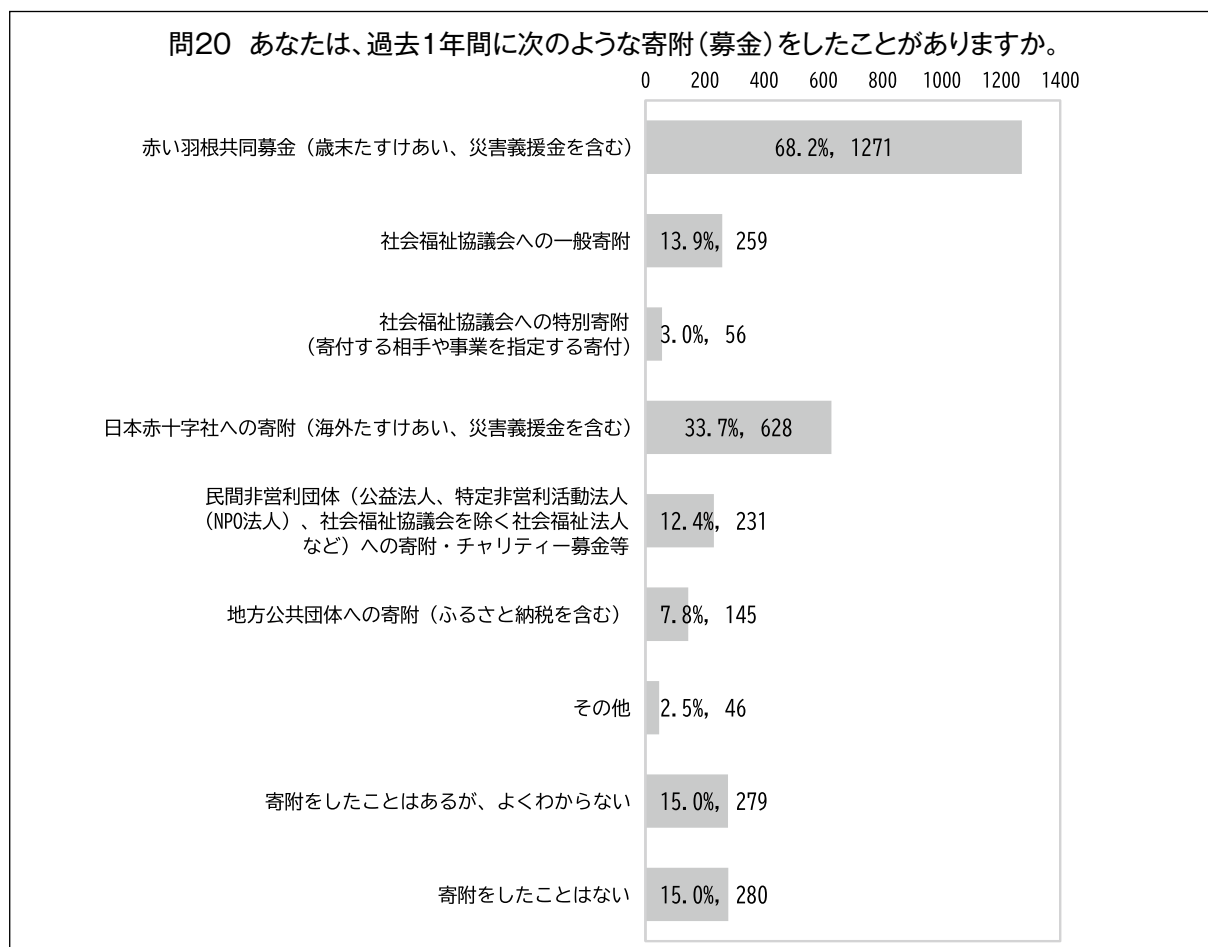
(1) はじめに

東日本大震災が起きた2011年は「寄付元年」とも言われています。近年でも、大規模な自然災害の発生や新型コロナウイルスの流行の中で、寄附（募金）は人々の注目を集めてきました。一方、昨今では物価高騰などにより、人々が日々の生活において経済的なゆとりを感じづらい状況も生まれています。こうした社会情勢をふまえて、寄附（募金）をめぐる現状を明らかにすることは重要と考えられます。

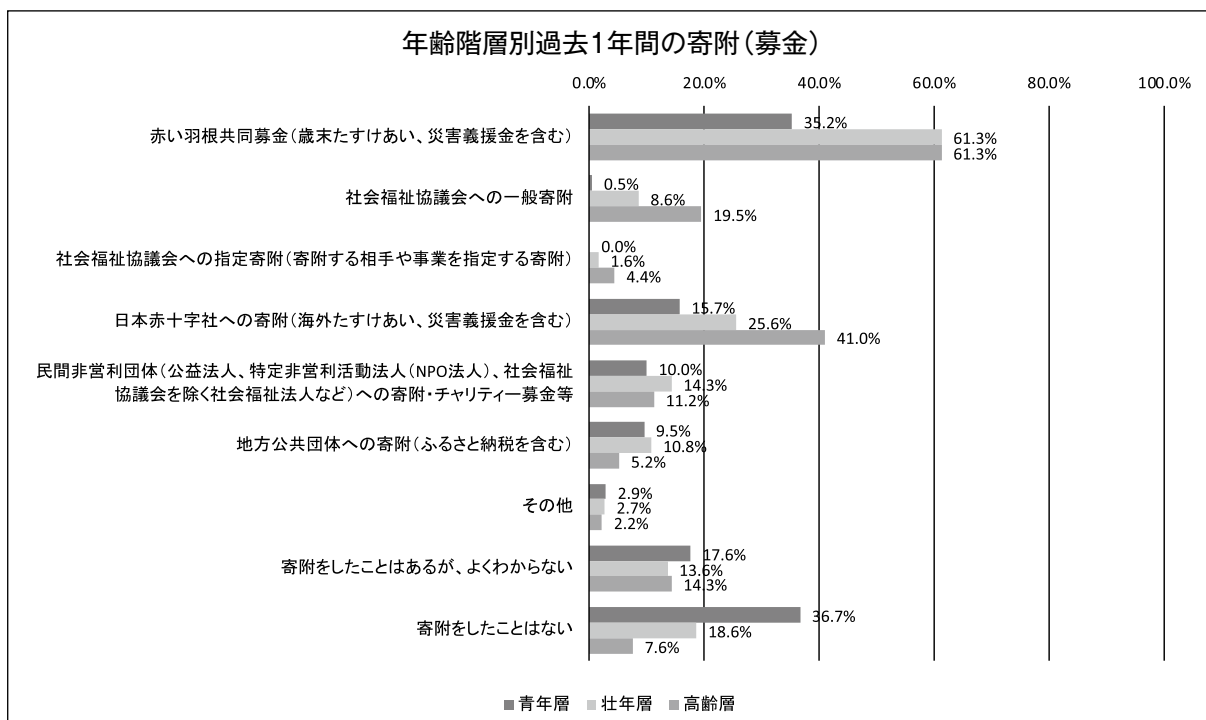
今回の県民意識調査では、寄附についての質問が設けられています。質問は大きく3つの項目からなっており、1つ目は過去1年間での寄附の経験を尋ねる質問です。2つ目は、1つ目の質問で1年以内に寄附の経験がある人に対し、その寄附の方法を尋ねる質問です。3つ目は、今後寄附をしたいと思う内容に関する質問です。

以下では、これらの質問に対する回答について、年齢、近所づきあいの程度、暮らしの状況、仕事以外の地域活動の経験との関連を中心に分析していきます。

(2) 寄附をしたことがあるか

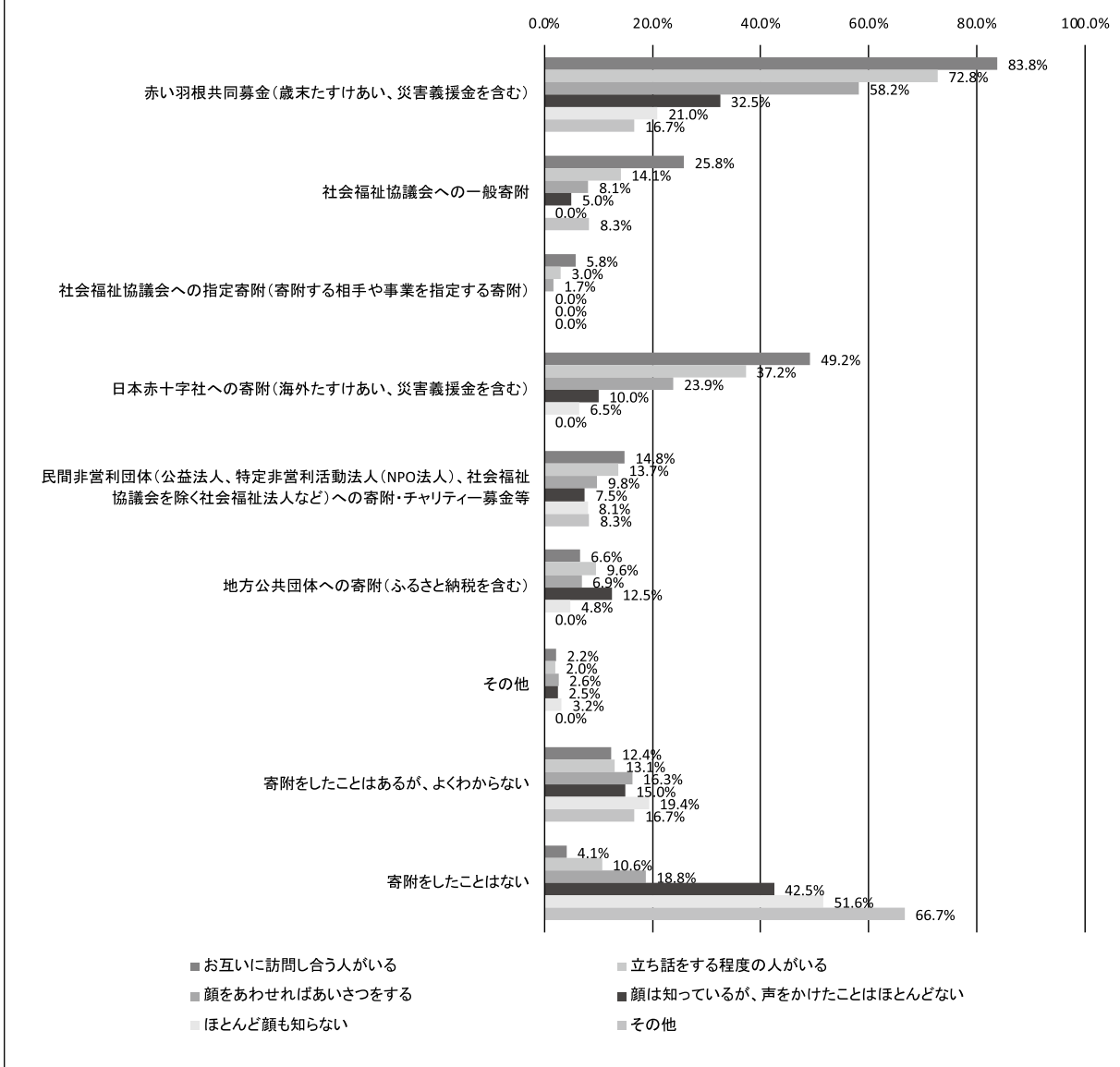


過去1年間にどのような寄附（募金）をしたことがあるかをねると、「赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む）」が7割弱（68.2%）で最も多く、「日本赤十字社への寄附（海外たすけあい、災害義援金を含む）」が3割強（33.7%）、「寄附をしたことはあるが、よくわからない」が1割5分（15.0%）、「社会福祉協議会への一般寄附」が1割強（13.9%）、「民間非営利団体（公益法人、特定非営利活動法人（NPO法人）、社会福祉協議会を除く社会福祉法人など）への寄附・チャリティー募金等」が約1割（12.4%）となりました。また、「寄附をしたことはない」という回答も1割5分（15.0%）ありました。



年齢階層別にみると、「赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む）」「社会福祉協議会への一般寄附」「社会福祉協議会への指定寄附（寄附する相手や事業を指定する寄附）」「日本赤十字社への寄附（海外たすけあい、災害義援金を含む）」では、高い年齢層ほど寄附率が高いことがわかりました。特に、「赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む）」は壮年層、高齢層で約6割（61.3%）、青年層でも3割5分（35.2%）と、多くの方が寄付の経験があります。一方、「地方公共団体への寄附（ふるさと納税を含む）」は、青年層（9.5%）や壮年層（10.8%）では約1割の人が寄付の経験があるのに対し、高齢層の割合は5.2%と、若い人ほど寄附率が高い傾向となりました。また、「寄付をしたことはない」と回答した人が、青年層で約3割（36.7%）、壮年層で約2割（18.6%）存在していることにも注意が必要です。

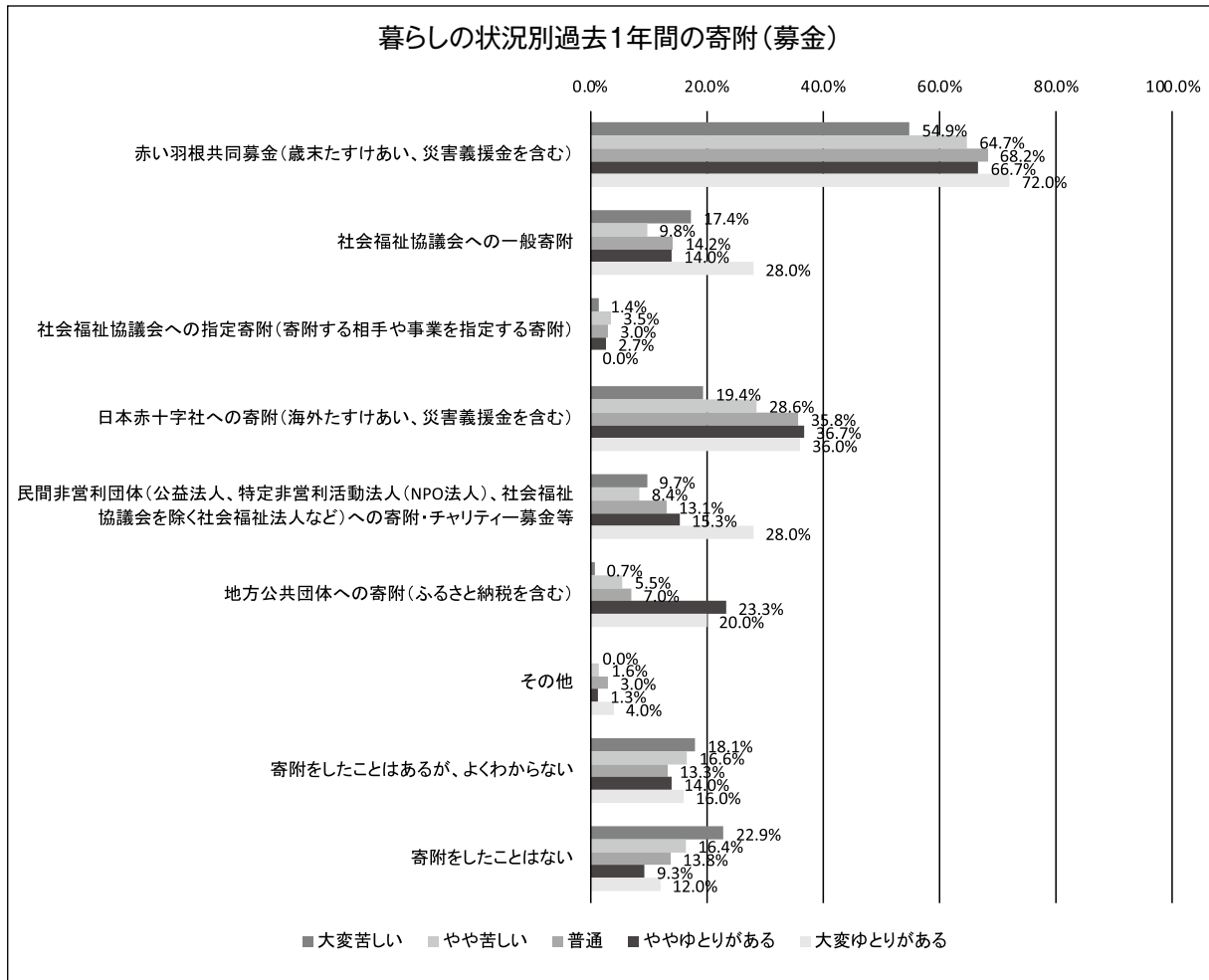
近所づきあいの程度別過去1年間の寄附(募金)



近所づきあいの程度別にみると、大きな傾向としては近所づきあいの程度が深い人ほど寄附の経験があることがわかります。寄附(募金)のなかでも、「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい、災害義援金を含む)」、「社会福祉協議会への一般寄附」、「社会福祉協議会への指定寄附(寄附する相手や事業を指摘する寄附)」、「日本赤十字社への寄附(海外たすけあい、災害義援金を含む)」でこのような傾向が見られました。

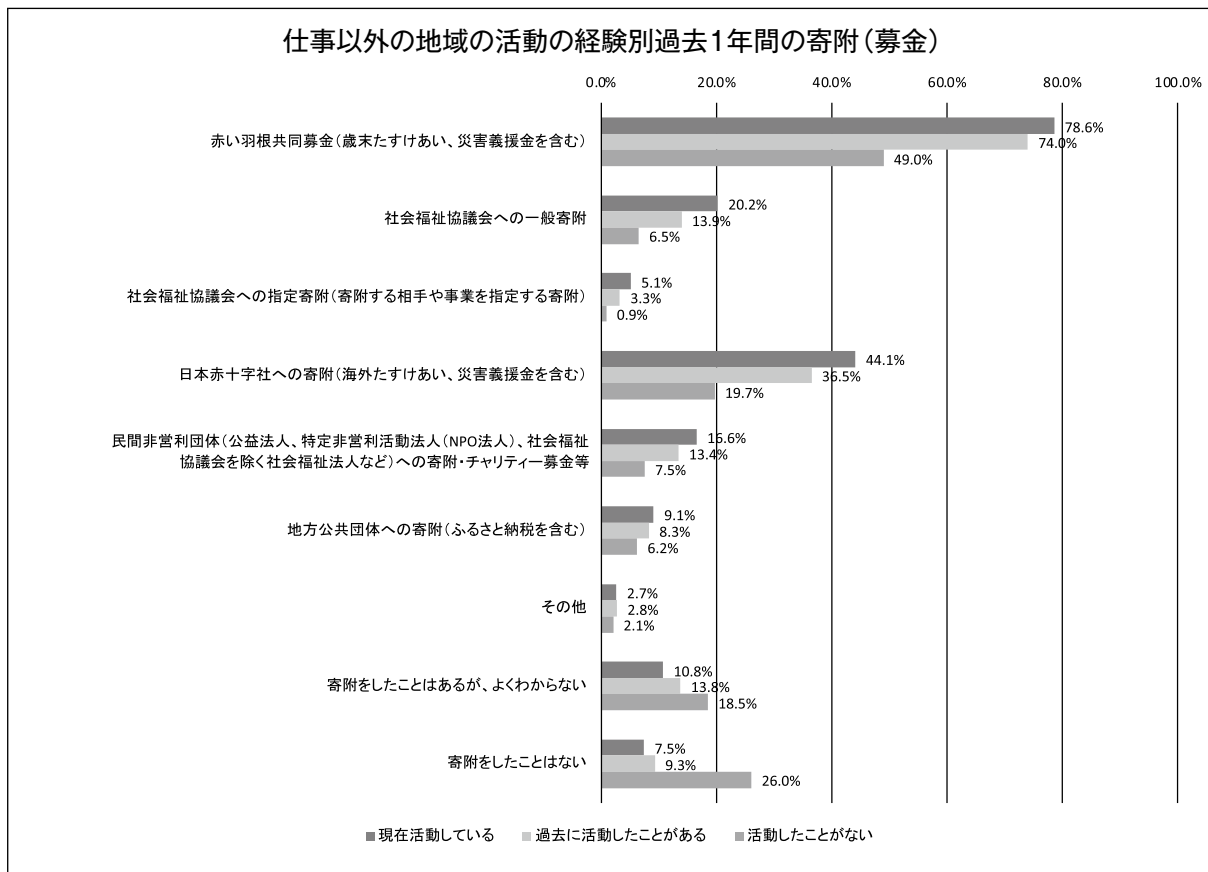
一方、「地方公共団体への寄附(ふるさと納税を含む)」は、全体に占める割合は小さいものの「顔を知っているが、声をかけたことはほとんどない」人(12.5%)が最も多く経験していることがわかりました。

また、「寄附をしたことはない」と回答した人については、「お互いに訪問し合う人がいる」人は、わずか4.1%であるのに対し、「ほとんど顔も知らない」人は約半数(51.6%)と顕著な差が生じています。



暮らしの状況別にみると、「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい、災害義援金を含む)」、「日本赤十字社への寄附(海外たすけあい、災害義援金を含む)」、「民間非営利団体(公益法人、特定非営利活動法人(NPO法人)、社会福祉協議会を除く社会福祉法人など)への寄附・チャリティー募金等」、「地方公共団体への寄附(ふるさと納税を含む)」では、暮らしにゆとりがある人ほど寄附の経験がある結果となりました。とはいえ、「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい、災害義援金を含む)」では、「大変苦しい」層でも5割強(54.9%)、「やや苦しい」層で約6割5分(64.7%)が、寄附の経験を持つことは特筆すべきと思われます。

一方、「社会福祉協議会への一般寄附」や「社会福祉協議会への指定寄附(寄附する相手や事業を指定する寄附)」ではこのような傾向は見られませんでした。例えば「社会福祉協議会への一般寄附」については、「大変苦しい」人の17.4%が寄附の経験があり、この割合は、「大変ゆとりがある」(28.0%)層に次ぐ高さとなっています。また、「社会福祉協議会への指定寄附(寄附する相手や事業を指定する寄附)」では、「やや苦しい」(3.5%)、「普通」(3.0%)、「ややゆとりがある」(2.7%)層では約3割が寄附の経験があり、「大変苦しい」(1.4%)層と「大変ゆとりがある」(0.0%)層では寄附の経験がある人が非常に少ないことがわかりました。

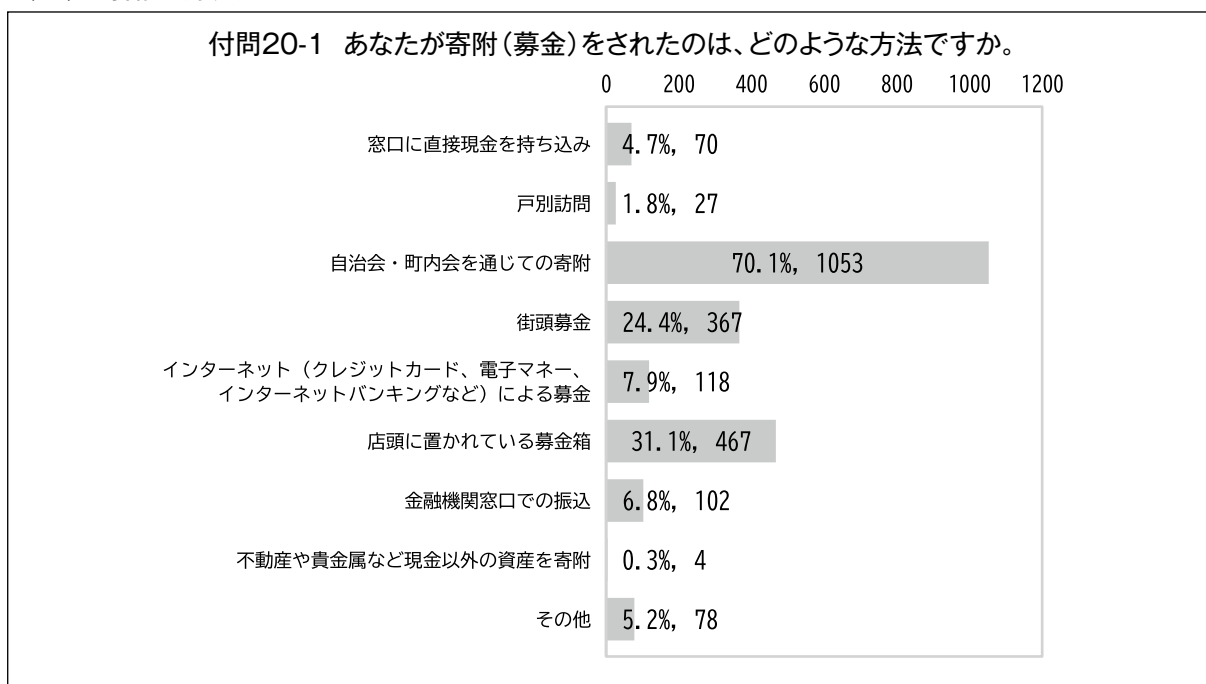


仕事以外の地域活動の経験別にみると、「その他」を除くすべての寄附について、「現在活動している」人の割合が最も高く、その後に「過去に活動したことがある」、「活動したことがない」が続く結果となりました。

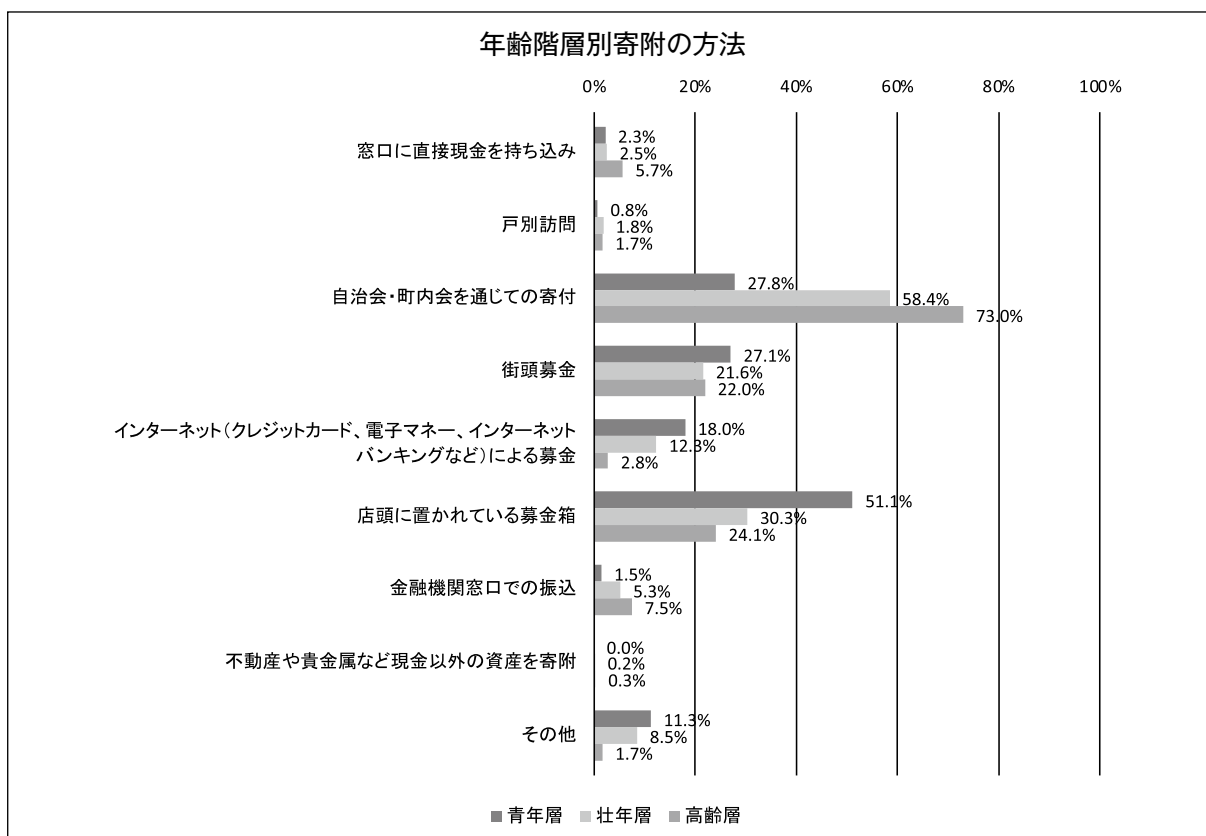
いずれの層においても、寄附の先としては「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい、災害義援金を含む)」が最も多く、次いで「日本赤十字社への寄附(海外たすけあい、災害義援金を含む)」の割合が高くなっています。特に「現在活動している」と回答した層では、「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい、災害義援金を含む)」に寄附をしたことがある人が約8割(78.6%)に達しています。「活動したことがない」と回答した層においても「赤い羽根共同募金(歳末たすけあい、災害義援金を含む)」に寄附をしたことがある人は約半数(49.0%)を占めています。

「寄附をしたことはない」と回答した人は、「現在活動している」(7.5%)と回答した層と、「過去に活動したことがある」(9.3%)と回答した層では1割以下となりましたが、「活動したことがない」と回答した層では26.0%と、大幅に高くなりました。

(3) 寄附の方法



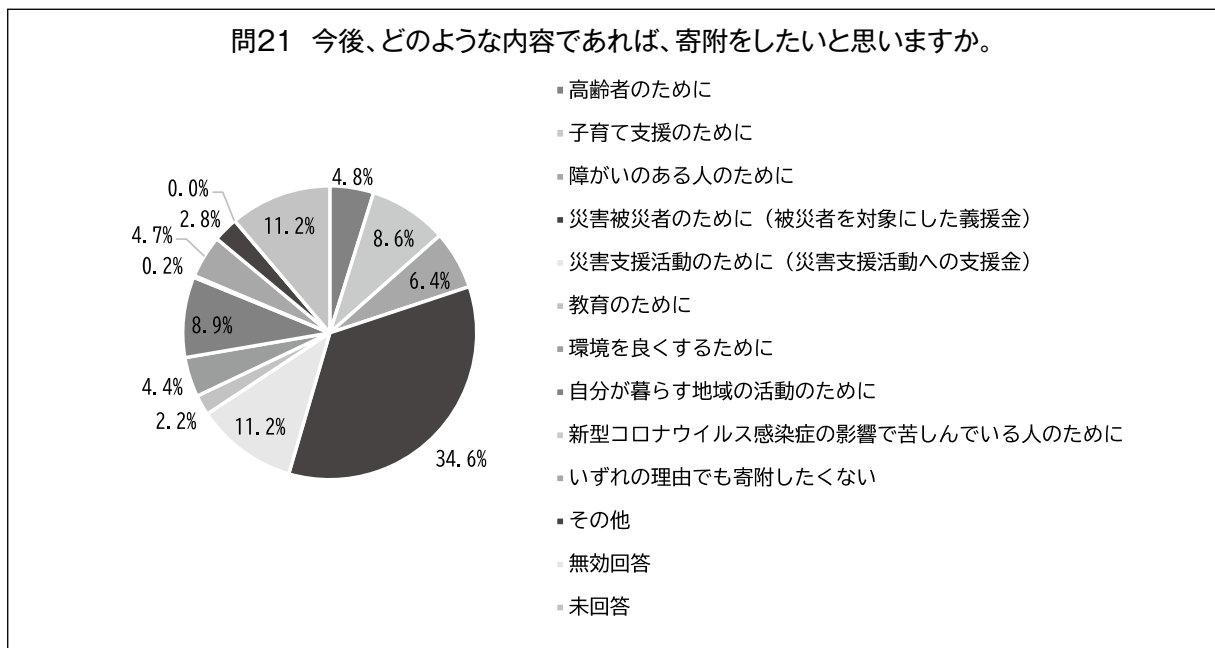
過去1年間に何らかの寄附(募金)をしたことがあると回答した人に、どのような方法で寄附をしたかを尋ねました。回答をみると、「自治会・町内会を通じたの寄附」が約7割(70.1%)で最も多く、「店頭で置かれている募金箱」が約3割(31.1%)、「街頭募金」が約2割5分(24.4%)となりました。



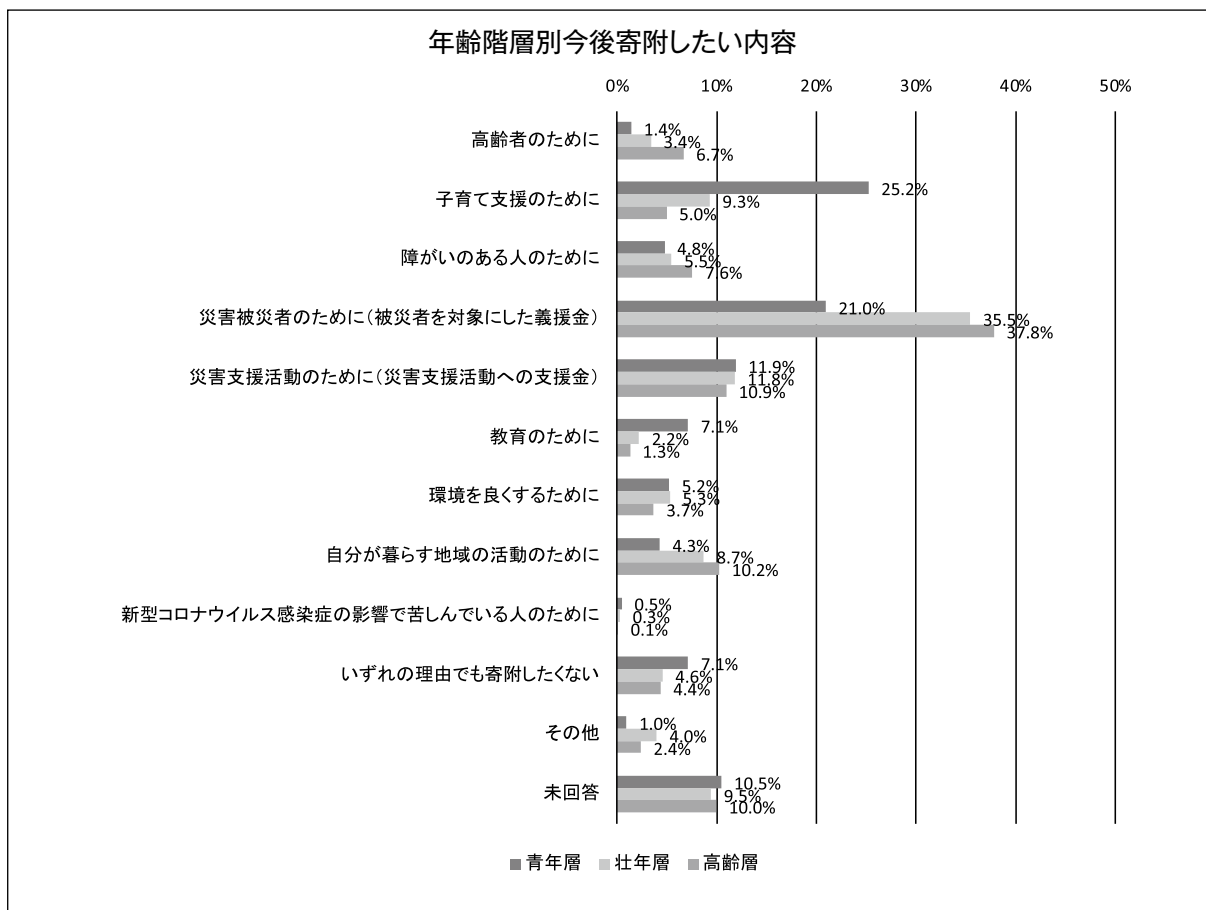
寄附（募金）の方法について年齢階層別にみると、高齢層では、「自治会・町内会を通じての寄付」（73.0%）の回答が最多となり、次いで、「店頭で置かれている募金箱」（24.1%）や「街頭募金」（22.0%）の回答の割合が高くなりました。壮年層の傾向は高齢層と同様で、「自治会・町内会を通じての寄付」（58.4%）の回答が最多となり、次いで、「店頭で置かれている募金箱」（30.3%）や「街頭募金」（21.6%）の回答の割合が高くなりました。一方、青年層では、「店頭で置かれている募金箱」（51.1%）の割合が最多となり、次いで、「自治会・町内会を通じての寄付」（27.8%）や「街頭募金」（27.1%）が多く回答されています。また、「インターネット（クレジットカード、電子マネー、インターネットバンキングなど）による募金」については、他の年齢層と比較して、青年層が最も高い割合を示しています（18.0%）。

この結果からは、「自治会・町内会を通じての寄付」がすべての年齢層にとって一般的な寄附（募金）の方法であることがわかります。また、青年層においては、「店頭で置かれている募金箱」「街頭募金」「インターネット（クレジットカード、電子マネー、インターネットバンキングなど）による募金」など、手軽で、多様な寄附（募金）の方法が選ばれていることがうかがえます。

（4）どのような内容であれば、寄附をしたいと思うか



今後、どのような内容であれば寄附したいかを尋ねると、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」が3割強（34.6%）、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」が約1割（11.2%）と、災害関係の回答が多くなりました。

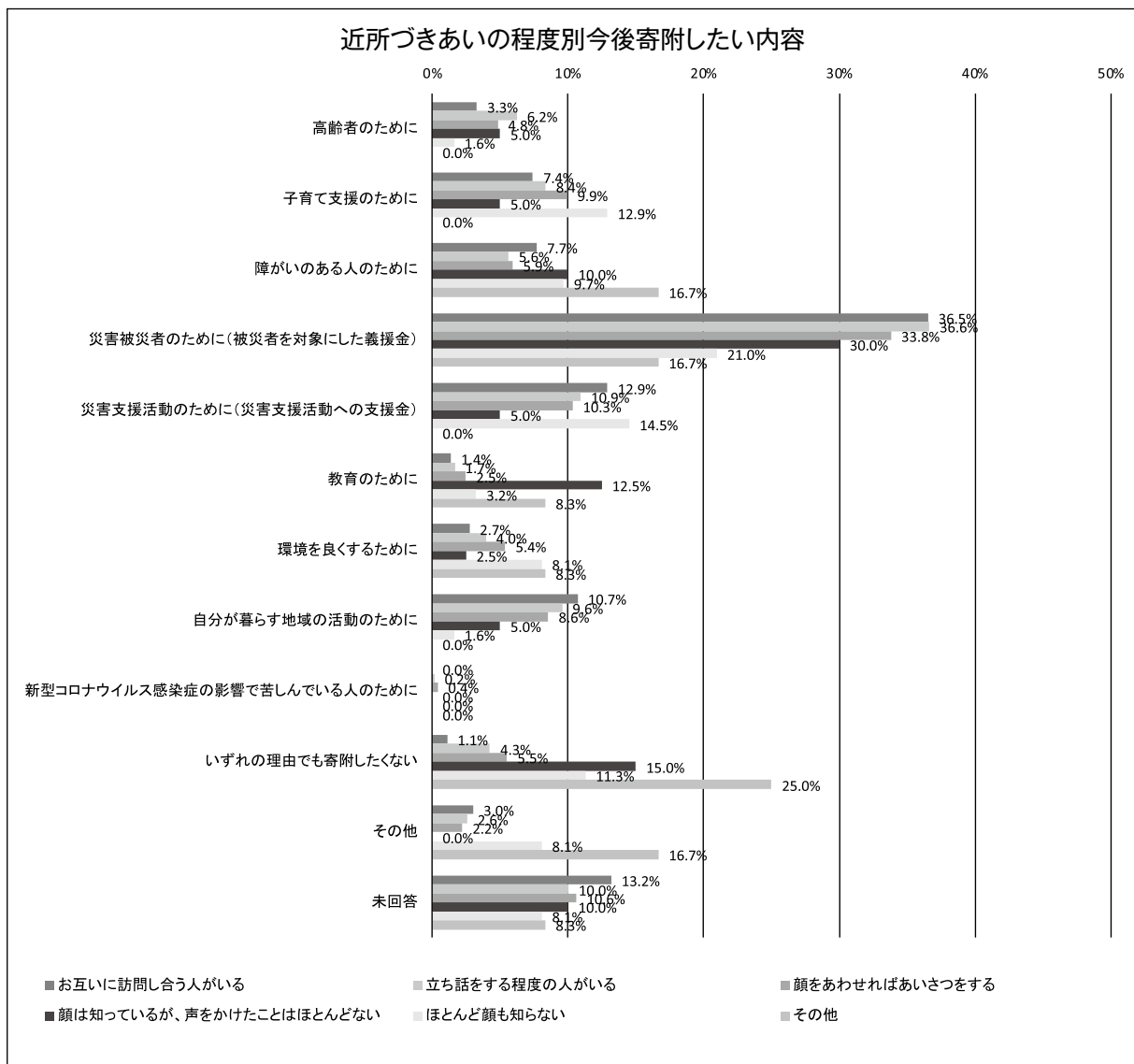


年齢階層別にみると、青年層では「子育て支援のために」が25.2%と最多であり、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」（21.0%）が次ぐ結果となりました。青年層では「教育のために」（7.1%）の割合が、他の年齢層（壮年層2.2%、高齢層1.3%）よりも高くなっていることにも注意が必要です。

壮年層では、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」（35.5%）が最多であり、次いで「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」（11.8%）の割合が高くなっています。

高齢層では「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」（37.8%）が最多であり、次いで「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」（10.9%）や「自分が暮らす地域の活動のために」（10.2%）の割合が高くなっています。

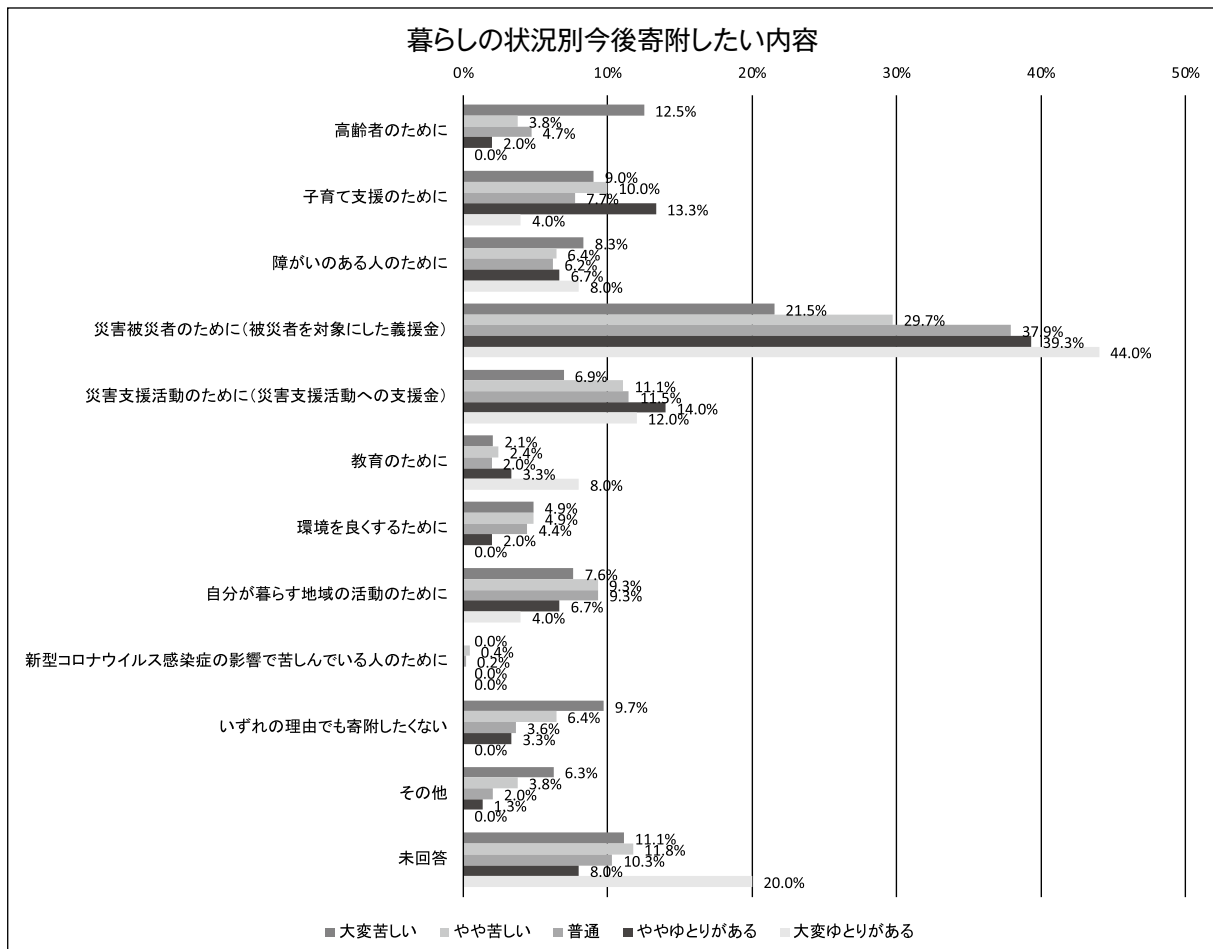
すべての年齢層で災害に関する内容へ寄附をしたいと思う人が多くなっています。一方、青年層では子育てや教育に関する寄附を希望する人の割合も高く、年齢層によって寄附をしたいと思う内容に違いがあることがわかります。



近所づきあいの程度別に寄附をしたいと思う内容についてみると、寄附の内容によって傾向がさまざまであることがわかります。

「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」、「自分が暮らす地域の活動のために」については、近所づきあいの程度が深い層ほど寄附をしたいと回答しています。例えば、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」について、「お互いに訪問し合う人がいる」層では36.5%が寄附をしたいと思っていますが、「ほとんど顔も知らない」層では16.7%にとどまりました。

一方、「高齢者のために」、「子育て支援のために」、「障がいのある人のために」、「教育のために」、「環境を良くするために」では、上述のような、近所づきあいの程度の深い人ほど寄附を希望するという傾向は見られませんでした。これらの項目には、子育て世代であれば「子育て」や「教育」といったテーマに関心が高くなるといったように、近所づきあいの程度よりも回答者にとって身近なテーマかどうか、といった点が影響していると考えられます。

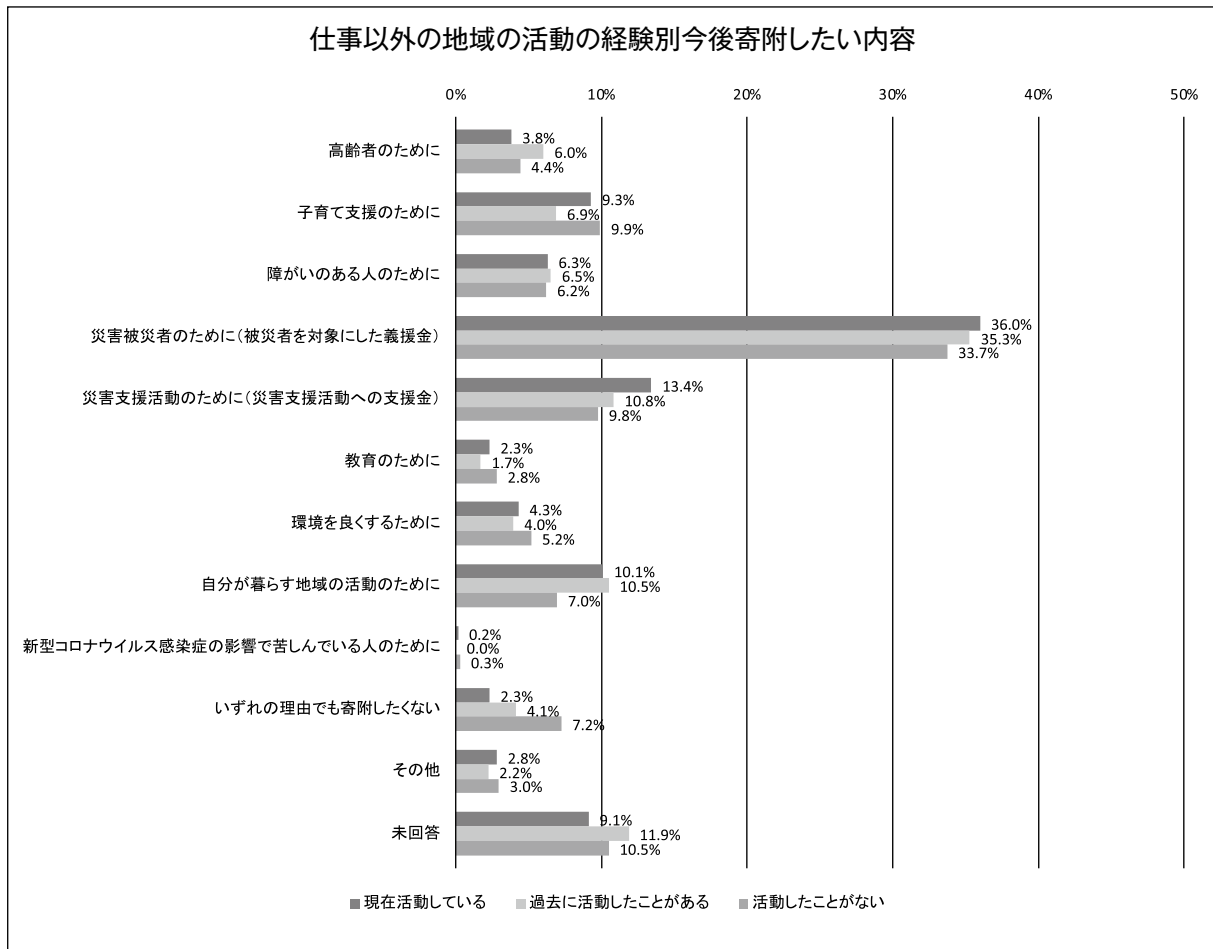


暮らしの状況別にみると、寄附をしたいと思う内容について、暮らしにゆとりがある層ほど割合が高くなる項目と、暮らしにゆとりのない層ほど割合が高くなる項目、そして、いずれの傾向も見られない項目があることがわかります、

暮らしにゆとりがある層ほど割合が高くなる傾向の項目としては、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」があります。例えば、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」と回答した人の割合は、「大変苦しい」層では約2割（21.5%）でしたが、「大変ゆとりがある」層では約4割（39.3%）となりました。

暮らしにゆとりがない層ほど割合が高くなる傾向の項目としては、「高齢者のために」、「環境を良くするために」があります。また、「いずれの理由でも寄附したくない」の割合も、「大変苦しい」層では9.7%であるのに対し、「大変ゆとりがある」層では3.3%となっており、同様の傾向が見られます。一般的には、暮らしにゆとりがある層ほど寄附をする傾向にあることが想定されますが、暮らしにゆとりがない層ほど寄附を希望している内容があることは注目すべきでしょう。

上記のいずれの傾向も認められない項目としては、「子育て支援のために」「障がいのある人のために」「教育のために」があります。これらの項目は、暮らしの状況に関わらず、子どもや障がいのある人に関心のある人が寄附を希望していると考えられます。



仕事以外の地域活動の経験別にみると、「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」、「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」については、「現在活動している」層で最も割合が高く、その後「過去に経験したことがある」「経験したことがない」の順に回答の割合が高くなっています。ただ、地域活動の経験の違いによって、割合に顕著な差があるわけではありません。例えば「災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）」について、「現在活動している」層の回答は36.0%ですが、「活動したことがない」層でも33.7%が回答しており、その差はわずかとなっています。

「いずれの理由でも寄附したくない」の回答は、各層において1割未満にとどまりました（「現在活動している」2.3%、「過去に活動したことがある」4.1%、「活動したことがない」7.2%）。

(5) おわりに

寄附をしたことがある内容や、寄附の方法、今後寄附をしてみたいと思う内容については、年齢や暮らしむきなど回答者の属性によって多様であることがうかがえました。

地域での近隣関係の希薄化が一層進むことが予想され、なおかつ社会情勢や人々の生活の状況が変化の中で、寄附（募金）という不特定の人々を対象とする場合の多い支え合いのあり方が、今後どのように変化していくのか注意が必要です。

資 料 編

- 1 「福祉に関する県民意識調査」調査票
- 2 「福祉に関する県民意識等実態調査」結果（単純集計結果）
- 3 「福祉に関する県民意識等実態調査」結果（経年比較）
- 4 「県民福祉意識等に関する調査研究委員会」協議経過 等

山口県「福祉に関する県民意識調査について」(ご協力のお願い)

令和5年5月

アンケートの記入方法

- 1 このアンケートは、個人を対象としておりますので、封筒の宛名の方ご本人様に回答をお願いしておりますが、筆記が困難な場合は、ご家族様などに代筆いただいても構いません。また、回答が難しい場合は、ご家族様などのお手伝いを得て回答いただいても構いません。
- 2 回答は、当てはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。なお、質問によって、「当てはまるものすべてに」、「ひとつだけ」等、回答の仕方が異なる場合がございますので、確認いただければ幸いです。
- 3 回答の記入にあたっては、鉛筆でもボールペンでも構いません。
- 4 すべてに回答いただきましたら、同封の返信用封筒にて令和5年6月2日(金)までに、お手数ではございますが、投函くださいますようお願い申し上げます。

(本アンケートに関する問合せ先)

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

地域福祉部 地域福祉班

〒753-0072 山口市大手町9-6 TEL (083) 924-2828

担当：山本、村田

【ご近所づきあいについてうかがいます。】

問1 あなたは、ご近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。次の中から当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1 お互いに訪問し合う人がいる | 2 立ち話をする程度の人がいる |
| 3 顔をあわせればあいさつをする | 4 顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない |
| 5 ほとんど顔も知らない | 6 その他(具体的に) |

問2 あなたは、ご近所づきあいが必要だと思いますか。次の中から当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---|------------------------|
| 1 そう思う | } | 次の付問2-1・付問2-2にお進みください。 |
| 2 まあそう思う | | |
| 3 どちらともいえない | } | 問3にお進みください。 |
| 4 あまりそう思わない | | |
| 5 そう思わない | | |

問2で「1 そう思う」、「2 まあそう思う」とされた方におたずねします。

付問2-1 なぜご近所づきあいが必要だと思いますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 困ったときに助け合える関係が必要だから
- 2 地域の情報を得るため
- 3 草取りや溝そうじなど、地域の環境美化を維持するため
- 4 次世代を支える子どもたちを育てるため
- 5 地域で安心して暮らすため（防犯や防災のため）
- 6 その他（具体的に _____)

付問2-2 ご近所づきあいを維持・活発にするために必要なものについて、あなたはどのようにお考えですか。①から③のそれぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち当てはまるものの番号ひとつに○をつけてください。

| | そう 思う | まあ そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう 思わない |
|---|----------|------------|---------------|---------------|------------|
| ①自ら進んで日頃からご近所同士のつながり（あいさつ等）を持つようにこころがけること | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②自治会や町内会などが行う交流活動（季節行事等）に積極的に参加すること | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

【悩みごと、困りごとについてうかがいます。】

※ すべての方におたずねします。

問3 あなた自身が現在、悩んでいること、困っていることは何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 健康に関すること
- 2 家族に関すること
- 3 子育てや教育に関すること
- 4 介護に関すること
- 5 経済的な問題に関すること
- 6 職場内、学校内の問題に関すること
- 7 生きがいに関すること
- 8 隣近所との関係に関すること
- 9 防犯に関すること
- 10 人が少なくなり地域の行事が行えないこと
- 11 将来の生活への不安
- 12 生活上の困りごと（ごみ出し、買物、掃除、食事など）
- 13 仕事に関すること
- 14 老後に関すること
- 15 自分や家族の死後に関すること（葬式のことや相続など）
- 16 今のところ悩んでいること、困っていることはない
- 17 その他（具体的に _____)

【地域での様々な活動についてうかがいます。】

※ すべての方におたずねします。

問5 あなたは仕事以外に地域で活動されていますか。次の中から当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 現在活動している ⇒ 次の付問5-1・付問5-2・付問5-3にお進みください。
2 過去に活動したことがある }
3 活動したことがない } 付問5-4・付問5-5にお進みください。

問5で「1 現在活動している」とされた方におたずねします。

付問5-1 あなたは地域でどのような活動をしていますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自治会・町内会での活動
2 コミュニティ協議会・まちづくり協議会等での活動
3 地区社会福祉協議会での活動
4 学校・PTA等の活動
5 子ども会での活動
6 婦人会での活動
7 老人クラブでの活動
8 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合での活動
9 スポーツ・レクリエーション活動
10 趣味・娯楽などのサークル活動
11 上記以外のNPO団体などにおける地域活動やボランティア活動
12 勤め先などでの社会貢献活動
13 組織に属さない個人の活動
14 その他（具体的に)

付問5-2 付問5-1の活動をされたきっかけは何ですか。次の中から当てはまる主な理由ひとつだけに○をつけてください。

- 1 地域や社会に貢献したかったから
2 自分の知識や経験を活かしたかった（積みたかった）から
3 友人や仲間を増やしたかったから
4 生活にはりあいを持たせたかったから
5 身近な人に誘われたから
6 様々な情報を手に入れたかったから
7 健康を維持したかったから
8 何となく
9 その他（具体的に)

付問5-3 付問5-1の活動を続けている理由として、どのようなものがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 地域や社会への貢献につながるから
2 自分の知識や経験につながるから
3 友人や仲間を増やすことにつながるから
4 生活のはりあいにつながるから
5 様々な情報を手に入れることにつながるから
6 健康の維持につながるから
7 他に替わる人がいないから
8 何となく
9 その他（具体的に)

問5で「2 過去に活動したことがある」、「3 活動したことがない」とされた方におたずねします。

付問5-4 現在、地域で活動をされていない理由として、どのようなものがありますか。次の中から**当てはまる主な理由ひとつだけに○をつけてください。**

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 時間がないから | 2 経済的な余裕がないから |
| 3 一緒に活動する仲間がいないから | 4 健康や体力面で自信がないから |
| 5 活動の内容や方法がわからないから | 6 移動の手段がないから |
| 7 地域の人とのつきあいが面倒だから | 8 参加する気持ちがないから |
| 9 家族の理解が得られないから | 10 きっかけがないから |
| 11 その他（具体的に | ） |

付問5-5 あなたは今後、地域の活動に参加しようと思いますか。次の中から**当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。**

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| 1 そう思う | 2 まあそう思う | 3 どちらともいえない |
| 4 あまりそう思わない | 5 そう思わない | |

※ すべての方におたずねします。

問6 地域の支え合い活動を進めることを考えたときに、あなたが最初に思い浮かべる地域の範囲はどれでしょうか。次の中から**当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。**

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1 現在の市、町 | 2 合併する前の旧市町村 | 3 中学校区 |
| 4 小学校区 | 5 自治会・町内会 | 6 班・組など |
| 7 その他（具体的に | | ） |

問7 地域で支え合うために、あなたは何が最も大切な条件だと思いますか。次の中から**当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。**

- | | | |
|------------|---------------|-----------------|
| 1 活動拠点の確保 | 2 活動資金 | 3 活動を進めるリーダー |
| 4 活動を進める組織 | 5 活動のための情報の共有 | 6 活動のための仲間・つながり |
| 7 その他（具体的に | | ） |

【地域へのご関心などについてうかがいます。】

※ すべての方におたずねします。

※ ここでいう地域とは、現在お住まいの小学校区程度を範囲としてお考えください。

問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。①から⑬のそれぞれについて、「そう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」のうち当てはまるものの番号ひとつに○をつけてください。

| | そう 思う | まあ そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう 思わない |
|---|----------|------------|---------------|---------------|------------|
| ①いま住んでいる地域が好きだ と思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②この地域のために何か役に 立ちたいと思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③介護が必要な状態になっても 家で暮らしたいと思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ご近所同士で支えあっている と思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤地域の情報が十分に入ってくる と思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥地域の活動に参加する機会がある と思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦地域でいろいろな活動が行われて いると思う (趣味・レクリエーション・交流など) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧祭りなどの行事が少なくなった と思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨地域の中で自分の役割があると思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩地域のことについて話しあう機会 があると思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪この地域は生活の場として だんだん良くなると思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫今後もこの地域に住み続けたい と思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬全体的にみて、この地域の住み 心地は良いと思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

【安心して暮らせるまちづくりなどについてうかがいます。】

問9 あなたが考える「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）」とは、どのような地域（まち）だと思いますか。次の中から最も重要視しているものひとつだけに○をつけてください。

- 1 地域活動にいろいろな人が参加しやすい地域（まち）
- 2 趣味活動・スポーツなどに取り組みやすい地域（まち）
- 3 福祉サービス※が充実している地域（まち）
- 4 防災・安全対策が充実している地域（まち）
- 5 次世代を育む環境が充実している地域（まち）
- 6 ご近所同士で日頃から助け合うことができる地域（まち）
- 7 地域社会の一員であることを実感できる地域（まち）
- 8 暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域（まち）
- 9 その他（具体的に

※ 福祉サービス

介護保険サービス、金銭管理、移送サービス、買物支援、福祉サービス利用支援などのことです。
問11、問12、付問12-1、付問13-1、付問13-2、問14での福祉サービスも同様の意味合いです。

問10 高齢者や障がいのある人（子ども）、ひきこもり（不登校）の人、少し気がかりな人（子ども）など、支援を必要とする人や家庭に対し、地域で支えるためにあなたができることとして、どのようなことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 支援を必要とする人や、その家族への声かけと見守り※
- 2 生活に関する情報をわかりやすく提供する
- 3 祭りや交流事業など、参加できる場への呼びかけ
- 4 困っている人を発見して、専門機関につなげる
- 5 ご近所の住民同士で見守りなどの支え合い活動について話をする
- 6 自治会長、民生委員・児童委員、福祉員などの担い手と見守りなどの支え合い活動について話をする
- 7 家事の手伝いをする
- 8 その他（具体的に

※ 見守り

地域の中で手助けを必要としている人や気がかりな人を対象として、地域住民や民生委員・児童委員や福祉員などの地域福祉活動関係者が、「あいさつ」や「声かけ」、「生活の様子を気にかける」などといった活動を通じて、住民同士が共に支え合って暮らし続ける地域づくりを進める活動です。

問11 「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる 地域(まち)づくり」を進めていくために、市や町の行政に期待する役割としてどのようなことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 地域における福祉サービスの向上を図る
- 2 福祉に関するわかりやすい情報を提供する
- 3 地域活動への資金的な支援をもつとする
- 4 地域活動などを行う拠点を確保する
- 5 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する
- 6 お互いに助け合うという意識を醸成する
- 7 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする
- 8 福祉活動に携わる人の育成や支援する人を配置する
- 9 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する
- 10 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる
- 11 その他(具体的に)

付問11-1 上の問11で○をつけた市や町の行政に期待する役割の中で、あなたが最も重要視しているのはどれですか。ひとつだけ番号を選び記入してください。

問11で選択した番号 ()

【福祉に関する情報についてうかがいます。】

問12 あなたは福祉に関する情報として、どのような情報が必要ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 福祉サービスの種類、相談機関に関する情報
 - 2 福祉サービスの利用方法に関する情報
 - 3 福祉サービスの苦情解決に関する情報
 - 4 ボランティアに関する情報
 - 5 福祉機器に関する情報
 - 6 福祉の仕事に関する情報
 - 7 福祉に関する研修・講習に関する情報
 - 8 その他(具体的に)
 - 9 これまで福祉に関する情報を必要としたことはない ⇒ 問13にお進みください。
- 次の付問12-1にお進みください。

問12で「1 福祉サービスの種類、相談機関に関する情報」～「8 その他」とされた方におたずねします。

付問12-1 あなたは福祉に関する情報を、どこから入手していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 福祉に関する広報紙・情報誌・チラシ | |
| 2 インターネット（ホームページやSNS等） | |
| 3 テレビ・ラジオ | 4 新聞・雑誌 |
| 5 民生委員・児童委員 | 6 福祉員 |
| 7 知り合い | 8 市役所・町役場 |
| 9 公民館・交流センター | 10 社会福祉協議会 |
| 11 福祉サービス事業者 | 12 地域包括支援センター |
| 13 医療関係者（主治医など） | 14 自治会長・町内会長 |
| 15 これまで入手したことはない | |
| 16 その他（具体的に | ） |

【社会福祉協議会などについてうかがいます。】

※ すべての方におたずねします。

問13 あなたは、市や町の社会福祉協議会を知っていますか。次の中から当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 名前も活動内容もよく知っている | } 次の付問13-1・付問13-2 |
| 2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない | |
| 3 名前も活動内容も知らない ⇒ 問14にお答えください。 | |

問13で「1 名前も活動内容もよく知っている」、「2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない」とされた方におたずねします。

付問13-1 あなたは、どのようにして市や町の社会福祉協議会を知りましたか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 社会福祉協議会の広報紙を見たことがある
 - 2 新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある
 - 3 家族や友人から話を聞いたことがある
 - 4 福祉員から話を聞いたことがある
 - 5 民生委員・児童委員から話を聞いたことがある
 - 6 社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある
 - 7 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある
 - 8 地域の活動やボランティア活動を通じて知った
 - 9 その他（具体的に
- ）

付問13-2 あなたは、社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。次の中から当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ
- 2 障がいのある人に関する支援をするところ
- 3 子どもに関する支援をするところ
- 4 ボランティア活動を支援するところ
- 5 暮らしの困りごとについて相談を受けるところ
- 6 福祉に関する研修会を実施するところ
- 7 福祉サービスを提供するところ
- 8 募金や寄附を集め、いろいろな事業を行っているところ
- 9 生活困窮者[※]への生活支援を行っているところ
- 10 その他（具体的に)

※ 生活困窮者

「生活困窮者」とは、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方をいいます。生活困窮者世帯は社会的孤立状態にあることが多く、地域で生活困窮状態にある方に気づき、相談対応等が求められています。国においても生活困窮者を支えるための取組が行われています。

※ すべての方におたずねします。

問14 あなたは、今後、市や町の社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 福祉サービスの提供
- 2 ボランティア活動の推進・支援
- 3 住民とともに考えて進める、地域づくり（見守り活動、仲間づくりなど）
- 4 住民の福祉意識の醸成
- 5 困った時の相談支援
- 6 福祉に関する情報提供
- 7 生活困窮者への生活支援
- 8 地域で活動する団体等への資金援助
- 9 その他（具体的に)

問15 あなたは、「福祉員」を知っていましたか。次の中から当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。（福祉員については問4の注を参照ください。）

- 1 名前も活動内容もよく知っていた
 - 2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった
 - 3 名前も活動内容も知らなかった ⇒ **問16**にお進みください。
- } 次の付問15-1にお進みください。

問 15 で「1 名前も活動内容もよく知っていた」、「2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった」とされた方におたずねします。

付問 15-1 あなたは、これまで福祉員とどのような関わりがありましたか。 当てはまる番号すべてに ○をつけてください。

- 1 福祉員になったことがある
- 2 福祉員の訪問を受けたことがある
- 3 福祉員に相談したことがある
- 4 見守り活動と一緒に活動したことがある
- 5 ふれあい・いきいきサロンやふれあい交流活動に参加して関わったことがある
- 6 社会福祉協議会が主催する事業に参加して関わったことがある
- 7 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用して関わったことがある
- 8 関わったことがない
- 9 その他（具体的に)

※ すべての方におたずねします。

問 16 今後、「福祉員」に期待する役割としてどのようなことがありますか。次の中から 当てはまる番号すべてに ○をつけてください。

- 1 ちょっとした困りごとの相談相手
- 2 ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人への声かけや見守り活動
- 3 地域の行事や交流活動の運営・協力
- 4 福祉に関する情報の提供
- 5 地域の福祉課題の発見役
- 6 その他（具体的に)

【災害時の備えなどについてうかがいます。】

問 17 あなたには、災害時に備えて家族・親族以外で、戸締まりや避難などのお手伝いを頼める方がいらっしゃいますか。次の中から 最も当てはまる番号ひとつだけに ○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 近所の人 | 2 友人 |
| 3 自治会・町内会関係者 | 4 民生委員・児童委員 |
| 5 福祉員 | 6 地区社会福祉協議会の関係者 |
| 7 市町社会福祉協議会の関係者 | 8 市町行政の関係者 |
| 9 職場の関係者 | 10 社会福祉施設などの関係者 |
| 11 その他（具体的に) | |
| 12 手伝いを頼みたいが、いない | 13 自分でできるので、いない |

問18 もし、あなたの地域に、次のような方がいたら、災害時に備えて、あなたはどのように取組みますか。
次の中から**最も当てはまる番号ひとつだけに**○をつけてください。

災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らしの高齢者

- 1 自分で避難の手伝いをするつもりである
- 2 近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである
- 3 自治会・町内会で話し合う
- 4 地区社会福祉協議会・まちづくり協議会で話し合う
- 5 NPO団体などの支援団体を紹介する
- 6 地域包括支援センターなどの専門職に相談する
- 7 市役所・町役場の福祉関係課に相談する
- 8 市町社会福祉協議会に相談する
- 9 警察・消防に相談する
- 10 その他（具体的に _____)
- 11 特に対応しない

問19 あなたは、災害ボランティア活動*に協力したいですか。**当てはまる番号ひとつだけに**○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---|-------------------|
| 1 協力したい | } | 次の付問19-1にお進みください。 |
| 2 どちらかといえば協力したい | | |
| 3 どちらかといえば協力したくない | } | 問20にお進みください。 |
| 4 協力したくない | | |
| 5 わからない | | |

※ 災害ボランティア活動

泥かきや清掃、汚れた家具搬出やガレキ撤去作業等の直接的な被災者の困りごとのための活動をはじめ、災害ボランティアセンターの運営支援、避難所や仮設住宅での支援、被災者支援に係るイベントの企画運営など多岐にわたる活動が行われています。

問19で「1 協力したい」、「2 どちらかといえば協力したい」とされた方におたずねします。

付問19-1 あなたは、市町社会福祉協議会が災害発生時の円滑な被災者・被災地支援に備え、災害ボランティアの事前登録*を行っている場合、登録したいですか。**当てはまる番号ひとつだけに**○をつけてください。

- 1 登録したい
- 2 どちらかといえば登録したい
- 3 どちらかといえば登録したくない
- 4 登録したくない
- 5 わからない

※ 災害ボランティアの事前登録

災害時にボランティア活動を行う意思のある個人または団体を事前に社会福祉協議会等に登録し、災害が発生したときに、迅速かつ円滑なボランティア活動につなげることを目的とした取組です。山口県内では今後取組を進めていく段階ですが、最近ではより効率的な登録ができるようオンライン上で登録する仕組みが広がっており、山口県内でも導入を進める予定です。

【寄附についてうかがいます。】

※ すべての方におたずねします。

問20 あなたは、過去1年間に次のような寄附（募金）をしたことがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む）
- 2 社会福祉協議会への一般寄附[※]
- 3 社会福祉協議会への指定寄附[※]（寄附する相手や事業を指定する寄附）
- 4 日本赤十字社への寄附（海外たすけあい、災害義援金を含む）
- 5 民間非営利団体（公益法人、特定非営利活動法人（NPO法人）、社会福祉協議会を除く社会福祉法人など）への寄附・チャリティー募金等
- 6 地方公共団体への寄附（ふるさと納税を含む）
- 7 その他（具体的に)
- 8 寄附をしたことはあるが、よくわからない
- 9 寄附をしたことはない ⇒ 問21にお進みください。

次の
付問20-1に
お進みください。

※ 社会福祉協議会への一般寄附、指定寄附には、香典や見舞金のお返しにかえて寄附したものを含みます。

問20で「1 赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む）」～「8 寄附をしたことはあるが、よくわからない」とされた方におたずねします。

付問20-1 あなたが寄附をされたのは、どのような方法ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 窓口に直接現金を持ち込み
- 2 戸別訪問
- 3 自治会・町内会を通じての寄付
- 4 街頭募金
- 5 インターネット（クレジットカード、電子マネー、インターネットバンキングなど）による募金
- 6 店頭で置かれている募金箱
- 7 金融機関窓口での振込
- 8 不動産や貴金属など現金以外の資産を寄附
- 9 その他（具体的に)

※ すべての方におたずねします。

問21 今後、どのような内容であれば、寄附をしたいと思えますか。次の中から最も重要視している番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 1 高齢者のために | 2 子育て支援のために |
| 3 障がいのある人のために | |
| 4 災害被災者のために（被災者を対象にした義援金） | |
| 5 災害支援活動のために（災害支援活動への支援金） | |
| 6 教育のために | 7 環境を良くするために |
| 8 自分が暮らす地域の活動のために | |
| 9 新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人のために | |
| 10 いずれの理由でも寄附したくない | |
| 11 その他（具体的に |) |

最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

調査結果を統計的に分析するために必要となりますので、すべての質問にお答えください。
当てはまる番号に○をつけてください。

F1 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 あなたは、現在、おいくつですか。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～24歳 | 2 25～29歳 | 3 30～34歳 | 4 35～39歳 |
| 5 40～44歳 | 6 45～49歳 | 7 50～54歳 | 8 55～59歳 |
| 9 60～64歳 | 10 65～69歳 | 11 70～74歳 | 12 75～79歳 |
| 13 80～84歳 | 14 85～89歳 | 15 90～94歳 | 16 95歳以上 |

F3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|
| 1 下関市 | 2 宇部市 | 3 山口市 | 4 萩市 |
| 5 防府市 | 6 下松市 | 7 岩国市 | 8 光市 |
| 9 長門市 | 10 柳井市 | 11 美祢市 | 12 周南市 |
| 13 山陽小野田市 | 14 周防大島町 | 15 和木町 | 16 上関町 |
| 17 田布施町 | 18 平生町 | 19 阿武町 | |

F 4 現在のあなたの世帯は、次のどれですか。 当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみの世帯
- 3 夫婦と子どものみの世帯
- 4 高齢者（65歳以上）の親と未婚・離婚した子どものみの世帯
- 5 母親または父親と子どものみの世帯
- 6 三世代以上で暮らす世帯
- 7 その他の世帯

F 5 あなたの住んでおられるところは次のどれですか。 当てはまる番号ひとつだけに○を付けてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1 農村・漁村部 | 2 郊外住宅地 |
| 3 町中の密集地 | 4 商店街 |
| 5 工場街 | 6 その他（具体的に |

F 6 あなたの居住歴はどれですか。 () に年数を記入し、当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

現在地に住んでいる年数 () 年

- 1 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる
- 2 生まれはこの市町だが、今の場所とは違っている
- 3 生まれはこの市町だが、しばらく他所に出て、帰ってきた
- 4 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる
- 5 生まれは他所で、ここで住むのも一時期だけである

F 7 あなたの主な移動手段は何ですか。 当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 自動車、バイク
- 2 公共交通機関（電車・バス・タクシー）
- 3 自転車
- 4 徒歩
- 5 その他（具体的に

F 8 あなたの現在のお仕事は次のどれですか。 当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 農林漁業（家族従業者を含む）
- 2 自営業（商工サービス業・自由業（家族従業者を含む）など）
- 3 常勤の被雇用者（民間企業のサラリーマンや公務員など）
- 4 臨時・パートタイム
- 5 専業主婦・主夫
- 6 学生
- 7 無職
- 8 その他（具体的に _____)

F 9 あなたの現在の暮らしの状況を総合的に見てどう感じていますか。 当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい |
| 3 普通 | 4 ややゆとりがある |
| 5 大変ゆとりがある | |

F10 あなたはこれまで地域福祉活動（民生委員・児童委員、福祉員、ボランティア、婦人会、老人クラブなど）の経験がありますか。 当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

福祉に関するご意見、ご要望などがありましたら、おしらせください。

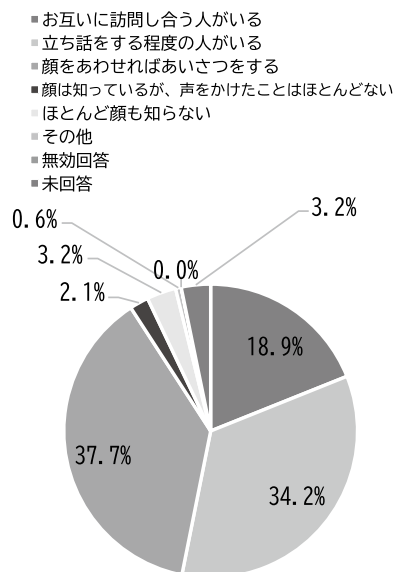
以上で質問はすべて終わりです。ご協力ありがとうございました。

2 「福祉に関する県民意識等実態調査」結果（単純集計結果）

問1 あなたは、ご近所の人との程度のお付き合いをしていますか。

| | 度数 | 比率 |
|---------------------------|------|--------|
| 1 お互いに訪問し合う人がいる | 364 | 18.9% |
| 2 立ち話をする程度の人がある | 658 | 34.2% |
| 3 顔をあわせればあいさつをする | 725 | 37.7% |
| 4 顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない | 40 | 2.1% |
| 5 ほとんど顔も知らない | 62 | 3.2% |
| 6 その他 | 12 | 0.6% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 62 | 3.2% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

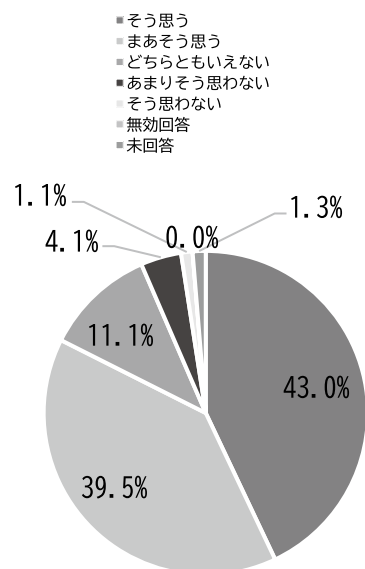
問1 あなたは、ご近所の人との程度のお付き合いをしていますか。



問2 あなたは、ご近所づきあいが必要だと思いますか。

| | 度数 | 比率 |
|-------------|------|--------|
| 1 そう思う | 826 | 43.0% |
| 2 まあそう思う | 759 | 39.5% |
| 3 どちらともいえない | 213 | 11.1% |
| 4 あまりそう思わない | 78 | 4.1% |
| 5 そう思わない | 22 | 1.1% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 25 | 1.3% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

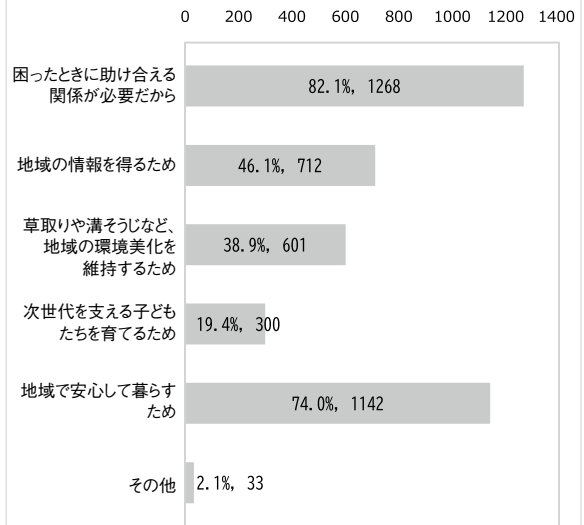
問2 あなたは、ご近所づきあいが必要だと思いますか。



付問2-1 なぜご近所づきあいが必要だと思いますか。

| | 度数 | 比率 |
|-----------------------------|------|-------|
| 1 困ったときに助け合える関係が必要だから | 1268 | 82.1% |
| 2 地域の情報を得るため | 712 | 46.1% |
| 3 草取りや溝そうじなど、地域の環境美化を維持するため | 601 | 38.9% |
| 4 次世代を支える子どもたちを育てるため | 300 | 19.4% |
| 5 地域で安心して暮らすため | 1142 | 74.0% |
| 6 その他 | 33 | 2.1% |
| 未回答 | 41 | |

付問2-1 なぜご近所づきあいが必要だと思いますか。

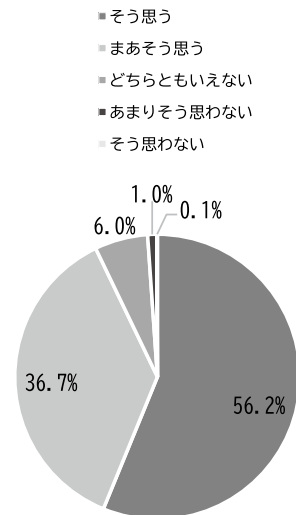


付問2-2 ご近所づきあいを維持・活発にするために必要なものについて、あなたはどのようにお考えですか。

・自ら進んで日頃からご近所同士のつながり（あいさつ等）を持つようにこころがけること

| | 度数 | 比率 |
|-------------|------|--------|
| 1 そう思う | 867 | 56.2% |
| 2 まあそう思う | 566 | 36.7% |
| 3 どちらともいえない | 93 | 6.0% |
| 4 あまりそう思わない | 16 | 1.0% |
| 5 そう思わない | 1 | 0.1% |
| 無効回答 | 313 | |
| 未回答 | 67 | |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

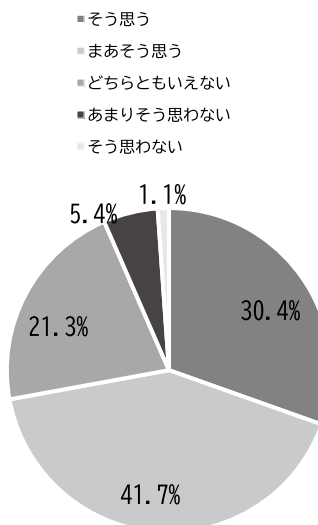
・自ら進んで日頃からご近所同士のつながり（あいさつ等）を持つようにこころがけること



・自治会や町内会などが行う交流活動（季節行事等）に積極的に参加すること

| | 度数 | 比率 |
|-------------|------|--------|
| 1 そう思う | 465 | 30.4% |
| 2 まあそう思う | 637 | 41.7% |
| 3 どちらともいえない | 326 | 21.3% |
| 4 あまりそう思わない | 83 | 5.4% |
| 5 そう思わない | 17 | 1.1% |
| 無効回答 | 313 | |
| 未回答 | 82 | |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

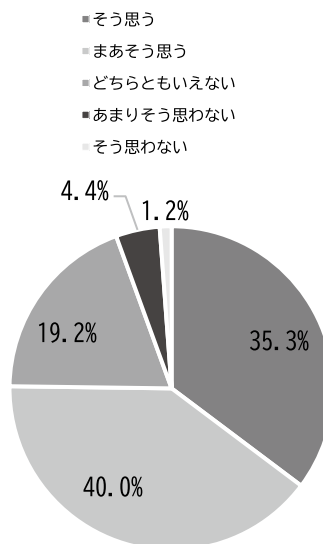
・自治会や町内会などが行う交流活動（季節行事等）に積極的に参加すること



・近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること

| | 度数 | 比率 |
|-------------|------|--------|
| 1 そう思う | 539 | 35.3% |
| 2 まあそう思う | 611 | 40.0% |
| 3 どちらともいえない | 294 | 19.2% |
| 4 あまりそう思わない | 67 | 4.4% |
| 5 そう思わない | 18 | 1.2% |
| 無効回答 | 313 | |
| 未回答 | 81 | |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

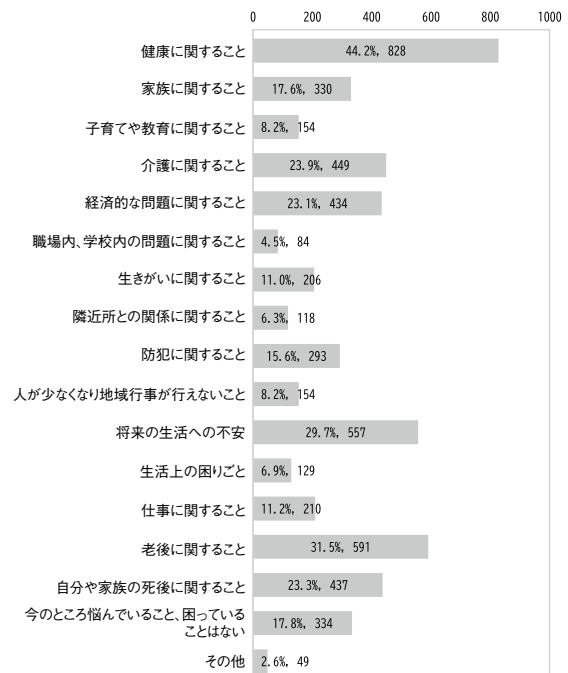
・近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること



問3 あなた自身が現在、悩んでいること、困っていることは何ですか。

| | 度数 | 比率 |
|----------------------------|-----|-------|
| 1 健康に関すること | 828 | 44.2% |
| 2 家族に関すること | 330 | 17.6% |
| 3 子育てや教育に関すること | 154 | 8.2% |
| 4 介護に関すること | 449 | 23.9% |
| 5 経済的な問題に関すること | 434 | 23.1% |
| 6 職場内、学校内の問題に関すること | 84 | 4.5% |
| 7 生きがいにに関すること | 206 | 11.0% |
| 8 隣近所との関係に関すること | 118 | 6.3% |
| 9 防犯に関すること | 293 | 15.6% |
| 10 人が少なくなり地域行事が行えないこと | 154 | 8.2% |
| 11 将来の生活への不安 | 557 | 29.7% |
| 12 生活上の困りごと | 129 | 6.9% |
| 13 仕事に関すること | 210 | 11.2% |
| 14 老後に関すること | 591 | 31.5% |
| 15 自分や家族の死後に関すること | 437 | 23.3% |
| 16 今のところ悩んでいること、困っていることはない | 334 | 17.8% |
| 17 その他 | 49 | 2.6% |
| 未回答 | 48 | |

問3 あなた自身が現在、悩んでいること、困っていることは何ですか。

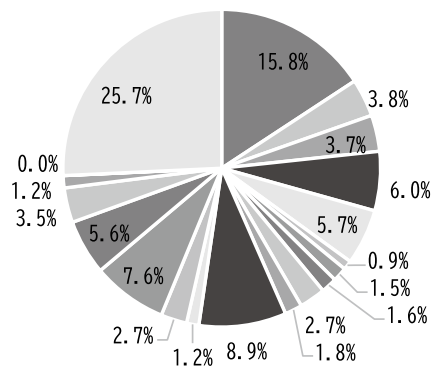


問3-1 現在、最も悩んでいること、困っていることについて

| | 度数 | 比率 |
|----------------------------|------|--------|
| 1 健康に関すること | 303 | 15.8% |
| 2 家族に関すること | 74 | 3.8% |
| 3 子育てや教育に関すること | 71 | 3.7% |
| 4 介護に関すること | 116 | 6.0% |
| 5 経済的な問題に関すること | 109 | 5.7% |
| 6 職場内、学校内の問題に関すること | 18 | 0.9% |
| 7 生きがいにに関すること | 28 | 1.5% |
| 8 隣近所との関係に関すること | 31 | 1.6% |
| 9 防犯に関すること | 51 | 2.7% |
| 10 人が少なくなり地域行事が行えないこと | 34 | 1.8% |
| 11 将来の生活への不安 | 171 | 8.9% |
| 12 生活上の困りごと | 24 | 1.2% |
| 13 仕事に関すること | 51 | 2.7% |
| 14 老後に関すること | 147 | 7.6% |
| 15 自分や家族の死後に関すること | 108 | 5.6% |
| 16 今のところ悩んでいること、困っていることはない | 68 | 3.5% |
| 17 その他 | 24 | 1.2% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 495 | 25.7% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問3-1 現在、最も悩んでいること、困っていることについて

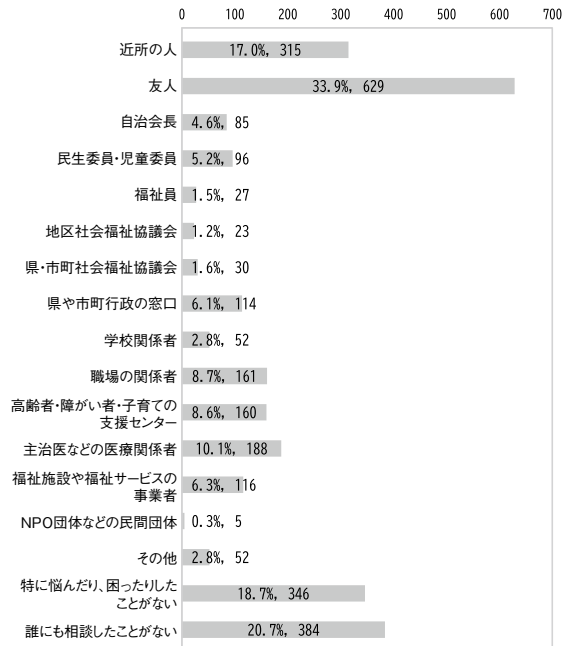
- 健康に関すること
- 家族に関すること
- 子育てや教育に関すること
- 介護に関すること
- 経済的な問題に関すること
- 職場内、学校内の問題に関すること
- 生きがいにに関すること
- 隣近所との関係に関すること
- 防犯に関すること
- 人が少なくなり地域行事が行えないこと
- 将来の生活への不安
- 生活上の困りごと
- 仕事に関すること
- 老後に関すること
- 自分や家族の死後に関すること
- 今のところ悩んでいること、困っていることはない
- その他
- 無効回答
- 未回答



問4 あなたは、これまでに生活上の困りごとや家族の介護、子育てなどを経験する中で、個人や家族だけで解決しづらいときに、家族以外に相談したことがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------------|-----|-------|
| 1 近所の人 | 315 | 17.0% |
| 2 友人 | 629 | 33.9% |
| 3 自治会長 | 85 | 4.6% |
| 4 民生委員・児童委員 | 96 | 5.2% |
| 5 福祉員 | 27 | 1.5% |
| 6 地区社会福祉協議会 | 23 | 1.2% |
| 7 県・市町社会福祉協議会 | 30 | 1.6% |
| 8 県や市町行政の窓口 | 114 | 6.1% |
| 9 学校関係者 | 52 | 2.8% |
| 10 職場の関係者 | 161 | 8.7% |
| 11 高齢者・障がい者・子育ての支援センター | 160 | 8.6% |
| 12 主治医などの医療関係者 | 188 | 10.1% |
| 13 福祉施設や福祉サービスの事業者 | 116 | 6.3% |
| 14 NPO団体などの民間団体 | 5 | 0.3% |
| 15 その他 | 52 | 2.8% |
| 16 特に悩んだり、困ったりしたことがない | 346 | 18.7% |
| 17 誰にも相談したことがない | 384 | 20.7% |
| 未回答 | 69 | |

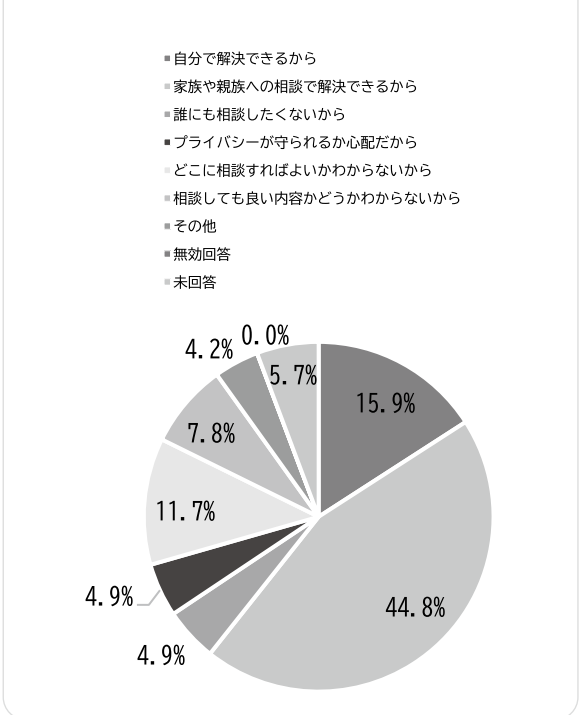
問4 あなたは、これまでに生活上の困りごとや家族の介護、子育てなどを経験する中で、個人や家族だけで解決しづらいときに、家族以外に相談したことがありますか。



付問4-1 誰にも相談しない理由として、どのようなものがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------------|-----|--------|
| 1 自分で解決できるから | 61 | 15.9% |
| 2 家族や親族への相談で解決できるから | 172 | 44.8% |
| 3 誰にも相談したくないから | 19 | 4.9% |
| 4 プライバシーが守られるか心配だから | 19 | 4.9% |
| 5 どこに相談すればよいかわからないから | 45 | 11.7% |
| 6 相談しても良い内容かどうかわからないから | 30 | 7.8% |
| 7 その他 | 16 | 4.2% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 22 | 5.7% |
| 合計 | 384 | 100.0% |

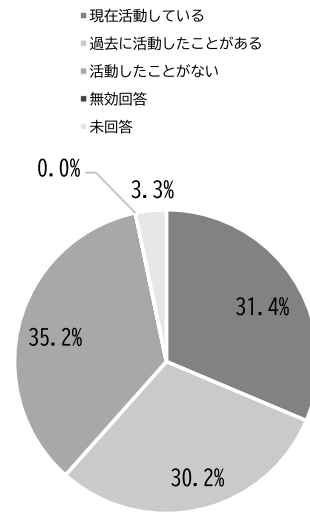
付問4-1 誰にも相談しない理由として、どのようなものがありますか。



問5 あなたは仕事以外に地域で活動されていますか。

| | 度数 | 比率 |
|----------------|------|--------|
| 1 現在活動している | 603 | 31.4% |
| 2 過去に活動したことがある | 581 | 30.2% |
| 3 活動したことがない | 676 | 35.2% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 63 | 3.3% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

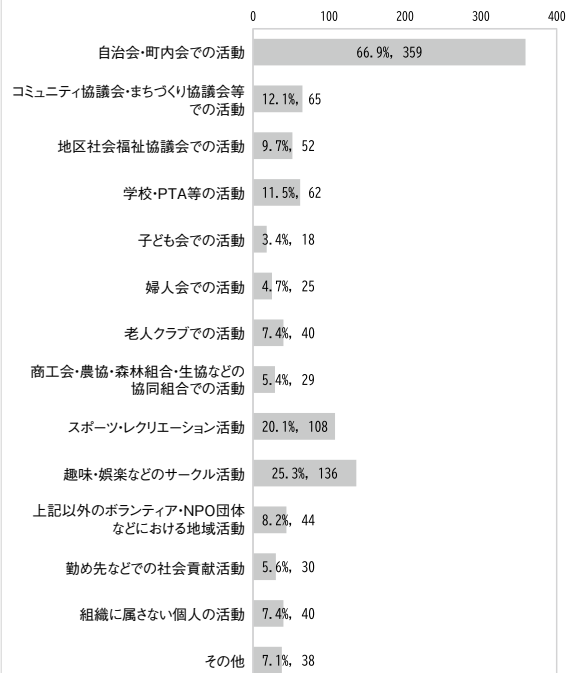
問5 あなたは仕事以外に地域で活動されていますか。



付問5-1 あなたは地域でどのような活動をしていますか。

| | 度数 | 比率 |
|--------------------------------|-----|-------|
| 1 自治会・町内会での活動 | 359 | 66.9% |
| 2 コミュニティ協議会・まちづくり協議会等での活動 | 65 | 12.1% |
| 3 地区社会福祉協議会での活動 | 52 | 9.7% |
| 4 学校・PTA等の活動 | 62 | 11.5% |
| 5 子ども会での活動 | 18 | 3.4% |
| 6 婦人会での活動 | 25 | 4.7% |
| 7 老人クラブでの活動 | 40 | 7.4% |
| 8 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合での活動 | 29 | 5.4% |
| 9 スポーツ・レクリエーション活動 | 108 | 20.1% |
| 10 趣味・娯楽などのサークル活動 | 136 | 25.3% |
| 11 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動 | 44 | 8.2% |
| 12 勤め先などでの社会貢献活動 | 30 | 5.6% |
| 13 組織に属さない個人の活動 | 40 | 7.4% |
| 14 その他 | 38 | 7.1% |
| 未回答 | 66 | |

付問5-1 あなたは地域でどのような活動をしていますか。

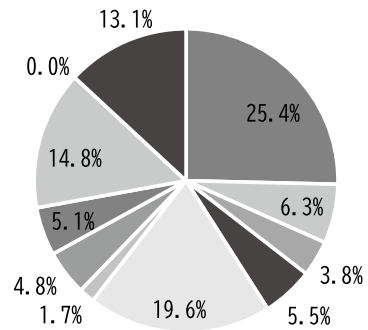


付問5-2 付問5-1の活動をされたきっかけは何ですか。

| | 度数 | 比率 |
|----------------------|-----|--------|
| 1 地域や社会に貢献したかったから | 153 | 25.4% |
| 2 自分の知識や経験を活かしたかったから | 38 | 6.3% |
| 3 友人や仲間を増やしたかったから | 23 | 3.8% |
| 4 生活にはりあいを持たせたかったから | 33 | 5.5% |
| 5 身近な人に誘われたから | 118 | 19.6% |
| 6 様々な情報を手に入れたかったから | 10 | 1.7% |
| 7 健康を維持したかったから | 29 | 4.8% |
| 8 何となく | 31 | 5.1% |
| 9 その他 | 89 | 14.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 79 | 13.1% |
| 合計 | 603 | 100.0% |

付問5-2 付問5-1の活動をされたきっかけは何ですか。

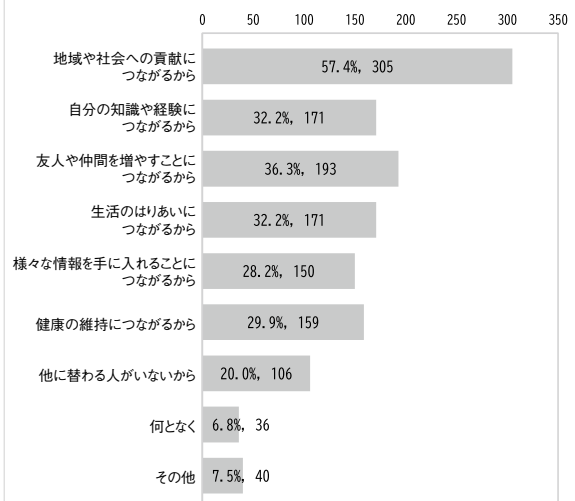
- 地域や社会に貢献したかったから
- 自分の知識や経験を活かしたかったから
- 友人や仲間を増やしたかったから
- 生活にはりあいを持たせたかったから
- 身近な人に誘われたから
- 様々な情報を手に入れたかったから
- 健康を維持したかったから
- 何となく
- その他
- 無効回答
- 未回答



付問5-3 付問5-1の活動を続けている理由として、どのようなものがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------------|-----|-------|
| 1 地域や社会への貢献につながるから | 305 | 57.4% |
| 2 自分の知識や経験につながるから | 171 | 32.2% |
| 3 友人や仲間を増やすことにつながるから | 193 | 36.3% |
| 4 生活のはりあいにつながるから | 171 | 32.2% |
| 5 様々な情報を手に入れることにつながるから | 150 | 28.2% |
| 6 健康の維持につながるから | 159 | 29.9% |
| 7 他に替わる人がいないから | 106 | 20.0% |
| 8 何となく | 36 | 6.8% |
| 9 その他 | 40 | 7.5% |
| 未回答 | 72 | |

付問5-3 付問5-1の活動を続けている理由として、どのようなものがありますか。

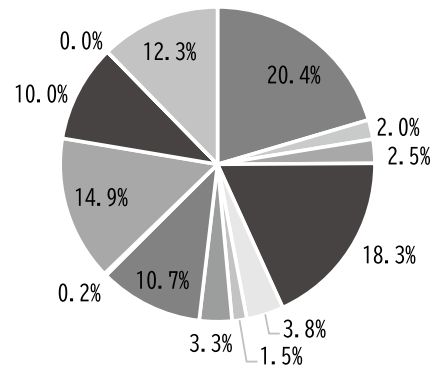


付問5-4 現在、地域で活動されていない理由として、どのようなものがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|--------------------|------|--------|
| 1 時間がないから | 257 | 20.4% |
| 2 経済的な余裕がないから | 25 | 2.0% |
| 3 一緒に活動する仲間がないから | 31 | 2.5% |
| 4 健康や体力面で自信がないから | 230 | 18.3% |
| 5 活動の内容や方法がわからないから | 48 | 3.8% |
| 6 移動の手段がないから | 19 | 1.5% |
| 7 地域の人とのつきあいが面倒だから | 42 | 3.3% |
| 8 参加する気持ちがないから | 134 | 10.7% |
| 9 家族の理解が得られないから | 3 | 0.2% |
| 10 きっかけがないから | 187 | 14.9% |
| 11 その他 | 126 | 10.0% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 155 | 12.3% |
| 合計 | 1257 | 100.0% |

付問5-4 現在、地域で活動されていない理由として、どのようなものがありますか。

- 時間がないから
- 経済的な余裕がないから
- 一緒に活動する仲間がないから
- 健康や体力面で自信がないから
- 活動の内容や方法がわからないから
- 移動の手段がないから
- 地域の人とのつきあいが面倒だから
- 参加する気持ちがないから
- 家族の理解が得られないから
- きっかけがないから
- その他
- 無効回答
- 未回答

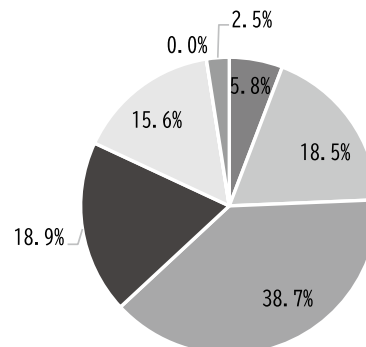


付問5-5 あなたは今後、地域の活動に参加しようと思いますか。

| | 度数 | 比率 |
|-------------|------|--------|
| 1 そう思う | 73 | 5.8% |
| 2 まあそう思う | 233 | 18.5% |
| 3 どちらともいえない | 487 | 38.7% |
| 4 あまりそう思わない | 237 | 18.9% |
| 5 そう思わない | 196 | 15.6% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 31 | 2.5% |
| 合計 | 1257 | 100.0% |

付問5-5 あなたは今後、地域の活動に参加しようと思いますか。

- そう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない
- 無効回答
- 未回答

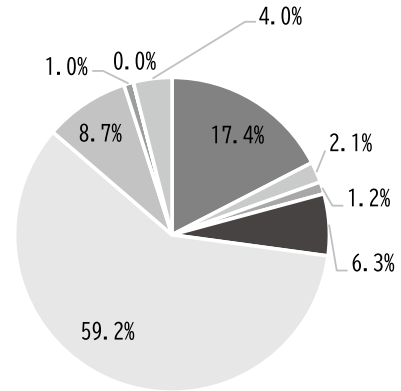


問6 地域の支え合い活動を進めることを考えたときに、あなたが最初に思い浮かべる地域の範囲はどれでしょうか。

| | 度数 | 比率 |
|--------------|------|--------|
| 1 現在の市、町 | 335 | 17.4% |
| 2 合併する前の旧市町村 | 41 | 2.1% |
| 3 中学校区 | 24 | 1.2% |
| 4 小学校区 | 122 | 6.3% |
| 5 自治会・町内会 | 1138 | 59.2% |
| 6 班・組など | 168 | 8.7% |
| 7 その他 | 19 | 1.0% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 76 | 4.0% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問6 地域の支え合い活動を進めることを考えたときに、あなたが最初に思い浮かべる地域の範囲はどれでしょうか。

- 現在の市、町
- 合併する前の旧市町村
- 中学校区
- 小学校区
- 自治会・町内会
- 班・組など
- その他
- 無効回答
- 未回答

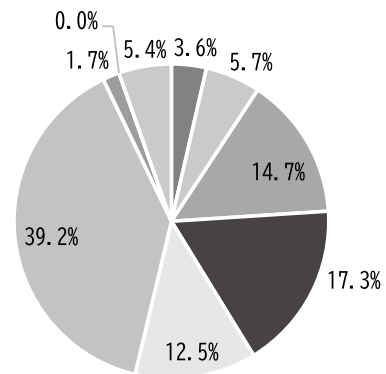


問7 地域で支え合うために、あなたは何が最も大切な条件だと思いますか。

| | 度数 | 比率 |
|-----------------|------|--------|
| 1 活動拠点の確保 | 69 | 3.6% |
| 2 活動資金 | 109 | 5.7% |
| 3 活動を進めるリーダー | 283 | 14.7% |
| 4 活動を進める組織 | 332 | 17.3% |
| 5 活動のための情報の共有 | 240 | 12.5% |
| 6 活動のための仲間・つながり | 753 | 39.2% |
| 7 その他 | 33 | 1.7% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 104 | 5.4% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

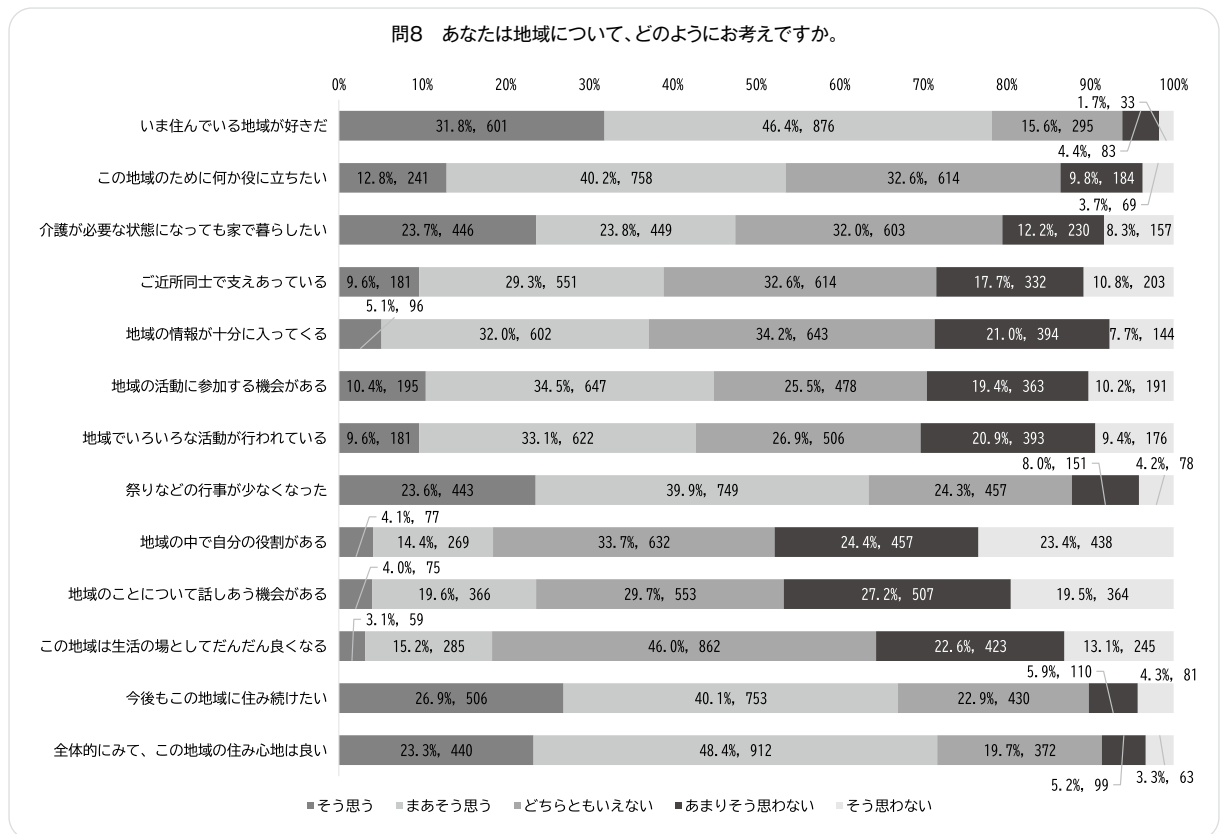
問7 地域で支え合うために、あなたは何が最も大切な条件だと思いますか。

- 活動拠点の確保
- 活動資金
- 活動を進めるリーダー
- 活動を進める組織
- 活動のための情報の共有
- 活動のための仲間・つながり
- その他
- 無効回答
- 未回答



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。

| | | そう思う | まあそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | 無効回答 | 未回答 | 合計 | | | | | |
|-------------------------|-----------|------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|----------|------------|------|--------|
| | | いま住んでいる地域が好きだと思う | 度数 601 | 比率 31.8% | 度数 876 | 比率 46.4% | 度数 295 | 比率 15.6% | 度数 83 | 比率 4.4% | 度数 33 | 比率 1.7% | 0 | 35 |
| この地域のために何か役に立ちたいと思う | 度数 241 | 比率 12.8% | 度数 758 | 比率 40.2% | 度数 614 | 比率 32.6% | 度数 184 | 比率 9.8% | 度数 69 | 比率 3.7% | 0 | 57 | 1923 | 98.9% |
| | 度数 446 | 比率 23.7% | 度数 449 | 比率 23.8% | 度数 603 | 比率 32.0% | 度数 230 | 比率 12.2% | 度数 157 | 比率 8.3% | 0 | 38 | 1923 | 100.0% |
| 介護が必要な状態になっても家で暮らしたいと思う | 度数 181 | 比率 9.6% | 度数 551 | 比率 29.3% | 度数 614 | 比率 32.6% | 度数 332 | 比率 17.7% | 度数 203 | 比率 10.8% | 0 | 42 | 1923 | 100.0% |
| | 度数 96 | 比率 5.1% | 度数 602 | 比率 32.0% | 度数 643 | 比率 34.2% | 度数 394 | 比率 21.0% | 度数 144 | 比率 7.7% | 0 | 44 | 1923 | 100.0% |
| 地域の活動に参加する機会があると思う | 度数 195 | 比率 10.4% | 度数 647 | 比率 34.5% | 度数 478 | 比率 25.5% | 度数 363 | 比率 19.4% | 度数 191 | 比率 10.2% | 0 | 49 | 1923 | 100.0% |
| | 度数 181 | 比率 9.6% | 度数 622 | 比率 33.1% | 度数 506 | 比率 26.9% | 度数 393 | 比率 20.9% | 度数 176 | 比率 9.4% | 0 | 45 | 1923 | 100.0% |
| 祭りなどの行事が少なくなったと思う | 度数 443 | 比率 23.6% | 度数 749 | 比率 39.9% | 度数 457 | 比率 24.3% | 度数 151 | 比率 8.0% | 度数 78 | 比率 4.2% | 0 | 45 | 1923 | 100.0% |
| | 度数 77 | 比率 4.1% | 度数 269 | 比率 14.4% | 度数 632 | 比率 33.7% | 度数 457 | 比率 24.4% | 度数 438 | 比率 23.4% | 0 | 50 | 1923 | 100.0% |
| 地域の中で自分の役割があると思う | 度数 75 | 比率 4.0% | 度数 366 | 比率 19.6% | 度数 553 | 比率 29.7% | 度数 507 | 比率 27.2% | 度数 364 | 比率 19.5% | 0 | 58 | 1923 | 100.0% |
| | 度数 59 | 比率 3.1% | 度数 285 | 比率 15.2% | 度数 862 | 比率 46.0% | 度数 423 | 比率 22.6% | 度数 245 | 比率 13.1% | 0 | 49 | 1923 | 100.0% |
| この地域は生活の場としてだんだん良くなると思う | 度数 506 | 比率 26.9% | 度数 753 | 比率 40.1% | 度数 430 | 比率 22.9% | 度数 110 | 比率 5.9% | 度数 81 | 比率 4.3% | 0 | 43 | 1923 | 100.0% |
| | 度数 440 | 比率 23.3% | 度数 912 | 比率 48.4% | 度数 372 | 比率 19.7% | 度数 99 | 比率 5.2% | 度数 63 | 比率 3.3% | 0 | 37 | 1923 | 100.0% |

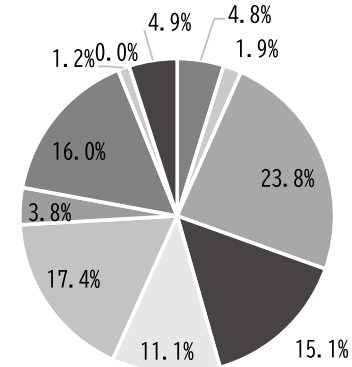


問9 あなたが考える「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）」とは、どのような地域（まち）だと思いますか。

| | 度数 | 比率 |
|--------------------------|------|--------|
| 1 地域活動にいろいろな人が参加しやすい地域 | 92 | 4.8% |
| 2 趣味活動・スポーツなどに取り組みやすい地域 | 36 | 1.9% |
| 3 福祉サービスが充実している地域 | 458 | 23.8% |
| 4 防災・安全対策が充実している地域 | 291 | 15.1% |
| 5 次世代を育む環境が充実している地域 | 214 | 11.1% |
| 6 ご近所同士で日頃から助け合うことができる地域 | 334 | 17.4% |
| 7 地域社会の一員であることを実感できる地域 | 73 | 3.8% |
| 8 暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域 | 307 | 16.0% |
| 9 その他 | 23 | 1.2% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 95 | 4.9% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問9 あなたが考える「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域（まち）」とは、どのような地域（まち）だと思いますか。

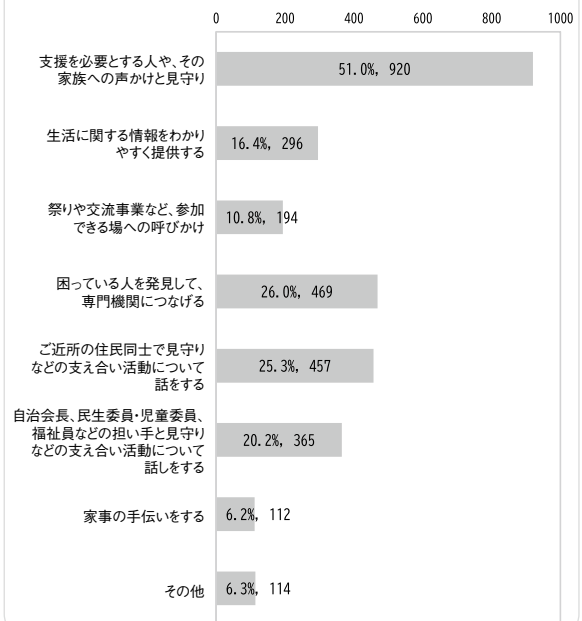
- 地域活動にいろいろな人が参加しやすい地域
- 趣味活動・スポーツなどに取り組みやすい地域
- 福祉サービスが充実している地域
- 防災・安全対策が充実している地域
- 次世代を育む環境が充実している地域
- ご近所同士で日頃から助け合うことができる地域
- 地域社会の一員であることを実感できる地域
- 暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域
- その他
- 無効回答
- 未回答



問10 高齢者や障害のある人（子ども）、引きこもり（不登校）の人、少し気がかりな人（子ども）など、支援を必要とする人や家庭に対し、地域で支えるためにあなたができることとして、どのようなことがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|---|-----|-------|
| 1 支援を必要とする人や、その家族への声かけと見守り | 920 | 51.0% |
| 2 生活に関する情報をわかりやすく提供する | 296 | 16.4% |
| 3 祭りや交流事業など、参加できる場への呼びかけ | 194 | 10.8% |
| 4 困っている人を発見して、専門機関につなげる | 469 | 26.0% |
| 5 ご近所の住民同士で見守りなどの支え合い活動について話をする | 457 | 25.3% |
| 6 自治会長、民生委員・児童委員、福祉員などの担い手と見守りなどの支え合い活動について話をする | 365 | 20.2% |
| 7 家事の手伝いをする | 112 | 6.2% |
| 8 その他 | 114 | 6.3% |
| 未回答 | 120 | |

問10 高齢者や障害のある人（子ども）、引きこもり（不登校）の人、少し気がかりな人（子ども）など、支援を必要とする人や家庭に対し、地域で支えるためにあなたができることとして、どのようなことがありますか。

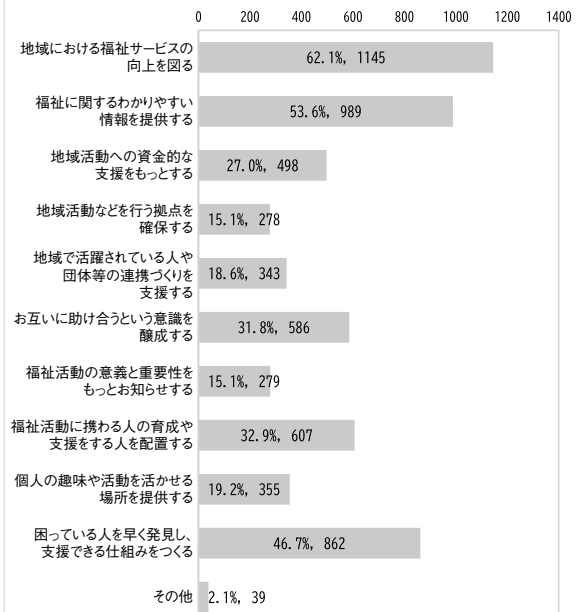


問11 「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」を進めていくために、市や町の行政に期待する役割としてどのようなことがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------------------|------|-------|
| 1 地域における福祉サービスの向上を図る | 1145 | 62.1% |
| 2 福祉に関するわかりやすい情報を提供する | 989 | 53.6% |
| 3 地域活動への資金的な支援をもっとする | 498 | 27.0% |
| 4 地域活動などを行う拠点を確保する | 278 | 15.1% |
| 5 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する | 343 | 18.6% |
| 6 お互いに助け合うという意識を醸成する | 586 | 31.8% |
| 7 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする | 279 | 15.1% |
| 8 福祉活動に携わる人の育成や支援をする人を配置する | 607 | 32.9% |
| 9 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する | 355 | 19.2% |
| 10 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる | 862 | 46.7% |
| 11 その他 | 39 | 2.1% |
| 無効回答 | 0 | |
| 未回答 | 78 | |

※この設問は、前回調査まで単数回答、今回調査が複数回答となっている。

問11 「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」を進めていくために、市や町の行政に期待する役割としてどのようなことがありますか。



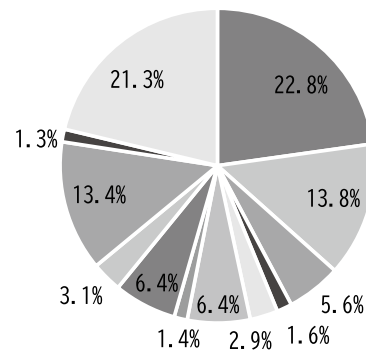
付問11-1 上の問11で○をつけた市や町の行政に期待する役割の中で、あなたが最も重要視しているのはどれですか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------------------|------|--------|
| 1 地域における福祉サービスの向上を図る | 438 | 22.8% |
| 2 福祉に関するわかりやすい情報を提供する | 266 | 13.8% |
| 3 地域活動への資金的な支援をもっとする | 108 | 5.6% |
| 4 地域活動などを行う拠点を確保する | 30 | 1.6% |
| 5 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する | 55 | 2.9% |
| 6 お互いに助け合うという意識を醸成する | 124 | 6.4% |
| 7 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする | 26 | 1.4% |
| 8 福祉活動に携わる人の育成や支援をする人を配置する | 124 | 6.4% |
| 9 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する | 60 | 3.1% |
| 10 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる | 258 | 13.4% |
| 11 その他 | 25 | 1.3% |
| 無回答 | 409 | 21.3% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

※この設問は、今回調査から新たに加わった設問となっている。

付問11-1 上の問11で○をつけた市や町の行政に期待する役割の中で、あなたが最も重要視しているのはどれですか。

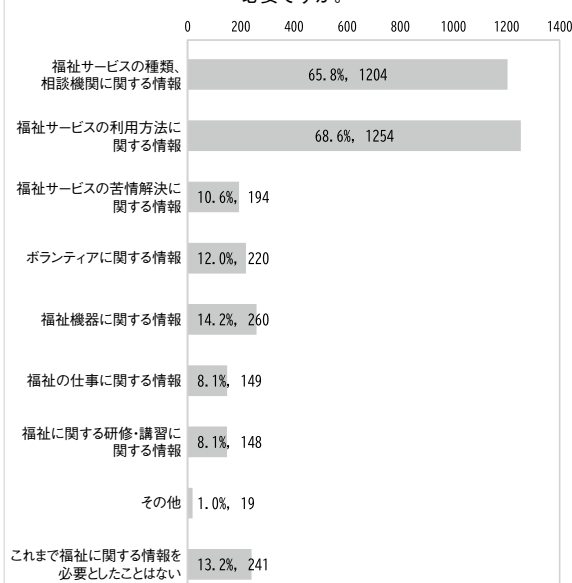
- 地域における福祉サービスの向上を図る
- 福祉に関するわかりやすい情報を提供する
- 地域活動への資金的な支援をもっとする
- 地域活動などを行う拠点を確保する
- 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する
- お互いに助け合うという意識を醸成する
- 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする
- 福祉活動に携わる人の育成や支援をする人を配置する
- 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する
- 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる
- その他
- 無回答



問12 あなたは福祉に関する情報について、どのような情報が必要ですか。

| | 度数 | 比率 |
|---------------------------|------|-------|
| 1 福祉サービスの種類、相談機関に関する情報 | 1204 | 65.8% |
| 2 福祉サービスの利用方法に関する情報 | 1254 | 68.6% |
| 3 福祉サービスの苦情解決に関する情報 | 194 | 10.6% |
| 4 ボランティアに関する情報 | 220 | 12.0% |
| 5 福祉機器に関する情報 | 260 | 14.2% |
| 6 福祉の仕事に関する情報 | 149 | 8.1% |
| 7 福祉に関する研修・講習に関する情報 | 148 | 8.1% |
| 8 その他 | 19 | 1.0% |
| 9 これまで福祉に関する情報を必要としたことはない | 241 | 13.2% |
| 未回答 | 94 | |

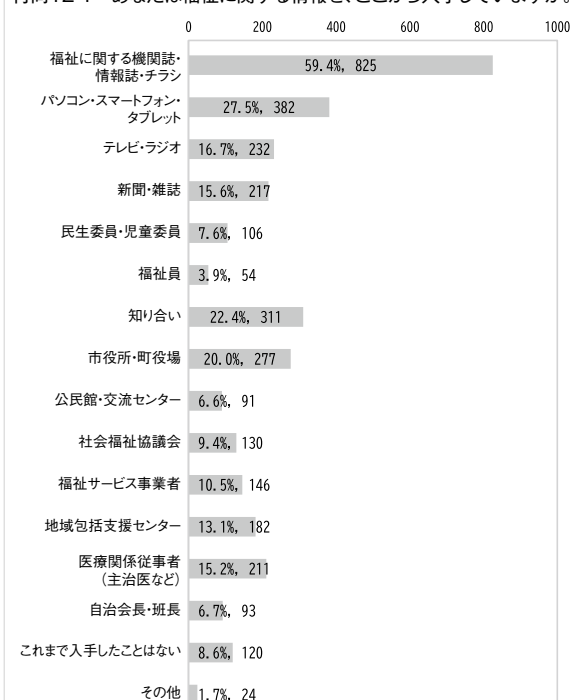
問12 あなたは福祉に関する情報について、どのような情報が必要ですか。



付問12-1 あなたは福祉に関する情報を、どこから入手していますか。

| | 度数 | 比率 |
|----------------------|-----|-------|
| 1 福祉に関する機関誌・情報誌・チラシ | 825 | 59.4% |
| 2 パソコン・スマートフォン・タブレット | 382 | 27.5% |
| 3 テレビ・ラジオ | 232 | 16.7% |
| 4 新聞・雑誌 | 217 | 15.6% |
| 5 民生委員・児童委員 | 106 | 7.6% |
| 6 福祉員 | 54 | 3.9% |
| 7 知り合い | 311 | 22.4% |
| 8 市役所・町役場 | 277 | 20.0% |
| 9 公民館・交流センター | 91 | 6.6% |
| 10 社会福祉協議会 | 130 | 9.4% |
| 11 福祉サービス事業者 | 146 | 10.5% |
| 12 地域包括支援センター | 182 | 13.1% |
| 13 医療関係従事者(主治医など) | 211 | 15.2% |
| 14 自治会長・班長 | 93 | 6.7% |
| 15 これまで入手したことはない | 120 | 8.6% |
| 16 その他 | 24 | 1.7% |
| 未回答 | 200 | |

付問12-1 あなたは福祉に関する情報を、どこから入手していますか。

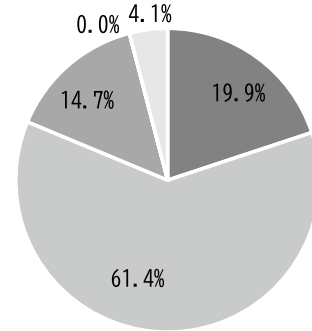


問13 あなたは、市や町の社会福祉協議会を知っていますか。

| | 度数 | 比率 |
|---------------------------|------|--------|
| 1 名前も活動内容もよく知っている。 | 383 | 19.9% |
| 2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない | 1180 | 61.4% |
| 3 名前も活動内容も知らない | 282 | 14.7% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 78 | 4.1% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問13 あなたは、市や町の社会福祉協議会を知っていますか。

- 名前も活動内容もよく知っている。
- 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない
- 名前も活動内容も知らない
- 無効回答
- 未回答

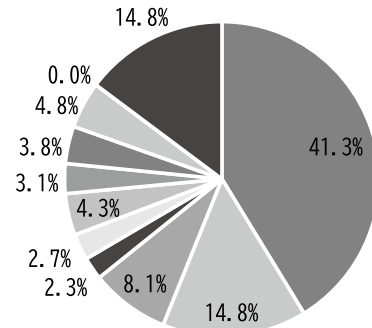


付問13-1 あなたは、どのようにして市や町の社会福祉協議会を知りましたか。

| | 度数 | 比率 |
|--------------------------------|------|--------|
| 1 社会福祉協議会の広報紙を見たことがある | 645 | 41.3% |
| 2 新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある | 232 | 14.8% |
| 3 家族や友人から話を聞いたことがある | 127 | 8.1% |
| 4 福祉員から話を聞いたことがある | 36 | 2.3% |
| 5 民生委員・児童委員から話を聞いたことがある | 42 | 2.7% |
| 6 社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある | 67 | 4.3% |
| 7 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある | 48 | 3.1% |
| 8 地域の活動やボランティア活動を通じて知った | 60 | 3.8% |
| 9 その他 | 75 | 4.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 231 | 14.8% |
| 合計 | 1563 | 100.0% |

付問13-1 あなたは、どのようにして市や町の社会福祉協議会を知りましたか。

- 社会福祉協議会の広報紙を見たことがある
- 新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある
- 家族や友人から話を聞いたことがある
- 福祉員から話を聞いたことがある
- 民生委員・児童委員から話を聞いたことがある
- 社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある
- 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある
- 地域の活動やボランティア活動を通じて知った
- その他
- 無効回答
- 未回答

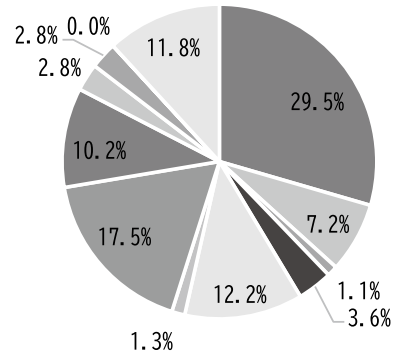


付問13-2 あなたは、社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------------------|------|--------|
| 1 高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ | 461 | 29.5% |
| 2 障がいのある人に関する支援をすること | 113 | 7.2% |
| 3 子どもに関する支援をすること | 17 | 1.1% |
| 4 ボランティア活動を支援すること | 56 | 3.6% |
| 5 暮らしの困りごとについて相談を受けるところ | 190 | 12.2% |
| 6 福祉に関する研修会を実施すること | 21 | 1.3% |
| 7 福祉サービスを提供すること | 273 | 17.5% |
| 8 募金や寄附を集め、いろいろな事業を行っているところ | 160 | 10.2% |
| 9 生活困窮者への生活支援を行っているところ | 44 | 2.8% |
| 10 その他 | 43 | 2.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 185 | 11.8% |
| 合計 | 1563 | 100.0% |

付問13-2 あなたは、社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。

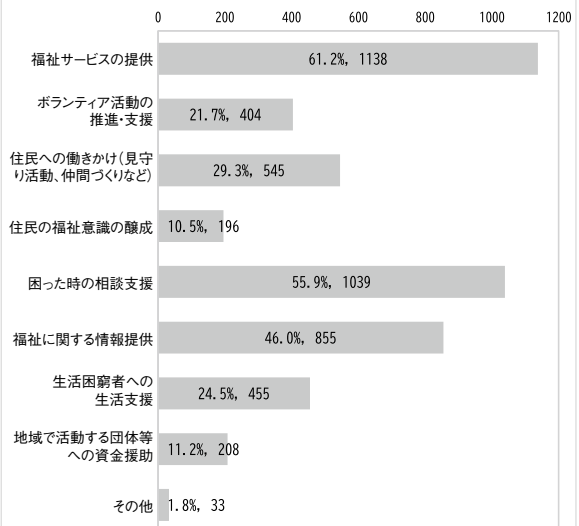
- 高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ
- 障がいのある人に関する支援をすること
- 子どもに関する支援をすること
- ボランティア活動を支援すること
- 暮らしの困りごとについて相談を受けるところ
- 福祉に関する研修会を実施すること
- 福祉サービスを提供すること
- 募金や寄附を集め、いろいろな事業を行っているところ
- 生活困窮者への生活支援を行っているところ
- その他
- 無効回答
- 未回答



問14 あなたは、今後、市や町の社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。

| | 度数 | 比率 |
|---------------------------|------|-------|
| 1 福祉サービスの提供 | 1138 | 61.2% |
| 2 ボランティア活動の推進・支援 | 404 | 21.7% |
| 3 住民への働きかけ(見守り活動、仲間づくりなど) | 545 | 29.3% |
| 4 住民の福祉意識の醸成 | 196 | 10.5% |
| 5 困った時の相談支援 | 1039 | 55.9% |
| 6 福祉に関する情報提供 | 855 | 46.0% |
| 7 生活困窮者への生活支援 | 455 | 24.5% |
| 8 地域で活動する団体等への資金援助 | 208 | 11.2% |
| 9 その他 | 33 | 1.8% |
| 未回答 | 65 | |

問14 あなたは、今後、市や町の社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。

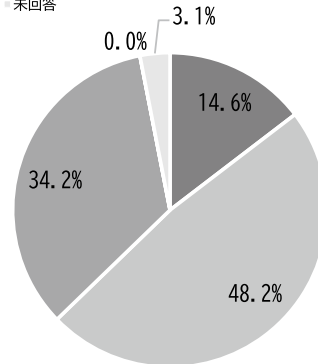


問15 あなたは、「福祉員」を知っていましたか。

| | 度数 | 比率 |
|-----------------------------|------|--------|
| 1 名前も活動内容もよく知っていた | 281 | 14.6% |
| 2 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった | 926 | 48.2% |
| 3 名前も活動内容も知らなかった | 657 | 34.2% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 59 | 3.1% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問15 あなたは、「福祉員」を知っていましたか。

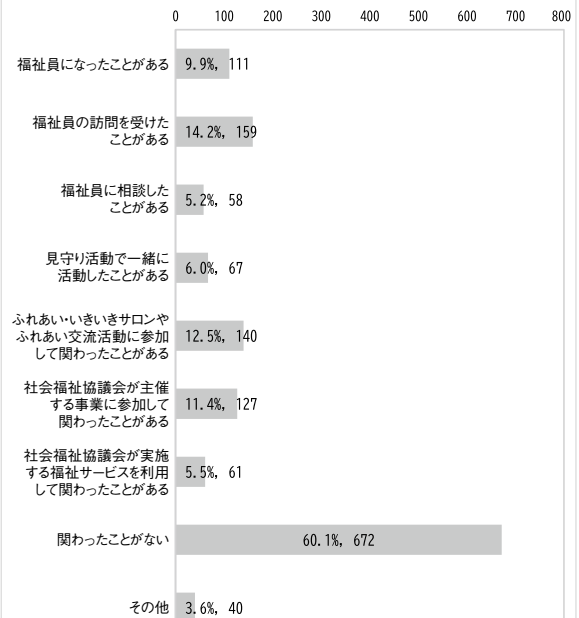
- 名前も活動内容もよく知っていた
- 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった
- 名前も活動内容も知らなかった
- 無効回答
- 未回答



付問15-1 あなたは、これまで福祉員とどのような関わりがありましたか。

| | 度数 | 比率 |
|---------------------------------------|-----|-------|
| 1 福祉員になったことがある | 111 | 9.9% |
| 2 福祉員の訪問を受けたことがある | 159 | 14.2% |
| 3 福祉員に相談したことがある | 58 | 5.2% |
| 4 見守り活動と一緒に活動したことがある | 67 | 6.0% |
| 5 ふれあい・いきいきサロンやふれあい交流活動に参加して関わったことがある | 140 | 12.5% |
| 6 社会福祉協議会が主催する事業に参加して関わったことがある | 127 | 11.4% |
| 7 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用して関わったことがある | 61 | 5.5% |
| 8 関わったことがない | 672 | 60.1% |
| 9 その他 | 40 | 3.6% |
| 未回答 | 89 | |

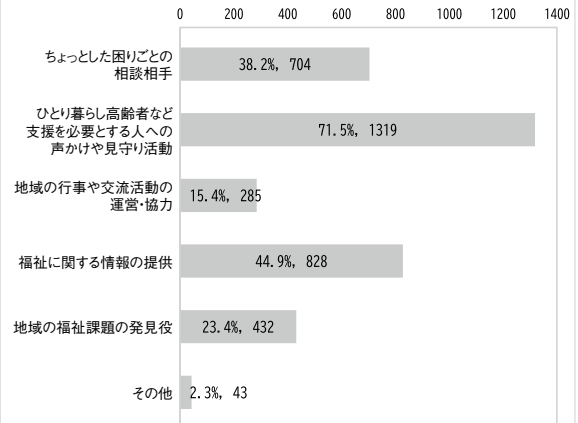
付問15-1 あなたは、これまで福祉員とどのような関わりがありましたか。



問16 今後、「福祉員」に期待する役割としてどのようなことがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|-----------------------------------|------|-------|
| 1 ちょっとした困りごとの相談相手 | 704 | 38.2% |
| 2 ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人への声かけや見守り活動 | 1319 | 71.5% |
| 3 地域の行事や交流活動の運営・協力 | 285 | 15.4% |
| 4 福祉に関する情報の提供 | 828 | 44.9% |
| 5 地域の福祉課題の発見役 | 432 | 23.4% |
| 6 その他 | 43 | 2.3% |
| 未回答 | 78 | |

問16 今後、「福祉員」に期待する役割としてどのようなことがありますか。

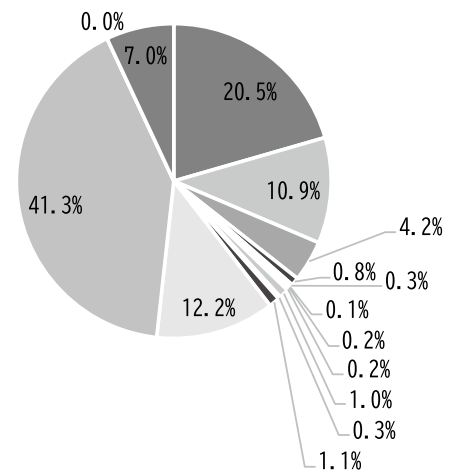


問17 あなたには、災害時に備えて家族・親族以外で、戸締まりや避難などのお手伝いを頼める方がいらっしゃいますか。

| | 度数 | 比率 |
|------------------|------|--------|
| 1 近所の人 | 395 | 20.5% |
| 2 友人 | 209 | 10.9% |
| 3 自治会・町内会関係者 | 81 | 4.2% |
| 4 民生委員・児童委員 | 16 | 0.8% |
| 5 福祉員 | 5 | 0.3% |
| 6 地区社会福祉協議会の関係者 | 2 | 0.1% |
| 7 市町社会福祉協議会の関係者 | 3 | 0.2% |
| 8 市町行政の関係者 | 4 | 0.2% |
| 9 職場の関係者 | 19 | 1.0% |
| 10 社会福祉施設などの関係者 | 5 | 0.3% |
| 11 その他 | 21 | 1.1% |
| 12 手伝いを頼みたいが、いない | 235 | 12.2% |
| 13 自分でできるので、いない | 794 | 41.3% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 134 | 7.0% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問17 あなたには、災害時に備えて家族・親族以外で、戸締まりや避難などのお手伝いを頼める方がいらっしゃいますか。

- 近所の人
- 友人
- 自治会・町内会関係者
- 民生委員・児童委員
- 福祉員
- 地区社会福祉協議会の関係者
- 市町社会福祉協議会の関係者
- 市町行政の関係者
- 職場の関係者
- 社会福祉施設などの関係者
- その他
- 手伝いを頼みたいが、いない
- 自分でできるので、いない
- 無効回答
- 未回答

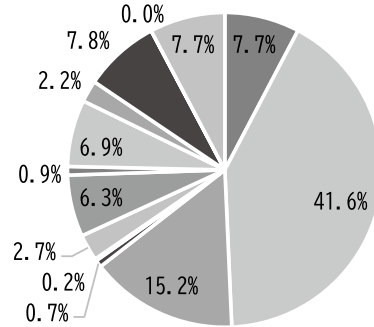


問18 もし、あなたの地域に、次のような方がいたら、災害時に備えて、あなたはどのように取組みますか。
災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らしの高齢者

| | 度数 | 比率 |
|---------------------------|------|--------|
| 1 自分で避難の手伝いをするつもりである | 148 | 7.7% |
| 2 近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである | 800 | 41.6% |
| 3 自治会・町内会で話し合う | 292 | 15.2% |
| 4 地区社会福祉協議会・まちづくり協議会で話し合う | 14 | 0.7% |
| 5 NPOなどの支援団体を紹介する | 4 | 0.2% |
| 6 地域包括支援センターなどの専門職に相談する | 52 | 2.7% |
| 7 市役所の福祉関係課に相談する | 122 | 6.3% |
| 8 市町社会福祉協議会に相談する | 17 | 0.9% |
| 9 警察・消防に相談する | 132 | 6.9% |
| 10 その他 | 43 | 2.2% |
| 11 特に対応しない | 150 | 7.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 149 | 7.7% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

災害時に一人で避難することが難しいと思われる、
一人暮らしの高齢者

- 自分で避難の手伝いをするつもりである
- 近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである
- 自治会・町内会で話し合う
- 地区社会福祉協議会・まちづくり協議会で話し合う
- NPOなどの支援団体を紹介する
- 地域包括支援センターなどの専門職に相談する
- 市役所の福祉関係課に相談する
- 市町社会福祉協議会に相談する
- 警察・消防に相談する
- その他
- 特に対応しない
- 無効回答
- 未回答

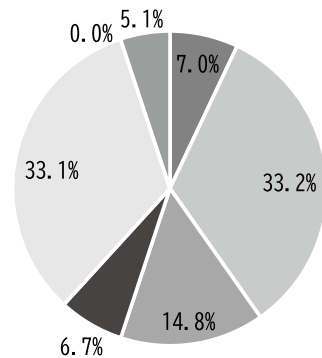


問19 あなたは、災害ボランティア活動に協力したいですか。

| | 度数 | 比率 |
|-------------------|------|--------|
| 1 協力したい | 135 | 7.0% |
| 2 どちらかといえば協力したい | 639 | 33.2% |
| 3 どちらかといえば協力したくない | 285 | 14.8% |
| 4 協力したくない | 129 | 6.7% |
| 5 わからない | 637 | 33.1% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 98 | 5.1% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問19 あなたは、災害ボランティア活動に協力したいですか。

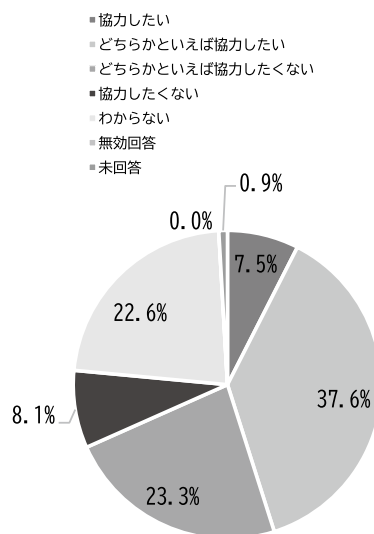
- 協力したい
- どちらかといえば協力したい
- どちらかといえば協力したくない
- 協力したくない
- わからない
- 無効回答
- 未回答



付問19-1 あなたは、市町社会福祉協議会が災害発生時の円滑な被災者・被災地支援に備え、災害ボランティアの事前登録を行っている場合、登録したいですか。

| | 度数 | 比率 |
|-------------------|-----|--------|
| 1 協力したい | 58 | 7.5% |
| 2 どちらかといえば協力したい | 291 | 37.6% |
| 3 どちらかといえば協力したくない | 180 | 23.3% |
| 4 協力したくない | 63 | 8.1% |
| 5 わからない | 175 | 22.6% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 7 | 0.9% |
| 合計 | 774 | 100.0% |

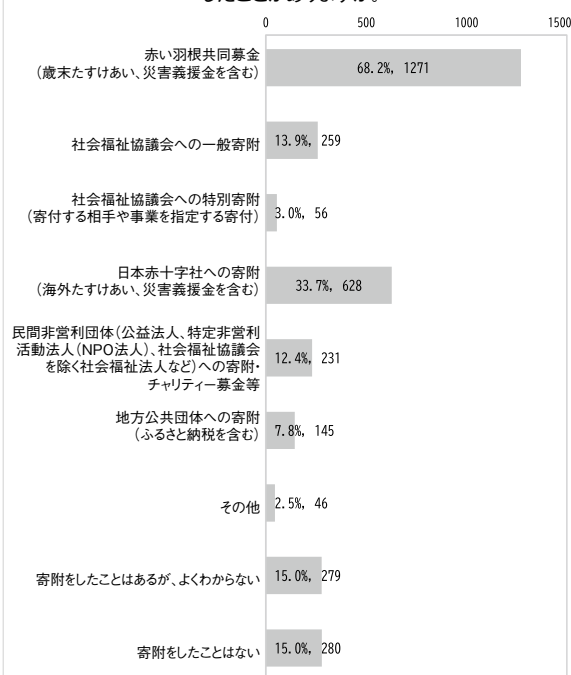
付問19-1 あなたは、市町社会福祉協議会が災害発生時の円滑な被災者・被災地支援に備え、災害ボランティアの事前登録を行っている場合、登録したいですか。



問20 あなたは、過去1年間に次のような寄附（募金）をしたことがありますか。

| | 度数 | 比率 |
|---|------|-------|
| 1 赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む） | 1271 | 68.2% |
| 2 社会福祉協議会への一般寄附 | 259 | 13.9% |
| 3 社会福祉協議会への特別寄附（寄付する相手や事業を指定する寄附） | 56 | 3.0% |
| 4 日本赤十字社への寄附（海外たすけあい、災害義援金を含む） | 628 | 33.7% |
| 5 民間非営利団体（公益法人、特定非営利活動法人（NPO法人）、社会福祉協議会を除く社会福祉法人など）への寄附・チャリティー募金等 | 231 | 12.4% |
| 6 地方公共団体への寄附（ふるさと納税を含む） | 145 | 7.8% |
| 7 その他 | 46 | 2.5% |
| 8 寄附をしたことはあるが、よくわからない | 279 | 15.0% |
| 9 寄附をしたことはない | 280 | 15.0% |
| 未回答 | 60 | |

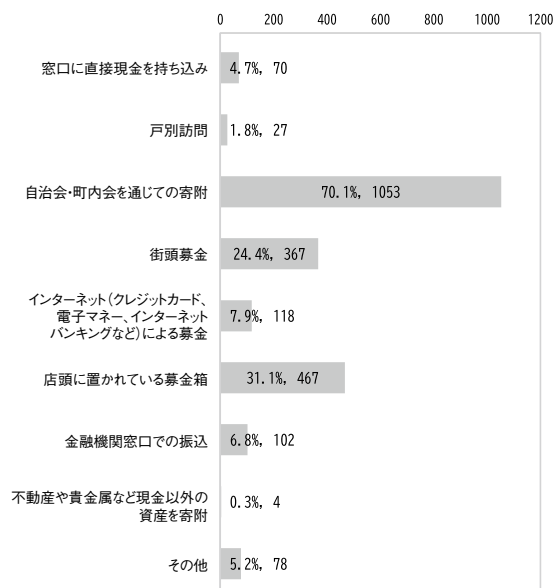
問20 あなたは、過去1年間に次のような寄附（募金）をしたことがありますか。



付問20-1 あなたが寄附（募金）をされたのは、どのような方法ですか。

| | 度数 | 比率 |
|---|------|-------|
| 1 窓口に直接現金を持ち込み | 70 | 4.7% |
| 2 戸別訪問 | 27 | 1.8% |
| 3 自治会・町内会を通じての寄附 | 1053 | 70.1% |
| 4 街頭募金 | 367 | 24.4% |
| 5 インターネット（クレジットカード、電子マネー、インターネットバンキングなど）による募金 | 118 | 7.9% |
| 6 店頭で置かれている募金箱 | 467 | 31.1% |
| 7 金融機関窓口での振込 | 102 | 6.8% |
| 8 不動産や貴金属など現金以外の資産を寄附 | 4 | 0.3% |
| 9 その他 | 78 | 5.2% |
| 未回答 | 80 | |

付問20-1 あなたが寄附（募金）をされたのは、どのような方法ですか。

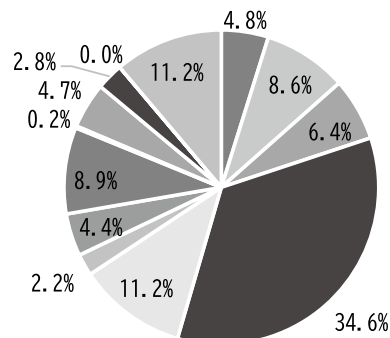


問21 今後、どのような内容であれば、寄附をしたいと思いませんか。

| | 度数 | 比率 |
|-------------------------------|------|--------|
| 1 高齢者のために | 93 | 4.8% |
| 2 子育て支援のために | 166 | 8.6% |
| 3 障がいのある人のために | 124 | 6.4% |
| 4 災害被災者のために（被災者を対象にした義援金） | 665 | 34.6% |
| 5 災害支援活動のために（災害支援活動への支援金） | 215 | 11.2% |
| 6 教育のために | 43 | 2.2% |
| 7 環境を良くするために | 84 | 4.4% |
| 8 自分が暮らす地域の活動のために | 171 | 8.9% |
| 9 新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人のために | 4 | 0.2% |
| 10 いずれの理由でも寄附したくない | 90 | 4.7% |
| 11 その他 | 53 | 2.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 215 | 11.2% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

問21 今後、どのような内容であれば、寄附をしたいと思いませんか。

- 高齢者のために
- 子育て支援のために
- 障がいのある人のために
- 災害被災者のために（被災者を対象にした義援金）
- 災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）
- 教育のために
- 環境を良くするために
- 自分が暮らす地域の活動のために
- 新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人のために
- いずれの理由でも寄附したくない
- その他
- 無効回答
- 未回答



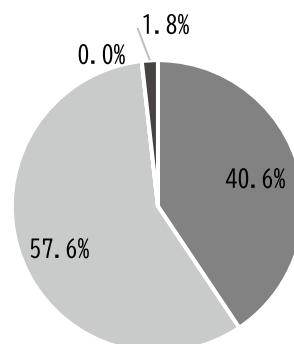
最後に、あなた自身のことについておたずねします。

F1 性別

| | 度数 | 比率 |
|------|------|--------|
| 男 | 781 | 40.6% |
| 女 | 1108 | 57.6% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 34 | 1.8% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

性別

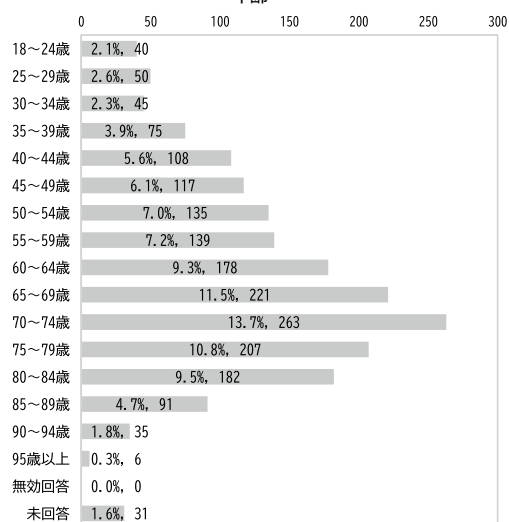
- 男
- 女
- 無効回答
- 未回答



F2 年齢

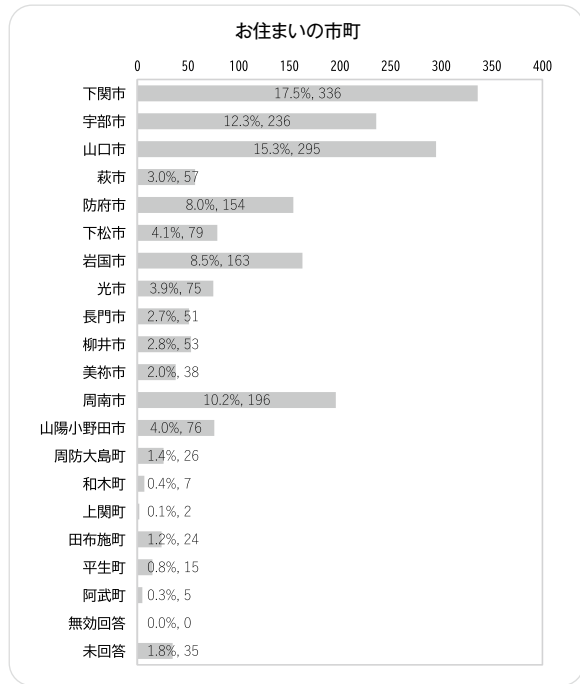
| | 度数 | 比率 |
|--------|------|--------|
| 18～24歳 | 40 | 2.1% |
| 25～29歳 | 50 | 2.6% |
| 30～34歳 | 45 | 2.3% |
| 35～39歳 | 75 | 3.9% |
| 40～44歳 | 108 | 5.6% |
| 45～49歳 | 117 | 6.1% |
| 50～54歳 | 135 | 7.0% |
| 55～59歳 | 139 | 7.2% |
| 60～64歳 | 178 | 9.3% |
| 65～69歳 | 221 | 11.5% |
| 70～74歳 | 263 | 13.7% |
| 75～79歳 | 207 | 10.8% |
| 80～84歳 | 182 | 9.5% |
| 85～89歳 | 91 | 4.7% |
| 90～94歳 | 35 | 1.8% |
| 95歳以上 | 6 | 0.3% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 31 | 1.6% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |

年齢



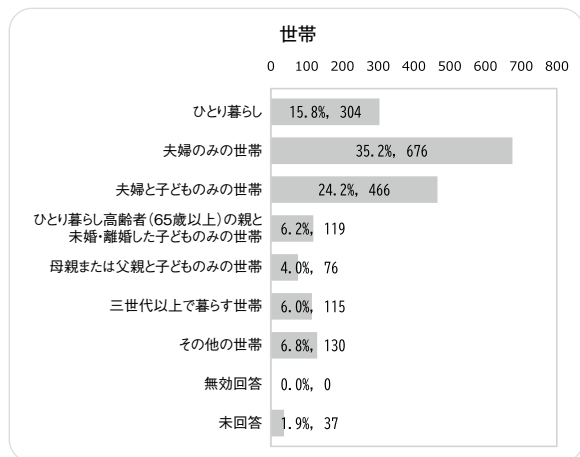
F3 お住まいの市町

| | 度数 | 比率 |
|--------|------|--------|
| 下関市 | 336 | 17.5% |
| 宇部市 | 236 | 12.3% |
| 山口市 | 295 | 15.3% |
| 萩市 | 57 | 3.0% |
| 防府市 | 154 | 8.0% |
| 下松市 | 79 | 4.1% |
| 岩国市 | 163 | 8.5% |
| 光市 | 75 | 3.9% |
| 長門市 | 51 | 2.7% |
| 柳井市 | 53 | 2.8% |
| 美祢市 | 38 | 2.0% |
| 周南市 | 196 | 10.2% |
| 山陽小野田市 | 76 | 4.0% |
| 周防大島町 | 26 | 1.4% |
| 和木町 | 7 | 0.4% |
| 上関町 | 2 | 0.1% |
| 田布施町 | 24 | 1.2% |
| 平生町 | 15 | 0.8% |
| 阿武町 | 5 | 0.3% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 35 | 1.8% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



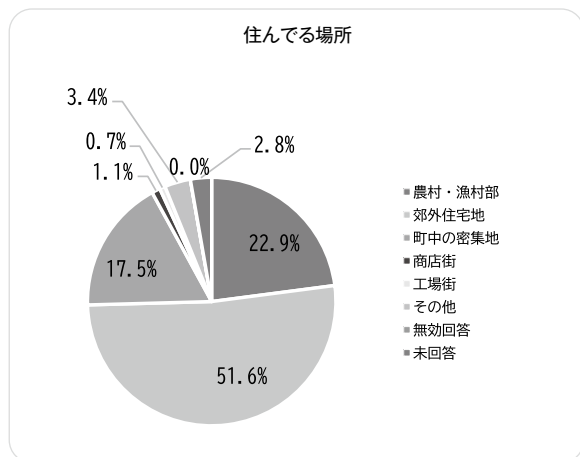
F4 世帯

| | 度数 | 比率 |
|------------------------------|------|--------|
| ひとり暮らし | 304 | 15.8% |
| 夫婦のみの世帯 | 676 | 35.2% |
| 夫婦と子どものみの世帯 | 466 | 24.2% |
| 高齢者（65歳以上）の親と未婚・離婚した子どものみの世帯 | 119 | 6.2% |
| 母親または父親と子どものみの世帯 | 76 | 4.0% |
| 三世代以上で暮らす世帯 | 115 | 6.0% |
| その他の世帯 | 130 | 6.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 37 | 1.9% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



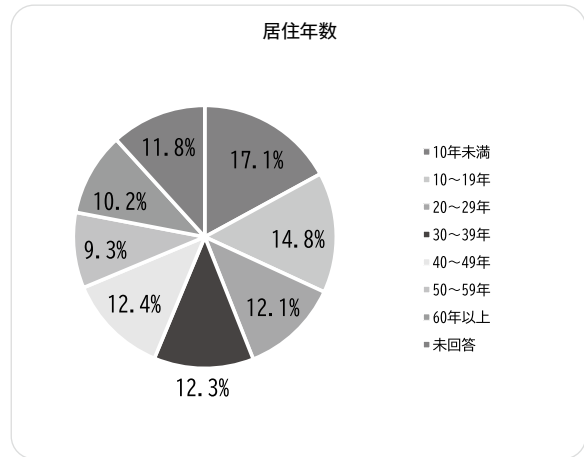
F5 住んでる場所

| | 度数 | 比率 |
|--------|------|--------|
| 農村・漁村部 | 441 | 22.9% |
| 郊外住宅地 | 993 | 51.6% |
| 町中の密集地 | 336 | 17.5% |
| 商店街 | 21 | 1.1% |
| 工場街 | 14 | 0.7% |
| その他 | 65 | 3.4% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 53 | 2.8% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



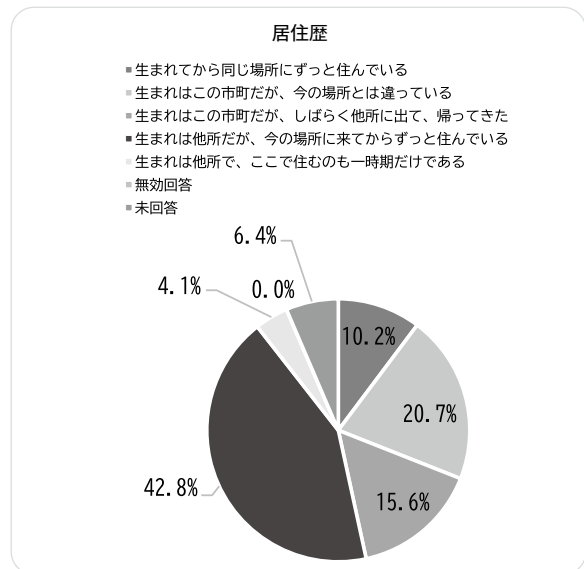
F6 居住歴（居住年数）

| | 度数 | 比率 |
|--------|------|--------|
| 10年未満 | 328 | 17.1% |
| 10～19年 | 285 | 14.8% |
| 20～29年 | 233 | 12.1% |
| 30～39年 | 236 | 12.3% |
| 40～49年 | 239 | 12.4% |
| 50～59年 | 179 | 9.3% |
| 60年以上 | 197 | 10.2% |
| 未回答 | 226 | 11.8% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



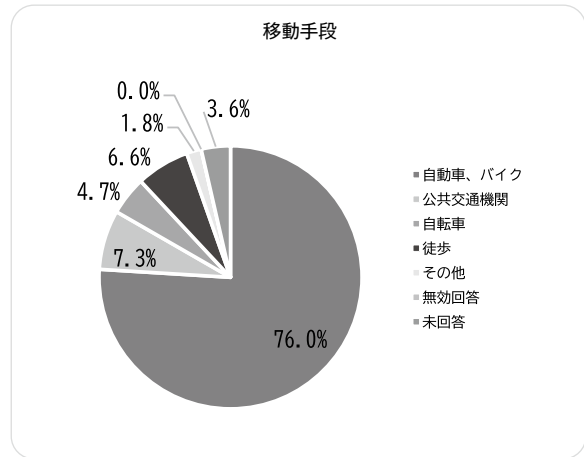
F6 居住歴（居住状況）

| | 度数 | 比率 |
|----------------------------|------|--------|
| 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる | 197 | 10.2% |
| 生まれはこの市町だが、今の場所とは違っている | 399 | 20.7% |
| 生まれはこの市町だが、しばらく他所に出て、帰ってきた | 300 | 15.6% |
| 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる | 824 | 42.8% |
| 生まれは他所で、ここで住むのも一時期だけである | 79 | 4.1% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 124 | 6.4% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



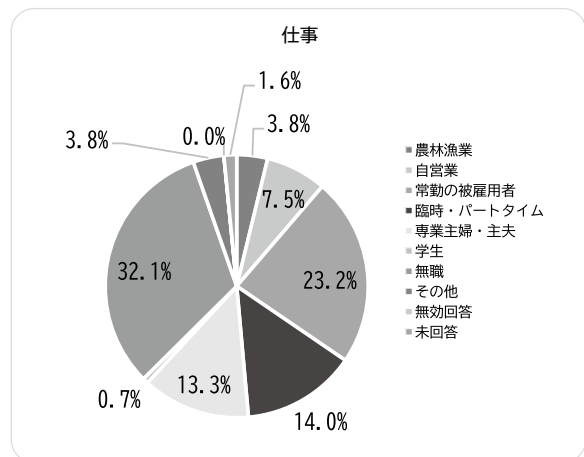
F7 移動手段

| | 度数 | 比率 |
|---------|------|--------|
| 自動車、バイク | 1461 | 76.0% |
| 公共交通機関 | 141 | 7.3% |
| 自転車 | 91 | 4.7% |
| 徒歩 | 126 | 6.6% |
| その他 | 35 | 1.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 69 | 3.6% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



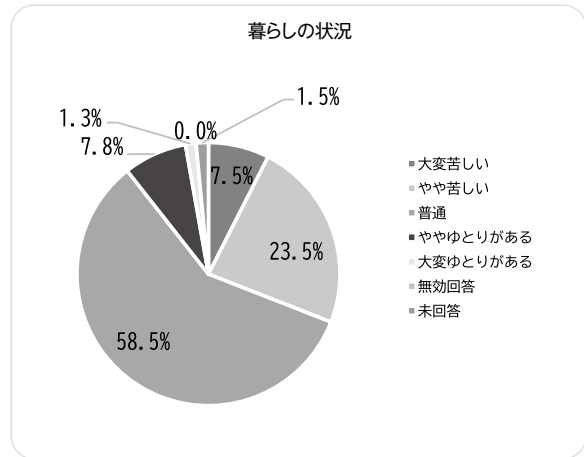
F8 仕事

| | 度数 | 比率 |
|-----------|------|--------|
| 農林漁業 | 73 | 3.8% |
| 自営業 | 144 | 7.5% |
| 常勤の被雇用者 | 447 | 23.2% |
| 臨時・パートタイム | 270 | 14.0% |
| 専業主婦・主夫 | 256 | 13.3% |
| 学生 | 13 | 0.7% |
| 無職 | 617 | 32.1% |
| その他 | 73 | 3.8% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 30 | 1.6% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



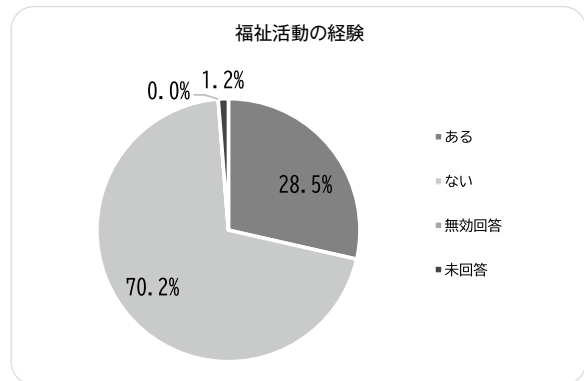
F9 暮らしの状況

| | 度数 | 比率 |
|----------|------|--------|
| 大変苦しい | 144 | 7.5% |
| やや苦しい | 451 | 23.5% |
| 普通 | 1124 | 58.5% |
| ややゆとりがある | 150 | 7.8% |
| 大変ゆとりがある | 25 | 1.3% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 29 | 1.5% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



F10 福祉活動の経験

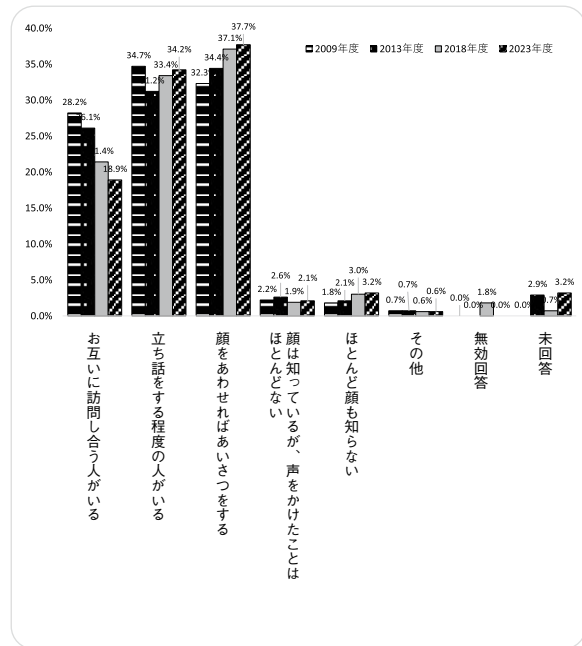
| | 度数 | 比率 |
|------|------|--------|
| ある | 549 | 28.5% |
| ない | 1350 | 70.2% |
| 無効回答 | 0 | 0.0% |
| 未回答 | 24 | 1.2% |
| 合計 | 1923 | 100.0% |



3 「福祉に関する県民意識等実態調査」結果（経年比較）

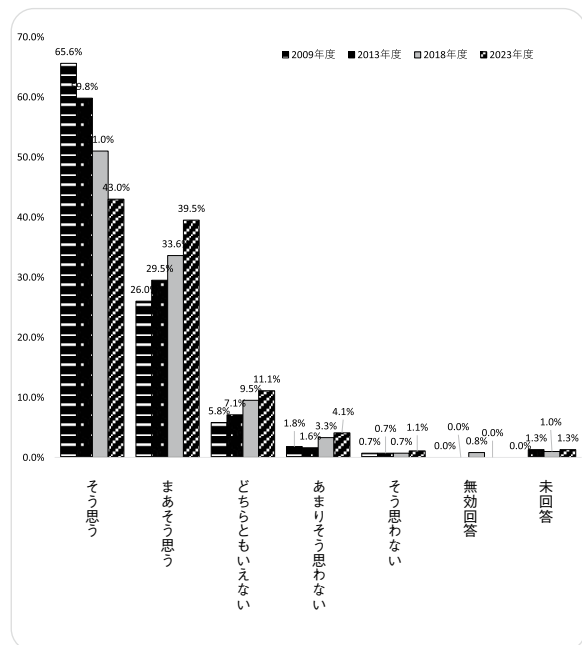
問1 あなたは、ご近所の人との程度のお付き合いをしていますか。
（択一回答）

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| お互いに訪問し合う人がいる | 28.2% | 26.1% | 21.4% | 18.9% |
| 立ち話をする程度の人がある | 34.7% | 31.2% | 33.4% | 34.2% |
| 顔をあわせればあいさつをする | 32.3% | 34.4% | 37.1% | 37.7% |
| 顔は知っているが、声をかけたことはほとんどない | 2.2% | 2.6% | 1.9% | 2.1% |
| ほとんど顔も知らない | 1.8% | 2.1% | 3.0% | 3.2% |
| その他 | 0.7% | 0.7% | 0.6% | 0.6% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 1.8% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.9% | 0.7% | 3.2% |



問2 あなたは、ご近所づきあいが必要だと思いますか。（択一回答）

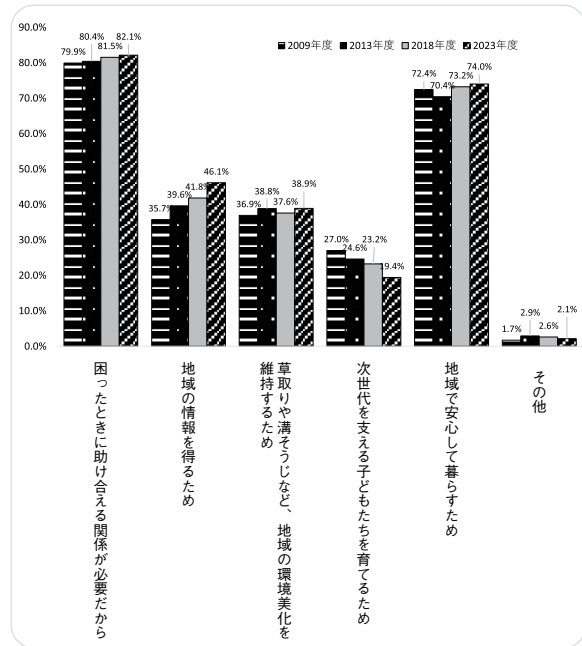
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 65.6% | 59.8% | 51.0% | 43.0% |
| まあそう思う | 26.0% | 29.5% | 33.6% | 39.5% |
| どちらともいえない | 5.8% | 7.1% | 9.5% | 11.1% |
| あまりそう思わない | 1.8% | 1.6% | 3.3% | 4.1% |
| そう思わない | 0.7% | 0.7% | 0.7% | 1.1% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.8% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 1.3% | 1.0% | 1.3% |



付問2-1 なぜご近所づきあいが必要だと思えますか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 困ったときに助け合える関係が必要だから | 79.9% | 80.4% | 81.5% | 82.1% |
| 地域の情報を得るため | 35.7% | 39.6% | 41.8% | 46.1% |
| 草取りや溝そうじなど、地域の環境美化を維持するため | 36.9% | 38.8% | 37.6% | 38.9% |
| 次世代を支える子どもたちを育てるため | 27.0% | 24.6% | 23.2% | 19.4% |
| 地域で安心して暮らすため | 72.4% | 70.4% | 73.2% | 74.0% |
| その他 | 1.7% | 2.9% | 2.6% | 2.1% |

※有効回収数からの比率

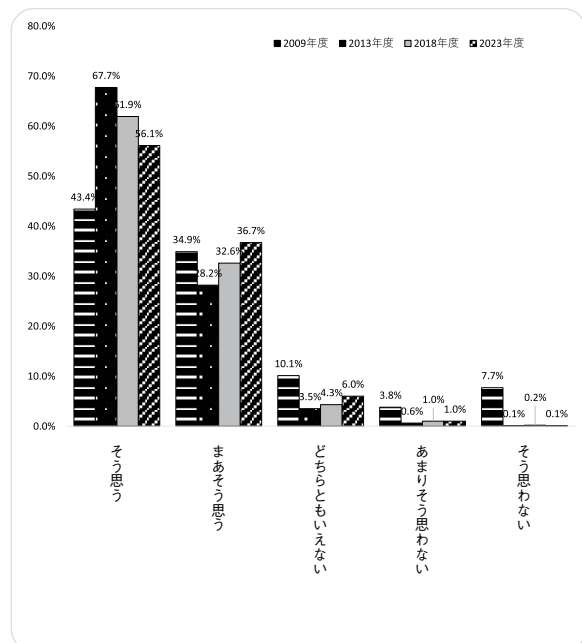


付問2-2 ご近所づきあいを維持・活発にするために必要なものについて、あなたはどのようにお考えですか。(択一回答)

・自ら進んで日頃からご近所同士のつながり(あいさつ等)を持つようにこころがけること

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 43.4% | 67.7% | 61.9% | 56.1% |
| まあそう思う | 34.9% | 28.2% | 32.6% | 36.7% |
| どちらともいえない | 10.1% | 3.5% | 4.3% | 6.0% |
| あまりそう思わない | 3.8% | 0.6% | 1.0% | 1.0% |
| そう思わない | 7.7% | 0.1% | 0.2% | 0.1% |

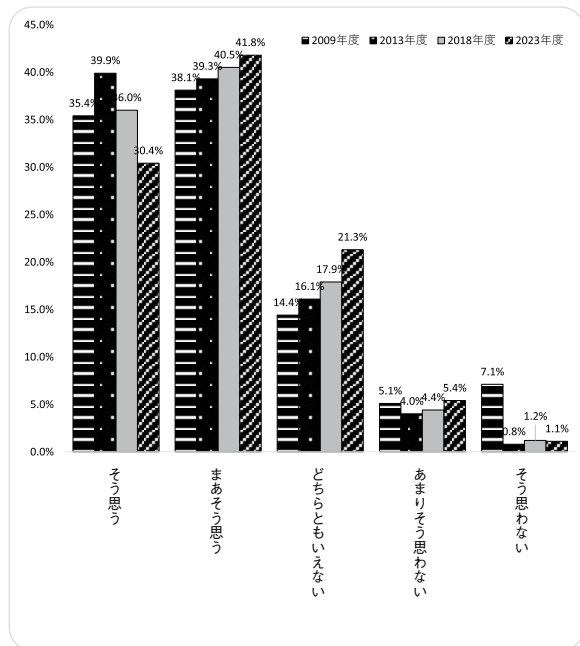
※有効回収数からの比率



付問2-2 ご近所づきあいを維持・活発にするために必要なものについて、あなたはどのようにお考えですか。(択一回答)
 ・自治会や町内会などが行う交流活動(季節行事等)に積極的に参加すること

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 35.4% | 39.9% | 36.0% | 30.4% |
| まあそう思う | 38.1% | 39.3% | 40.5% | 41.8% |
| どちらともいえない | 14.4% | 16.1% | 17.9% | 21.3% |
| あまりそう思わない | 5.1% | 4.0% | 4.4% | 5.4% |
| そう思わない | 7.1% | 0.8% | 1.2% | 1.1% |

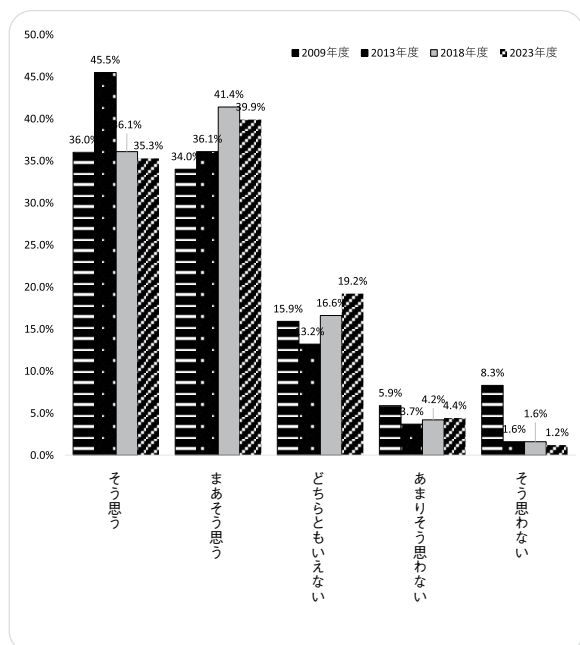
※有効回収数からの比率



付問2-2 ご近所づきあいを維持・活発にするために必要なものについて、あなたはどのようにお考えですか。(択一回答)
 ・近所づきあいで困った時に相談できる人間関係をつくること

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 36.0% | 45.5% | 36.1% | 35.3% |
| まあそう思う | 34.0% | 36.1% | 41.4% | 39.9% |
| どちらともいえない | 15.9% | 13.2% | 16.6% | 19.2% |
| あまりそう思わない | 5.9% | 3.7% | 4.2% | 4.4% |
| そう思わない | 8.3% | 1.6% | 1.6% | 1.2% |

※有効回収数からの比率



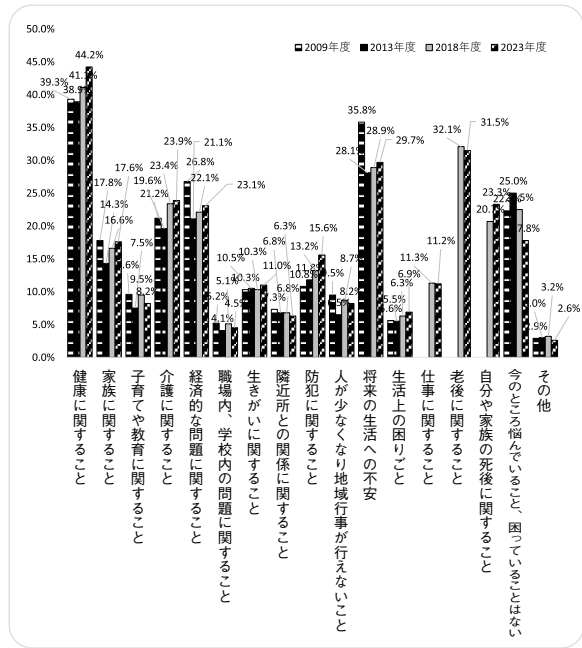
問3 あなた自身が現在、悩んでいること、困っていることは何ですか。
(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 健康に関すること | 39.3% | 38.9% | 41.1% | 44.2% |
| 家族に関すること | 17.8% | 14.3% | 16.6% | 17.6% |
| 子育てや教育に関すること | 9.6% | 7.5% | 9.5% | 8.2% |
| 介護に関すること | 21.2% | 19.6% | 23.4% | 23.9% |
| 経済的な問題に関すること | 26.8% | 21.1% | 22.1% | 23.1% |
| 職場内、学校内の問題に関すること | 5.2% | 4.1% | 5.1% | 4.5% |
| 生きがいにに関すること | 10.3% | 10.5% | 10.3% | 11.0% |
| 隣近所との関係に関すること | 7.3% | 6.8% | 6.8% | 6.3% |
| 防犯に関すること | 10.8% | 11.8% | 13.2% | 15.6% |
| 人が少なくなり地域行事が行えないこと | 9.5% | 6.5% | 8.7% | 8.2% |
| 将来の生活への不安 | 35.8% | 28.1% | 28.9% | 29.7% |
| 生活上の困りごと | 5.6% | 5.5% | 6.3% | 6.9% |
| 仕事に関すること | | | 11.3% | 11.2% |
| 老後に関すること | | | 32.1% | 31.5% |
| 自分や家族の死後に関すること | | | 20.7% | 23.3% |
| 今のところ悩んでいること、困っていることはない | 22.3% | 25.0% | 22.5% | 17.8% |
| その他 | 2.9% | 3.0% | 3.2% | 2.6% |

※未回答

※有効回収数からの比率

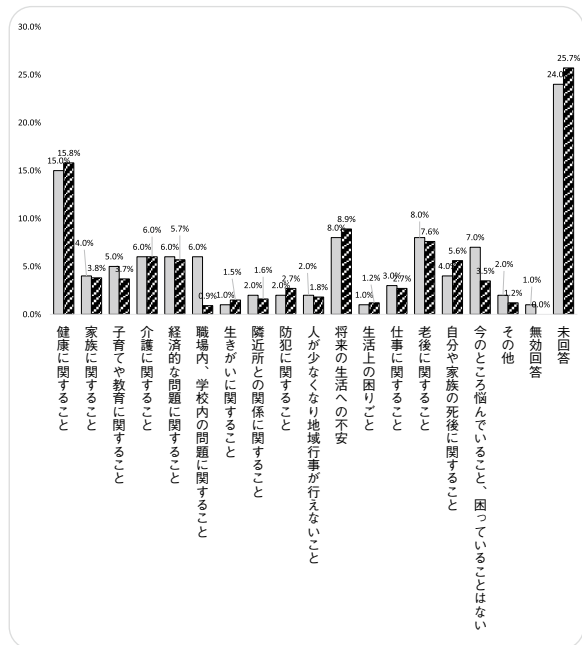
※「仕事に関すること」「老後に関すること」「自分や家族の死後に関すること」は2018年度から選択肢追加



問3-1 現在、最も悩んでいること、困っていることについて (択一回答)

| | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|
| 健康に関すること | 15.0% | 15.8% |
| 家族に関すること | 4.0% | 3.8% |
| 子育てや教育に関すること | 5.0% | 3.7% |
| 介護に関すること | 6.0% | 6.0% |
| 経済的な問題に関すること | 6.0% | 5.7% |
| 職場内、学校内の問題に関すること | 6.0% | 0.9% |
| 生きがいにに関すること | 1.0% | 1.5% |
| 隣近所との関係に関すること | 2.0% | 1.6% |
| 防犯に関すること | 2.0% | 2.7% |
| 人が少なくなり地域行事が行えないこと | 2.0% | 1.8% |
| 将来の生活への不安 | 8.0% | 8.9% |
| 生活上の困りごと | 1.0% | 1.2% |
| 仕事に関すること | 3.0% | 2.7% |
| 老後に関すること | 8.0% | 7.6% |
| 自分や家族の死後に関すること | 4.0% | 5.6% |
| 今のところ悩んでいること、困っていることはない | 7.0% | 3.5% |
| その他 | 2.0% | 1.2% |
| 無効回答 | 1.0% | 0.0% |
| 未回答 | 24.0% | 25.7% |

※2018年度からの設問



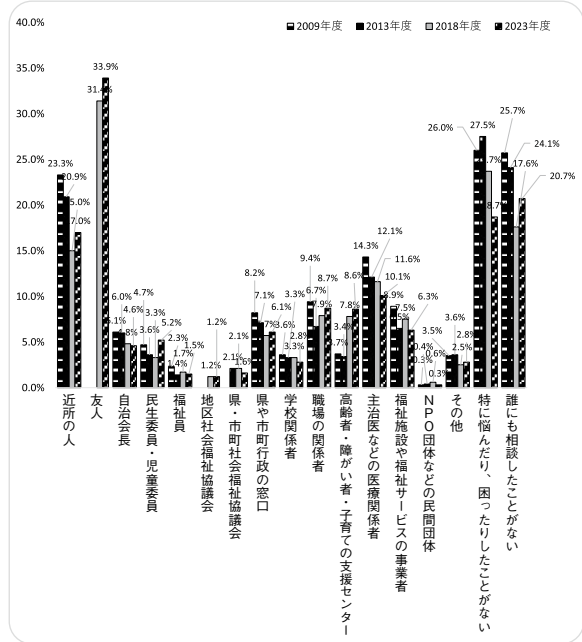
問4 あなたは、これまでに生活上の困りごとや家族の介護、子育てなどを経験する中で、個人や家族だけで解決しづらいときに、家族以外に相談したことがありますか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|
| 近所の人 | 23.3% | 20.9% | 15.0% | 17.0% |
| 友人 | | | 31.4% | 33.9% |
| 自治会長 | 6.1% | 6.0% | 4.8% | 4.6% |
| 民生委員・児童委員 | 4.7% | 3.6% | 3.3% | 5.2% |
| 福祉員 | 2.3% | 1.4% | 1.7% | 1.5% |
| 地区社会福祉協議会 | | | 1.2% | 1.2% |
| 県・市町社会福祉協議会 | | 2.1% | 2.1% | 1.6% |
| 県や市町行政の窓口 | 8.2% | 7.1% | 5.7% | 6.1% |
| 学校関係者 | 3.6% | 3.3% | 3.3% | 2.8% |
| 職場の関係者 | 9.4% | 6.7% | 7.9% | 8.7% |
| 高齢者・障がい者・子育ての支援センター | 3.7% | 3.4% | 7.8% | 8.6% |
| 主治医などの医療関係者 | 14.3% | 12.1% | 11.6% | 10.1% |
| 福祉施設や福祉サービスの事業者 | 8.9% | 6.5% | 7.5% | 6.3% |
| NPO団体などの民間団体 | 0.3% | 0.4% | 0.6% | 0.3% |
| その他 | 3.5% | 3.6% | 2.5% | 2.8% |
| 特に悩んだり、困ったりしたことがない | 26.0% | 27.5% | 23.7% | 18.7% |
| 誰にも相談したことがない | 25.7% | 24.1% | 17.6% | 20.7% |

※有効回収数からの比率

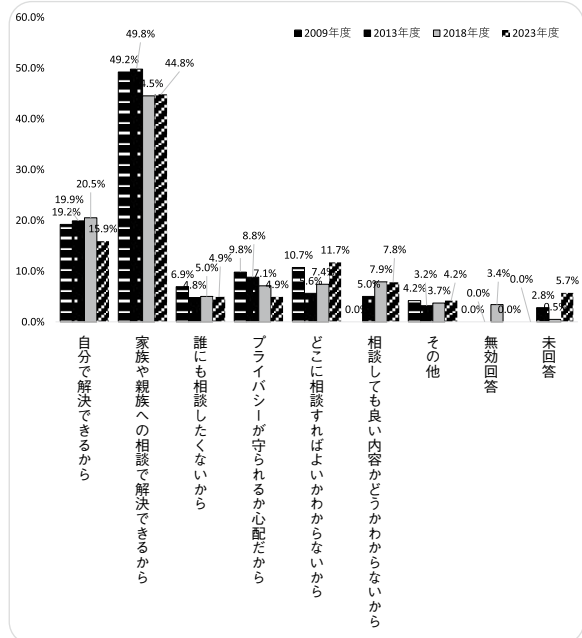
※「友人」「地区社会福祉協議会」は2018年度から選択肢追加

※2013年度の選択肢「社会福祉協議会」は「県・市町社会福祉協議会」に集約



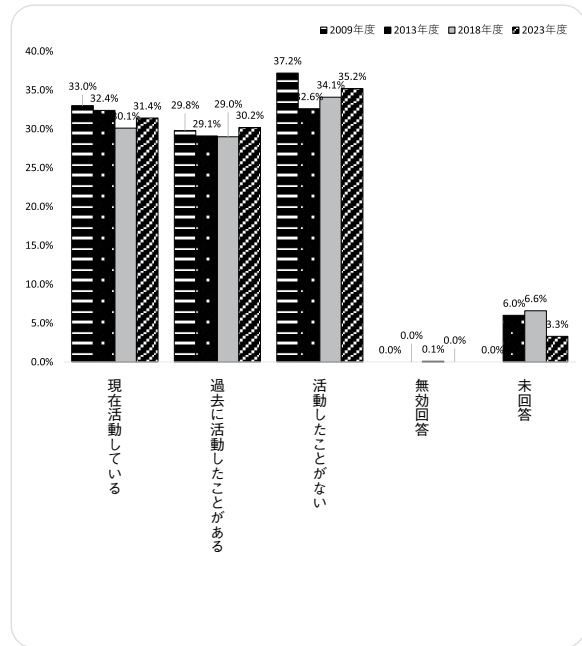
付問4-1 誰にも相談しない理由として、どのようなものがありますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 自分で解決できるから | 19.2% | 19.9% | 20.5% | 15.9% |
| 家族や親族への相談で解決できるから | 49.2% | 49.8% | 44.5% | 44.8% |
| 誰にも相談したくないから | 6.9% | 4.8% | 5.0% | 4.9% |
| プライバシーが守られるか心配だから | 9.8% | 8.8% | 7.1% | 4.9% |
| どこに相談すればよいかわからないから | 10.7% | 5.6% | 7.4% | 11.7% |
| 相談しても良い内容かどうかわからないから | 0.0% | 5.0% | 7.9% | 7.8% |
| その他 | 4.2% | 3.2% | 3.7% | 4.2% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 3.4% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.8% | 0.5% | 5.7% |



問5 あなたは仕事以外に地域で活動されていますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 現在活動している | 33.0% | 32.4% | 30.1% | 31.4% |
| 過去に活動したことがある | 29.8% | 29.1% | 29.0% | 30.2% |
| 活動したことがない | 37.2% | 32.6% | 34.1% | 35.2% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.1% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 6.0% | 6.6% | 3.3% |

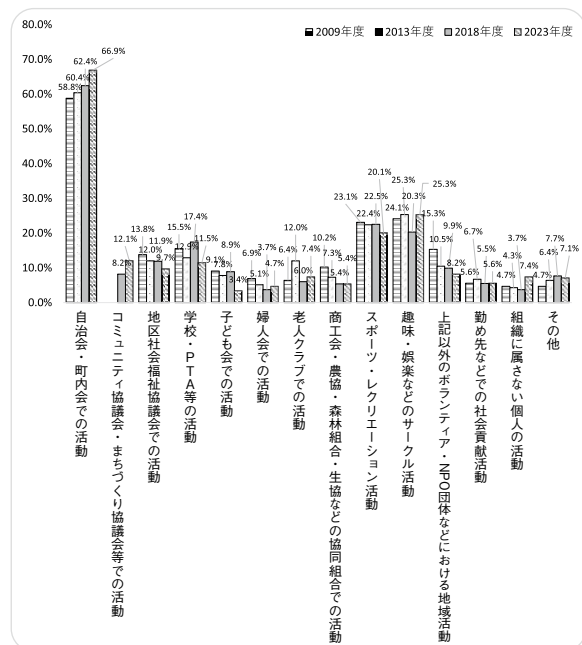


付問5-1 あなたは地域でどのような活動をしていますか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 自治会・町内会での活動 | 58.8% | 60.4% | 62.4% | 66.9% |
| コミュニティ協議会・まちづくり協議会等での活動 | | | 8.2% | 12.1% |
| 地区社会福祉協議会での活動 | 13.8% | 12.0% | 11.9% | 9.7% |
| 学校・PTA等の活動 | 15.5% | 12.9% | 17.4% | 11.5% |
| 子ども会での活動 | 9.1% | 7.8% | 8.9% | 3.4% |
| 婦人会での活動 | 6.9% | 5.1% | 3.7% | 4.7% |
| 老人クラブでの活動 | 6.4% | 12.0% | 6.0% | 7.4% |
| 商工会・農協・森林組合・生協などの協同組合での活動 | 10.2% | 7.3% | 5.4% | 5.4% |
| スポーツ・レクリエーション活動 | 23.1% | 22.4% | 22.5% | 20.1% |
| 趣味・娯楽などのサークル活動 | 24.1% | 25.3% | 20.3% | 25.3% |
| 上記以外のボランティア・NPO団体などにおける地域活動 | 15.3% | 10.5% | 9.9% | 8.2% |
| 勤め先などでの社会貢献活動 | 5.6% | 6.7% | 5.5% | 5.6% |
| 組織に属さない個人の活動 | 4.7% | 4.3% | 3.7% | 7.4% |
| その他 | 4.7% | 6.4% | 7.7% | 7.1% |

※有効回収数からの比率

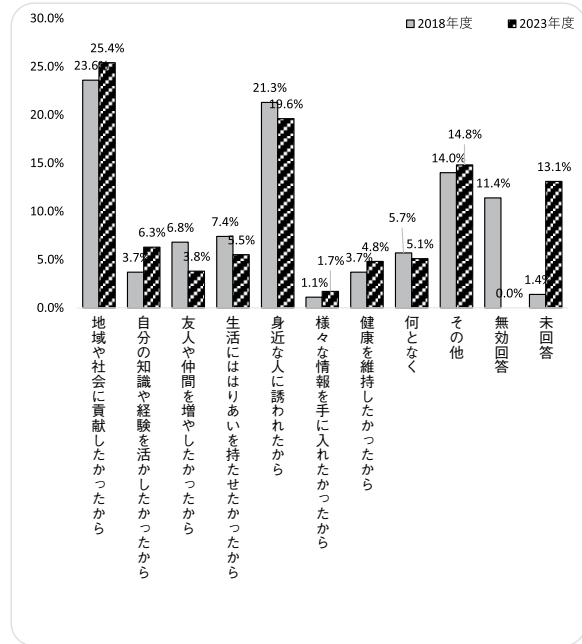
※「コミュニティ協議会・まちづくり協議会等での活動」は2018年度から選択肢追加



付問5-2 付問5-1の活動をされたきっかけはなんですか。(択一回答)

| | 2018年度 | 2023年度 |
|--------------------|--------|--------|
| 地域や社会に貢献したかったから | 23.6% | 25.4% |
| 自分の知識や経験を活かしたかったから | 3.7% | 6.3% |
| 友人や仲間を増やしたかったから | 6.8% | 3.8% |
| 生活にははりあいを持たせたかったから | 7.4% | 5.5% |
| 身近な人に誘われたから | 21.3% | 19.6% |
| 様々な情報を手に入れたかったから | 1.1% | 1.7% |
| 健康を維持したかったから | 3.7% | 4.8% |
| 何となく | 5.7% | 5.1% |
| その他 | 14.0% | 14.8% |
| 無効回答 | 11.4% | 0.0% |
| 未回答 | 1.4% | 13.1% |

※2018年度からの設問

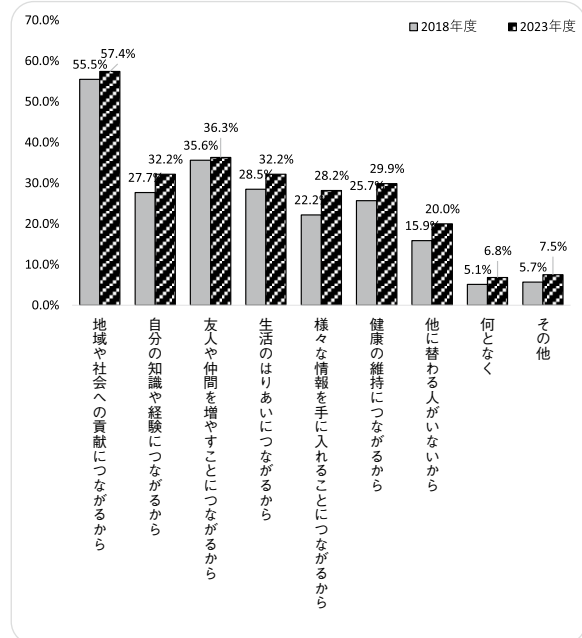


付問5-3 付問5-1の活動を続けている理由として、どのようなものがありますか。(複数回答可)

| | 2018年度 | 2023年度 |
|----------------------|--------|--------|
| 地域や社会への貢献につながるから | 55.5% | 57.4% |
| 自分の知識や経験につながるから | 27.7% | 32.2% |
| 友人や仲間を増やすことにつながるから | 35.6% | 36.3% |
| 生活のはりあいにつながるから | 28.5% | 32.2% |
| 様々な情報を手に入れることにつながるから | 22.2% | 28.2% |
| 健康の維持につながるから | 25.7% | 29.9% |
| 他に替わる人がいないから | 15.9% | 20.0% |
| 何となく | 5.1% | 6.8% |
| その他 | 5.7% | 7.5% |

※有効回収数からの比率

※2018年度からの設問

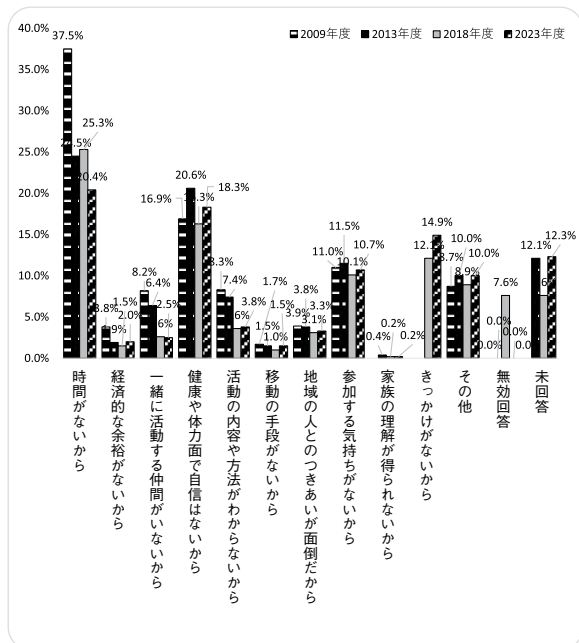


付問5-4 現在、地域で活動されていない理由として、どのようなものがありますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|
| 時間がないから | 37.5% | 24.5% | 25.3% | 20.4% |
| 経済的な余裕がないから | 3.8% | 1.9% | 1.5% | 2.0% |
| 一緒に活動する仲間がないから | 8.2% | 6.4% | 2.6% | 2.5% |
| 健康や体力面で自信はないから | 16.9% | 20.6% | 16.3% | 18.3% |
| 活動の内容や方法がわからないから | 8.3% | 7.4% | 3.6% | 3.8% |
| 移動の手段がないから | 1.7% | 1.5% | 1.0% | 1.5% |
| 地域の人のつきあいが面倒だから | 3.9% | 3.8% | 3.1% | 3.3% |
| 参加する気持ちはないから | 11.0% | 11.5% | 10.1% | 10.7% |
| 家族の理解が得られないから | | 0.4% | 0.2% | 0.2% |
| きっかけがないから | | | 12.1% | 14.9% |
| その他 | 8.7% | 10.0% | 8.9% | 10.0% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 7.6% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 12.1% | 7.6% | 12.3% |

※「家族の理解が得られないから」は2013年度から選択肢追加

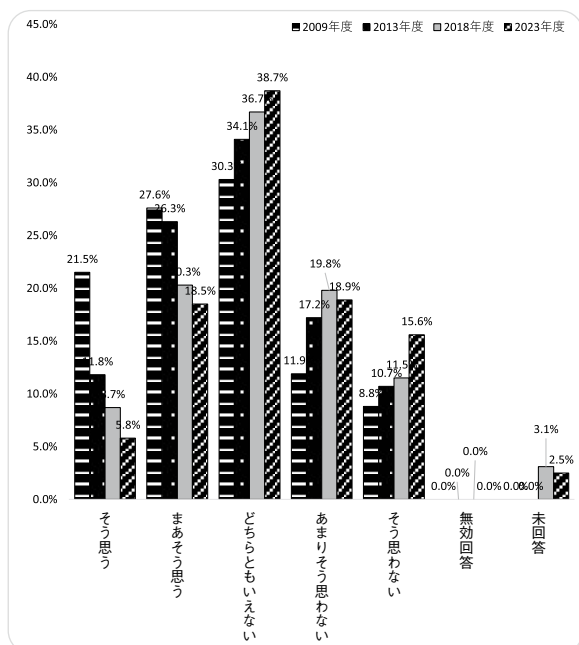
※「きっかけがないから」は2018年度から選択肢追加



付問5-5 あなたは今後、地域の活動に参加しようと思いますか。

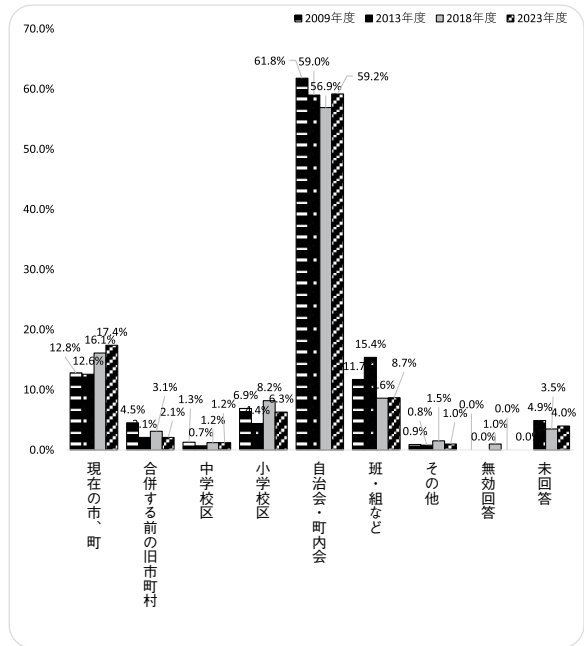
(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 21.5% | 11.8% | 8.7% | 5.8% |
| まあそう思う | 27.6% | 26.3% | 20.3% | 18.5% |
| どちらともいえない | 30.3% | 34.1% | 36.7% | 38.7% |
| あまりそう思わない | 11.9% | 17.2% | 19.8% | 18.9% |
| そう思わない | 8.8% | 10.7% | 11.5% | 15.6% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 0.0% | 3.1% | 2.5% |



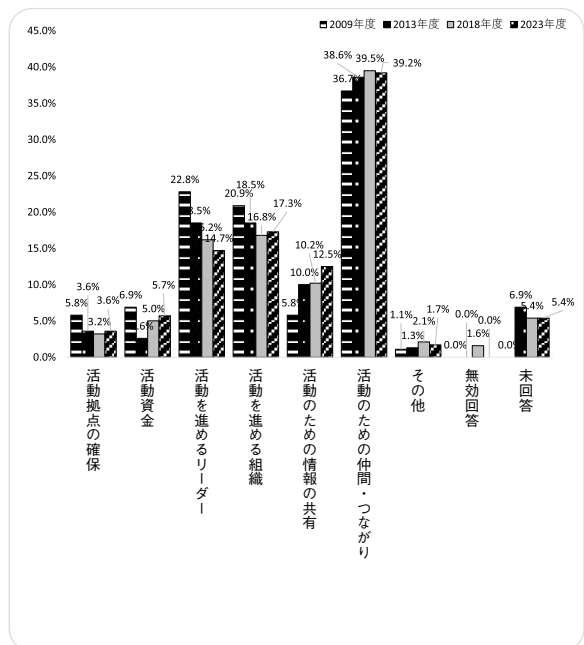
問6 地域の支え合い活動を進めることを考えたときに、あなたが最初に思い浮かべる地域の範囲はどれでしょうか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| 現在の市、町 | 12.8% | 12.6% | 16.1% | 17.4% |
| 合併する前の旧市町村 | 4.5% | 2.1% | 3.1% | 2.1% |
| 中学校区 | 1.3% | 0.7% | 1.2% | 1.2% |
| 小学校区 | 6.9% | 4.4% | 8.2% | 6.3% |
| 自治会・町内会 | 61.8% | 59.0% | 56.9% | 59.2% |
| 班・組など | 11.7% | 15.4% | 8.6% | 8.7% |
| その他 | 0.9% | 0.8% | 1.5% | 1.0% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 1.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 4.9% | 3.5% | 4.0% |



問7 地域で支え合うために、あなたは何が最も大切な条件だと思いますか。(択一回答)

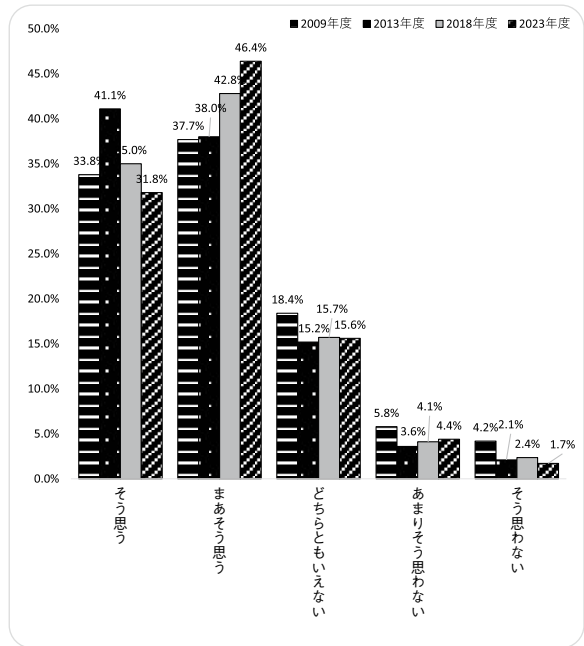
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 活動拠点の確保 | 5.8% | 3.6% | 3.2% | 3.6% |
| 活動資金 | 6.9% | 2.6% | 5.0% | 5.7% |
| 活動を進めるリーダー | 22.8% | 18.5% | 16.2% | 14.7% |
| 活動を進める組織 | 20.9% | 18.5% | 16.8% | 17.3% |
| 活動のための情報の共有 | 5.8% | 10.0% | 10.2% | 12.5% |
| 活動のための仲間・つながり | 36.7% | 38.6% | 39.5% | 39.2% |
| その他 | 1.1% | 1.3% | 2.1% | 1.7% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 1.6% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 6.9% | 5.4% | 5.4% |



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
いま住んでいる地域が好きだと思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 33.8% | 41.1% | 35.0% | 31.8% |
| まあそう思う | 37.7% | 38.0% | 42.8% | 46.4% |
| どちらともいえない | 18.4% | 15.2% | 15.7% | 15.6% |
| あまりそう思わない | 5.8% | 3.6% | 4.1% | 4.4% |
| そう思わない | 4.2% | 2.1% | 2.4% | 1.7% |

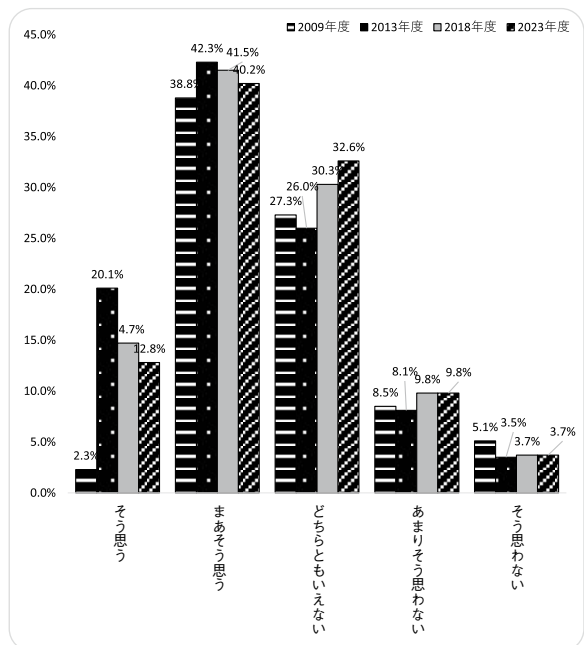
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
この地域のために何か役に立ちたいと思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 2.3% | 20.1% | 14.7% | 12.8% |
| まあそう思う | 38.8% | 42.3% | 41.5% | 40.2% |
| どちらともいえない | 27.3% | 26.0% | 30.3% | 32.6% |
| あまりそう思わない | 8.5% | 8.1% | 9.8% | 9.8% |
| そう思わない | 5.1% | 3.5% | 3.7% | 3.7% |

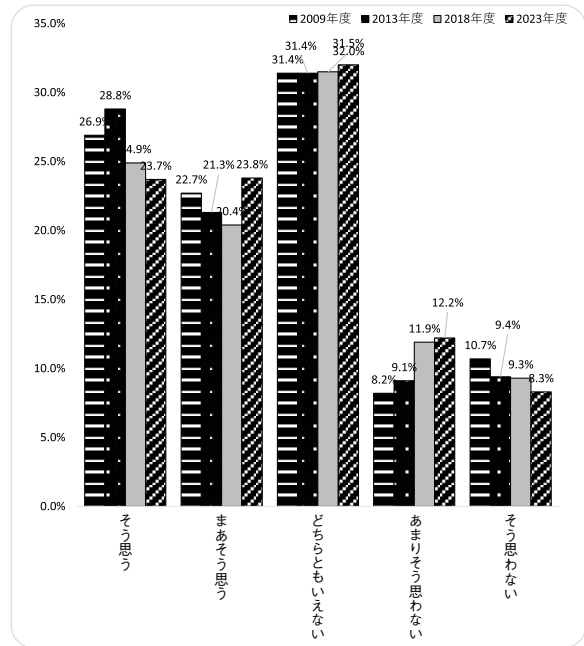
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
介護が必要な状態になっても家で暮らしたいと思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 26.9% | 28.8% | 24.9% | 23.7% |
| まあそう思う | 22.7% | 21.3% | 20.4% | 23.8% |
| どちらともいえない | 31.4% | 31.4% | 31.5% | 32.0% |
| あまりそう思わない | 8.2% | 9.1% | 11.9% | 12.2% |
| そう思わない | 10.7% | 9.4% | 9.3% | 8.3% |

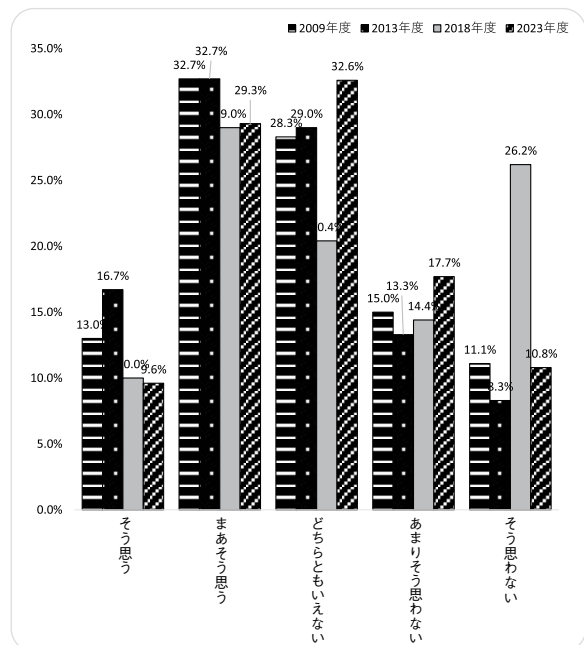
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
ご近所同士で支えあっていると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 13.0% | 16.7% | 10.0% | 9.6% |
| まあそう思う | 32.7% | 32.7% | 29.0% | 29.3% |
| どちらともいえない | 28.3% | 29.0% | 20.4% | 32.6% |
| あまりそう思わない | 15.0% | 13.3% | 14.4% | 17.7% |
| そう思わない | 11.1% | 8.3% | 26.2% | 10.8% |

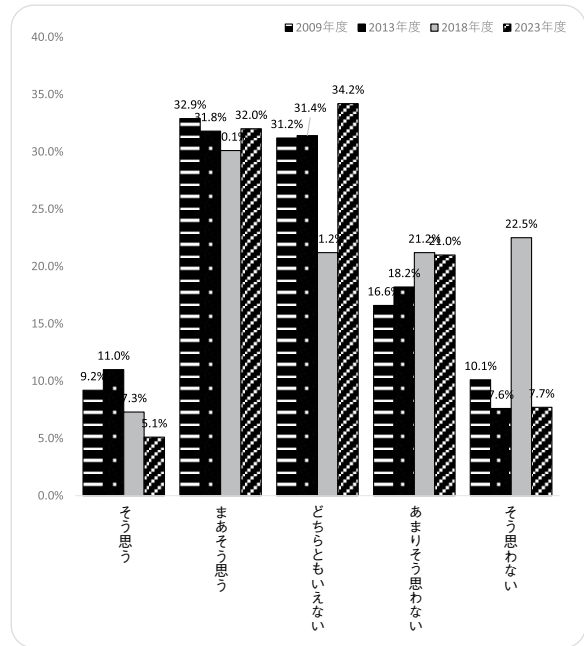
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
地域の情報が十分に入ってくると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 9.2% | 11.0% | 7.3% | 5.1% |
| まあそう思う | 32.9% | 31.8% | 30.1% | 32.0% |
| どちらともいえない | 31.2% | 31.4% | 21.2% | 34.2% |
| あまりそう思わない | 16.6% | 18.2% | 21.2% | 21.0% |
| そう思わない | 10.1% | 7.6% | 22.5% | 7.7% |

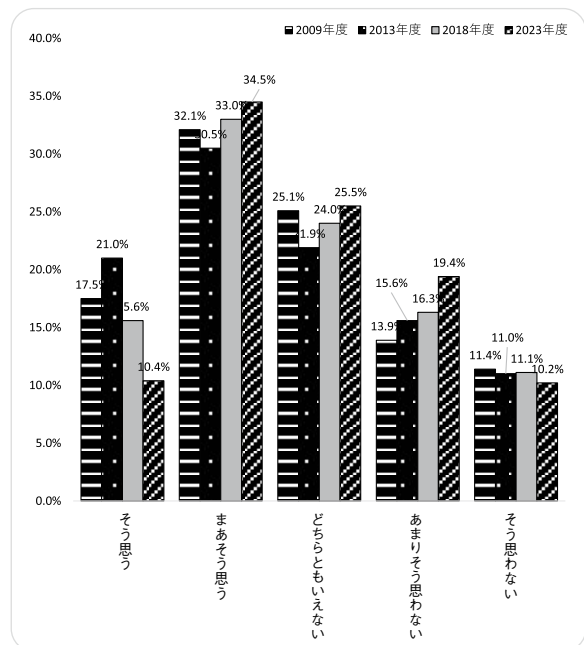
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
地域の活動に参加する機会があると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 17.5% | 21.0% | 15.6% | 10.4% |
| まあそう思う | 32.1% | 30.5% | 33.0% | 34.5% |
| どちらともいえない | 25.1% | 21.9% | 24.0% | 25.5% |
| あまりそう思わない | 13.9% | 15.6% | 16.3% | 19.4% |
| そう思わない | 11.4% | 11.0% | 11.1% | 10.2% |

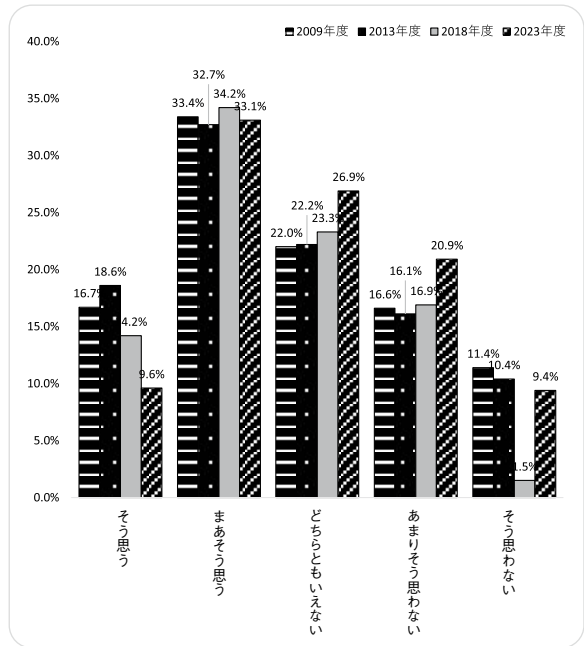
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
地域でいろいろな活動が行われていると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 16.7% | 18.6% | 14.2% | 9.6% |
| まあそう思う | 33.4% | 32.7% | 34.2% | 33.1% |
| どちらともいえない | 22.0% | 22.2% | 23.3% | 26.9% |
| あまりそう思わない | 16.6% | 16.1% | 16.9% | 20.9% |
| そう思わない | 11.4% | 10.4% | 1.5% | 9.4% |

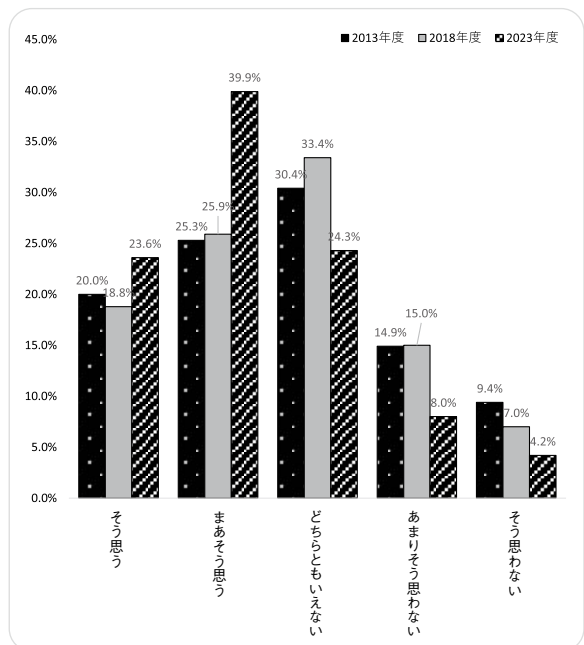
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
祭りなどの行事が少なくなったと思う

| | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| そう思う | 20.0% | 18.8% | 23.6% |
| まあそう思う | 25.3% | 25.9% | 39.9% |
| どちらともいえない | 30.4% | 33.4% | 24.3% |
| あまりそう思わない | 14.9% | 15.0% | 8.0% |
| そう思わない | 9.4% | 7.0% | 4.2% |

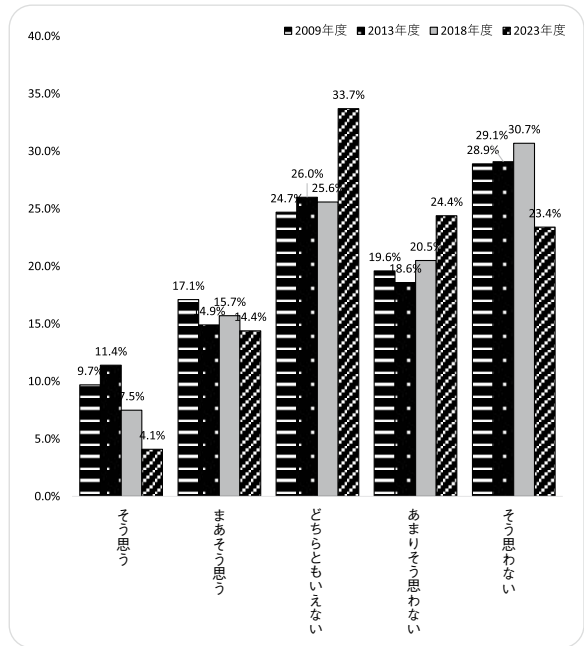
※2013年度からの設問
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
地域の中で自分の役割があると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 9.7% | 11.4% | 7.5% | 4.1% |
| まあそう思う | 17.1% | 14.9% | 15.7% | 14.4% |
| どちらともいえない | 24.7% | 26.0% | 25.6% | 33.7% |
| あまりそう思わない | 19.6% | 18.6% | 20.5% | 24.4% |
| そう思わない | 28.9% | 29.1% | 30.7% | 23.4% |

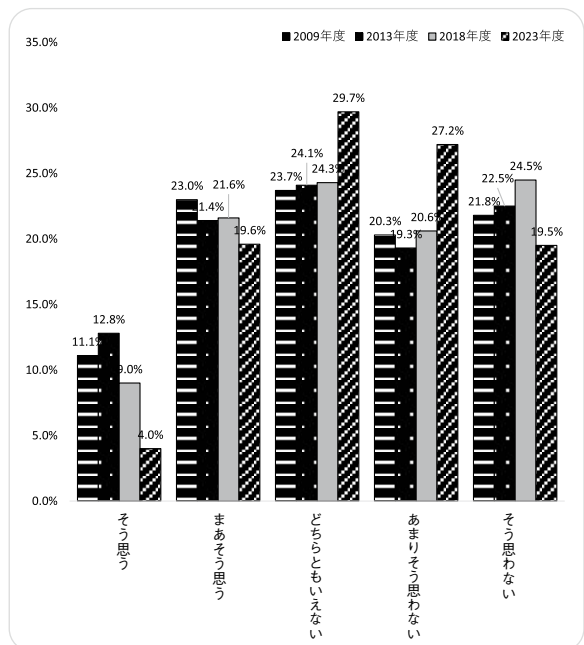
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
地域のことについて話しあう機会があると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 11.1% | 12.8% | 9.0% | 4.0% |
| まあそう思う | 23.0% | 21.4% | 21.6% | 19.6% |
| どちらともいえない | 23.7% | 24.1% | 24.3% | 29.7% |
| あまりそう思わない | 20.3% | 19.3% | 20.6% | 27.2% |
| そう思わない | 21.8% | 22.5% | 24.5% | 19.5% |

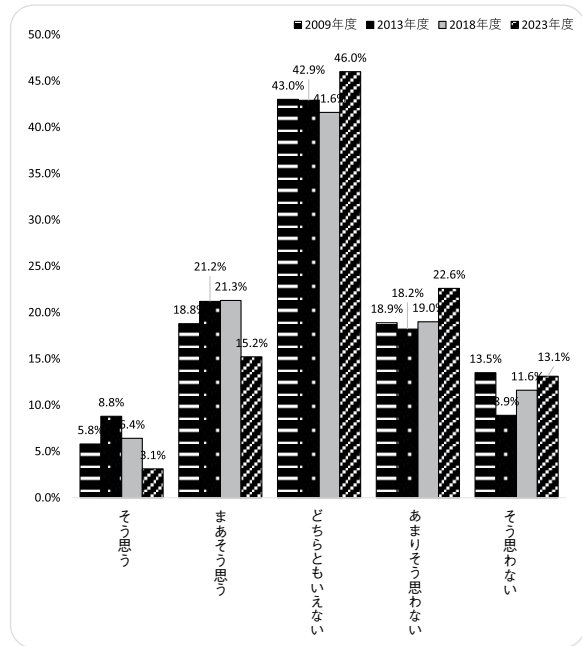
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
この地域は生活の場としてだんだん良くなると思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 5.8% | 8.8% | 6.4% | 3.1% |
| まあそう思う | 18.8% | 21.2% | 21.3% | 15.2% |
| どちらともいえない | 43.0% | 42.9% | 41.6% | 46.0% |
| あまりそう思わない | 18.9% | 18.2% | 19.0% | 22.6% |
| そう思わない | 13.5% | 8.9% | 11.6% | 13.1% |

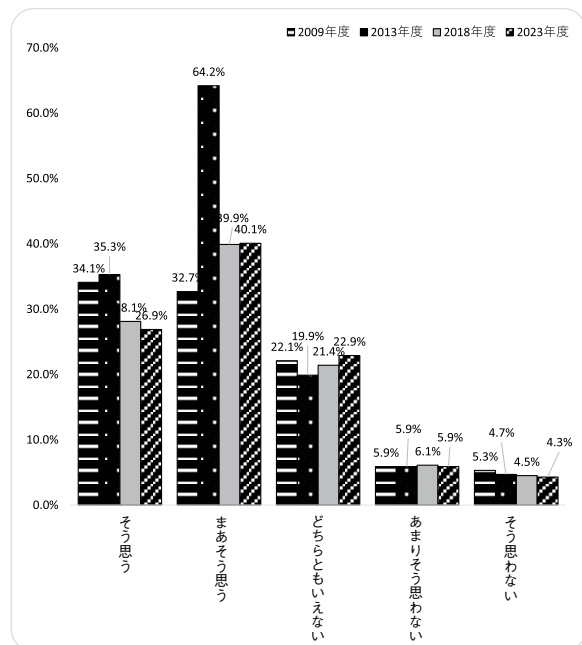
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
今後もこの地域に住み続けたいと思う

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| そう思う | 34.1% | 35.3% | 28.1% | 26.9% |
| まあそう思う | 32.7% | 64.2% | 39.9% | 40.1% |
| どちらともいえない | 22.1% | 19.9% | 21.4% | 22.9% |
| あまりそう思わない | 5.9% | 5.9% | 6.1% | 5.9% |
| そう思わない | 5.3% | 4.7% | 4.5% | 4.3% |

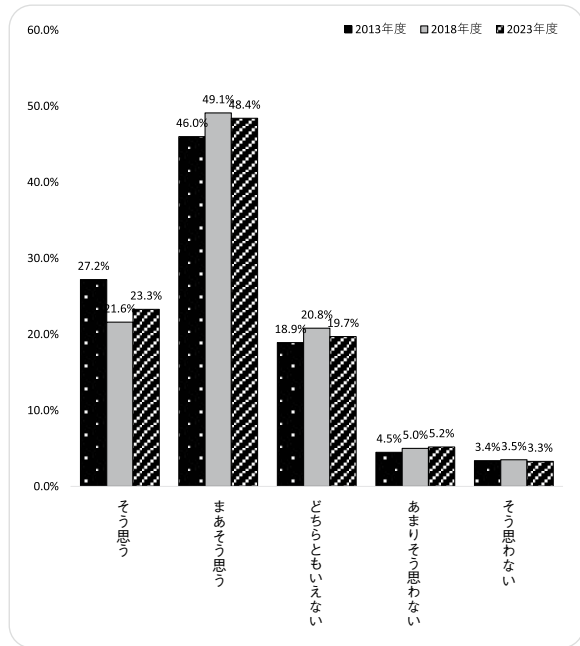
※有効回収数からの比率



問8 あなたは地域について、どのようにお考えですか。(択一回答)
全体的にみて、この地域の住み心地は良いと思う

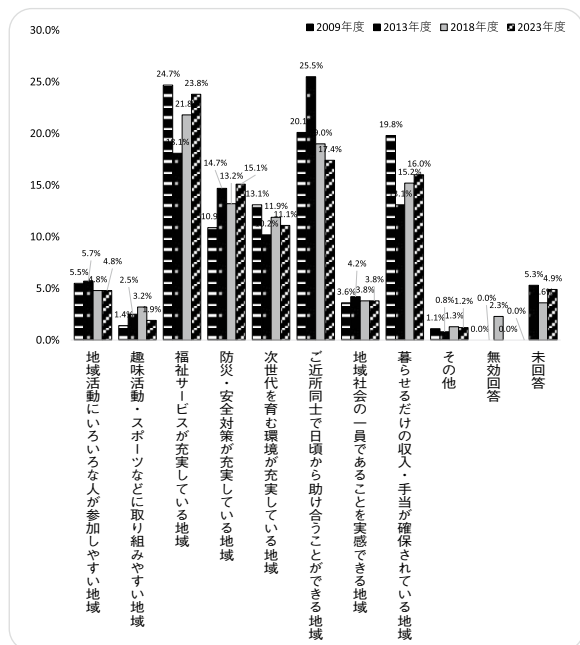
| | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| そう思う | 27.2% | 21.6% | 23.3% |
| まあそう思う | 46.0% | 49.1% | 48.4% |
| どちらともいえない | 18.9% | 20.8% | 19.7% |
| あまりそう思わない | 4.5% | 5.0% | 5.2% |
| そう思わない | 3.4% | 3.5% | 3.3% |

※2013年度からの設問
※有効回収数からの比率



問9 あなたが考える「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域(まち)」とは、どのような地域(まち)だと思いますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 地域活動にいろいろな人が参加しやすい地域 | 5.5% | 5.7% | 4.8% | 4.8% |
| 趣味活動・スポーツなどに取り組みやすい地域 | 1.4% | 2.5% | 3.2% | 1.9% |
| 福祉サービスが充実している地域 | 24.7% | 18.1% | 21.8% | 23.8% |
| 防災・安全対策が充実している地域 | 10.9% | 14.7% | 13.2% | 15.1% |
| 次世代を育む環境が充実している地域 | 13.1% | 10.2% | 11.9% | 11.1% |
| ご近所同士で日頃から助け合うことができる地域 | 20.1% | 25.5% | 19.0% | 17.4% |
| 地域社会の一員であることを実感できる地域 | 3.6% | 4.2% | 3.8% | 3.8% |
| 暮らせるだけの収入・手当が確保されている地域 | 19.8% | 13.1% | 15.2% | 16.0% |
| その他 | 1.1% | 0.8% | 1.3% | 1.2% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 5.3% | 3.6% | 4.9% |

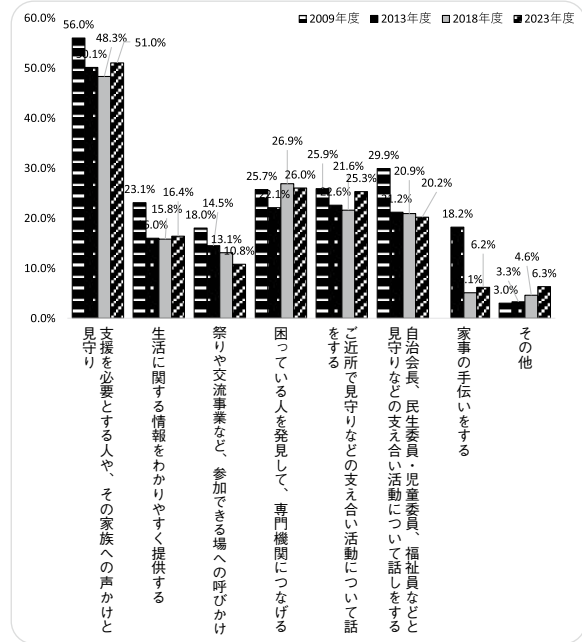


問10 高齢者や障害のある人（子ども）、引きこもり（不登校）の人、少し気がかりな人（子ども）など、支援を必要とする人や家庭に対し、地域で支えるためにあなたができることとして、どのようなことがありますか。（複数回答可）

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---|--------|--------|--------|--------|
| 支援を必要とする人や、その家族への声かけと見守り | 56.0% | 50.1% | 48.3% | 51.0% |
| 生活に関する情報をわかりやすく提供する | 23.1% | 16.0% | 15.8% | 16.4% |
| 祭りや交流事業など、参加できる場への呼びかけ | 18.0% | 14.5% | 13.1% | 10.8% |
| 困っている人を発見して、専門機関につなげる | 25.7% | 22.1% | 26.9% | 26.0% |
| ご近所で見守りなどの支え合い活動について話をする | 25.9% | 22.6% | 21.6% | 25.3% |
| 自治会長、民生委員・児童委員、福祉員など見守りなどの支え合い活動について話しをする | 29.9% | 21.2% | 20.9% | 20.2% |
| 家事の手伝いをする | | 18.2% | 5.1% | 6.2% |
| その他 | 3.0% | 3.3% | 4.6% | 6.3% |

※有効回収数からの比率

※「家事の手伝いをする」は2013年度から選択肢追加

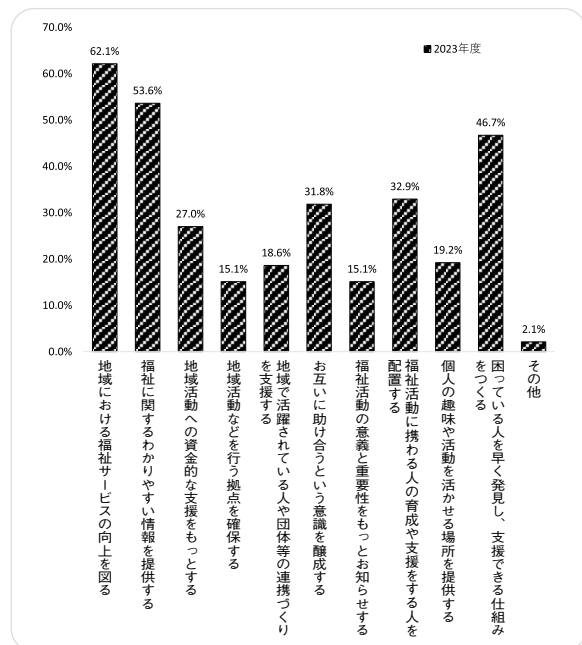


問11 「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」を進めていくために、市や町の行政に期待する役割としてどのようなことがありますか。（択一回答）

| | 2023年度 |
|----------------------------|--------|
| 地域における福祉サービスの向上を図る | 62.1% |
| 福祉に関するわかりやすい情報を提供する | 53.6% |
| 地域活動への資金的な支援をもつとする | 27.0% |
| 地域活動などを行う拠点を確保する | 15.1% |
| 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する | 18.6% |
| お互いに助け合うという意識を醸成する | 31.8% |
| 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする | 15.1% |
| 福祉活動に携わる人の育成や支援をする人を配置する | 32.9% |
| 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する | 19.2% |
| 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる | 46.7% |
| その他 | 2.1% |

※有効回収数からの比率

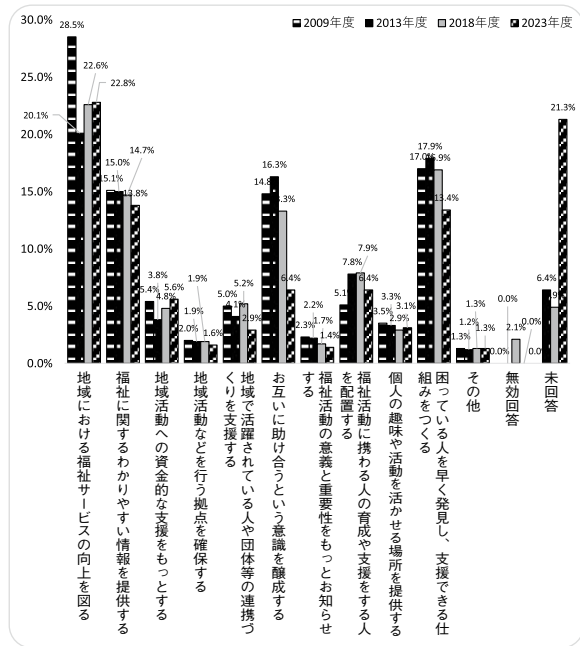
※2023年度からの複数回答での設問



付問11-1「誰もが安心して心豊かに暮らし続けることができる地域づくり」を進めていくために、市や町の行政に期待する役割の中で最も重要視するものとしてどのようなことがありますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 地域における福祉サービスの向上を図る | 28.5% | 20.1% | 22.6% | 22.8% |
| 福祉に関するわかりやすい情報を提供する | 15.1% | 15.0% | 14.7% | 13.8% |
| 地域活動への資金的な支援をもつとする | 5.4% | 3.8% | 4.8% | 5.6% |
| 地域活動などを行う拠点を確保する | 2.0% | 1.9% | 1.9% | 1.6% |
| 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりを支援する | 5.0% | 4.1% | 5.2% | 2.9% |
| お互いに助け合うという意識を醸成する | 14.8% | 16.3% | 13.3% | 6.4% |
| 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする | 2.3% | 2.2% | 1.7% | 1.4% |
| 福祉活動に携わる人の育成や支援をする人を配置する | 5.1% | 7.8% | 7.9% | 6.4% |
| 個人の趣味や活動を活かせる場所を提供する | 3.5% | 3.3% | 2.9% | 3.1% |
| 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みをつくる | 17.0% | 17.9% | 16.9% | 13.4% |
| その他 | 1.3% | 1.2% | 1.3% | 1.3% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 2.1% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 6.4% | 4.9% | 21.3% |

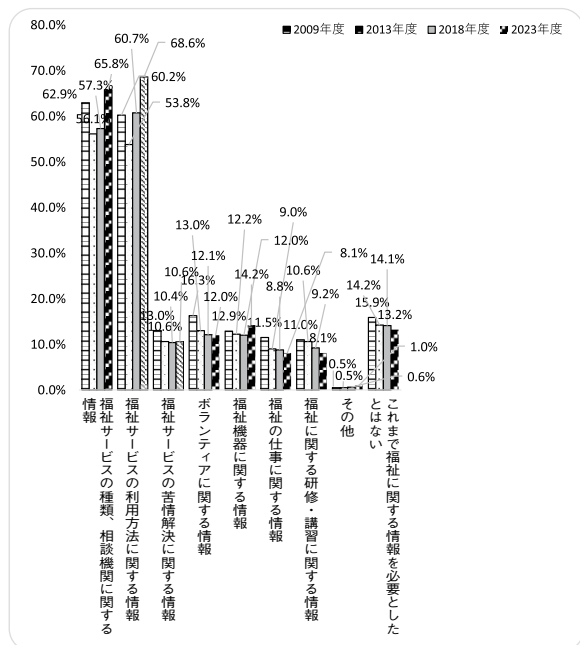
※2009年度～2013年度は行政の役割で期待する役割を1つ選ぶ設問
 ※2023年度は問11の選択肢のうち最も重要視する役割を1つ選ぶ設問



問12 あなたは福祉に関する情報について、どのような情報が必要ですか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 福祉サービスの種類、相談機関に関する情報 | 62.9% | 56.1% | 57.3% | 65.8% |
| 福祉サービスの利用方法に関する情報 | 60.2% | 53.8% | 60.7% | 68.6% |
| 福祉サービスの苦情解決に関する情報 | 13.0% | 10.6% | 10.4% | 10.6% |
| ボランティアに関する情報 | 16.3% | 13.0% | 12.1% | 12.0% |
| 福祉機器に関する情報 | 12.9% | 12.2% | 12.0% | 14.2% |
| 福祉の仕事に関する情報 | 11.5% | 9.0% | 8.8% | 8.1% |
| 福祉に関する研修・講習に関する情報 | 11.0% | 10.6% | 9.2% | 8.1% |
| その他 | 0.5% | 0.5% | 0.6% | 1.0% |
| これまで福祉に関する情報を必要としたことはない | 15.9% | 14.2% | 14.1% | 13.2% |

※有効回収数からの比率



付問12-1 あなたは福祉に関する情報を、どこから入手していますか。
(複数回答可)

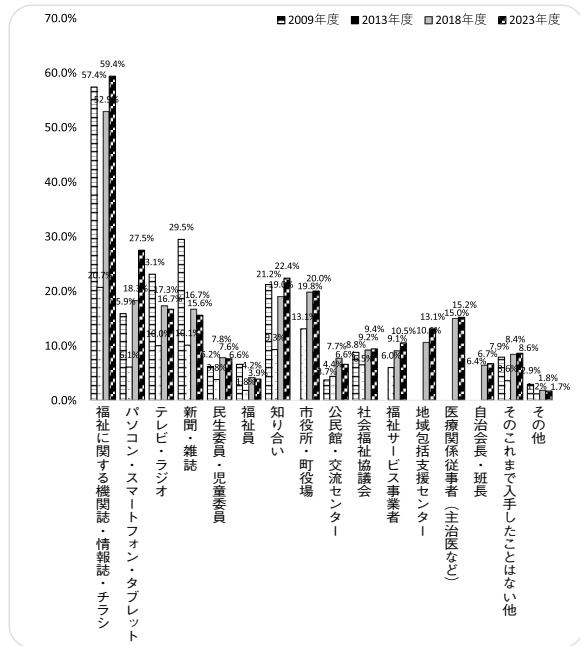
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|
| 福祉に関する機関誌・情報誌・チラシ | 57.4% | 20.7% | 52.9% | 59.4% |
| パソコン・スマートフォン・タブレット | 15.9% | 6.1% | 18.3% | 27.5% |
| テレビ・ラジオ | 23.1% | 10.0% | 17.3% | 16.7% |
| 新聞・雑誌 | 29.5% | 10.1% | 16.7% | 15.6% |
| 民生委員・児童委員 | 6.2% | 3.8% | 7.8% | 7.6% |
| 福祉員 | 6.6% | 1.8% | 4.2% | 3.9% |
| 知り合い | 21.2% | 9.3% | 19.0% | 22.4% |
| 市役所・町役場 | | 13.1% | 19.8% | 20.0% |
| 公民館・交流センター | 3.7% | 4.4% | 7.7% | 6.6% |
| 社会福祉協議会 | 8.8% | 6.5% | 9.2% | 9.4% |
| 福祉サービス事業者 | | 6.0% | 9.1% | 10.5% |
| 地域包括支援センター | | | 10.6% | 13.1% |
| 医療関係従事者(主治医など) | | | 15.0% | 15.2% |
| 自治会長・班長 | | | 6.4% | 6.7% |
| これまで入手したことはない | 7.9% | 3.6% | 8.4% | 8.6% |
| その他 | 2.9% | 1.2% | 1.8% | 1.7% |

※有効回収数からの比率

※「パソコン・スマートフォン・タブレット」は、2008年、2013年は「インターネット」という選択肢で設問

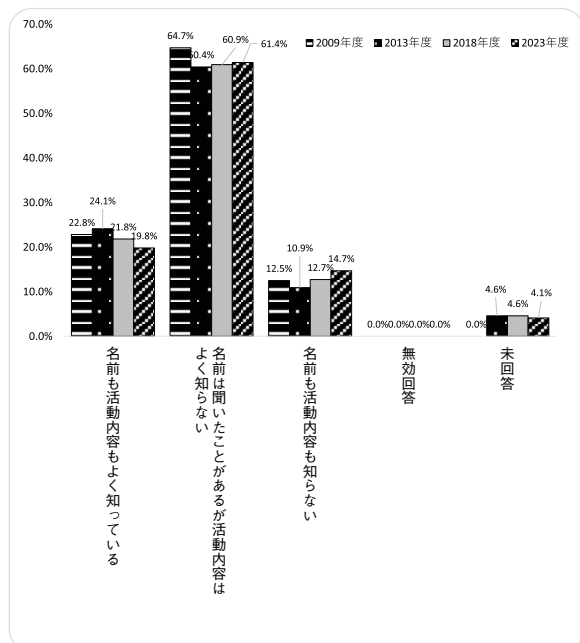
※「市役所・町役場」「福祉サービス事業者」は2013年度から選択肢追加

※「地域包括支援センター」「医療関係従事者(主治医など)」「自治会長・班長」は2018年度から選択肢追加



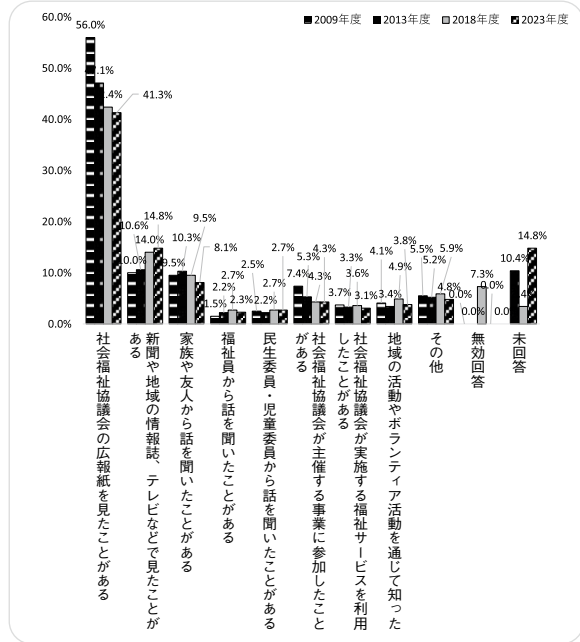
問13 あなたは、市や町の社会福祉協議会を知っていますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 名前も活動内容もよく知っている | 22.8% | 24.1% | 21.8% | 19.8% |
| 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らない | 64.7% | 60.4% | 60.9% | 61.4% |
| 名前も活動内容も知らない | 12.5% | 10.9% | 12.7% | 14.7% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 4.6% | 4.6% | 4.1% |



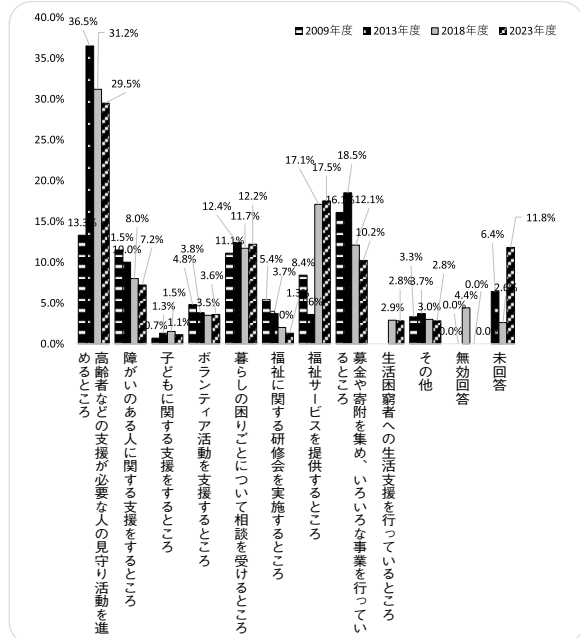
付問13-1 あなたは、どのようにして市や町の社会福祉協議会を知りましたか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 社会福祉協議会の広報紙を見たことがある | 56.0% | 47.1% | 42.4% | 41.3% |
| 新聞や地域の情報誌、テレビなどで見たことがある | 10.0% | 10.6% | 14.0% | 14.8% |
| 家族や友人から話を聞いたことがある | 9.5% | 10.3% | 9.5% | 8.1% |
| 福祉員から話を聞いたことがある | 1.5% | 2.2% | 2.7% | 2.3% |
| 民生委員・児童委員から話を聞いたことがある | 2.5% | 2.2% | 2.7% | 2.7% |
| 社会福祉協議会が主催する事業に参加したことがある | 7.4% | 5.3% | 4.3% | 4.3% |
| 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用したことがある | 3.7% | 3.3% | 3.6% | 3.1% |
| 地域の活動やボランティア活動を通じて知った | 4.1% | 3.4% | 4.9% | 3.8% |
| その他 | 5.5% | 5.2% | 5.9% | 4.8% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 7.3% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 10.4% | 3.4% | 14.8% |



付問13-2 あなたは、社会福祉協議会の仕事について、どのような印象を持っていますか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 高齢者などの支援が必要な人の見守り活動を進めるところ | 13.3% | 36.5% | 31.2% | 29.5% |
| 障がいのある人に関する支援をするところ | 11.5% | 10.0% | 8.0% | 7.2% |
| 子どもに関する支援をするところ | 0.7% | 1.3% | 1.5% | 1.1% |
| ボランティア活動を支援するところ | 4.8% | 3.8% | 3.5% | 3.6% |
| 暮らしの困りごとについて相談を受けるところ | 11.1% | 12.4% | 11.7% | 12.2% |
| 福祉に関する研修会を実施するところ | 5.4% | 3.7% | 2.0% | 1.3% |
| 福祉サービスを提供するところ | 8.4% | 3.6% | 17.1% | 17.5% |
| 募金や寄附を集め、いろいろな事業を行っているところ | 16.1% | 18.5% | 12.1% | 10.2% |
| 生活困窮者への生活支援を行っているところ | | | 2.9% | 2.8% |
| その他 | 3.3% | 3.7% | 3.0% | 2.8% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 4.4% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 6.4% | 2.6% | 11.8% |



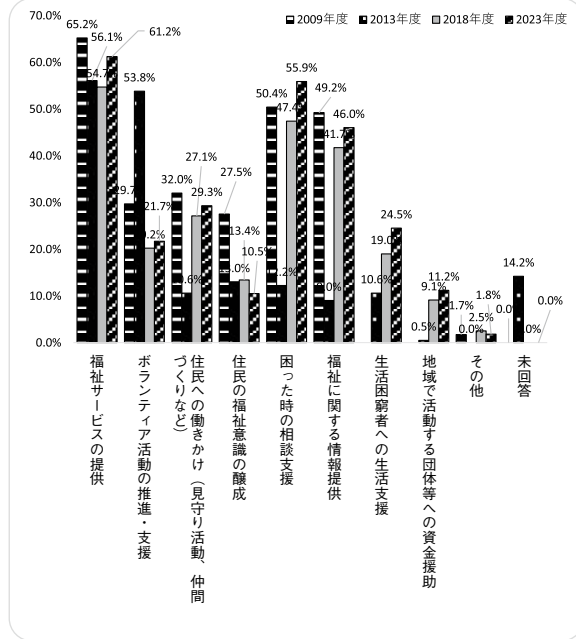
※「生活困窮者への生活支援を行っているところ」は2018年度から選択肢追加

問14 あなたは、今後、市や町の社会福祉協議会にどのような役割を期待しますか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 福祉サービスの提供 | 65.2% | 56.1% | 54.7% | 61.2% |
| ボランティア活動の推進・支援 | 29.7% | 53.8% | 20.2% | 21.7% |
| 住民への働きかけ（見守り活動、仲間づくりなど） | 32.0% | 10.6% | 27.1% | 29.3% |
| 住民の福祉意識の醸成 | 27.5% | 13.0% | 13.4% | 10.5% |
| 困った時の相談支援 | 50.4% | 12.2% | 47.4% | 55.9% |
| 福祉に関する情報提供 | 49.2% | 9.0% | 41.7% | 46.0% |
| 生活困窮者への生活支援 | | 10.6% | 19.0% | 24.5% |
| 地域で活動する団体等への資金援助 | | 0.5% | 9.1% | 11.2% |
| その他 | 1.7% | 0.0% | 2.5% | 1.8% |
| 未回答 | 0.0% | 14.2% | 0.0% | 0.0% |

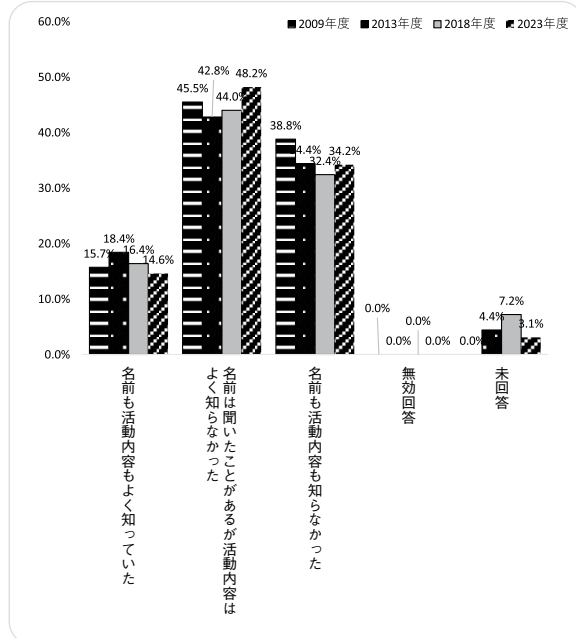
※有効回収数からの比率

※「生活困窮者への生活支援」「地域で活動する団体等への資金援助」は2013年から選択肢追加



問15 あなたは、「福祉員」を知っていましたか。(択一回答)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 名前も活動内容もよく知っていた | 15.7% | 18.4% | 16.4% | 14.6% |
| 名前は聞いたことがあるが活動内容はよく知らなかった | 45.5% | 42.8% | 44.0% | 48.2% |
| 名前も活動内容も知らなかった | 38.8% | 34.4% | 32.4% | 34.2% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 4.4% | 7.2% | 3.1% |

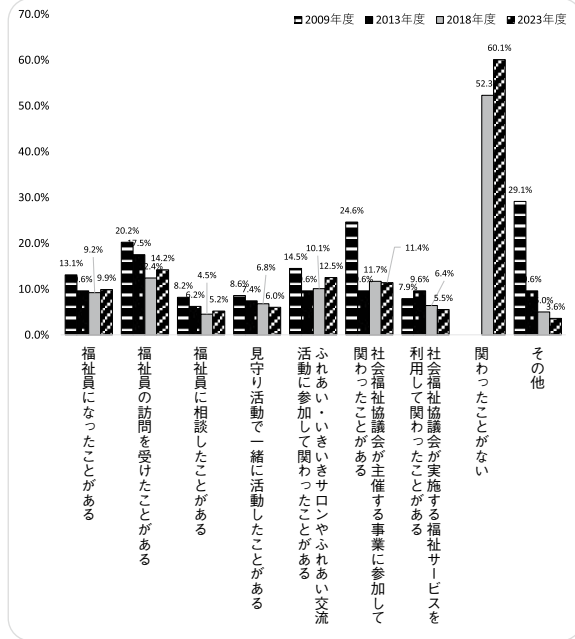


付問15-1 あなたは、これまで福祉員とどのような関わりがありましたか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 福祉員になったことがある | 13.1% | 9.6% | 9.2% | 9.9% |
| 福祉員の訪問を受けたことがある | 20.2% | 17.5% | 12.4% | 14.2% |
| 福祉員に相談したことがある | 8.2% | 6.2% | 4.5% | 5.2% |
| 見守り活動で一緒に活動したことがある | 8.6% | 7.4% | 6.8% | 6.0% |
| ふれあい・いきいきサロンやふれあい交流活動に参加して関わったことがある | 14.5% | 9.6% | 10.1% | 12.5% |
| 社会福祉協議会が主催する事業に参加して関わったことがある | 24.6% | 9.6% | 11.7% | 11.4% |
| 社会福祉協議会が実施する福祉サービスを利用して関わったことがある | 7.9% | 9.6% | 6.4% | 5.5% |
| 関わったことがない | | | 52.3% | 60.1% |
| その他 | 29.1% | 9.6% | 5.0% | 3.6% |

※有効回収数からの比率

※「関わったことがない」は2018年度から選択肢追加

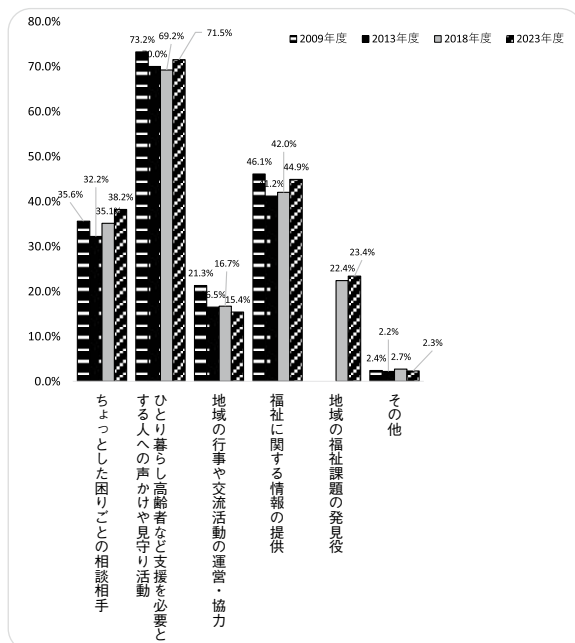


問16 今後、「福祉員」に期待する役割としてどのようなことがありますか。(複数回答可)

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| ちょっとした困りごとの相談相手 | 35.6% | 32.2% | 35.1% | 38.2% |
| ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人への声かけや見守り活動 | 73.2% | 70.0% | 69.2% | 71.5% |
| 地域の行事や交流活動の運営・協力 | 21.3% | 16.5% | 16.7% | 15.4% |
| 福祉に関する情報の提供 | 46.1% | 41.2% | 42.0% | 44.9% |
| 地域の福祉課題の発見役 | | | 22.4% | 23.4% |
| その他 | 2.4% | 2.2% | 2.7% | 2.3% |

※有効回収数からの比率

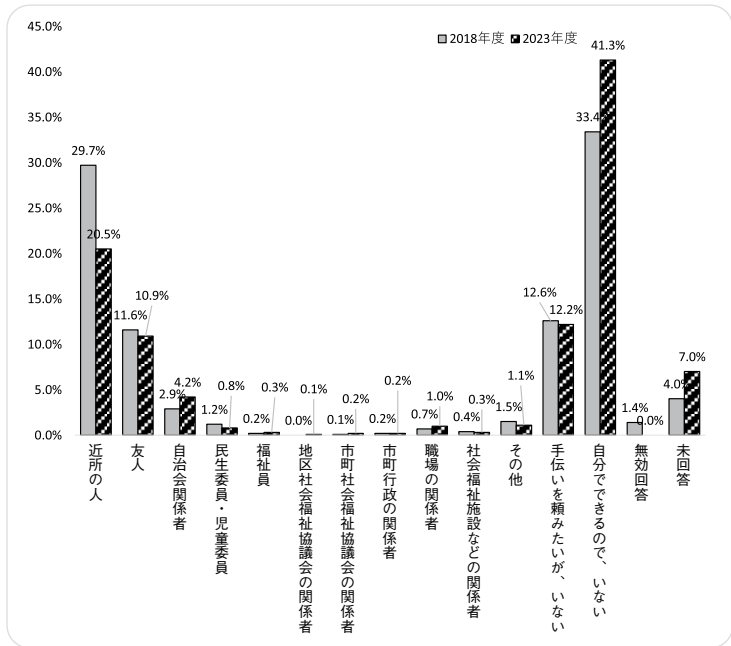
※「地域の福祉課題の発見役」は2018年度から選択肢追加



問17 あなたには、災害時に備えて家族・親族以外で、戸締まりや避難などのお手伝いを頼める方がいらっしゃいますか。(択一回答)

| | 2018年度 | 2023年度 |
|---------------|--------|--------|
| 近所の人 | 29.7% | 20.5% |
| 友人 | 11.6% | 10.9% |
| 自治会関係者 | 2.9% | 4.2% |
| 民生委員・児童委員 | 1.2% | 0.8% |
| 福祉員 | 0.2% | 0.3% |
| 地区社会福祉協議会の関係者 | 0.0% | 0.1% |
| 市町社会福祉協議会の関係者 | 0.1% | 0.2% |
| 市町行政の関係者 | 0.2% | 0.2% |
| 職場の関係者 | 0.7% | 1.0% |
| 社会福祉施設などの関係者 | 0.4% | 0.3% |
| その他 | 1.5% | 1.1% |
| 手伝いを頼みたいが、いない | 12.6% | 12.2% |
| 自分でできるので、いない | 33.4% | 41.3% |
| 無効回答 | 1.4% | 0.0% |
| 未回答 | 4.0% | 7.0% |

※2018年度からの設問

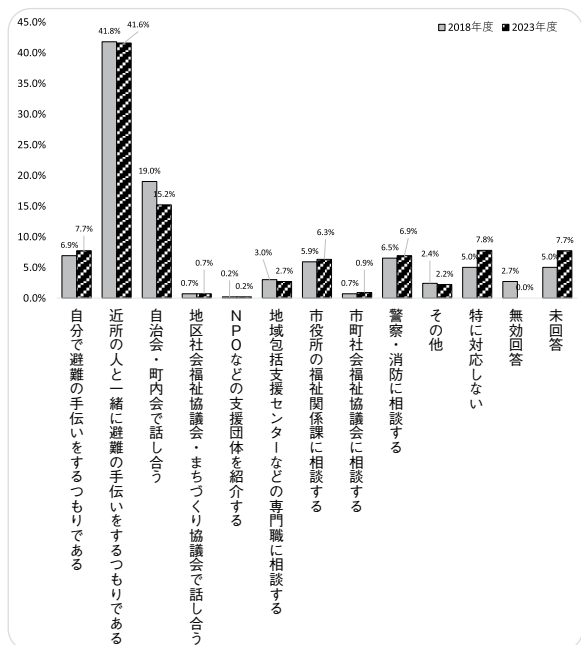


問18 もし、あなたの地域に、次のような方がいたら、災害時に備えて、あなたはどのように取組ますか。(択一回答)

災害時に一人で避難することが難しいと思われる、一人暮らしの高齢者

| | 2018年度 | 2023年度 |
|-------------------------|--------|--------|
| 自分で避難の手伝いをするつもりである | 6.9% | 7.7% |
| 近所の人と一緒に避難の手伝いをするつもりである | 41.8% | 41.6% |
| 自治会・町内会で話し合う | 19.0% | 15.2% |
| 地区社会福祉協議会・まちづくり協議会で話し合う | 0.7% | 0.7% |
| NPOなどの支援団体を紹介する | 0.2% | 0.2% |
| 地域包括支援センターなどの専門職に相談する | 3.0% | 2.7% |
| 市役所の福祉関係課に相談する | 5.9% | 6.3% |
| 市町社会福祉協議会に相談する | 0.7% | 0.9% |
| 警察・消防に相談する | 6.5% | 6.9% |
| その他 | 2.4% | 2.2% |
| 特に対応しない | 5.0% | 7.8% |
| 無効回答 | 2.7% | 0.0% |
| 未回答 | 5.0% | 7.7% |

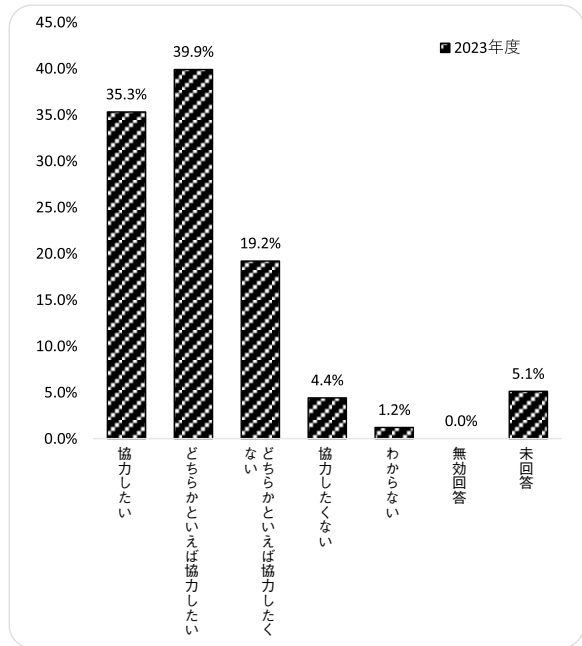
※2018年度からの設問



問19 あなたは、災害ボランティア活動に協力したいですか。(択一回答)

| | 2023年度 |
|-----------------|--------|
| 協力したい | 35.3% |
| どちらかといえば協力したい | 39.9% |
| どちらかといえば協力したくない | 19.2% |
| 協力したくない | 4.4% |
| わからない | 1.2% |
| 無効回答 | 0.0% |
| 未回答 | 5.1% |

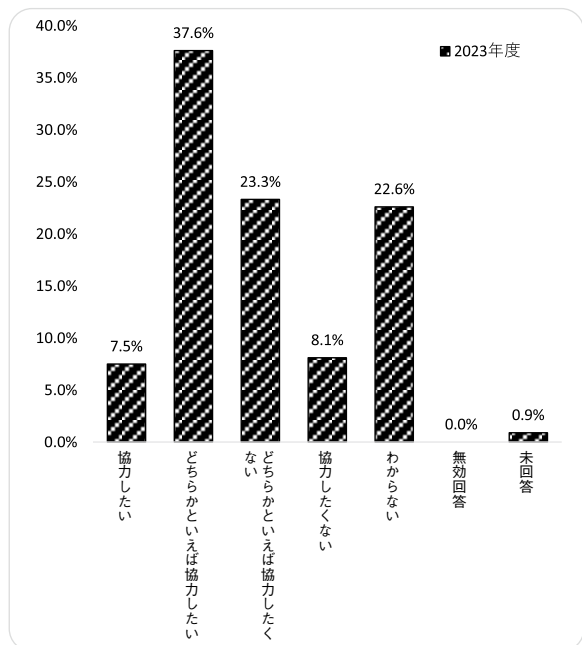
※2023年度からの設問



問19-1 あなたは、災害ボランティアの事前登録に協力したいですか。(択一回答)

| | 2023年度 |
|-----------------|--------|
| 協力したい | 7.5% |
| どちらかといえば協力したい | 37.6% |
| どちらかといえば協力したくない | 23.3% |
| 協力したくない | 8.1% |
| わからない | 22.6% |
| 無効回答 | 0.0% |
| 未回答 | 0.9% |

※2023年度からの設問



問20 あなたは、過去1年間に次のような寄附（募金）をしたことがありますか。（複数回答可）

| | 2013年度 |
|------------------------|--------|
| 赤い羽根共同募金 | 72.0% |
| 歳末たすけあい募金 | 55.3% |
| 一般寄附 | 24.4% |
| 指定寄付（寄附する相手や事業を指定する寄附） | 14.8% |
| テレビ・ラジオやインターネットによる募金 | 4.2% |
| お店などに置かれている募金箱への募金 | 42.2% |
| 物品の寄附 | 7.3% |
| その他 | 4.5% |

※有効回収数からの比率

※2013年度は寄附（募金）先と寄附（募金）の手段を同じ設問でたずねている。

| 2023年度 | |
|--------|---|
| 68.2% | 赤い羽根共同募金（歳末たすけあい、災害義援金を含む） |
| 13.9% | 社会福祉協議会への一般寄附 |
| 3.0% | 社会福祉協議会への特別寄附（寄附する相手や事業を指定する寄附） |
| 33.7% | 日本赤十字社への寄附（海外たすけあい、災害義援金を含む） |
| 12.4% | 民間非営利団体（公益法人、特定非営利活動法人（NPO法人）、社会福祉協議会を除く社会福祉法人など）への寄附・チャリティー募金等 |
| 7.8% | 地方公共団体への寄附（ふるさと納税を含む） |
| 2.5% | その他 |
| 15.0% | 寄附をしたことはあるが、よく分からない |
| 15.0% | 寄附をしたことはない |

問20-1 あなたが寄附（募金）された方法は、どのような方法ですか。（複数回答可）

| | 2013年度 |
|------------------------|--------|
| 赤い羽根共同募金 | 72.0% |
| 歳末たすけあい募金 | 55.3% |
| 一般寄附 | 24.4% |
| 指定寄付（寄附する相手や事業を指定する寄附） | 14.8% |
| テレビ・ラジオやインターネットによる募金 | 4.2% |
| お店などに置かれている募金箱への募金 | 42.2% |
| 物品の寄附 | 7.3% |
| その他 | 4.5% |

※有効回収数からの比率

※2013年度は寄附（募金）先と寄附（募金）の手段を同じ設問でたずねている。

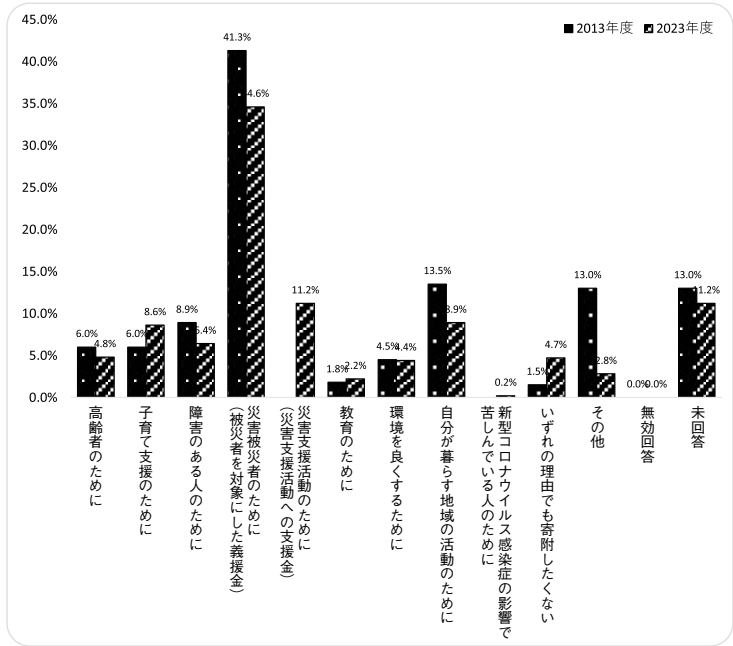
| 2023年度 | |
|--------|---|
| 4.7% | 窓口で直接現金を持ち込み |
| 1.8% | 戸別募金 |
| 70.1% | 自治会・町内会を通じての寄附 |
| 24.4% | 街頭募金 |
| 7.9% | インターネット（クレジットカード、電子マネー、インターネットバンキングなど）による募金 |
| 31.1% | 店頭で置かれている募金箱 |
| 6.8% | 金融機関窓口での振込 |
| 0.3% | 不動産や貴金属など現金以外の資産を寄附 |
| 5.2% | その他 |

問21 今後、どのような内容であれば、寄附したいと思いますか。(択一回答)

| | 2013年度 | 2023年度 |
|-----------------------------|--------|--------|
| 高齢者のために | 6.0% | 4.8% |
| 子育て支援のために | 6.0% | 8.6% |
| 障害のある人のために | 8.9% | 6.4% |
| 災害被災者のために（被災者を対象にした義援金） | 41.3% | 34.6% |
| 災害支援活動のために（災害支援活動への支援金） | | 11.2% |
| 教育のために | 1.8% | 2.2% |
| 環境を良くするために | 4.5% | 4.4% |
| 自分が暮らす地域の活動のために | 13.5% | 8.9% |
| 新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人のために | | 0.2% |
| いずれの理由でも寄附したくない | 1.5% | 4.7% |
| その他 | 13.0% | 2.8% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 13.0% | 11.2% |

※2013年度は「災害被災者のために（被災者を対象とした義援金）」と「災害支援活動のために（災害支援活動への支援金）」の2つに分けずに「災害支援のために」としてたずねている。グラフでは「災害被災者のために（被災者を対象とした義援金）」で示している。

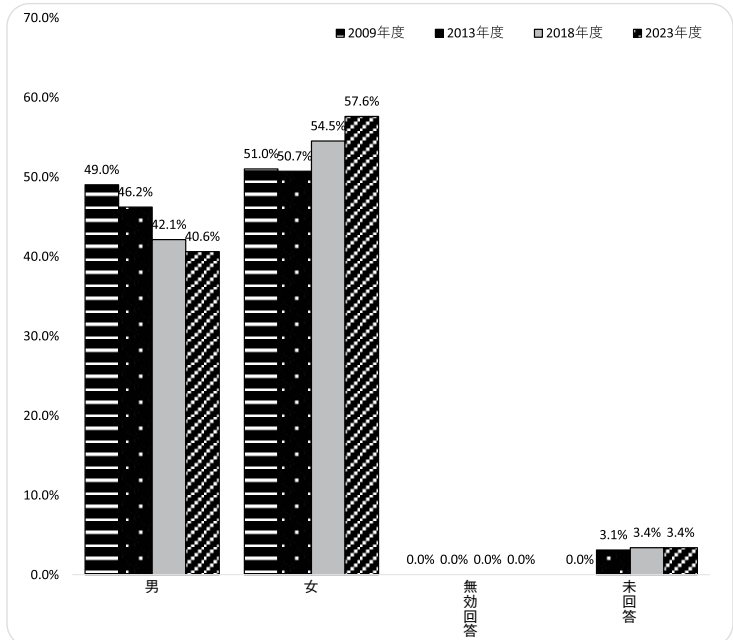
※「新型コロナウイルス感染症の影響で苦しんでいる人のために」は2023年度のみを選択肢



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F1 性別

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 男 | 49.0% | 46.2% | 42.1% | 40.6% |
| 女 | 51.0% | 50.7% | 54.5% | 57.6% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 3.1% | 3.4% | 3.4% |

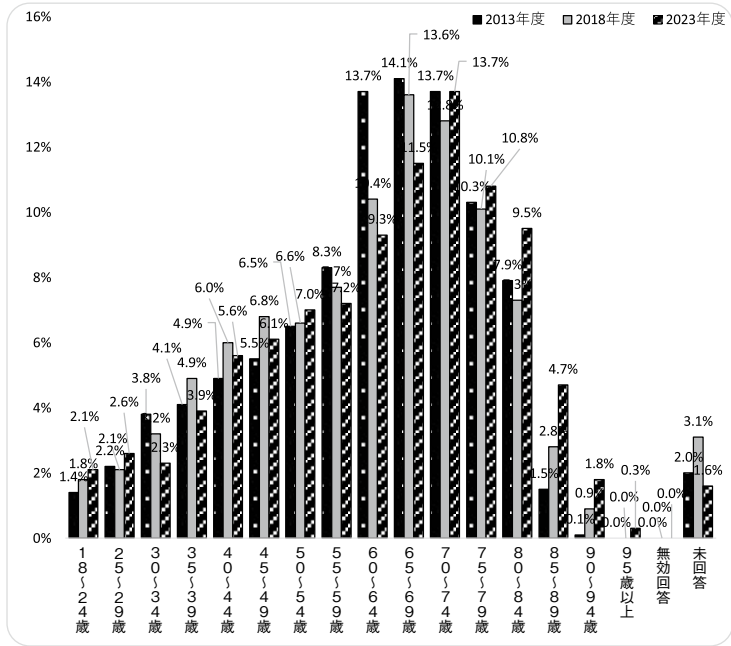


最後に、あなた自身のことについておたずねします。
(択一回答)

F2 年齢

| | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 18～24歳 | 1.4% | 1.8% | 2.1% |
| 25～29歳 | 2.2% | 2.1% | 2.6% |
| 30～34歳 | 3.8% | 3.2% | 2.3% |
| 35～39歳 | 4.1% | 4.9% | 3.9% |
| 40～44歳 | 4.9% | 6.0% | 5.6% |
| 45～49歳 | 5.5% | 6.8% | 6.1% |
| 50～54歳 | 6.5% | 6.6% | 7.0% |
| 55～59歳 | 8.3% | 7.7% | 7.2% |
| 60～64歳 | 13.7% | 10.4% | 9.3% |
| 65～69歳 | 14.1% | 13.6% | 11.5% |
| 70～74歳 | 13.7% | 12.8% | 13.7% |
| 75～79歳 | 10.3% | 10.1% | 10.8% |
| 80～84歳 | 7.9% | 7.3% | 9.5% |
| 85～89歳 | 1.5% | 2.8% | 4.7% |
| 90～94歳 | 0.1% | 0.9% | 1.8% |
| 95歳以上 | 0.0% | 0.0% | 0.3% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 2.0% | 3.1% | 1.6% |

※2013年度からの設問

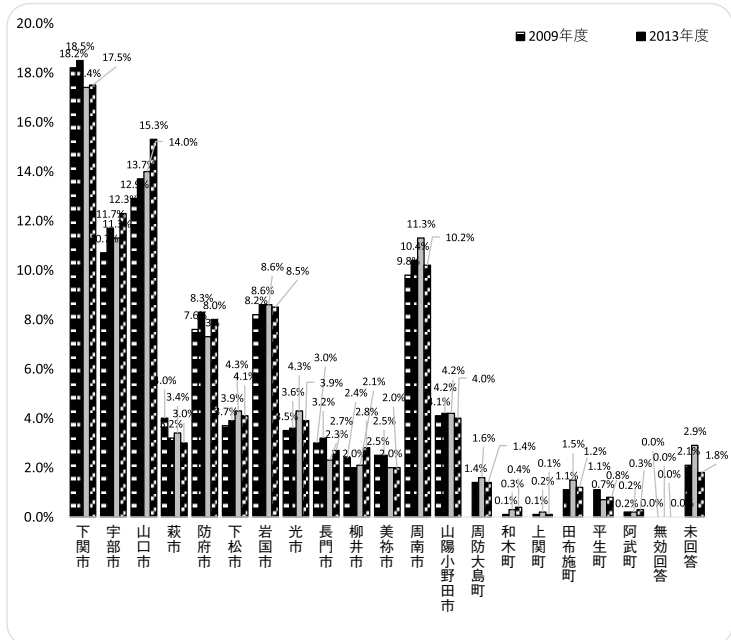


最後に、あなた自身のことについておたずねします。
(択一回答)

F3 お住まいの市町

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 下関市 | 18.2% | 18.5% | 17.4% | 17.5% |
| 宇部市 | 10.7% | 11.7% | 11.3% | 12.3% |
| 山口市 | 12.9% | 13.7% | 14.0% | 15.3% |
| 萩市 | 4.0% | 3.2% | 3.4% | 3.0% |
| 防府市 | 7.6% | 8.3% | 7.3% | 8.0% |
| 下松市 | 3.7% | 3.9% | 4.3% | 4.1% |
| 岩国市 | 8.2% | 8.6% | 8.6% | 8.5% |
| 光市 | 3.5% | 3.6% | 4.3% | 3.9% |
| 長門市 | 3.0% | 3.2% | 2.3% | 2.7% |
| 柳井市 | 2.4% | 2.0% | 2.1% | 2.8% |
| 美祿市 | 2.5% | 2.5% | 2.0% | 2.0% |
| 周南市 | 9.8% | 10.4% | 11.3% | 10.2% |
| 山陽小野田市 | 4.1% | 4.2% | 4.2% | 4.0% |
| 周防大島町 | | 1.4% | 1.6% | 1.4% |
| 和木町 | | 0.1% | 0.3% | 0.4% |
| 上関町 | | 0.1% | 0.2% | 0.1% |
| 田布施町 | | 1.1% | 1.5% | 1.2% |
| 平生町 | | 1.1% | 0.7% | 0.8% |
| 阿武町 | | 0.2% | 0.2% | 0.3% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.1% | 2.9% | 1.8% |

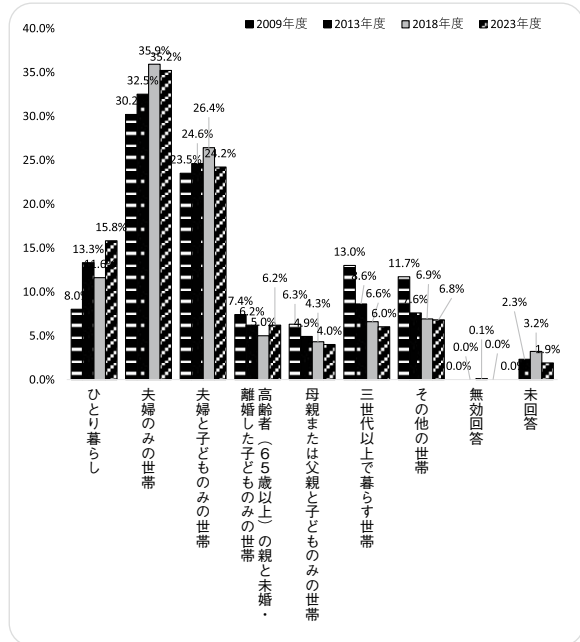
※2009年度は市のみで調査を実施



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F4 世帯

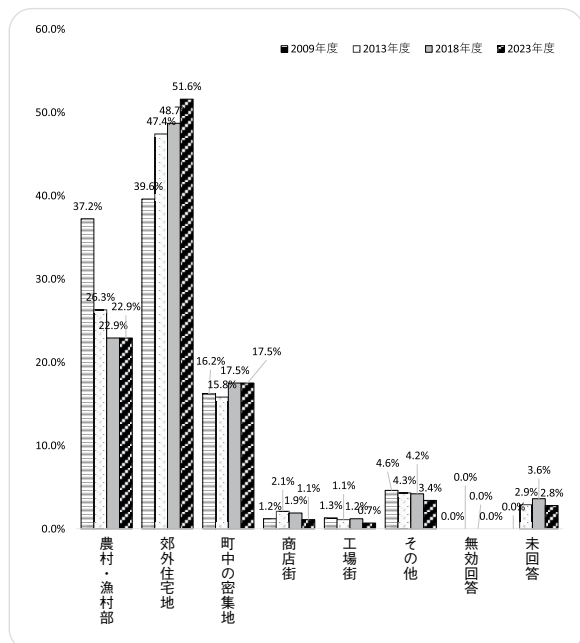
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| ひとり暮らし | 8.0% | 13.3% | 11.6% | 15.8% |
| 夫婦のみの世帯 | 30.2% | 32.5% | 35.9% | 35.2% |
| 夫婦と子どもだけの世帯 | 23.5% | 24.6% | 26.4% | 24.2% |
| 高齢者(65歳以上)の親と未婚・離婚した子どもだけの世帯 | 7.4% | 6.2% | 5.0% | 6.2% |
| 母親または父親と子どもだけの世帯 | 6.3% | 4.9% | 4.3% | 4.0% |
| 三世代以上で暮らす世帯 | 13.0% | 8.6% | 6.6% | 6.0% |
| その他の世帯 | 11.7% | 7.6% | 6.9% | 6.8% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.1% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.3% | 3.2% | 1.9% |



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F5 住んでる場所

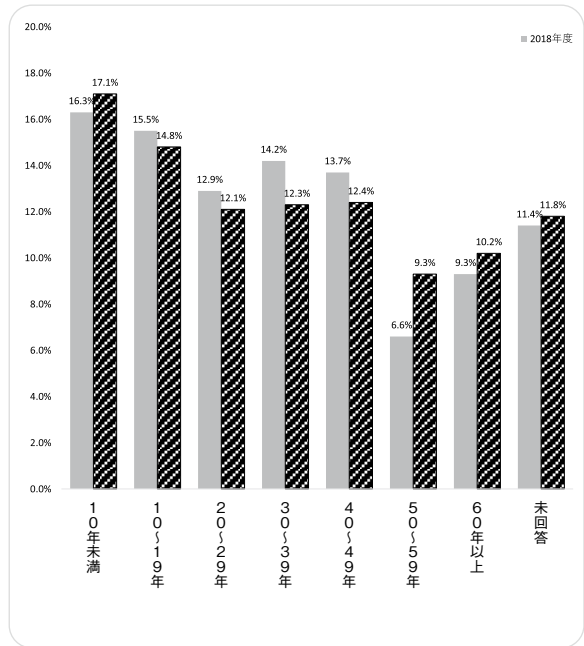
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 農村・漁村部 | 37.2% | 26.3% | 22.9% | 22.9% |
| 郊外住宅地 | 39.6% | 47.4% | 48.7% | 51.6% |
| 町中の密集地 | 16.2% | 15.8% | 17.5% | 17.5% |
| 商店街 | 1.2% | 2.1% | 1.9% | 1.1% |
| 工場街 | 1.3% | 1.1% | 1.2% | 0.7% |
| その他 | 4.6% | 4.3% | 4.2% | 3.4% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.9% | 3.6% | 2.8% |



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)
F6 居住歴 (居住年数)

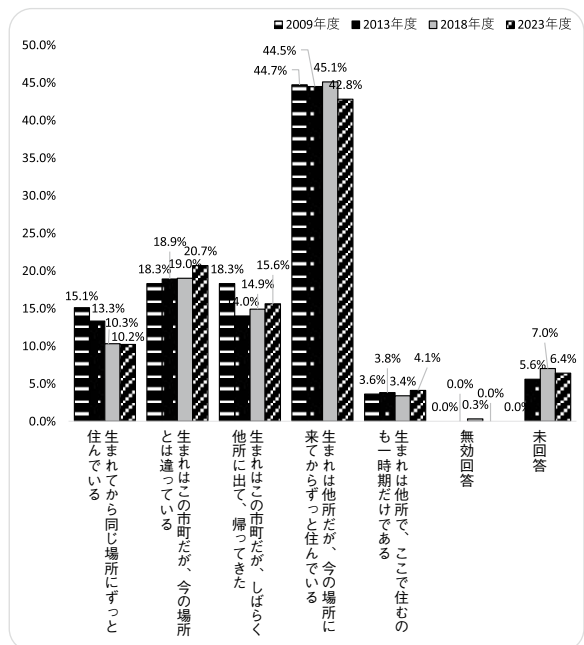
| 居住年数 | 2018年度 | 2023年度 |
|--------|--------|--------|
| 10年未満 | 16.3% | 17.1% |
| 10～19年 | 15.5% | 14.8% |
| 20～29年 | 12.9% | 12.1% |
| 30～39年 | 14.2% | 12.3% |
| 40～49年 | 13.7% | 12.4% |
| 50～59年 | 6.6% | 9.3% |
| 60年以上 | 9.3% | 10.2% |
| 未回答 | 11.4% | 11.8% |

※2018年度からの設問



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)
F6 居住歴 (居住状況)

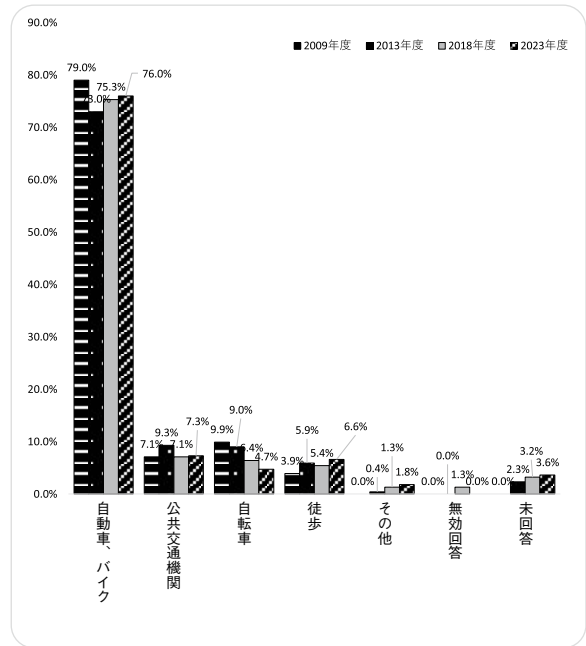
| 居住年数 | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 生まれてから同じ場所にずっと住んでいる | 15.1% | 13.3% | 10.3% | 10.2% |
| 生まれはこの市町だが、今の場所とは違っている | 18.3% | 18.9% | 19.0% | 20.7% |
| 生まれはこの市町だが、しばらく他所に出て、帰ってきた | 18.3% | 14.0% | 14.9% | 15.6% |
| 生まれは他所だが、今の場所に来てからずっと住んでいる | 44.7% | 44.5% | 45.1% | 42.8% |
| 生まれは他所で、ここで住むのも一時期だけである | 3.6% | 3.8% | 3.4% | 4.1% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.3% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 5.6% | 7.0% | 6.4% |



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F7 移動手段

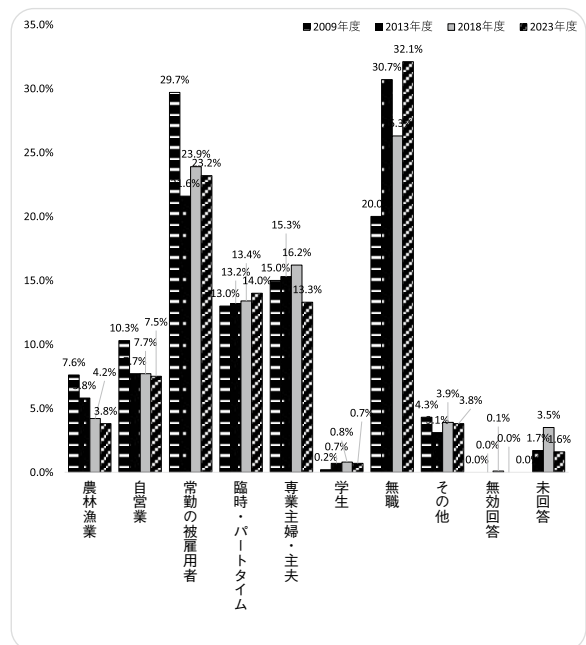
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 自動車、バイク | 79.0% | 73.0% | 75.3% | 76.0% |
| 公共交通機関 | 7.1% | 9.3% | 7.1% | 7.3% |
| 自転車 | 9.9% | 9.0% | 6.4% | 4.7% |
| 徒歩 | 3.9% | 5.9% | 5.4% | 6.6% |
| その他 | 0.0% | 0.4% | 1.3% | 1.8% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 1.3% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.3% | 3.2% | 3.6% |



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F8 現在の仕事

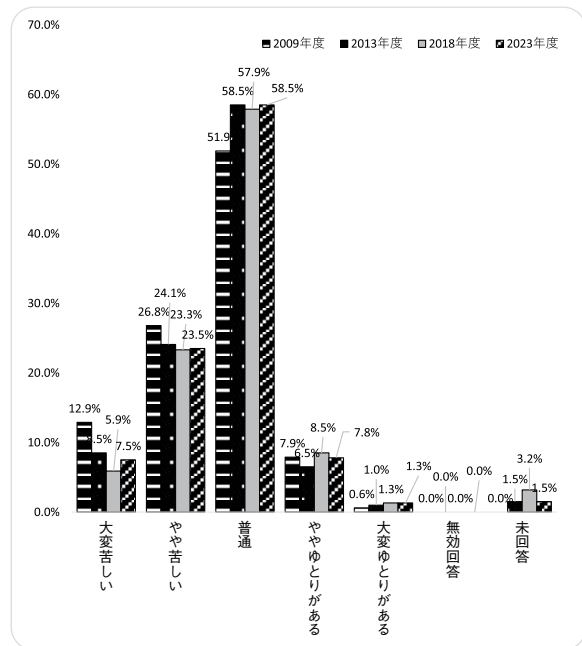
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 農林漁業 | 7.6% | 5.8% | 4.2% | 3.8% |
| 自営業 | 10.3% | 7.7% | 7.7% | 7.5% |
| 常勤の被雇用者 | 29.7% | 21.6% | 23.9% | 23.2% |
| 臨時・パートタイム | 13.0% | 13.2% | 13.4% | 14.0% |
| 専業主婦・主夫 | 15.0% | 15.3% | 16.2% | 13.3% |
| 学生 | 0.2% | 0.7% | 0.8% | 0.7% |
| 無職 | 20.0% | 30.7% | 26.3% | 32.1% |
| その他 | 4.3% | 3.1% | 3.9% | 3.8% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.1% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 1.7% | 3.5% | 1.6% |



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F9 現在の暮らしの状況

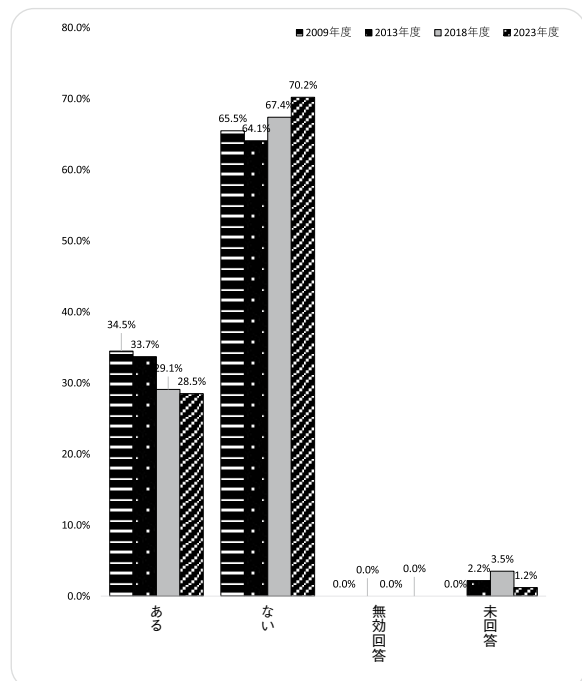
| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 大変苦しい | 12.9% | 5.9% | 5.9% | 7.5% |
| やや苦しい | 26.8% | 24.1% | 23.3% | 23.5% |
| 普通 | 51.9% | 58.5% | 57.9% | 58.5% |
| ややゆとりがある | 7.9% | 6.5% | 8.5% | 7.8% |
| 大変ゆとりがある | 0.6% | 1.0% | 1.3% | 1.3% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 1.5% | 3.2% | 1.5% |



最後に、あなた自身のことについておたずねします。(択一回答)

F10 地域福祉活動の経験

| | 2009年度 | 2013年度 | 2018年度 | 2023年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|
| ある | 34.5% | 33.7% | 29.1% | 28.5% |
| ない | 65.5% | 64.1% | 67.4% | 70.2% |
| 無効回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 未回答 | 0.0% | 2.2% | 3.5% | 1.2% |



4 「県民福祉意識等に関する調査研究委員会」協議経過 等

(1) 協議経過

【第1回】

日 付：2022（令和4）年11月7日（月）
内 容：委員会の目的及び運営について
県民福祉意識等実態調査について

【調査票（案）への意見集約】

委 員：2022（令和4）年11月22日（火）～12月9日（金）
市町社協：2023（令和5）年1月11日（水）～1月25日（水）

【第2回】

日 付：2023（令和5）年2月7日（火）
内 容：委員及び市町社協からの意見集約を踏まえた調査票の決定について

【第3回】

日 時：2023（令和5）年9月15日（金）
内 容：県民福祉意識等実態調査の単純集計結果について

【第4回】

日 時：2024（令和6）年2月22日（木）
内 容：2023年度 福祉に関する県民意識調査 報告書（案）について
次回調査に向けた課題等について

(2) 県民福祉意識等に関する調査研究委員会 委員名簿

| 委員会における役職 | 所属先 | 役職 | 氏名 |
|-----------|-------------------------------------|---------------|------|
| 委員長 | 九州大学大学院人間環境学研究院 | 教授 | 高野和良 |
| 副委員長 | 公立大学法人山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科 | 教授 | 坂本俊彦 |
| 委員 | 社会福祉法人美祢市社会福祉協議会 | 地域福祉課長 | 羽根一孝 |
| 委員 | 社会福祉法人平生町社会福祉協議会 | 事務局長 | 木本潤 |
| 委員 | 社会福祉法人岩国市社会福祉協議会 くらし自立応援センターいわくに | 主任相談支援専門員 | 森岡剛史 |
| 委員 | 社会福祉法人山口県共同募金会 | 常務理事兼 事務局長 | 清水義弘 |
| 委員 | 山口県健康福祉部厚政課 | 班長 | 今井和之 |

任期：2022（令和3）年10月1日～2024（令和6）年3月31日

【事務局】

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

| | | | |
|-------|----------|-----|----|
| 地域福祉部 | 部長 | 大河原 | 修 |
| 地域福祉部 | 副部長 | 山本 | 貴茂 |
| 地域福祉部 | 地域福祉班 班長 | 村田 | 真帆 |
| 地域福祉部 | 地域福祉班 主事 | 和田 | 里美 |
| 地域福祉部 | 地域福祉班 主事 | 橋本 | 采映 |

2023年度 福祉に関する県民意識調査報告書

発行：2024（令和6）年3月

発行者：社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

〒753-0072 山口県山口市大手町9番6号

T E L 083-924-2828 F A X 083-924-2847

ホームページ <https://www.yamaguchikensyakyō.jp/>

印刷：株式会社マルニ



この報告書は、赤い羽根共同募金の助成により作成したものです。